PRIMEQUEST1000 シリーズ
ServerView Mission Critical Option

Version 1.0

ユーザマニュアル

2011 年 4 月版

© Copyright Fujitsu Limited 2011

All hardware and software names used are trademarks of their respective manufacturers.

All rights, including rights of translation, reproduction by printing, copying or similar methods, in part or in whole, are reserved.

Offenders will be liable for damages.

All rights, including rights created by patent grant or registration of a utility model or design, are reserved.

Delivery subject to availability. Right of technical modification reserved.

目　次

1　製品概要 1
1.1　PRIMEQUEST における監視の仕組み 1
1.1.1　システム全体 1
1.1.2　ServerView Suite 3
1.2　ServerView Mission Critical Option (SVmco) 4
1.2.1　SVmco の機能 4
1.2.2　ハード異常監視の仕組み 5

2　導入手順 6
2.1　SVmco の設定（Linux：Red Hat Enterprise Linux） 6
2.1.1　PSA-MMB 間通信 LAN の設定 9
2.1.2　管理 LAN の設定確認 16
2.1.3　SELinux 機能の設定確認 16
2.1.4　ファイアーウォール機能の確認 (ポートの開放) 17
2.1.5　管理 LAN IP アドレスの設定 25
2.1.6　パーティションからのトラップ送信先の設定 27
2.1.7　複製ディスク使用時の SNMP 設定 32
2.1.8　SVmco のアップデートインストール 35
2.1.9　SIRMS のアップデートインストール 37
2.1.10　SVmco のアンインストール 37
2.1.11　SIRMS のアンインストール 37
2.2　SVmco の設定 (Windows Server 2008) 39
2.2.1　PSA-MMB 間通信 LAN の設定 43
2.2.2　管理 LAN の設定確認 48
2.2.3　PSHED Plugin ドライバのインストール 49
2.2.4　Windows ファイアーウォールの設定 51
2.2.5　管理 LAN IP アドレスの設定 62
2.2.6　パーティションからのトラップ送信先の設定 63
2.2.7　STOP エラー (致命的なシステムエラー) 発生後の Watchdog Timer 監視設定65
2.2.8　SVmco のアップデートインストール 66
2.2.9　SIRMS のアップデートインストール 68
2.2.10　SVmco のアンインストール 69
2.2.11　SIRMS のアンインストール 70
2.3　SVmco の設定 (VMware) 72
2.3.1　SVmco のインストール 72
2.3.2　SIRMS のインストール 73

2.3.3 SVmco インストール後の設定 ... 74
2.3.4 ネットワークの設定 ... 75
2.3.5 ファイアーウォールの設定 ... 86
2.3.6 デフォルトゲートウェイの設定 ... 87
2.3.7 VMware SVmco 保守情報取得 ... 89
2.3.8 VMware SVmco 留意事項 ... 90

3 SVmco の CLI ... 91
3.1 CLI コマンド一覧 ... 91
3.2 ディスク操作コマンド (diskctrl) ... 93
3.3 SVmco 起動／停止コマンド (y30SVmco) ... 107
3.4 SVmco 調査資料収集コマンド (getosvmco) ... 109
3.5 SNMP セキュリティ設定コマンド (setsnmpsec) ... 111
3.6 PCI カード操作コマンド(fjpciswap) ... 112
3.7 管理 LAN 用インターフェース向けファイアーウォール設定コマンド (setmlanfw.sh) ... 128
3.8 PSA-MMB 通信 LAN 設定コマンド (setpsalan) ... 136

4 ハードディスクの活性交換 ... 138
4.1 ハードディスクの活性交換の概要 ... 138
4.2 ディスクの追加・削除・交換 ... 141
4.2.1 追加の手順 ... 141
4.2.2 削除の手順 ... 143
4.2.3 交換の手順 (ハードディスクが無応答となる故障以外の場合) ... 146
4.2.4 交換の手順 (ハードディスクが無応答となる故障の場合) ... 150

5 Windows における PCI カードの活性保守 ... 154
5.1 活性保守の概要 ... 154
5.1.1 全体の流れ ... 155
5.2 PCI カードのホットプラグの共通手順 ... 156
5.2.1 交換の手順 ... 156
5.2.2 追加の手順 ... 159
5.2.3 削除について ... 160
5.3 NIC のホットプラグ ... 161
5.3.1 チーミングに組み込まれている NIC のホットプラグ ... 161
5.3.2 冗長化されていない NIC のホットプラグ ... 170
5.3.3 NIC の追加手順 ... 174
5.4 FC カードのホットプラグ ... 174
5.4.1 ETERNUS マルチパスドライバに組み込まれている FC カードのホットプラグ 175
5.4.2 FC カードの追加手順 ... 181

5.5 Windows の iSCSI (NIC) の活性交換 181
5.5.1 MPD の組込み確認 182
5.5.2 MPD の切離し作業 191
5.5.3 MPD 組込み作業 194

6 SVmco の手動インストール・アンインストール 196
6.1 SVmco の手動インストール (Linux: Red Hat Enterprise Linux) 196
6.1.1 インストールの流れ 197
6.1.2 SVmco インストール前の確認 197
6.1.3 SVmco のインストール 199
6.1.4 SVmco インストール時の自動設定 199
6.1.5 SIRMS のインストール 200
6.1.6 パーティション再起動 201
6.1.7 SVmco インストール後の設定 201
6.1.8 SVmco のアップデートインストール 202
6.1.9 SIRMS のアップデートインストール 202
6.1.10 SVmco のアンインストール 203
6.1.11 SIRMS のアンインストール 203
6.2 SVmco の手動インストール (Windows Server 2008) 203
6.2.1 インストールの流れ 204
6.2.2 インストール前の確認 205
6.2.3 SVmco のインストール 207
6.2.4 SVmco インストール時の自動設定 209
6.2.5 SIRMS のインストール 210
6.2.6 SVmco インストール後の設定 215

7 メッセージ 217
7.1 SVmco メッセージ 218
7.2 SVagent のメッセージ 298
7.2.1 SMART メッセージ 299
7.2.2 RAS 支援サービスメッセージ 299
7.2.3 ServerView Agents 外付けストレージ(ハードディスクキャビネット) 装置関連メッセージ 302
7.2.4 LAN 関連メッセージ [Linux] 308
7.2.5 ファイバーチャネルメッセージ [Linux] 401
7.2.6 FCoE メッセージ [Linux] 430
7.2.7 SCSI メッセージ [Linux] 455
7.2.8 SCSI 共通層メッセージ [Linux] 548
7.2.9 ETERNUS マルチパスドライバメッセージ [Linux] 654
7.2.10 GDS メッセージ [Linux] 654
7.2.11 GLS メッセージ [Linux] 663

7.2.12 ServerView RAID メッセージ [Linux] 672
7.2.13 LAN 関連メッセージ [Windows] 750
7.2.14 ファイバーチャネルメッセージ［Windows］ 788
7.2.15 SCSI/SAS メッセージ [Windows] 790
7.2.16 Disk メッセージ [Windows] 794
7.2.17 ETERNUS マルチパスドライバメッセージ [Windows] 797
7.2.18 GLS メッセージ [Windows] 802
7.2.19 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] 803
7.2.20 STOP ERROR メッセージ [Windows] 882

1　製品概要

1.1　PRIMEQUEST における監視の仕組み

1.1.1　　システム全体

PRIMEQUEST における監視の仕組みを以下に説明します。

PRIMEQUEST のハードウェアは MMB(Management Board)によって管理されます。

MMB は、PRIMEQUEST に搭載されている各コンポーネント(SB、電源、ファン、LAN など)やパーティションを管理し、システムクロック、管理 LAN、および PCI ボックスを制御します。

また、ビデオリダイレクション、テキストコンソールリダイレクション、Memory Mirror Mode の設定など、各種動作を設定します。これらの機能は、MMB Web-UI から操作できます。

ServerView Agent(SVagent)、ServerView RAID(SV RAID)、ServerView Mission Critical Option (SVmco)は、パーティション上のハードウェア異常監視、構成管理などを行うソフトウェアです。各パーティションの OS 上で、アプリケーションとして稼動します。

MMB および ServerView Suite(SVS)は、専用のコンソールを使うことなく、管理 LAN に接続した汎用の PC から MMB Web-UI、または ServerView Operation Manager(SVOM) Web-UI を使って操作できます。

システムを管理するための各種操作・設定は、MMB、または SVOM の Web-UI を通じて行います。また、異常監視については、SVOM の Web-UI で、MMB の監視対象を含め、システム全体の統合監視が可能です。

注意：

PRIMEQUEST1000 と PRIMEQUEST1000x2 以降で、以下のソフトについては、パーティション上にインストールするソフトが変わります。

PRIMEQUEST1000：PRIMEQUEST Server Agent (PSA) *1

PRIMEQUEST1000x2 以降：SVmco

尚、SVIM を使用してインストールする場合は、SVIM が機種を自動判別し、必要なソフトをインストールします。

*1: PSA は PRIMEQUEST.専用のシステム管理ソフトウェアです。

PSA の詳細は、「PQ1000 シリーズ 製品概説マニュアル」を参照下さい。

1.1.2 ServerView Suite

パーティション内における各 ServerView コンポーネントの役割は以下の通りです。

・ServerView Operation Manager (SVOM)

各パーティション上の構成情報、異常検知の情報を表示します。

・ServerView Agent(SVagent)

パーティション上のハード構成情報、異常検知を行います。

・ServerView RAID(SV RAID)

パーティション上の各ディスクデバイス、SAS/RAID カードの構成情報、異常検知を行います。

・ServerView Mission Critical Option(SVmco)

SVagent で検知したイベントを MMB と連携し、REMCS/Mail 通報を行います。また、PRIMECLUSTER/PRIMESOFT 連携機能を提供します。(Linux 版のみ)

ハード異常が発生するとイベントの内容に応じて、以下のアクションを行います。

・REMCS 通報：MMB から送信されます。

(SVOM からの REMCS 通報は PRIMEQUEST では使用できません。)

・メール通報：MMB、又は SVOM から送信されます。

・Trap 通報：SVagent、又は SV RAID から送信されます。

尚、PQ1000 でサポートしていた MMB からの Trap 送信機能はサポートしていません。

・シスログ、イベントログ出力：SVagent、又は SV RAID からログ出力されます。

1.2 ServerView Mission Critical Option (SVmco)

SVmco の製品概要を説明します。

1.2.1 SVmco の機能

ServerView Mission Critical Option (SVmco) は、PRIMEQUEST 向け保守連携用ソフトです。

ServerView Agent(SVagent)、及び Management Board(MMB)と連携し、パーティション上で発生したハード異常の検知、および通報を行います。

SVmco の主な機能は以下のとおりです。

・MMB 連携機能

SVagent と連携し、REMCS/Mail 通報を行う為に必要なハード異常の情報を

MMB に通知します。

これにより、MMB から REMCS/Mail 通報が送信されます。

・DISK 保守操作

パーティション上での DISK 活性交換機能をサポートします。

・REMCS 機能

REMCS に対応するパーティションからのイベント／ハード情報を収集／通報します。

・PRIMECLUSTER/PRIMESOFT 連携

PRIMECLUSTER/PRIMESOFT に対応するサービスを提供します。

1.2.2　　ハード異常監視の仕組み

SVagent では、シスログ(Linux,VMware)、イベントログ(Windows)に出力されるログを監視し、SVagent 内のフィルタ定義をもとに、各種発生イベントのフィルタリングを行い、SVagent 及び SVmco がその結果から各種アクション(メール通報、REMCS 通報、Trap 通報、ログ出力)の実施を行います。

メール/REMCS 通報においては、SVmco が PSA-MMB 間専用 LAN を介して、MMB と連携を行い、MMB 経由で通報を送信します。

注意

VMware の場合、Console OS シスログに出力される以下のハードウェアのメッセージが監視対象となります。カッコ内は、『７．２．SVagent のメッセージ』のタイトルを示しています。メッセージの詳細については、これらの項を参照してください。

・LAN (「LAN 関連メッセージ[Linux]」)

・FC (「ファイバーチャネルメッセージ[Linux]」)

・SCSI (「SCSI メッセージ[Linux]」)

ただし、SCSI 共通層や Linux と異なる VMware 固有のドライバメッセージ、また vmkernel や vmkwarning などは、監視対象外です。

2　導入手順

2.1 SVmco の設定（Linux：Red Hat Enterprise Linux）

OS インストール後、SVmco を動作させるために必要な設定の確認と、使用できる機能について説明します。

SVmco 動作に必要な設定確認と使用できる機能

必須／必要に応じて	設定項目	自動設定 (*1) ／ 手動設定 (*2)	参照先
必須	PSA-MMB 間通信 LAN の設定	自動設定	2.1.1　PSA-MMB 間通信 LAN の設定
	管理 LAN の設定確認	手動設定	2.1.2　管理 LAN の設定確認
	SELinux 機能の設定確認	自動設定	2.1.3　SELinux 機能の設定確認
	ファイアーウォール機能の確認 (ポートの開放)	自動設定	2.1.4　ファイアーウォール機能の確認 (ポートの開放)
	管理 LAN IP アドレスの設定	手動設定	2.1.5 管理 LAN IP アドレスの設定

必須／必要に応じて	設定項目	自動設定 (*1) ／ 手動設定 (*2)	参照先
必要に応じて	パーティションからのトラップ送信先の設定	手動設定	2.1.6 パーティションからのトラップ送信先の設定
	複製ディスク使用時の SNMP 設定	手動設定	2.1.7 複製ディスク使用時の SNMP 設定
	SVmco のアップデートインストール	対象外	2.1.8　SVmco のアップデートインストール
	SIRMS のアップデートインストール	対象外	2.1.9　SIRMS のアップデートインストール
	SVmco のアンインストール	対象外	2.1.10　SVmco のアンインストール
	SIRMS のアンインストール	対象外	2.1.11　SIRMS のアンインストール

*1：自動設定：SVmco インストール時に自動設定されています。自動設定の内容の変更が必要な場合があるので、上記表の参照先を確認してください。

*2：手動設定：SVmco インストール時には設定されません。上記表の参照先のとおり設定してください。

*3：PRIMEQUEST 1000x2 シリーズ以降の運用時は、必ず SVmco をインストールしてください。SVmco をアンインストールすると、以下の制限があります。

- REMCS 契約時にパーティション上の異常が通知されない。
- ハードディスクの活性保守ができない。必ずパーティション停止保守となる。
- PRIMECLUSTER 連携が使用できない。

備考

- SVIM を使用して OS をインストールするときに、SVmco も同時にインストールされます。SVIM について詳しくは、『ServerView Suite ServerView Installation Manager』を参照してください。

- SVmco を手動でインストールする場合について詳しくは、「6. SVmco の手動インストール・アンインストール」を参照してください。

- **SVmco インストール時に、SVmco 動作のための設定が以下のように自動的に追記または変更されます。**

SVmco インストール時に自動追記／変更される設定

対象	動作	備考
snmpd.conf ファイル	設定追記	
snmptrapd.conf ファイル	設定追記	
snmptrapd の起動オプション	変更	
snmpd の起動オプション	変更	
PSA-MMB 間専用 LAN インターフェース	IP アドレス設定	「2.1.1　PSA-MMB 間通信 LAN の設定」を参照し、必要に応じて変更する。
iptables 設定	設定追加	
SELinux 設定ファイル (/etc/selinux/conf)	変更	すでに SELinux が無効化されている場合は変更しない。

注意

MMB 側の PSA-MMB 間専用 LAN の IP アドレス、またはパーティション側の PSA-MMB 間専用 LAN の IP アドレスを変更した場合は、必ず SVmco を再起動してください。再起動しないと SVmco で検出するエラーが通知できません。

2.1.1 PSA-MMB 間通信 LAN の設定

ここでは、PSA-MMB 間通信 LAN の設定の確認について説明します。

SVmco が MMB と通信するためには、PSA-MMB 間通信 LAN に接続されたネットワークインターフェースカード (NIC) が活性化されている必要があります。

PSA-MMB 間通信 LAN は、通常 SVmco インストール時に自動的に以下の値に設定されます。

<IP アドレス>

172.30.0.<パーティション ID + 2>/24

例) パーティション ID が 2 の場合

172.30.0.4/24

<通信設定>

Auto Negotiation off

Speed 100Mbps

Duplex full

以下の場合に限り、IP アドレスの設定を変更してください。

1. 自動設定される IP アドレスが、業務ネットワークや管理ネットワークで使用する IP アドレスやサブネットと重なってしまう

2. 別パーティションから複製したディスクを使用して新たにパーティションを構築した

3. あるパーティションでイントールしたディスクを別のパーティションに移して使用するなどで、パーティション ID が変更となる

IP アドレスの設定は、以降の手順で変更してください。なお、上記の 1.の理由で設定を変更する場合は、同一筐体に存在する全パーティション、および MMB 側の PSA-MMB 間通信 LAN の IP アドレスも同一サブネットの IP アドレスに変更する必要があります。MMB 側の IP アドレスは、MMB Web-UI から設定してください。

注意

- 通信設定については、自動的に設定された値から変更しないでください。変更した場合、PSA-MMB 間の通信が不通となり、SVmco の機能を使用できなくなることがあります。

- PSA-MMB 間 LAN 設定は、SVmco インストール後に変更してください。SVmco インストール前に変更した場合、インストール時に設定が上書きされます。

- MMB Web-UI の [Network Configuration] - [Network Interface] 画面にて [MMB-PSA IP Address] の [Interface] が Disable の場合、イベント通報機能が使用できません。なお、Disable から Enable に変更するさいには、変更後に OS の再起動が必要です。

■ PSA-MMB 間通信 LAN 用の NIC の確認

以下の手順で、PSA-MMB 間通信 LAN の NIC に割り当てられたインターフェース名を確認します。

● 操作手順

1. ifconfig コマンドを実行して、システムで認識されているネットワークインターフェースの一覧を表示し、インターフェース名を確認します。

【入力形式】

```
/sbin/ifconfig -a
```

【表示例】

左に表示された eth0、eth1、lo がインターフェース名です。

```
#  /sbin/ifconfig -a
eth0   Link encap:Ethernet HWaddr 00:D0:B7:53:89:C3
    inet addr:10.24.17.149 Bcast:10.24.17.255 Mask:255.255.255.0
    inet6 addr:  fe80::2d0:b7ff:fe53:89c3/64 Scope:Link
    UP BROADCAST RUNNING MULTICAST MTU:1500  Metric:1
    RX packets:1107704 errors:0  dropped:0 overruns:0 frame:0
    TX packets:2653820 errors:0  dropped:0 overruns:0 carrier:0
```

```
    collisions:0 txqueuelen:1000
    RX bytes:390009908 (371.9 MiB) TX bytes:809006934 (771.5 MiB)

eth1   Link encap:Ethernet HWaddr 00:0E:0C:21:83:97
    inet addr:192.168.0.162 Bcast:10.24.17.255 Mask:255.255.255.0
    inet6 addr:  fe80::20e:cff:fe21:8397/64 Scope:Link
    UP BROADCAST RUNNING MULTICAST MTU:1500  Metric:1
    RX packets:1538726 errors:0  dropped:0 overruns:0 frame:0
    TX packets:356 errors:0 dropped:0  overruns:0 carrier:0
    collisions:0 txqueuelen:1000
    RX bytes:341051195 (325.2 MiB)  TX bytes:22862 (22.3 KiB)
    Base address:0x5cc0  Memory:fbfe0000-fc000000

lo    Link encap:Local Loopback
    inet addr:127.0.0.1 Mask:255.0.0.0
    inet6 addr: ::1/128 Scope:Host
    UP LOOPBACK RUNNING MTU:16436  Metric:1
    RX packets:3865 errors:0 dropped:0  overruns:0 frame:0
```

2. ethtool コマンドを実行して PSA-MMB 間通信 LAN 用 NIC を探します。手順 1.で表示された各インターフェースに対して、以下のコマンドをそれぞれ実施して確認します。

PSA-MMB 間通信 LAN 用 NIC は、bus-info(SEG:BUS:DEV.FUNC 番号) が 0000:00:19.0 になります。

【入力形式】

```
/sbin/ethtool -i <インターフェース名>
```

【表示例】

eth0 に対して実施した結果、PSA-MMB 間通信 LAN 用 NIC と一致した例です。

```
# /sbin/ethtool -i eth0
  driver: e100
  version: 3.0.27-k2-NAPI
  firmware-version: N/A
  bus-info: 0000:00:19.0 (PSA-MMB 間通信 LAN 向け NIC と一致)
```

■ PSA-MMB 間通信 LAN 用の NIC の設定

以下の手順で、PSA-MMB 間通信 LAN 用の NIC を設定します。

- 操作手順

1. /etc/sysconfig/network-scripts 配下の該当するインターフェースに対する ifcfg ファイルを編集します。

   - PSA-MMB 間通信 LAN 用 NIC インターフェース用：ifcfg-<NIC インターフェース名>

   例. ifcfg-eth0

   該当するインターフェースに対する ifcfg ファイルを編集し、IP アドレスを変更します。

   PSA-MMB 間通信 LAN 用 NIC インターフェース用 ifcfg ファイルの編集例を、以下に示します。

```
# vi  /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-<NIC インターフェース名>


以下の行を変更します。

BROADCAST=<PSA-MMB 間通信 LAN 向け BROADCAST アドレス>

IPADDR=<PSA-MMB 間通信 LAN 向け IP アドレス>

NETMASK=<PSA-MMB 間通信 LAN 向けサブネットマスク>
```

注意

- 設定を変更する前に、ifcfg ファイルが SVmco インストール時の自動設定の値になっているかを確認してください。自動設定の値

になっていない場合、SVmco がインストールされていない可能性があります。必ず SVmco をインストールした後に設定を変更してください。

- o 変更が必要な項目 (BROADCAST、IPADDR、NETMASK) 以外は、コメント行を含め変更しないでください。変更した場合、PSA-MMB 間の通信が不通となり、SVmco が提供する機能を使用できなくなるだけでなく、SVmco アップデート時に自動設定の値に上書きされる可能性があります。

2. その後、network サービスの restart により、ネットワークインターフェースが起動します。

【入力形式】

```
/sbin/service  network restart
```

3. SVmco の設定ファイルに、PSA-MMB 間通信 LAN の IP アドレスを設定します。

ファイル格納場所：/etc/fujitsu/SVmco/usr/tommbipsetup.conf

設定値：手順 1.で設定した IP アドレスを入力する。

<設定例>

```
[NETWORK]

TOMMBIP=172.30.0.4（手順1で設定した IP アドレス）
```

4. PSA-MMB 間通信 LAN 用 NIC の設定を反映させるため、SVmco を再起動します。

【入力形式】

```
/sbin/service  y30SVmco stop
/sbin/service  y30SVmco start
```

2.1.2 管理 LAN の設定確認

管理 LAN ネットワークの設定、および必要に応じて PRIMECLUSTER GLS または bonding などによる二重化設定を行ってください。

また、上記管理 LAN のネットワーク設定完了後、「2.1.4　ファイアーウォール機能の確認 (ポートの開放)」および「2.1.5 管理 LAN IP アドレスの設定」を実施してください。

注意

PRIMEQUEST 環境では、MMB との通信に使用する管理 LAN に接続するスイッチの STP 機能を OFF にする必要があります。

2.1.3 SELinux 機能の設定確認

PRIMEQUEST 1000x2 シリーズのシステムでは、SELinux 機能を無効にして運用します。通常、SVmco インストール時には自動的に無効に設定されます。

SVmco をインストールするパーティション OS が Linux: Red Hat Enterprise Linux の場合は、SELinux 機能が設定されているかを確認してください。設定されている場合は、SELinux 機能を解除します。

以下のように [disabled] になっていることを確認します。[disabled] 以外の値が表示された場合は、コンフィグファイル (/etc/selinux/config) を修正して [disabled] にします。

■　設定の確認

```
#cd /etc/selinux/
```

```
#more config

.....

.....

SELINUX=disabled ← ここを確認します。
```

■　設定の修正

```
# vi /etc/selinux/config

.....

.....

SELINUX=disabled ← ここを修正します。
```

2.1.4　ファイアーウォール機能の確認 (ポートの開放)

ファイアーウォール設定でパーティションのポートが開放されていないときは、SVmco が動作するために必要なポートを開放します。管理 LAN 用のインターフェースと PSA-MMB 間通信 LAN 用インターフェースに対して設定します。

PSA-MMB 間通信 LAN 用インターフェースに関する設定は必須です。通常、SVmco インストール時に自動設定されます (*1)。

管理 LAN 用インターフェースに関する設定は、PRIMECLUSTER との連携を行う場合にのみ必要となります。ポート開放は、提供されている設定用シェルスクリプトを実行して設定するか、iptables コマンドなどを使って手動で設定してください (*2)。

*1： SVIM から SVmco が自動インストールされた場合のみ、ポートが設定されます。

*2：設定用のシェルスクリプト (setmlanfw.sh) を実行すると、管理 LAN 用のチェイン (MMLAN) のみ作成されます。iptables の INPUT または OUTPUT に、

管理 LAN 用のチェインへのジャンプ設定を追加してください。詳細は「■設定用シェルスクリプト (setmlanfw.sh) を使った設定」を参照してください。

■ 管理 LAN 用インターフェース

管理 LAN 用のインターフェースに関して、以下のポートを開放します。

設定を行う前に「2.1.8 管理 LAN IP アドレスの設定」を行ってください。ポート開放は、設定用シェルスクリプト (setmlanfw.sh) を使うか、iptables コマンドなどを使って手動で設定してください。

管理 LAN 用のインターフェースで開放するポート

ポート	ポート番号	説 明	備 考
snmptrap ポート	udp/snmptrap または 162	ポートはクラスタ連携 (PCL など) を使用する場合にのみ開放する。	IP アドレス指定は、全クラスタノードに属する MMB の MMB Physical IP Address (MMB#0/MMB#1) を指定
rmcp+ポート	udp/7000～7100		

■ 設定用シェルスクリプト (setmlanfw.sh) を使った設定

1. 「2.1.8 管理 LAN IP アドレスの設定」が行われていることを確認します。

2. 設定ファイルを用意します。

   設定ファイルのサンプルは以下に配置してあります。

   ```
   /opt/fujitsu/SVmco/sh/sample_conf_setmlanfw.txt
   ```

備考

上記ファイルはサンプルファイルのため、SVmco アップデート時に上書きされます。実際に使用した設定ファイルを保持しておきたい場合は、別途保存してください。

設定ファイルでは、 [PCL] とだけ記載した行に続けて、PRIMECLUSTER で定義された全クラスタノードに属する MMB の物理 IP (MMB Physical IP Address <MMB#0/MMB#1>)、または上記 MMB の物理 IP を含むネットワーク IP を 1 行 1 項目単位で記載します。

設定ファイル記載例：

```
[PCL]
192.168.0.0/24
192.168.1.5
```

3. 設定用シェルスクリプトを実行します。

手順 2.で用意した設定ファイルのパスを、第一引数に指定します。

設定ファイルの内容を確認するメッセージが表示されるので、「Y」と入力します。

実行例：(カレントディレクトリに設定ファイル"fwconf.txt"が準備されているものとします。)

```
# /opt/fujitsu/SVmco/sh/setmlanfw.sh ./fwconf.txt
Management LAN IP address:
192.168.0.1

Source IPs for PRIMECLUSTER Service:
192.168.0.0/24
192.168.1.5.

Press "Y" to confirm above settings, "N" to cancel all settings
> Y

The setting was completed
```

4. iptables -L -n コマンドを実行し、設定チェイン "MMLAN" が存在することを確認します。

```
実行例：
# iptables -L -n
Chain INPUT (policy DROP)
target   prot  opt source        destination
MMLAN    all -- 0.0.0.0/0       0.0.0.0/0

Chain FORWARD (policy DROP)
target   prot  opt source        destination

Chain OUTPUT (policy DROP)
target   prot  opt source        destination
MMLAN    all -- 0.0.0.0/0       0.0.0.0/0

Chain MMLAN (2 references)
target  prot  opt source       destination
ACCEPT  udp  -- 192.168.0.0/24 192.168.0.1  udp dpts:7000:7100
ACCEPT  udp  -- 192.168.0.1   192.168.0.0/24 udp spts:7000:7100
ACCEPT  udp  -- 192.168.0.0/24 192.168.0.1  udp dpt:162
ACCEPT  udp  -- 192.168.0.1   192.168.0.0/24 udp spt:162
ACCEPT  udp  -- 192.168.1.5   192.168.0.1  udp dpts:7000:7100
ACCEPT  udp  -- 192.168.0.1   192.168.1.5   udp spts:7000:7100
ACCEPT  udp  -- 192.168.1.5   192.168.0.1  udp dpt:162
ACCEPT  udp  -- 192.168.0.1   192.168.1.5   udp spt:162
```

注意

管理 LAN 用インターフェースの IP アドレスを変更した場合、いったん設定を削除してから、再度設定してください。設定の削除については、「3.7 管理 LAN 用インターフェース向けファイアーウォール設定コマンド (setmlanfw.sh)」の「(7) 設定削除手順」を参照してください。

設定チェイン "MMLAN" を INPUT および OUTPUT チェインに追加します。このとき、INPUT および OUTPUT チェインにある既存の REJECT 設定や、ユーザー定義のチェインに遮断されないように、注意して設定してください。

実施例： INPUT、FORWARD に REJECT 設定がある場合

```
# iptables –L
Chain INPUT (policy ACCEPT)
target    prot  opt source          destination
ACCEPT     all   --  0.0.0.0/0           0.0.0.0/0  state RELATED,ESTABLISHED
ACCEPT     icmp  --  0.0.0.0/0             0.0.0.0/0
ACCEPT     all   --  0.0.0.0/0           0.0.0.0/0
ACCEPT     tcp   --  0.0.0.0/0            0.0.0.0/0  state NEW tcp dpt:22
REJECT     all   --  0.0.0.0/0           0.0.0.0/0  reject-with icmp-host-prohibited

Chain FORWARD (policy ACCEPT)
target   prot  opt source        destination
REJECT     all   --  0.0.0.0/0           0.0.0.0/0  reject-with icmp-host-prohibited

Chain OUTPUT (policy ACCEPT)
target   prot  opt source        destination

Chain MMLAN (2 references)
target    prot  opt source          destination
ACCEPT     udp  --  192.168.0.0/24       192.168.0.1    udp dpts:7000:7100
ACCEPT     udp  --  192.168.0.1          192.168.0.0/24  udp spts:7000:7100
ACCEPT     udp  --  192.168.0.0/24       192.168.0.1     udp dpt:162
ACCEPT     udp  --  192.168.0.1          192.168.0.0/24  udp spt:162
ACCEPT     udp  --  192.168.1.5          192.168.0.1     udp dpts:7000:7100
ACCEPT     udp  --  192.168.0.1          192.168.1.5     udp spts:7000:7100
ACCEPT     udp  --  192.168.1.5          192.168.0.1     udp dpt:162
ACCEPT     udp  --  192.168.0.1          192.168.1.5     udp spt:162
```

5. "MMLAN" を INPUT チェインの 5 番目 (REJECT 設定の前) および OUTPUT チェインに追加します。(iptables のオプションの詳細は man マニュアルを参照してください。)

```
# /sbin/iptables –I INPUT 5 –j MMLAN

# /sbin/iptables –A OUTPUT –j MMLAN
```

6. iptables -L コマンドを実行し、INPUT チェインおよび OUTPUT チェインについて、追加した MMLAN チェインが、その前の REJECT、DROP などにより遮断されていないことを確認します。

```
設定例：
# iptables –L
Chain INPUT (policy ACCEPT)
target   prot  opt source           destination
ACCEPT     all   --  0.0.0.0/0          0.0.0.0/0  state RELATED,ESTABLISHED
ACCEPT     icmp  --  0.0.0.0/0            0.0.0.0/0
ACCEPT     all   --  0.0.0.0/0          0.0.0.0/0
ACCEPT     tcp   --  0.0.0.0/0           0.0.0.0/0  state NEW tcp dpt:22
MMLAN      all   --   0.0.0.0/0         0.0.0.0/0
REJECT     all   --  0.0.0.0/0          0.0.0.0/0  reject-with icmp-host-prohibited

Chain FORWARD (policy ACCEPT)
target   prot  opt source       destination
REJECT     all   --  0.0.0.0/0          0.0.0.0/0  reject-with icmp-host-prohibited

Chain OUTPUT (policy ACCEPT)
target   prot  opt source       destination
MMLAN      all   --  0.0.0.0/0          0.0.0.0/0

Chain MMLAN (2 references)
target    prot  opt source       destination
ACCEPT    udp  -- 192.168.0.0/24      192.168.0.1  udp dpts:7000:7100
ACCEPT    udp  -- 192.168.0.1        192.168.0.0/24 udp spts:7000:7100
ACCEPT    udp  -- 192.168.0.0/24      192.168.0.1  udp dpt:162
ACCEPT    udp  -- 192.168.0.1        192.168.0.0/24 udp spt:162
ACCEPT    udp  -- 192.168.1.5        192.168.0.1  udp dpts:7000:7100
ACCEPT    udp  -- 192.168.0.1        192.168.1.5   udp spts:7000:7100
ACCEPT    udp  -- 192.168.1.5        192.168.0.1  udp dpt:162
ACCEPT    udp  -- 192.168.0.1        192.168.1.5   udp spt:162
```

7. ファイアーウォールの設定を保存します。

```
# /sbin/service iptables save
```

■ PSA-MMB 間通信 LAN 用インターフェース

PSA-MMB 間通信 LAN 用インターフェースに関して、以下のポートを開放します。通常、SVmco インストール時に自動的にポート開放が設定されます (*)。

* : SVIM から SVmco がインストールされた場合のみ、自動的にポートが設定されます。

PSA-MMB 間通信 LAN 用インターフェースで開放するポート

ポート	ポート番号	説 明	備 考
snmp ポート	udp/snmp または 161		送受信双方
psa-mmb 通信ポート	tcp/MMB 側 5000	MMB 側の 5000 番ポートに対する通信。 本通信では、パーティション側はクライアントとして動作するため、パーティション側で使用されるポート番号は、不定 (tcp/1025 ～ 65535 のいずれか 1 ポート)。 パーティションからの接続開始許可が設定されている場合や、パーティションとの接続が確立したものに通信許可などが設定されている場合は、5000 番ポートに対する設定は不要。 5000 番ポートに対する設定が不要な例： iptables -A OUTPUT -m state --state NEW,ESTABLISH -j ACCEPT	送受信双方

ポート	ポート番号	説 明	備 考
		iptables -A INPUT -m state --state ESTABLISH -j ACCEPT	
icmp	echo-request		送信のみ
icmp	echo-reply		受信のみ

【入力形式】

```
/sbin/iptables -L
```

ポートの開放は、iptables コマンドなどで実施してください。使用方法は、コマンドの man などを参照してください。

【入力形式】

```
/usr/bin/man iptables
```

2.1.5 管理 LAN IP アドレスの設定

SVmco にパーティション上の管理 LAN の IP アドレスを設定します。

1. eecd プロセスが起動している事を確認します。

```
ps ax | grep eecd
```

起動していなかった場合には、ServerView Agent を起動します。

【入力形式】

```
/usr/sbin/srvmagt start
```

2. /etc/fujitsu/SVmco/usr/ipsetup.conf ファイルを編集します。 管理 LAN 用 IP アドレスを変更する場合の例

```
# vi /etc/fujitsu/SVmco/usr/ipsetup.conf



以下の行を変更します。

[NETWORK]

ManagementIP=<管理 LAN 用 IP アドレス>
```

【入力形式】

```
[NETWORK]

ManagementIP=192.168.0.1
```

3. 下記コマンドを実施してください。

【入力形式】

```
/usr/sbin/eecdcp -c oc=E002 oe=000C ¥'$IPADDRESS¥'
```

例

```
/usr/sbin/eecdcp -c oc=E002 oe=000C ¥'192.168.1.2¥'
```

4. 管理 LAN 用 IP アドレスの設定を反映させるため、SVmco を再起動します。

【入力形式】

```
/sbin/service  y30SVmco stop
/sbin/service  y30SVmco start
```

PRIMECLUSTER GLS による管理 LAN の二重化設定方法について詳しくは、PRIMECLUSTER のマニュアルを参照してください。

PRIMECLUSTER との連携を行い、かつ管理 LAN 用インターフェースに対しファイアーウォール設定が行われている場合は、本設定の後「2.1.4 ファイアーウォール機能の確認 (ポートの開放)」の手順に従い、管理 LAN 用のインターフェースに対する設定を行ってください。

2.1.6　パーティションからのトラップ送信先の設定

備考

- 本設定は、必要な場合のみ実施してください。
- 運用管理ソフトウェアがパーティションごとにイベントを管理する場合には、本設定が必要です。

■ snmpd.conf の編集

```
# vi /etc/snmp/snmpd.conf

使用したい SNMP のバージョンに応じて、以下の行を追加します。
※定義順は自由です。
trapsink HOST [COMMUNITY [PORT]]      # SNMPv1 トラップの設定
trap2sink HOST [COMMUNITY [PORT]]     # SNMPv2 トラップの設定
trapsess SNMPCMD_ARGS HOST[:PORT]     # SNMPv3 トラップの設定
```

設定の詳細について以降で説明します。

■ SNMPv1/SNMPv2 トラップの設定

```
trapsink HOST [COMMUNITY [PORT]]      # SNMPv1 トラップの設定
trap2sink HOST [COMMUNITY [PORT]]     # SNMPv2 トラップの設定
```

トラップを受信する (通知を送る先の) ホストを定義します。

- ホストを定義すると snmpd 起動時に Cold Start トラップを送ります。パーティションからの SNMP トラップ送信が設定されている場合は、認証が失敗したときにもトラップを送ります。

- trapsink、trap2sink 行を複数指定すれば、複数の送信先を指定することができます。

  COMMUNITY が指定されていない場合は、trapcommunity で指定した文字列が使われます。trapcommunity は、トラップを送るときに使う初期値のコミュニティ文字列を定義するコマンドです。trapcommunity でコミュニティ文字列を定義するときは、trapsink, trap2sink 行より前に指定してください。

```
trapcommunity STRING          #コミュニティ名設定
```

- PORT が指定されていない場合は、一般的な SNMP トラップポート (162) が使われます。

  IP アドレスが"192.168.0.162"の 162 ポートのマネージャに対して、コミュニティ名が"public"で、トラップを送信可能とする場合の例

```
trapsink 192.168.0.162 public 162      ##SNMPv1 トラップの設定
trap2sink 192.168.0.162 public 162     ##SNMPv2 トラップの設定
```

■ SNMPv3 トラップの設定

```
trapsess SNMPCMD_ARGS HOST[:PORT]# SNMPv3 トラップの設定
```

トラップを受信する(通知を送る先の) ホストを定義します。PORT が指定されていない場合は、一般的な SNMP トラップポート(162) が使われます。

SNMPCMD_ARGS で指定する主なオプションについて説明します。

-v version：

SNMP バージョンを指定します。SNMPv3 の場合は 3 を指定します。

-e engineID：

トラップ送信元の/var/net-snmp/snmpd.conf ファイル内の oldEngineID の値を設定します。

-u secName：

SNMPv3 用のアカウントです。マネージャ側の設定と同期を取る必要があります。

-l secLevel：

SNMPv3 メッセージのセキュリティレベルに応じて、下図に示すいずれかの値を設定します。

secLevel の設定

設定値	認証	暗号化
noAuthNoPriv	設定しない	設定しない
authNoPriv	設定する	設定しない
authPriv	設定する	設定する

-a authProtocol：

SNMPv3 メッセージを認証するためのプロトコルで MD5 または SHA を指定します。SHA を使用するためにはインストールされている

openssl を使ってパッケージを作成しなければなりません。-l オプションでセキュリティレベルに認証が含まれる場合に有効となり、認証が含まれない場合は省略可能です。

-A authPassword：

認証パスワード(8 文字以上)。マネージャ側の設定と同期を取る必要があります。-l オプションでセキュリティレベルに認証が含まれる場合に有効となり、認証が含まれない場合は省略可能です。

-x privProtocol：

SNMPv3 メッセージを暗号化するためのプロトコル。現在のところプライバシープロトコルがサポートされているのは DES のみです。-l オプションでセキュリティレベルに暗号化が含まれる場合に有効となり、暗号化が含まれない場合は省略可能です。

-X privPassword：

暗号化パスワード (8 文字以上)。マネージャ側の設定と同期を取る必要があります。-l オプションでセキュリティレベルに暗号化が含まれる場合に有効となり、暗号化が含まれない場合は省略可能です。

IP アドレスが "192.168.0.162" の 162 ポートのマネージャに対して、[PRIMEQUEST] というアカウントで認証・暗号化を有効にし、SNMPv3 トラップを送信可能とする場合の例

```
#trapsess -v 3 -e 0x800007e58026577a9f421950a4 -u PRIMEQUEST -l ¥
authPriv -a MD5
 -A 00000000 -x DES -X 11111111 192.168.0.162:162   ¥
##SNMPv3 トラップの設定
```

¥：改行しないことを表す。

トラップ送信先の設定後、下記コマンドにより、snmpd を再起動します。

```
#/etc/rc.d/init.d/snmpd restart
```

■　トラップ送信先設定確認方法について

トラップ送信先設定確認をするには、snmpd を再起動するさいの、net-snmp 標準トラップを利用します。このトラップの受信可否により、正しく設定されているかを確認できます。

備考

トラップ送信先では、トラップ受信用のアプリケーションや管理マネージャが動作していて、net-snmp 標準トラップが受信できる必要があります。

トラップ送信元マシン上では、下記コマンドにより、snmpd を再起動します。

```
# /etc/rc.d/init.d/snmpd restart
```

本操作により、トラップ送信先では、トラップ受信用のアプリケーションに、「ColdStart」の net-snmp 標準トラップが通知されます。

例として、トラップ送信先が Linux マシンの場合を示します。トラップ送信先が Linux マシンの場合、[snmptrapd] でトラップ受信したときに、以下のようなメッセージがシステムログに表示されます。トラップが正しく受信できることを確認してください。

```
Aug 17 12:00:53 pq-server  snmptrapd[2600]: 2005-08-17 12:00:53 ¥

pq-server.
```

```
fujitsu.com  [192.168.0.162](via 192.168.0.162) TRAP, SNMP v1, ¥
community
public  NET-SNMP-MIB::netSnmpAgentOIDs.10 Cold Start Trap (0) ¥
Uptime: 0:00:00.17
```

¥：改行しないことを表す。

2.1.7 複製ディスク使用時の SNMP 設定

ここでは、複製したディスクを使用した場合に必要な設定について説明します。

備考

本設定は、必要な場合のみ実施してください。

同一筐体内のパーティションから複製したディスクを使用して、新たにパーティションを構築することができます。この場合には、SVmco の内部通信で使用する SNMPv3 の EngineID を手動で変更する必要があります。

以下に変更手順を示します。本手順は、root 権限で実施してください。

■ 操作手順

1. ps コマンドで、SVmco が起動しているかを確認します。

【入力形式】

```
ps ax | grep mco
```

【表示例】

以下のように/opt/fujitsu/SVmco/bin/配下のプロセスが表示される場合は、SVmco が稼動中です。

```
# ps ax | grep mco

4562 ?    S   0:00 /opt/fujitsu/SVmco/bin/pm -o 70 /etc/opt/¥
SVmco/global/pmmco.conf
4563 ?    S   0:18 /opt/fujitsu/SVmco/bin/pcx -p /
4564 ?    S   0:06 /opt/fujitsu/SVmco/bin/pcxipmi -p /
4565 ?    S   0:00 /opt/fujitsu/SVmco/bin/mmbm -p /
4566 ?    S   0:01 /opt/fujitsu/SVmco/bin/mmbs -p /
21670 pts/5 S+   0:00 grep mco
```

¥：改行しないことを表す。

2. SVmco が起動中の場合は、service コマンドで SVmco を停止します。

【入力形式】

```
/sbin/service y30SVmco stop
```

3. ps コマンドにより、snmpd が起動しているか確認します。

【入力形式】

```
ps ax | grep snmpd
```

【表示例】

以下のように/usr/sbin/snmpd が表示される場合は、snmpd が起動中です。

```
# ps ax | grep snmpd
32611 ?    S   0:04 /usr/sbin/snmpd -Lsd -Lf /dev/null -p ¥
var/run/snmpd -a
```

¥ : 改行しないことを表す。

4. snmpd が起動中の場合は、service コマンドで snmpd を停止させます。

【入力形式】

```
/sbin/service snmpd stop
```

5. /var/net-snmp/snmpd.conf ファイルに定義されている oldEngineID の値を変更します。

16 進表記で 34 桁以内の任意の数値に変更してください。ただし、同一筐体内の他パーティションで定義されている値とは異なる値にする必要があります。

oldEngineID の値を 0x19760523 に書き替える場合の例

```
#vi  /var/net-snmp/snmpd.conf
oldEngineID 0x19760523
```

6. service コマンドで snmpd を起動します。

【入力形式】

```
/sbin/service snmpd start
```

7. SVmco 内部通信で使用する SNMPv3 用パスワードを再生成するために、/opt/fujitsu/Svmco/sh ディレクトリへ移動します。

【入力形式】

```
cd /opt/fujitsu/Svmco/sh
```

8. 上記ディレクトリ内で、snmpsetup.sh を実行します。

   snmpsetup.sh を実行すると、SVmco 内部通信で使用する SNMPv3 用パスワードが自動生成されます。

   【入力形式】

```
./snmpsetup.sh install
```

9. SVmco を起動します。

   【入力形式】

```
/sbin/service y30SVmco start
```

2.1.8 SVmco のアップデートインストール

Red Hat Enterprise Linux での SVmco のアップデートインストール方法について説明します。

以下の説明は、作業ディレクトリ (以下、$WORK_DIR と呼びます) 内に SVmco のパッケージ (SVmco-$VER-$REL.tar.gz) が展開されてディレクトリ "SVmco" が作成されていることを前提としています。 本作業は root 権限で行ってください。

また、アップデートの前後で ServerView Agents の停止・起動を行う必要があります。実施しないと、一部のファイルが置き換わらない場合があります。

1. ServerView Agents サービスを停止します。

   # srvmagt stop

2. SVmco サービスを停止します。

   # /sbin/service y30SVmco stop

3. 作業ディレクトリ内のディレクトリ "SVmco" に移動します。

   # cd $WORK_DIR/SVmco

4. 以下のコマンドを実行し、インストールを実施します。

   # ./INSTALL.sh

5. SVmco サービスを起動します。

   # /sbin/service y30SVmco start

6. ServerView Agents サービスを起動します。

   # srvmagt start

SVmco アップデート時の注意事項

- PRIMECLUSTER のシステムにおける SVmco のアップデートを行う際は、PRIMECLUSTER 導入運用手引書に従い、該当ノードの PRIMECLUSTER を停止した上　で実施してください。

- SVmco アップデート、及び SVmco 再起動時には SVmco の PRIMECLUSTER 連携機能が一時停止するため、以下の 2 種類の PRIMECLUSTER のメッセージの何れかが出力されることがあります。

  7210 An error was detected in MMB.

  SA SA_mmbp.so to test host <nodename> failed

- SVmco アップデート時に以下のメッセージが出力されることがありますが、動作上問題はありません。

  /sbin/ldconfig: <ライブラリ名> is not a symbolic link

2.1.9 SIRMS のアップデートインストール

Red Hat Enterprise Linux での SIRMS のアップデートインストール方法について説明します。

以下のコマンドで SIRMS 関連のパッケージのアップデートインストールを実行します。

【入力形式】

```
/bin/rpm -Uvh sirms-X.X.X-X.i386.rpm (*)
```

*：X.X.X-X は版数です。

2.1.10 SVmco のアンインストール

Red Hat Enterprise Linux での SVmco のアンインストール方法について説明します。

以下のコマンドの順番で、SVmco のサービスを停止してから、SVmco パッケージをアンインストールします。

【入力形式】

```
/sbin/service y30SVmco stop
/bin/rpm -e SVmco
```

2.1.11 SIRMS のアンインストール

Red Hat Enterprise Linux での SIRMS のアンインストール方法について説明します。

以下のコマンドで SIRMS 関連のパッケージをアンインストールします。

【入力形式】

```
/bin/rpm -e  sirms
```

2.2 SVmco の設定 (Windows Server 2008)

OS インストール後、SVmco を動作させるため必要な設定の確認と、使用できる機能について説明します。

SVmco 動作に必要な設定確認と使用できる機能

必須／必要に応じて	設定項目	自動設定 (*1)／手動設定 (*2)	参照先
必須	PSA-MMB 間通信 LAN の設定	手動設定	2.2.1　PSA-MMB 間通信 LAN の設定
	管理 LAN の設定確認	手動設定	2.2.2　管理 LAN の設定確認
	PSHED Plugin ドライバのインストール	手動設定	2.2.3PSHED Plugin ドライバのインストール
	Windows ファイアーウォールの設定	手動設定	2.2.4　Windows ファイアーウォールの設定
	管理 LAN IP アドレスの設定	手動設定	2.2.5　管理 LAN IP アドレスの設定
必要に応じて	トラップ送信先の設定	手動設定	2.2.6 パーティションからのトラップ送信先の設定
	STOP エラー (致命的なシステムエラー) 発生後の Watchdog 監視設定	手動設定	2.2.7 STOP エラー (致命的なシステムエラー) 発生後の Watchdog 監視設定
	SVmco のアップデートインストール	対象外	2.2.8 SVmco のアップデートインストール
	SIRMS のアップデートインストール	対象外	2.2.9　SIRMS のアップデートインストール

必須／必要に応じて	設定項目	自動設定 (*1)／手動設定 (*2)	参照先
	SVmco のアンインストール (*3)	対象外	2.2.10　SVmco のアンインストール
	SIRMS のアンインストール	対象外	2.2.11　SIRMS のアンインストール

*1：自動設定：SVmco インストール時に自動設定されています。自動設定の内容の変更が必要な場合があるので、上記表の参照先を確認してください。

*2：手動設定：SVmco インストール時には設定されていません。上記表の参照先のとおり設定してください。

*3：PRIMEQUEST 1000x2 シリーズ運用時は、必ず SVmco をインストールしてください。SVmco をアンインストールすると、以下の制限があります。

- REMCS 契約時にパーティション上の異常が通知されません。
- PCI カードの活性保守ができない。必ずパーティション停止保守となる。

備考

- SVIM を使用して OS をインストールするときに、SVmco も同時にインストールされます。SVIM について詳しくは、『ServerView Installation Manager』を参照してください。
- SVmco をインストールすると、OS 側の REMCS 機能として必要なコンポーネントがインストールされます。REMCS の設定は当社技術員が実施します。SVmco インストール時に、SVmco 動作のための設定が以下のように自動的に追記または変更されます。

注意

SVmcoインストール時に自動追記／変更された設定については、設定変更を行わないでください。SVmcoが正常に動作できなくなる場合があります。

SVmcoインストール時に自動追記／変更される設定

項目	説明
1.　サービスの設定	• ServerView Mission Critical Option • PRIMEQUEST PEM Command Service • PRIMEQUEST Environment Control Service
2.　環境変数の設定	• PATH変数：既存のPATH変数にSVmcoが使用する値が追加される。 • SVmco_INSTALLPATH変数：新規に変数が追加される。
3.　SNMPのセキュリティ設定	PRIMEQUESTの場合、SVagentがMMBからのSNMPパケットを受け付ける必要があるため、SNMP Serviceのセキュリティを設定する。 SVmcoインストール時に、[SNMP Service]の[プロパティ]画面のセキュリティタブで選択されている項目により処理が異なる。 • [すべてのホストからSNMPパケットを受け付ける]が選択されている場合： SNMPのセキュリティ設定はしない。 • [これらのホストからSNMPパケットを受け付ける]が選択されている場合：MMBのIPアドレスと、localhostが設定されていない場合に、localhostをSNMPのセキュリティで設定する。

項目	説明
4. WMI (Windows Management Instrumentation) の設定	SVmco は Windows に標準でインストールされる WMI を利用して、MMB に対して、IPMI 経由で PCI カード情報を通知する。 このとき、RAID 装置などの LUN 数が多い場合、WMI が収集するために使用するメモリサイズや内部ハンドル数が不足することがあるため、以下の値に設定を変更する。 • 使用メモリ上限サイズ：536,870,912 byte (OS 初期値) • 内部ハンドルの上限数：65,536

備考

- 以下の場合は、SNMP セキュリティ設定コマンド (setsnmpsec) を実行します。コマンドについて詳しくは、「3.5 SNMP セキュリティ設定コマンド (setsnmpsec)」を参照してください。
  - SVmco インストール後に SNMP Service のセキュリティ設定を [すべてのホストから SNMP パケットを受け付ける] から [これらのホストから SNMP パケットを受け付ける] に変更する場合
  - MMB の IP アドレスを変更する場合
- MMB の IP アドレスおよびパーティション側の管理 LAN の IP アドレスを変更した場合は、必ず SVmco を再起動してください。再起動しない場合、SVagent で検出するエラーの通知ができません。

■ Windows Server 2008 設定時の注意

- イベントビューアのシステムログ、アプリケーションログのプロパティで [ログサイズが最大値に達した時の操作] を [イベントを上書きしない] に

変更しないでください。ログサイズが最大値に達した場合、それ以降にエラーが発生してもログに出力されないため、SVagent で検出できません。

- Windows サービスの「Print Spooler サービス」を停止しないでください。OS 情報収集機能は、WMI(Windows Management Instrumentation) を使用して構成情報を収集します。「Print Spooler サービス」が停止していると、WMI でエラーが通知されるため、正しい構成情報が収集できません。

- **以下のレジストリの値を 20000 (20 秒) 未満に設定すると、OS のシャットダウン時にハングアップする可能性があります。このためレジストリの値は、必ず 20000 (20 秒) 以上に設定してください。**

```
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Control"
WaitToKillServiceTimeout" (種類: REG_DWORD / Default:20000)
```

上記のレジストリで、シャットダウン時にサービスを終了させるまでの待ち時間 (ms) を指定できます。

2.2.1 PSA-MMB 間通信 LAN の設定

ここでは、PSA-MMB 間通信 LAN の設定の確認について説明します。

SVmco が MMB と通信するため、パーティション側の PSA-MMB 間通信 LAN に接続されたネットワークインターフェースカード (NIC) が活性化されている必要があります。

PSA-MMB 間通信 LAN の設定は、以下の手順を実施してください。

注意

下記の場合、イベント通報機能が使用できません。

- MMB Web-UI の [Network Configuration] - [Network Interface] 画面にて、[MMB-PSA IP Address] の [Interface] が Disable の場合

- 以下の操作 (PSA-MMB 間通信 LAN 設定コマンドの実行) を行わない場合

1. PSA-MMB 間通信 LAN 設定コマンドを実行します。

   [SVmco インストール先フォルダ] ¥opt¥fujitsu¥SVmco¥sh¥setpsalan.bat

   注意

   SVmco インストール後に OS を再起動しないと、手順 1 の PSA-MMB 間通信 LAN 設定コマンドが失敗します。

   OS を再起動してから、PSA-MMB 間通信 LAN 設定コマンドを実行してください。

2. OS を再起動します。

   注意

   続けて「2.2.3 PSHED Plugin ドライバのインストール」を行う場合は、ここで OS を再起動する必要はありません。2.2.3 のインストール完了時に OS を再起動してください。

上記の手順を行うと、以下の値が設定されます。

<IP アドレス>

172.30.0.<パーティション ID + 2>/24

例) パーティション ID が 2 の場合

172.30.0.4/24

<通信設定>

Auto Negotiation off

Speed 100Mbps

Duplex full

以下の場合に限り、IP アドレスの設定を変更してください。

- 自動設定される IP アドレスが、業務ネットワークや管理ネットワークで使用する IP アドレスやサブネットと重なってしまう
- 別パーティションから複製したディスクを使用して新たにパーティションを構築した
- あるパーティションでイントールしたディスクを別のパーティションに移して使用するなどで、パーティション ID が変更となる
- Windows クラスタ(MSCS)を "筐体間クラスタ／同一パーティション番号" 間でクラスタ構成を構築する (同じ IP アドレスが割り振られるため、構成チェックで「重複 IP アドレスが見つかりました」というエラーが発生する。)

IP アドレスの設定は、以降の手順で変更してください。なお、上記の 1.の理由で設定を変更する場合は、同一筐体に存在する全パーティション、および MMB 側の PSA-MMB 間通信 LAN の IP アドレスも同一サブネットの IP アドレスに変更する必要があります。MMB 側の IP アドレスは、MMB Web-UI から設定してください。

注意

- 通信設定については、自動的に設定された値から変更しないでください。変更した場合、PSA-MMB 間の通信が不通となり、SVmco の機能を使用できなくなることがあります。

- PSA-MMB 間 LAN 設定は、SVmco インストール後に変更してください。SVmco インストール前に変更した場合、インストール時に設定が上書きされます。

■ PSA-MMB 間通信 LAN 用のネットワークアダプターの設定

以下の手順で、ネットワークアダプターを設定します。

● 操作手順

1. [コントロールパネル] - [ネットワーク接続] の順に選択します。

   →ネットワークの一覧が表示されます。

2. 表示された一覧から [SVMCONIF] を選択し、マウスの右クリックメニューから [プロパティ] を選択します。

   注意

   - 名前が[SVMCONIF] となっている接続が存在しない場合、SVmco がインストールされていない可能性があります。必ず SVmco をインストールした後に設定を変更してください。
   - 接続名 [SVMCONIF] は変更しないでください。変更した場合、SVmco アップデート時に自動設定の値に上書きされる可能性があります。

3. [インターネットプロトコル バージョン 4(TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。

   → [インターネットプロトコル バージョン 4 (TCP/IP)のプロパティ] が表示されます。

4. IP アドレス、サブネットマスクを設定します。

注意

MMB-PSA 間 LAN は、筐体内部通信用のネットワークのため、DNS の設定は不要です。エラーメッセージが表示された場合も無視して次に進んでください。

5. SVmco の設定ファイルに、PSA-MMB 間通信 LAN の IP アドレスを設定します。

ファイル格納場所：[SVmco インストール先フォルダ]
¥etc¥fujitsu¥SVmco¥usr¥tommbipsetup.conf

設定値：手順 4.で設定した IP アドレスを入力する。

<設定例>

```
[NETWORK]

TOMMBIP=172.30.0.4（手順 4 で設定した IP アドレス）
```

注意

[NETWORK]および TOMMBIP=の前に;でコメントアウトされている場合には、;を削除して設定してください。

6. PSA-MMB 間通信 LAN 用 NIC の設定を反映させるため、以下の手順で SVmco を再起動します。

[コントロールパネル] - [管理ツール] - [サービス] の順に選択します。

右ウィンドウで [ServerView Mission Critical Option]を右クリックし、[再起動] を選択します。

- リモートデスクトップ接続で設定

リモートデスクトップ接続を使用して PSA-MMB 間通信 LAN を設定する場合は、コンソールセッションに接続する必要があります。以下の手順で接続してください。

1. [スタート] - [ファイル名を指定して実行] を選択します。

   → [ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスが表示されます。

2. [名前] ボックスに "mstsc /v:<servername/ip address> /console" を入力して [OK] ボタンをクリックします。

   <servername/ip address>には、接続先サーバ名または IP アドレスを指定してください。(クラスタの仮想 IP アドレスは指定できません。) mstsc のオプションの詳細は、mstsc /?を入力して確認できます。

注意

PRIMEQUEST 環境では、MMB との通信に使用する管理 LAN に接続するスイッチの STP 機能を OFF にする必要があります。

2.2.2 管理 LAN の設定確認

Systemwalker などの上位ソフトウェアとの連携を行う場合は、バーティション上の管理 LAN の設定が必要です。管理 LAN について詳しくは、『PRIMEQUEST 1000 シリーズ 運用管理マニュアル』(C122-E108) の「1.3 管理 LAN」を参照してください。

管理 LAN ネットワークの設定、および必要に応じてチーミング、GLS などによる二重化設定を行ってください。

また、上記管理 LAN のネットワーク設定完了後、「2.2.5 管理 LAN IP アドレスの設定」を実施してください。

注意

PRIMEQUEST 環境では、MMB との通信に使用する管理 LAN に接続するスイッチの STP 機能を OFF にする必要があります。

2.2.3 PSHED Plugin ドライバのインストール

PSHED Plugin ドライバとは、Windows Hardware Error Architecture (WHEA) の拡張機能のためのドライバです。

本ドライバは、自動でインストールされません。以下のフォルダに格納されているバッチファイル (plugin_install.bat) を使用して、手動でインストールしてください。

```
[SVmco インストール先フォルダ] ¥fjpsaplg¥plugin_install.bat

(例. C:¥Program Files (x86)¥Fujitsu¥ServerView
Suite¥SVmco¥fjpsaplg¥plugin_install.bat)
```

備考

本ドライバをインストールしないと以下の機能が動作しません。

- **Correctable Error 発生時のイベント ビューア (Windows ログ:システム) へのログ抑止**
- **ブルースクリーン発生時の Stop Error への状態遷移 (MMB Web-UI の [Power Control] 画面の [System Progress])**

注意

- インストール用バッチの実行は複数回実行しないでください。

  複数回実行すると、インストール用のバッチの動作上、実行した回数分だけ PRIMEQUEST PSHED Plugin ドライバがインストールされます。

- インストール用のバッチを誤って複数回実施してしまった場合、動作上問題はありませんが、デバイスマネージャの表示では、PRIMEQUEST PSHED Plugin ドライバが複数表示されます。

  この場合は、以下の手順に従って PRIMEQUEST PSHED Plugin ドライバをいったんすべてアンインストールした後、再度インストールを行ってください。再インストール時に、OS の再起動が必要です。

1. デバイス マネージャの [システム デバイス] 上に、[PRIMEQUEST PSHED Plugin Driver] が表示されている数を記録します。

2. 以下の PSHED Plugin ドライバ アンインストール用バッチを、手順 1 で記録した回数分、実行します。

   PSHED Plugin ドライバ アンインストール用バッチ格納場所:

   [SVmco インストール先フォルダ] ¥fjpsaplg¥plugin_uninstall.bat

   (デフォルト. C:¥Program Files (x86)¥Fujitsu¥ServerView Suite¥SVmco¥fjpsaplg¥plugin_uninstall.bat)

3. OS を再起動します。

4. デバイスマネージャの [システム デバイス] に [PRIMEQUEST PSHED Plugin Driver] が表示されていないことを確認します。

5. 以降の「■ 操作手順」に従って、再度 PRIMEQUEST PSHED Plugin ドライバをインストールします。

■ 操作手順

1. 以下のフォルダを開き、[plugin_install.bat] をダブルクリックします。

```
[SVmco インストール先フォルダ] ¥fjpsaplg

（例. C:¥Program Files (x86)¥Fujitsu¥SVmco¥fjpsaplg）
```

2. OS を再起動してください。本ドライバは、OS の再起動後から動作します。
3. デバイスマネージャのシステムデバイス上に [PRIMEQUEST PSHED Plugin Driver] が表示されていることを確認します。表示されていない場合は、手順 1.から再度実行してください。

2.2.4 Windows ファイアーウォールの設定

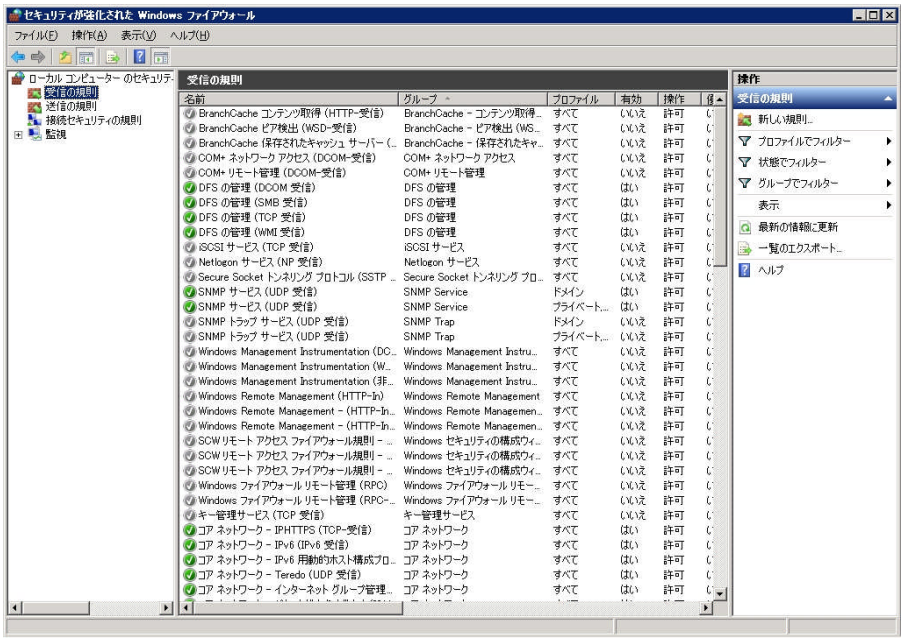
Windows ファイアーウォールを有効にして運用する場合、以下のポートは MMB とのデータ送受信に使用されるため、開放する必要があります。

- SNMP Service が使用する UDP:161 ポート (MMB からの受信)
- svmcommbs.exe が使用する MMB への送信ポート (MMP 側 TCP:5000 ポート用)
- svmcommbs.exe が使用する MMB への ICMP プロトコル

■ 操作手順

1. [スタート] - [管理ツール] - [セキュリティが強化された Windows ファイアウォール] の順に選択します。

2. [セキュリティが強化された Windows ファイアウォール] 画面が表示されます。左ペインから [受信の規則] をクリックすると、中央ペインに [受信の規則] 一覧が表示されます。

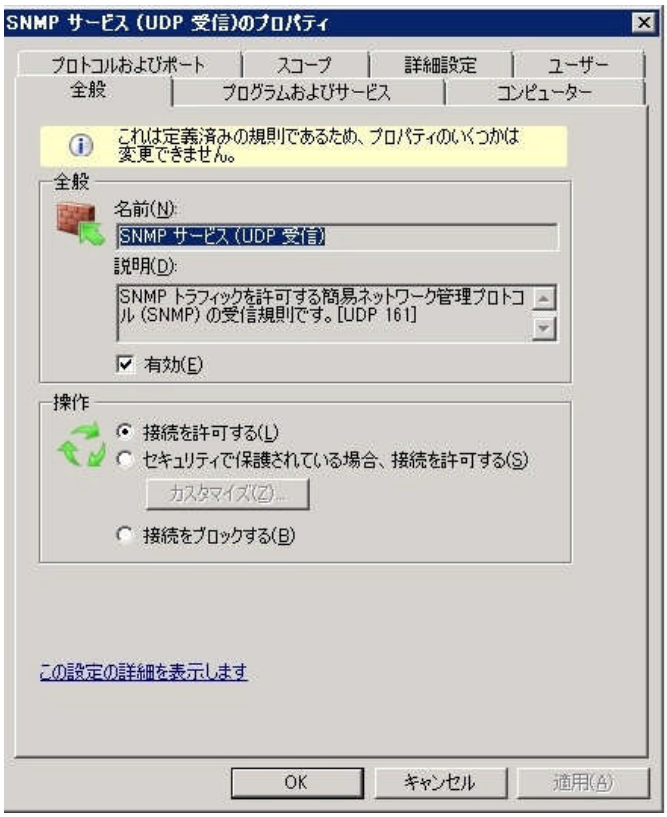


[Windows ファイアウォール] 画面

3. [受信の規則] 一覧の中にある [SNMP サービス (UDP 受信)] を選択して右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

[SNMP サービス (UDP 受信)] は初期値で、プロファイル項が [ドメイン] のものと [プライベート,パブリック] のものの 2 行が存在します。手順 3.～手順 7 は両方の行に対して実施してください。

4. [SNMP サービス (UDP 受信) のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。[全般] タブをクリックし、[全般] 項の中にある [有効] のチェックボックスをオンにします (初期値ではチェックマークが入っています)。

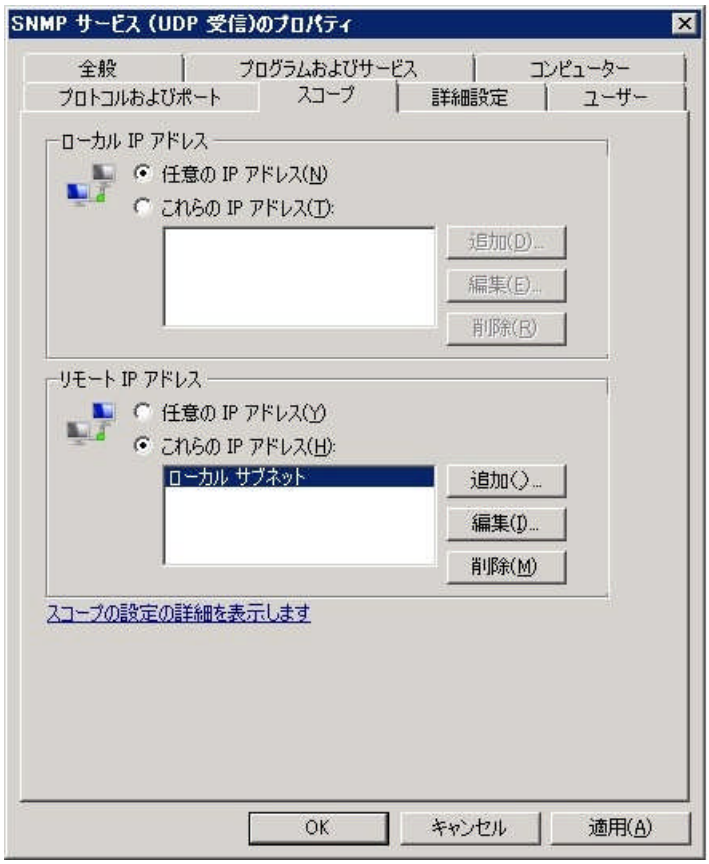


SNMP サービス (UDP 受信) のプロパティ [全般] タブ

5. [スコープ] タブをクリックします。

[ローカル IP アドレス] では [任意の IP アドレス] を選択します。

[リモート IP アドレス] では [これらの IP アドレス] を選択し、[追加] ボタンをクリックします。



SNMP サービス (UDP 受信) のプロパティ [スコープ] タブ

6. [IP アドレス] 画面が表示されます。[事前に定義されたコンピュータセット] を選択します。 リストから [ローカルサブネット] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

[IP アドレス] 画面

7. [OK] ボタンをクリックし、[SNMP サービス (UDP 受信) のプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。

8. [セキュリティが強化された Windows ファイアウォール] 画面の左ペインから [送信の規則] をクリックします。

   中央ペインに [送信の規則] 一覧が表示されます。

9. [セキュリティが強化された Windows ファイアウォール] 画面の右ペインから [新しい規則] または [新規の規則] をクリックします。[新規の送信の規則のウ

ィザード] 画面が開き、左上に [規則の種類] と表示されます。[カスタム] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

10. 左上に [プログラム] と表示されます。[このプログラムのパス] を選択し、[参照] ボタンをクリックします。" svmcommbs.exe" を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

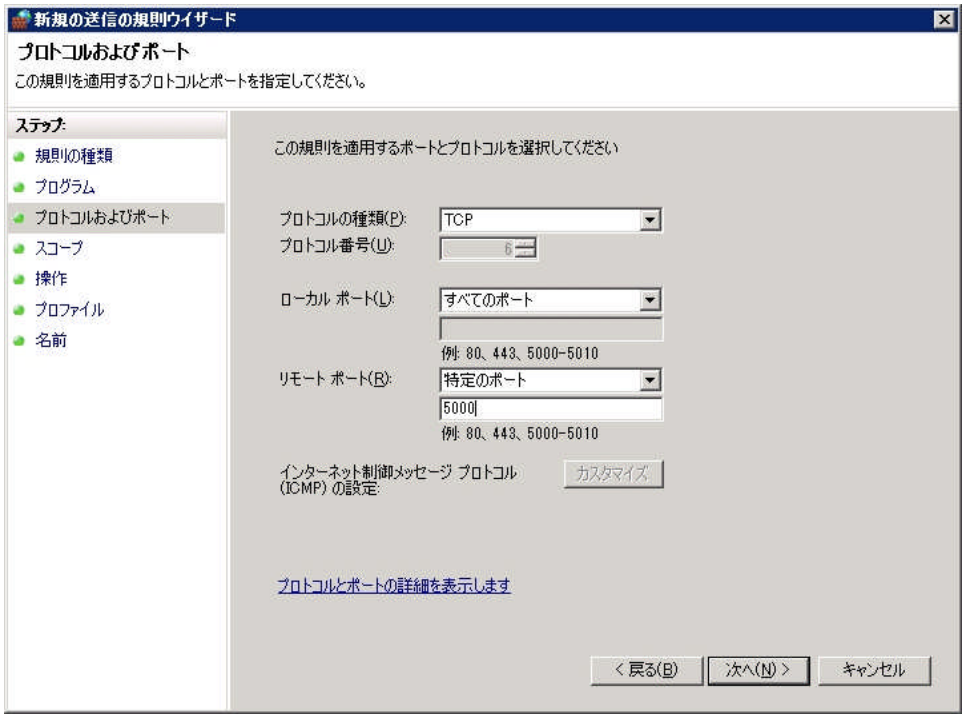
備考

svmcommbs.exe は SVmco のインストールパス配下の opt¥fujitsu¥SVmco¥bin¥にあります。SVmco のインストールパスは初期値で Program Files¥fujitsu¥ServerView Suite¥SVmco¥です。

11. 左上に [プロトコルおよびポート] と表示されます。以下の項目を選択または入力して、[次へ] ボタンをクリックします。

プロトコルおよびポート] の設定項目

画面項目	選択または入力する値
[プロトコルの種類]	[TCP]
[ローカルポート]	[すべてのポート]
[リモートポート]	[特定のポート]を選択し、下のテキストボックスに「5000」と入力する。



新規の送信の規則ウィザード - プロトコルおよびポート

12. 左上に [スコープ] と表示されます。以下の項目を選択または入力して、[次へ] ボタンをクリックします。

[スコープ] の設定項目

画面項目		選択または入力する値
Windows2008	Windows2008R2	
[この規則はどのローカル IP アドレスに一致しますか?]	この規則を適用するローカル IP アドレスを選択してください。	[任意の IP アドレス]
[この規則はどのリモート IP アドレスに一致しますか?]	この規則を適用するリモート IP アドレスを選択してください。	[これらの IP アドレス] を選択し、[追加] ボタンをクリックする。 MMB の PSA-MMB 通信 LAN 用 IP アドレスを入力する。

13. 左上に [操作] と表示されます。[接続を許可する] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

14. 左上に [プロファイル] と表示されます。[ドメイン] 、[プライベート]、[パブリック] すべてのチェックボックスをオンにして、[次へ] ボタンをクリックします。

15. 左上に [名前] と表示されます。[名前[N]:] に「MCOMMBS」と入力し、[完了] ボタンをクリックします。

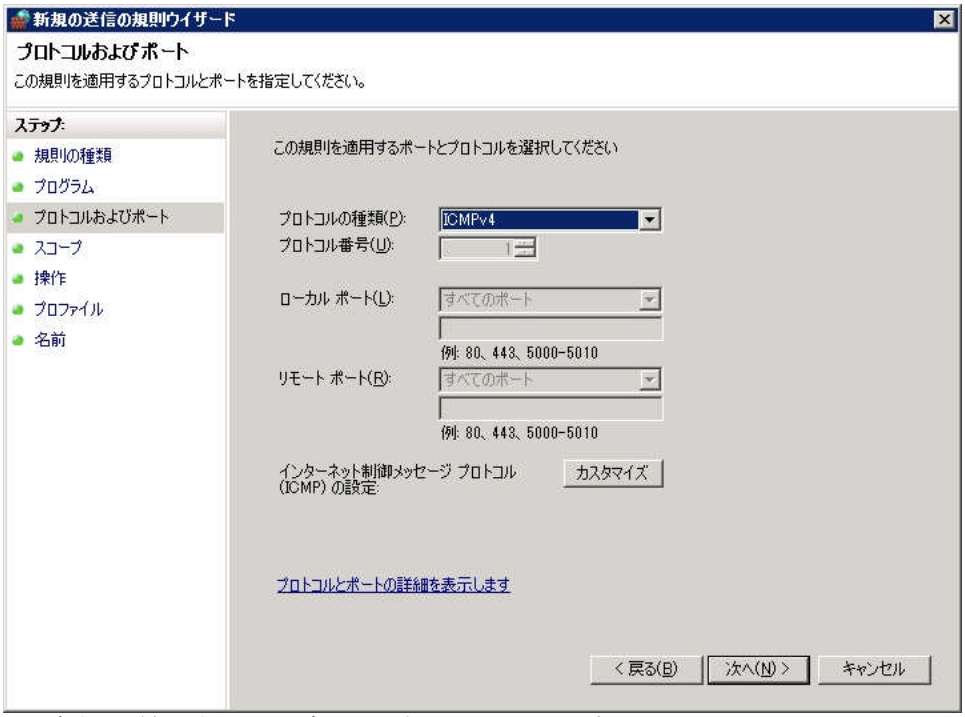
16. 続けて [セキュリティが強化された Windows ファイアウォール] 画面の右ペインから [新しい規則] または [新規の規則] をクリックします。[新規の送信の規則のウィザード] が開き、左上に [規則の種類] と表示されます。[カスタム] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

17. 左上に [プログラム] と表示されます。[このプログラムのパス] を選択し、[参照] ボタンをクリックします。[svmcommbs.exe] を選択し、[次へ] ボタンクリックします。

備考

svmcommbs.exe は SVmco のインストールパス配下の opt¥fujitsu¥SVmco¥bin¥にあります。SVmco のインストールパスは初期値で Program Files¥fujitsu¥ServerView Suite¥SVmco¥です。

18. 左上に [プロトコルおよびポート] と表示されます。[プロトコルの種類] で [ICMPv4] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



新規の送信の規則ウィザード - プロトコルおよびポート

19. 左上に [スコープ] と表示されます。以下の項目を選択または入力して、[次へ] ボタンをクリックします。

[スコープ] の設定項目

画面項目		選択または入力する値
Windows2008	Windows2008R2	
[この規則はどのローカル IP アドレスに一致しますか?]	この規則を適用するローカル IP アドレスを選択してください。	[任意の IP アドレス]
[この規則はどのリモート IP アドレスに一致しますか?]	この規則を適用するリモート IP アドレスを選択してください。	[これらの IP アドレス] を選択し、[追加] ボタンをクリックする。 MMB の PSA-MMB 通信 LAN 用 IP アドレスを入力する。

20. 左上に [操作] と表示されます。[接続を許可する[A]] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

21. 左上に [プロファイル] と表示されます。[ドメイン]、[プライベート]、[パブリック] すべてのチェックボックスをオンにして、[次へ] ボタンをクリックします。

22. 左上に [名前] と表示されます。[名前[N]:] に「MCOICMP」と入力し、[完了] ボタンをクリックします。

2.2.5　管理 LAN IP アドレスの設定

パーティション上の管理 LAN の IP アドレスを設定します。

1.　"ServerView Server Control"サービスが起動している事を確認してください。

起動していない場合は、下記の手順で、SVagent を起動してください。

■　SVagent の起動

1.　[スタートメニュー] → [管理ツール] → [サービス] の順にクリックします。

2.　右側のウィンドウで [ServerView Server Control] を選択します。

3.　メニューバーから [操作] → [起動] の順にクリックし、[ServerView Server Control]を起動します。

2.　[SVmco インストール先フォルダ] ¥etc¥fujitsu¥SVmco¥usr¥ipsetup.conf ファイルを編集します。

エディタなどを使用し、以下の IP アドレスを修正します。

【入力形式】

```
[NETWORK]
ManagementIP=<管理 LAN 用 IP アドレス>
```

【入力例】

```
[NETWORK]
ManagementIP=192.168.0.1
```

3. 下記コマンドを実行してください。

```
MgmtIP.exe -f
```

2.2.6 パーティションからのトラップ送信先の設定

パーティションから直接、SVagent, SV RAID のトラップを送信する場合は、以下の手順でトラップ送信先の設定を行います。

備考

- Windows の場合、SNMPv3 は未サポートです。
- 本設定は、必要な場合のみ実施してください。運用管理ソフトウェアがパーティションごとにイベントを管理する場合には本設定が必要になります。
- トラップ送信先では、トラップ受信用のアプリケーションや管理マネージャが動作していて、SNMP サービスの標準トラップが受信できる必要があります。

■ 操作手順

1. [スタートメニュー] → [管理ツール] → [サービス] の順にクリックします。
2. 右側のウィンドウで [SNMP Service] をダブルクリックします。

   → [SNMP Service] 画面が表示されます。
3. [トラップ] タブをクリックします。

4. [コミュニティ名] に設定するコミュニティ名を入力し、[一覧に追加] をクリックします。

5. [トラップ送信先] の [追加] をクリックします。

6. トラップを受信する (通知を送る先の) サーバのホスト名または IP アドレスを入力し、[追加] をクリックします。

7. [OK] をクリックします。

8. [操作] - [再起動] の順に選択し、SNMP Service を再起動します。

■ トラップ送信先設定確認方法について

トラップ送信先設定を確認するには、上記の手順 10.で SNMP サービスを再起動するときの、SNMP サービス標準トラップを使用します。このトラップの受信可否により、正しく設定されているかを確認できます。

備考

トラップ送信先では、トラップ受信用のアプリケーションや管理マネージャが動作していて、SNMP サービスの標準トラップが受信できる必要があります。

トラップ送信元マシン上では、手順 10.を実行することにより、SNMP サービスを再起動します。

本操作により、トラップ送信先では、トラップ受信用のアプリケーションに、"ColdStart" の SNMP Service 標準トラップが通知されます。

参考に、トラップ送信先が Linux マシンの場合、[snmptrapd] でトラップ受信したときに、以下のようなメッセージがシステムログに表示されます。

```
Aug 17 14:50:03 pq-server snmptrapd[2600]: 2005-08-17 14:50:03 ¥

pq-server.fujitsu.com
```

```
[192.168.0.162] (via 192.168.0.162) TRAP,  SNMP v1, community ¥
public SNMPv2-SMI::
enterprises.211.1.31.1.2.100.3 Cold Start Trap (0) Uptime: 0:00:00.00
```

¥ : 改行しないことを表す。

2.2.7 STOP エラー (致命的なシステムエラー) 発生後の Watchdog Timer 監視設定

システムで STOP エラー (致命的なシステムエラー) が発生した場合は、以下の状態になります。

- MMB の Web-UI の [Partition] - [Power Control] で、該当パーティションの System Progress が "Stop Error" 表示
- OS がメモリダンプの取得処理を実行

上記の場合、何らかの理由によりシステムがフリーズなどの無応答となった場合を回避するために、Watchdog Timer による監視を設定することができます。

設定時間を経過すると、MMB により Hard Reset が実行され、OS のリブートが実行されます。

■ 操作手順

1. 以下のファイルを開きます。

   [SVmco インストール先フォルダ]
   ¥etc¥fujitsu¥SVmco¥usr¥pnwatchdog.conf

(例. C:¥fujitsu¥ServerView Suite¥SVmco¥etc¥fujitsu¥SVmco¥usr¥pnwatchdog.conf)

2. 次のキーの値を設定します。初期値は "0" です。

セクション：[WATCHDOG]

キー：[TIMER]

設定値 (単位：秒) 0 (Watchdog Timer 未使用)

1～6000 (Watchdog Timer 監視時間)

備考

設定値は、適用するパーティションで、メモリダンプに要する時間を測定して決定してください。6000 秒 (1 時間 40 分) を超える時間を要する場合は未使用としてください。

設定値がメモリダンプ処理よりも短い時間の場合、Watchdog Timer がタイムアウトし、Hard Reset されるため、メモリダンプが正しく取得できません。

2.2.8 SVmco のアップデートインストール

SVmco のアップデートインストール手順を説明します。

備考

- 、インストールされている SVmco のバージョンと同じバージョンの修正プログラムの場合、確認メッセージ画面で［OK］ボタンをクリックすると、SVmco が一度アンインストールされ、その後再度インストールされます。アンインストールしない場合は、［プログラムの削除］画面で［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

- 修正プログラムの入手については、製品を購入されたさいの販売会社、または担当営業員に問い合わせてください。

■ 操作手順

作業ディレクトリに SVmco のアップデートパッケージファイル

（ServerViewMissionCriticalOption_Win.exe）が格納されていることを前提に説明します。

また、アップデートの前後で ServerView Agents の停止・起動を行う必要があります。

実施しないと、一部のファイルが置き換わらない場合があります。

本作業は Administrator 権限で作業を行ってください。

1. [管理ツール]－[サービス]を起動します。
2. [SNMP Service]を選択して停止を行います。
3. [ServerView Virtualization Management Agent]を選択して停止を行います。
4. [ServerView Server Control]を選択して停止を行います。
5. エクスプローラから作業ディレクトリを開きます。
6. [ServerViewMissionCriticalOption_Win.exe]を選択し、ダブルクリックまたはマウスの右クリックメニューから[開く]で起動します。
7. [アップデート画面]が表示されますので、[次へ(N)]をクリックします。
8. インストールが完了すると[InstallShield Wizard の完了画面]が表示されますので、[完了]ボタンをクリックします。
9. [Fujitsu] － [ServerView Suite] － [Agents] － [Diagnostic Tools] － [Restart

Agents]を起動します。

１０．[SNMP サービスのみ再起動]のチェックを外した状態で、[再起動]を実行します。

尚、SVmco のアップデート後に、OS の再起動が必要な場合があります。

また、PSHED Plugin ドライバの更新がある場合は、上記 3)～4)の途中で、[Windows セキュリティ画面]が出力されますので、[インストール(I)]をクリックしてください。

2.2.9 SIRMS のアップデートインストール

SIRMS のアップデートインストール手順を説明します。

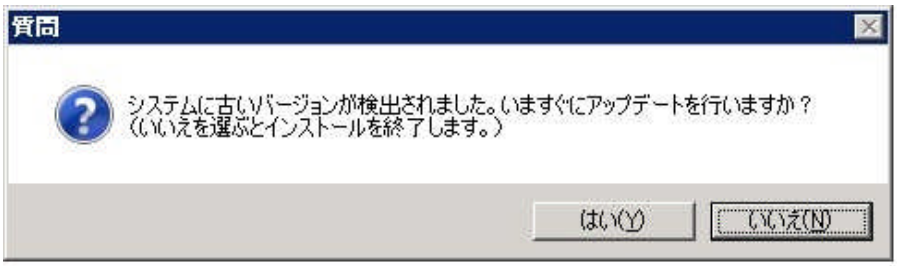
備考

修正プログラムの入手については、製品を購入されたさいの販売会社、または担当営業員に問い合わせてください。

■ 操作手順

1. 修正プログラムを任意のフォルダに格納して解凍します。
2. 解凍したフォルダの「setup.exe」を起動します。
3. 確認メッセージが表示されたら [はい] ボタンをクリックします。

→アンインストールが開始されます。



[確認メッセージ] 画面

アンインストールが完了すると、新しいバージョンのインストールが開始されます。インストール手順について詳しくは、「6.2.5　SIRMS のインストール」の手順 2.から手順 6.を参照してください。

2.2.10　SVmco のアンインストール

SVmco のアンインストール手順を説明します。

備考

SVmco をアンインストールすると、[SVmco インストール先フォルダ] 配下のファイルはすべて削除されます。必要なファイルはアンインストールする前に退避しておいてください。[SVmco インストール先フォルダ] については、環境変数 (SVmco_INSTALLPATH) で確認できます。

■　操作手順

1. [コントロールパネル] - [プログラムと機能] の順に選択します。

   [プログラムと機能] 画面が表示されます。

2. 現在インストールされているプログラムの一覧から [ServerView Mission Critical Option] を選択し、[アンインストール] をクリックします。

[インストールの準備] 画面が表示され、削除の確認メッセージが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。

→アンインストールが開始されます。

アンインストールが完了すると、アンインストール完了画面が表示されます。

4. [完了] ボタンをクリックします。

5. PSHED Plugin ドライバを削除するには OS の再起動が必要です。再起動が可能な状態かを確認したうえで、OS を再起動してください。

2.2.11 SIRMS のアンインストール

SIRMS のアンインストール手順を説明します。

■ 操作手順

1. [コントロールパネル] - [プログラムと機能] の順にクリックします。

2. 現在インストールされているプログラムの一覧から [REMCS SIRMS] を選択し、[変更／削除] をクリックします。

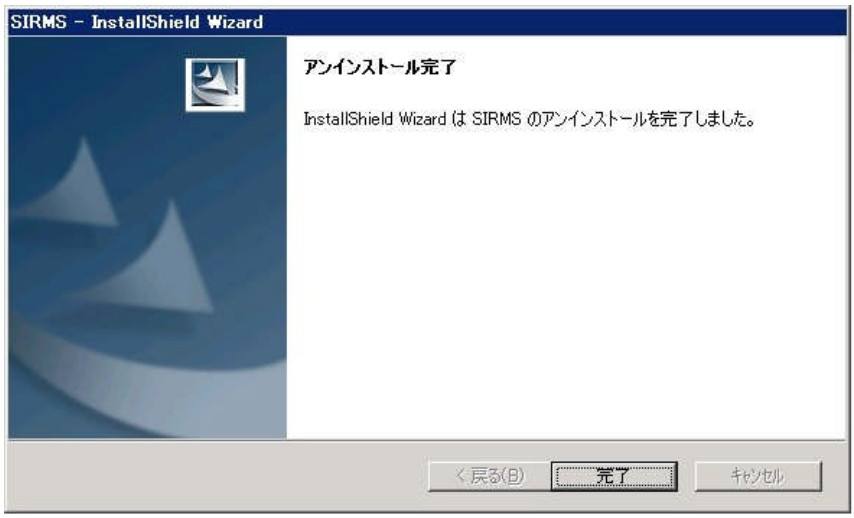
削除の確認メッセージが表示されます。

[確認メッセージ] 画面

3. [はい] ボタンをクリックします。

→アンインストールが開始されます。

4. アンインストールが完了したら [完了] ボタンをクリックして終了します。



[アンインストール完了]画面

2.3 SVmco の設定 (VMware)

添付ソフトウェアは『ServerView Suite DVD1』に格納されています。

『ServerView SuiteDVD1』からファイルをコピーして使用します。

2.3.1 SVmco のインストール

SVmco のインストールについて説明します。

備考

SVmco は、PRIMEQUEST 1000x2 シリーズ以降で提供しています。

1. ターミナルをルートで起動します。
2. 『ServerView Suite DVD1』をマウントします。
3. SVmco のモジュールを PRIMEQUEST 1000x2 シリーズの任意ディレクトリにコピーし展開します。

```
# cp MNT/SVSLocalTools/Japanese/SVmco/SR_Linux/¥

SVmco-XXXRHEL5.tgz  /tmp
```

＊：MNT はマウントポイント

¥：改行しないことを表す。

XXX は版数により異なる。

例では任意ディレクトリを/tmp としています。

```
# cd /tmp
```

```
# tar xvzf SVmco-XXXRHEL5.tar.gz
```

4. 以下のコマンドを実行します。

```
# cd SVmco

#  ./INSTALL.sh -SVIM
```

5. SVmco インストール後に設定を行います。設定方法について詳しくは、『2.2 SVmco の設定 (Linux:Red Hat Enterprise Linx)」及び「2.3 SVmco の設定（VMware）」を参照してください。

2.3.2 SIRMS のインストール

SRIMS のインストールについて説明します。

1. ターミナルをルートで起動します。
2. 『ServerView Suite DVD1』をマウントします。
3. 以下のコマンドを実行します。

```
# rpm -ivh MNT/SVSLocalTools/Japanese/SIRMS/SR_Linux/¥

sirms-XXX.rpm
```

＊：MNT はマウントポイント

¥：改行しないことを表す。

XXX は版数により異なる。

2.3.3 SVmco インストール後の設定

VMware における SVmco インストール後の設定は、RHEL における設定と一部異なります。本節では、変更箇所のみ説明しています。

RHEL と同一の設定手順については、以下の参照先を参照してください。

SVmco インストール後の設定 (VMware)

SVmco インストール後の設定	**VMware の場合**
PSA-MMB 間通信 LAN の設定	2.3.4 ネットワークの設定
管理 LAN の設定確認	2.3.4 ネットワークの設定
SELinux 機能の設定確認	(設定不要)
ファイアーウォール機能の確認	2.3.5 ファイアーウォールの設定
パーティションからのトラップ送信先の設定	RHEL と同様 2.1.6 パーティションからのトラップ送信先の設定
管理 LAN IP アドレスの設定	RHEL と同様 2.1.5 管理 LAN IP アドレスの設定
複製ディスク使用時の SNMP 設定	RHEL と同様 2.1.7 複製ディスク使用時の SNMP 設定
デフォルトゲートウェイの設定	2.3.6 デフォルトゲートウェイの設定

備考

SVmco は、PRIMEQUEST 1000x2 シリーズ以降で提供しています。

2.3.4　ネットワークの設定

ここでは、SVmco の導入および運用で必要なネットワークの設定について説明します。

以下の流れで操作します。

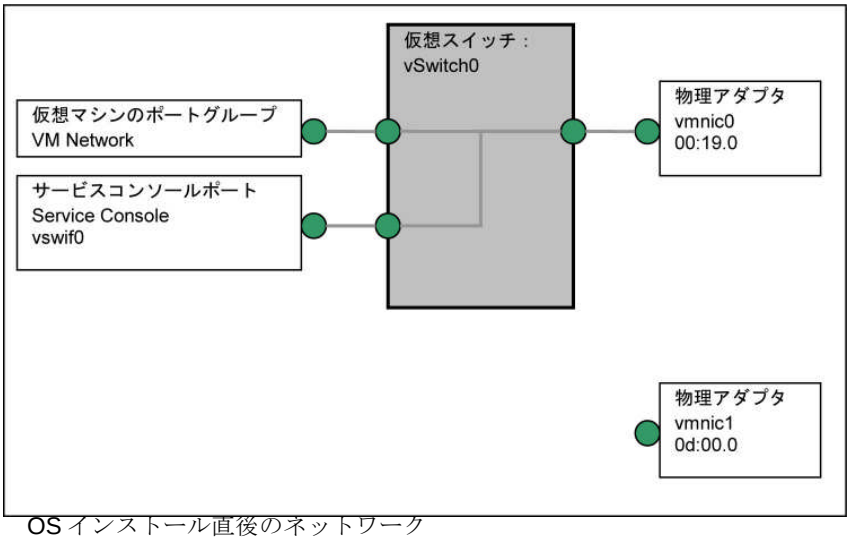
■PSA-MMB 間通信 LAN および管理 LAN の確認

■管理 LAN の設定

■PSA-MMB 間通信 LAN の設定

通常、OS インストール直後のネットワークは、以下のようになっています。

インターフェース名や BUS 番号などは、環境に合わせて適宜読み替えてください。



OS インストール直後のネットワーク

備考

以降の設定で使用する各コマンドについて詳しくは、man で確認してください。

注意

OS インストール直後にデフォルトで存在する vswif0 の IP アドレスを設定する前に、ホスト名を設定しないでください。VMware によって/etc/hosts が意図しない値に書き変わる場合があります。

ここでは、管理 LAN に vswif0 を使用することを前提として説明します。

■ PSA-MMB 間通信 LAN および管理 LAN の確認

1. **PSA-MMB 間通信 LAN は、BUS 番号が 0000:00:19.0 の物理アダプターを使用します。**

   管理 LAN は任意の物理アダプターを使用します。

   esxcfg-nics コマンドで、PSA-MMB 間通信 LAN および管理 LAN で使用する物理アダプターを確認します。

```
# esxcfg-nics -l
Name     PCI       Driver   Link     Speed    Duplex¥
MAC      Address        MTU      Description
vmnic0   00:19.00 e1000e   Up       100Mbps  Half ¥
00:17:42:de:7c:4b 1500 ¥
Intel Corporation 82567LF-2 Gigabit Network Connection
```

```
vmnic1   0d:00.00 igb      Up       100Mbps  Full ¥

00:17:42:9b:dc:b4 1500 ¥

Intel Corporation 82576 Gigabit Network Connection

vmnic2   0d:00.01 igb      Down     0Mbps    Half ¥

00:17:42:9b:dc:b5 1500 ¥

Intel Corporation 82576 Gigabit Network Connection
```

¥：改行しないことを表す。

上記例の場合、vmnic0 を PSA-MMB 間通信 LAN、vmnic1 を管理 LAN として使用します。

■ 管理 LAN の設定

1. 管理 LAN のインターフェースには、OS インストール直後にデフォルトで存在する vswif0 を使用します。

esxcfg-vswif コマンドで、vswif0 の状態を確認します。

```
# esxcfg-vswif -l

Name Port Group/DVPort IP Family IP Address ¥

Netmask Broadcast Enabled TYPE

vswif0 Service Console IPv4 N/A ¥

N/A N/A true NONE
```

¥：改行しないことを表す。

上記の例の場合、Port Group 名「Service Console」に vswif0 が設定されていることがわかります。

2. esxcfg-vswitch コマンドで、仮想スイッチの状態を確認します。

```
# esxcfg-vswitch -l

Switch Name Num Ports Used Ports Configured Ports ¥

MTU Uplinks

vSwitch0    64        2          64 ¥

1500        vmnic0


 PortGroup  Name VLAN ID Used Ports Uplinks

 VM Network      0       0          vmnic0

 Service Console 0       1          vmnic0
```

¥：改行しないことを表す。

上記の例の場合、Service Console が vSwitch0 に存在し、物理アダプターが vmnic0 であることがわかります。

3. vSwitch0 の物理アダプターを、管理 LAN で使用する物理アダプター vmnic1 に接続しなおします。

esxcfg-vswitch コマンドで、vSwitch0 の物理アダプターvmnic0 を取り外します。

```
# esxcfg-vswitch -U vmnic0 vSwitch0

# esxcfg-vswitch -l

Switch Name Num Ports Used Ports Configured Ports ¥

MTU    Uplinks

vSwitch0 64           2          64 ¥

1500


 PortGroup Name VLAN ID Used Ports Uplinks

 VM Network      0       0

 Service Console 0       1
```

¥：改行しないことを表す。

esxcfg-vswitch コマンドで、vSwitch0 に物理アダプターvmnic1 を接続します。

```
# esxcfg-vswitch -L vmnic1 vSwitch0

# esxcfg-vswitch -l

Switch Name Num Ports Used Ports Configured Ports ¥

MTU    Uplinks

vSwitch0 64           2          64 ¥
```

```
1500 vmnic1


 PortGroup Name VLAN ID Used Ports Uplinks

 VM Network      0      0          vmnic1

 Service Console 0      1          vmnic1
```

¥：改行しないことを表す。

4. esxcfg-vswif コマンドで、vswif0 に IP アドレス (192.168.0.2) を割り当てます。

```
# esxcfg-vswif -i 192.168.0.2 -n 255.255.255.0 vswif0

# esxcfg-vswif -l

Name Port Group/DVPort IP Family IP Address ¥

Netmask   Broadcast     Enabled   TYPE

vswif0   Service Console   IPv4   192.168.0.2 ¥

255.255.255.0 192.168.0.255 true STATIC
```

¥：改行しないことを表す。

■ PSA-MMB 間通信 LAN の設定

7. esxcfg-vswitch コマンドで、仮想 Switch (vSwitch1) を作成します。

```
# esxcfg-vswitch -a vSwitch1

# esxcfg-vswitch -l

Switch Name Num Ports Used Ports Configured Ports ¥

MTU Uplinks

vSwitch0    64        2          64 ¥

1500 vmnic1


PortGroup Name   VLAN ID      Used Ports      Uplinks

VM Network    0      0        vmnic1

Service Console  0      1        vmnic1


vSwitch1  64  2    64 ¥

1500


PortGroup Name VLAN ID Used Ports Uplinks
```

¥：改行しないことを表す。

8. esxcfg-vswtich コマンドで、仮想 Switch に物理アダプターvmnic0 を接続します。

```
# esxcfg-vswitch -L vmnic0 vSwitch1
```

```
# esxcfg-vswitch -l
Switch Name Num Ports Used Ports Configured Ports ¥
MTU Uplinks
vSwitch0    64        2          64 ¥
1500 vmnic1

 PortGroup Name VLAN ID Used Ports Uplinks
 VM Network      0      0          vmnic1
 Service Console 0      1          vmnic1

vSwitch1      64        2          64 ¥
1500 vmnic0

 PortGroup Name VLAN ID Used Ports Uplinks
```

¥ : 改行しないことを表す。

9. 作成した Switch に Port Group (PSA-MMB) を追加します。

```
# esxcfg-vswitch -A PSA-MMB vSwitch1
# esxcfg-vswitch -l
```

```
Switch Name Num Ports Used Ports Configured Ports ¥
MTU Uplinks
vSwitch0    64         2          64 ¥
1500 vmnic1

 PortGroup Name VLAN ID Used Ports Uplinks
 VM Network      0       0         vmnic1
 Service Console 0       1         vmnic1

vSwitch1   64     2     64 ¥
1500       vmnic0

 PortGroup Name VLAN ID Used Ports Uplinks
 PSA-MMB        0       0          vmnic0
```

¥：改行しないことを表す。

10. esxcfg-vswif コマンドで、仮想ポート (vswif1) を作成します。

設定する IP アドレスは、パーティション番号により異なります。

以下の表の値を使用してください。

仮想ポートに設定する IP アドレス

パーティション番号	IP アドレス	サブネットマスク
0	172.30.0.2	255.255.255.0
1	172.30.0.3	
2	172.30.0.4	
3	172.30.0.5	

<パーティション番号#2 で PSA-MMB の Port Group を vswif1 とする場合>

```
# esxcfg-vswif - a vswif1 -i 172.30.0.4 -n 255.255.255.0 ¥
-p PSA-MMB
# esxcfg-vswif -l
Name Port Group/DVPort IP Family IP Address ¥
Netmask Broadcast Enabled TYPE
vswif0 Service Console IPv4 192.168.0.2 ¥
255.255.255.0 192.168.0.255 true STATIC
vswif1 PSA-MMB IPv4 172.30.0.4 ¥
255.255.255.0 172.30.0.255 true STATIC
```

¥：改行しないことを表す。

11. PSA-MMB 間通信 LAN に、以下の設定を追加します。

Speed：100Mbps

Duplex：full

<PSA-MMB 間通信 LAN が vmnic0 の場合>

```
# esxcfg-nics vmnic0 -s 100 -d full
```

12. SVmco の設定ファイルに、PSA-MMB 間通信 LAN の IP アドレスを設定します。

ファイル格納場所：/etc/fujitsu/SVmco/usr/tommbipsetup.conf

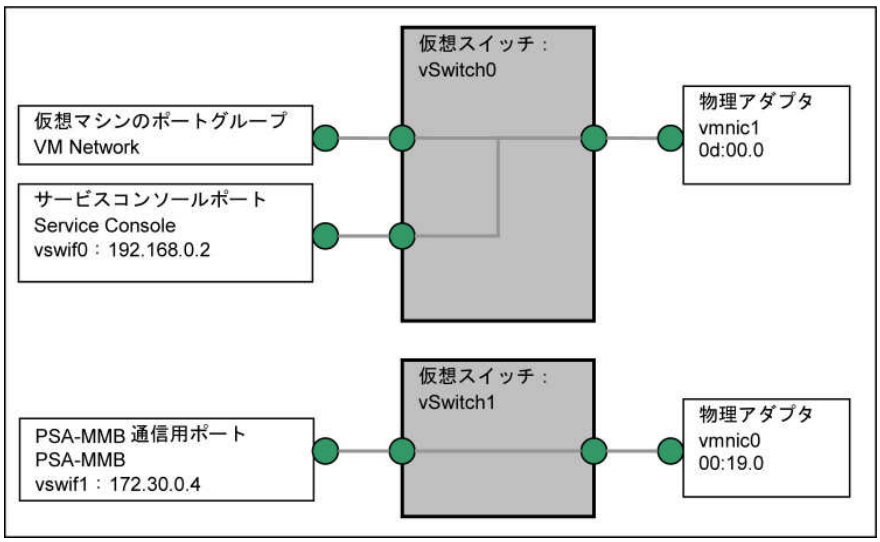
設定値：手順 4.で設定した IP アドレスを入力する。

<設定例>

```
[NETWORK]
TOMMBIP=172.30.0.4
```

以上で設定は完了です。

上記設定例では、設定後のネットワークは以下のようになります。



設定後のネットワーク

2.3.5 ファイアーウォールの設定

ここでは、SVmco 運用でのファイアーウォールの設定について説明します。

SVmco では、以下のポートを開放する必要があります。

SVmco 運用でのファイアーウォール設定

№	ポート	ポート番号	説明
1	snmp ポート	Udp/snmp または 161	一般 snmp の通信ポート
3	psa-mmb 通信ポート	tcp/MMB 側 5000	MMB-PSA 間ポート イベントおよび構成情報の通知用

ファイアーウォール設定の実施例

No.	実施例
1	# esxcfg-firewall -o 161,udp,in,SNMP
3	# esxcfg-firewall -o 5000,tcp,out,MCO-MMB

- ファイアーウォール設定の確認

```
#esxcfg-firewall -q
Opened ports:
   SNMP        : port 161 udp.in
   MCO-MMB     : port 5000 tcp.out
```

2.3.6 デフォルトゲートウェイの設定

デフォルトゲートウェイの設定は、OS のインストール時に行います。

何らかの理由によってデフォルトゲートウェイが設定されていない場合は、本設定を行ってください。

1. route コマンドで、一時的なデフォルトゲートウェイを設定します。

```
route add default gw <GATEWAY>
```

例：192.168.0.1 をデフォルトゲートウェイに設定する場合

```
# route add default gw 192.168.0.1
```

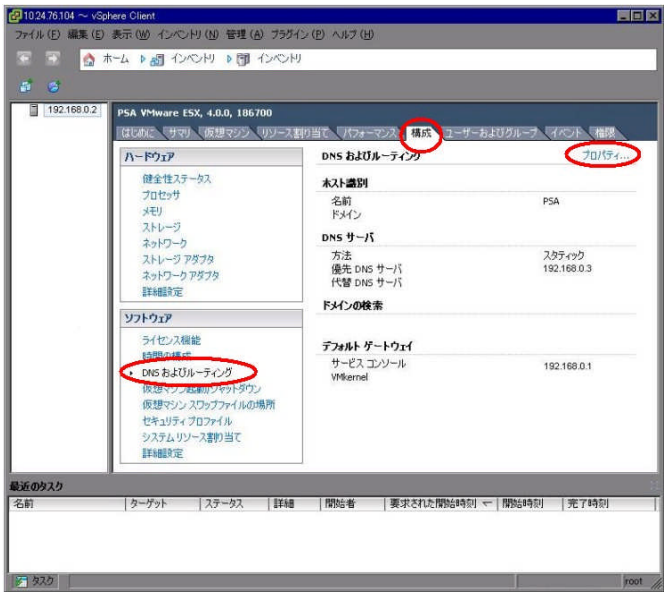
2. VMware vSphere Client を使用してサービスコンソールに接続し、サービスコンソール側のデフォルトゲートウェイを設定します。

   1. VMware vShpere Client を起動します。

   2. [ホーム] → [インベントリ] → [インベントリ] から、[構成] タブをクリックします。

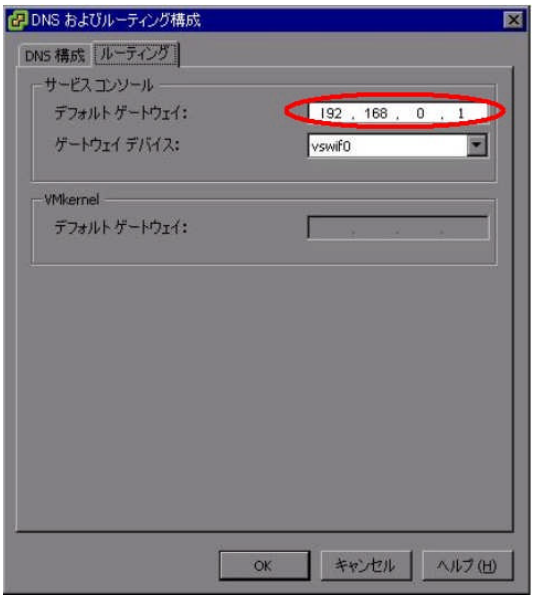
   3. 左下にある [ソフトウェア] 内の [DNS およびルーティング] をクリックします。

   4. [DNS およびルーティング] 情報が表示された画面の右上にある [プロパティ] をクリックします。



VMware vSphere Client

5. [ルーティング] タブをクリックし、[サービスコンソール] の [デフォルトゲートウェイ] を設定し、[OK] ボタンをクリックします。



[DNS およびルーティング構成] ダイアログボックス

注意

VMware vSphere Client について詳しくは、VMware のマニュアルを参照してください。

2.3.7 VMware SVmco 保守情報取得

SVmco に関するトラブルが発生した場合、SVmco 調査資料収集コマンド (getosvmco) を実行し、さらに vm-support コマンドを実行します。

1. getosvmco コマンド

```
# /opt/fujitsu/SVmco/sh/getosvmco <ファイル名>
```

2. vm-support コマンド

<実施例>

```
# vm-support
```

備考

VMware ではコアファイルは /var/core 配下に出力され、自動では削除されません。
vm-support コマンド実行後、適宜コアファイルを削除することをお勧めします。

2.3.8 VMware SVmco 留意事項

VMware での SVmco に関する留意事項は、以下のとおりです。

- SVmco は Console OS 上でのみ動作可能で、Console OS 上のデバイスの異常通知を行います。ゲスト OS 上では動作できないため、ゲスト OS にはインストールしないでください。
- OS 起動時に、SVmco の起動に時間がかかる (5 分以上) 場合があります。

3　SVmco の CLI

本章では、CLI (Command Line Interface) を使って SVmco を操作する場合のコマンドについて説明します。

CLI は OS にログインして使用します。

ユーザー権限により使用できないコマンドもあります。「3.1　CLI コマンド一覧」を参照してください。

3.1　CLI コマンド一覧

SVmco の CLI コマンドの一覧を示します。

コマンド一覧

No	コマンド名	権限	備考	コマンド		
				Linux	Windows	VMware
1	ディスク操作コマンド	root (Linux) 権限または Admin (Windows) 権限が必要 (*3)	HDD の操作	あり	あり (*1)	なし
2	SVmco 調査資料収集コマンド	root (Linux) 権限または Admin (Windows) 権限が必要 (*3)	SVmco 調査資料の収集	あり	あり	あり
3	SNMP セキュリティ設定コマンド	root (Linux) 権限または Admin	SNMP パケットを受け付けるホストの設定	なし	あり	なし

No	コマンド名	権限	備考	コマンド		
				Linux	Windows	VMware
		(Windows) 権限が必要 (*3)				
4	PCI カード操作コマンド	Admin (Windows) 権限が必要 (*3)	PCI ホットプラグを行う	なし	あり	なし
5	管理 LAN 用インターフェース向けファイアーウォール設定コマンド	root (Linux) 権限	PRIMECLUSTER/PRIMESOFT 連携を行うさいに、管理 LAN 用インターフェースに対するファイアーウォール設定をサポートするコマンド	あり	なし	なし
6	PSA-MMB 通信 LAN 設定コマンド	Admin (Windows) 権限が必要 (*3)	PSA-MMB 通信 LAN のネットワーク設定	なし	あり	なし

1： Linux と Windows でサポートするオプションが異なります。

*2：起動：[コントロールパネル] - [管理ツール] - [サービス]の順にクリックし、「PRIMEQUEST Environment Control Service」を起動します。「ServerView Mission Critical Option」と「PRIMEQUEST PEMCommand Service」が順次起動されます。

停止：[コントロールパネル] - [管理ツール] - [サービス]の順にクリックし、「PRIMEQUEST Environment Control Service」、「ServerView Mission Critical Option」、「PRIMEQUEST PEM Command Service」を選択して停止します。

*3：Windows の場合、OS 機能 (アクセス制御機能) により、Admin 権限以外で実行すると終了ステータスが不定になります。

3.2 ディスク操作コマンド (diskctrl)

diskctrl コマンドは、指定されたオプションに従って、HDD の一覧表示、HDD のディスク回転停止、HDD 搭載位置を示すロケーション LED を点灯／消灯します。

備考

- 本コマンドは、Linux と Windows でサポートするオプションが異なります。
- 本コマンドの実行には、root (Linux) 権限または Admin (Windows) 権限が必要です。Windows の場合、OS 機能 (アクセス制御機能) により、Admin 権限以外で実行すると終了ステータスが不定になります。
- 予防交換などにより HDD の電源を切断する場合、以下の操作をする必要があります。
  - GDS でミラーリングをしている場合は、先に切り離してください。
  - GDS でミラーリングをしていない場合は、アンマウントしてください。

注意

- 本コマンドの操作手順について詳しくは「4. ハードディスクの活性交換」を参照してください。
- RAID 装置は操作対象外です。
- VMware ではハードディスクの活性交換をサポートしていません。
- 本コマンドでハードディスクを交換する場合、ディスク実装操作のとき、以下のメッセージが表示されることがあります。このメッセージが表示されても、動作上の問題はありません。

```
kernel: mptscsih: ioc0: >>  Attempting bus reset! ¥
(sc=e000004082adc480)
```

```
kernel: mptbase: ioc0: IOCStatus(0x0048):  SCSI ¥
Task Terminated
```

¥：改行しないことを表す。

- ハードディスクを挿入後、誤って挿入したためにディスクを回転停止させる場合は、ディスク挿入後 60 秒程度の時間を空けてからディスクの回転停止操作をしてください。ディスク挿入操作により OS の HotPlug 処理が動作するため、挿入後すぐにディスクの停止操作をすると、以下のようなエラーメッセージが表示される場合があります。

```
kernel: Device sdb not ready.
kernel: end_request: I/O error, dev sdb,  sector 204706
kernel: Buffer I/O error on device sdb1,  logical block 6396
```

- ディスク操作コマンドを同時に複数実行すると、異常終了する場合があります。実行中のディスク操作コマンドがないことを確認してから実行してください。

(1) 入力形式

- Linux の場合

```
/opt/fujitsu/SVmco/bin/diskctrl {-l|-e|-i|-o|-c} {Devicename| iocx/slotno}
```

- Windows の場合

```
diskctrl {-l|-i|-o} {diskno| ¥¥device¥scsiportno¥slotno}
```

(2) オプション

{-l|-e|-i|-o|-c}

- l:状態表示
  OS で認識されている HDD の一覧を画面に表示する。

- e:ディスク回転停止指示

  [Devicename]で指定された HDD、または [iocx/slotno]で指定されたディスクの回転を停止し、Fault LED を点灯する。

- i:ロケーション表示

  [Devicename]で指定された HDD、または [iocx/slotno]で指定された SGPIO コントローラーのスロット位置の Fault LED を点滅する。

- o:ロケーション消灯

  [Devicename]で指定された HDD、または [iocx/slotno]で指定された SGPIO コントローラーのスロット位置の Fault LED を消灯する。

- c:Fault LED 消灯指示

  [iocx/slotno]で指定された SGPIO コントローラーのスロット位置の Fault LED を消灯する。

備考

- Linux の指定方法

  操作する HDD を論理装置名または SGPIO コントローラーのスロット番号で指定します。また、論理装置名を指定する場合は、状態表示(-l)で OS 上に存在するかを確認してください。

  - Devicename:OS の論理装置名を指定する。

    例. /dev/sda

  - iocx/slotno: SGPIO コントローラーの IOC 番号、およびディスクのスロット番号を指定する。
    例. ioc0 のスロット 1 の場合、ioc0/1

- Windows の指定方法

  操作する HDD を論理装置名または SGPIO コントローラーのスロット番号で指定します。また、指定する前に、状態表示(-l)で対象のデバイスが存在するかを確認してください。

  - diskno：ディスク番号を指定する。(ディスクアドミニストレーターで表示されるディスク番号)

    例：Disk0 の場合、0

  - ¥¥device¥scsiportno¥slotno: SGPIO コントローラーの SCSI 番号、およびディスクのスロット番号を指定する。

    例：SCSI 番号 1 のスロット 2 の場合、¥¥device¥scsiport1¥2

(3) 使用例

- Linux の場合

  OS に存在するすべての SGPIO コントローラーとそのスロットの状態一覧を表示する場合の例を、以下に示します。

```
# /opt/fujitsu/SVmco/bin/diskctrl -l
```

SGPIO コントローラーとスロットの状態 (Linux)

表示例	状態説明
ioc0 0 /dev/sda Fault LED-Off 1 /dev/sdb Fault LED-Off 2 --mount Fault LED-Off 3 --mount Fault LED-On	 ←正常動作中 ←回転停止
ioc1 0 /dev/sdd Fault LED-Identify 1 none 2 none 3 none	 ←ロケーション表示中 ←空きスロット

- **備考**

ioc の下に表示される数字は、スロット番号です。

o HDD の交換、取外しのためにディスクの回転を停止する

```
# /opt/fujitsu/SVmco/bin/diskctrl -e ioc0/3
```

- HDD を増設するために搭載位置を確認する

```
# /opt/fujitsu/SVmco/bin/diskctrl -i ioc0/3
```

- HDD の交換/増設のために点滅させていたロケーション表示の Fault LED を消灯する

```
# /opt/fujitsu/SVmco/bin/diskctrl -o ioc0/3
```

- ディスク回転停止操作後、Fault LED を消灯する

```
# /opt/fujitsu/SVmco/bin/diskctrl -c ioc0/3
```

- Windows の場合

OS に存在するすべての SGPIO コントローラーとそのスロットの状態一覧を表示する場合の例を、以下に示します。

```
diskctrl -l
```

SGPIO コントローラーとスロットの状態 (Windows)

表示例	状態説明
\¥device¥scsiport0	
0 Disk0 Fault LED-Off	←正常動作中
1 Disk1 Fault LED-Identify	←ロケーション表示中
2 none	←空きスロット
3 --mount Fault LED-On	←回転停止

備考

¥¥device¥scsiportx の下に表示される数字は、スロット番号です。

o HDD の搭載位置を確認する

```
diskctrl -i 1
```

o 点滅させていたロケーション表示の Fault LED を消灯する

```
diskctrl -o 1
```

(4) 出力メッセージ一覧

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。

- Linux の場合

SVmco : W 02152 diskctrl no memory available
SVmco : W 02158 diskctrl Cannot blinking location-LED
SVmco : W 02159 diskctrl Cannot clear loation-LED
SVmco : W 02165 diskctrl Operation not permitted
SVmco : W 02167 diskctrl Invalid option

- Windows の場合

SVmco : W 02152 diskctrl no memory available
SVmco : W 02158 diskctrl Cannot blinking location-LED
SVmco : W 02159 diskctrl Cannot clear location-LED

SVmco : W 02165 diskctrl Operation not permitted
SVmco : W 02167 diskctrl Invalid option
SVmco : W 02169 diskctrl too few or more option
SVmco : W 02170 diskctrl Cannot stop HDD
SVmco : W 02171 diskctrl Cannot get device information(SCSI)
SVmco : W 02172 diskctrl Cannot get device information(Registry)
SVmco : W 02173 diskctrl Cannot get device
SVmco : W 02174 diskctrl Device not found
SVmco : W 02181 diskctrl Cannot get device information(Snmp)
SVmco : W 02182 diskctrl Cannot get device information(WMI)
Svmco : W 02187 diskctrl internal error
SVmco : W 02189 diskctrl Target Device is not connected

(5) 出力メッセージ詳細

この CLI で表示されるメッセージに関して詳細を、以下に示します。

- Linux の場合

  SVmco : W 02152 diskctrl no memory available

  意味:

  メモリ不足が発生しました

  対処:

システムのメモリの空き状況を確認し、不要なプログラムを終了してから再度実行してください。

SVmco : W 02158 diskctrl Cannot blinking location-LED

意味:

LED の点滅処理に失敗しました。

対処:

ハードウェア環境の確認を行い、再度コマンドを実行してください。

再度実行しても異常が解消されない場合は、必要な保守情報を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

SVmco : W 02159 diskctrl Cannot clear loation-LED

意味:

LED の消灯処理に失敗しました。

対処:

ハードウェア環境の確認を行い、再度コマンドを実行してください。

再度実行しても異常が解消されない場合は、必要な保守情報を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

SVmco : W 02165 diskctrl Operation not permitted

意味:

実行権限がありません。

対処:

スーパーユーザーでログインして、実行してください。

SVmco : W 02167 diskctrl Invalid option

意味:

無効なオプションが指定されました。

対処:

オプションまたはディスクの内容が正しく入力されているかを確認し、再度実行してください。

- Windows の場合

SVmco : W 02152 diskctrl no memory available

意味:

メモリ不足が発生しました。

対処:

システムのメモリの空き状況を確認し、不要なプログラムを終了してから再度実行してください。

SVmco : W 02158 diskctrl Cannot blinking location-LED

意味:

LED の点滅処理に失敗しました。

対処:

ハードウェア環境の確認を行い、再度コマンドを実行してください。

再度実行しても異常が解消されない場合は、必要な保守情報を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

SVmco : W 02159 diskctrl Cannot clear location-LED

意味:

LED の消灯処理に失敗しました。

対処:

ハードウェア環境の確認を行い、再度コマンドを実行してください。

再度実行しても異常が解消されない場合は、必要な保守情報を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

SVmco : W 02165 diskctrl Operation not permitted

意味:

実行権限がありません。

対処:

Administrator 権限のある ID でログインして、実行してください。

SVmco : W 02167 diskctrl Invalid option

意味:

無効なオプションが指定されました。

対処:

オプションまたはディスクの指定内容が正しく入力されているかを確認し、再度実行してください。

SVmco : W 02169 diskctrl too few or more option

意味:

コマンドオプション数に誤りがあります。

対処:

指定したオプションを確認し、正しいオプションを指定して再度実行してください。

SVmco : W 02170 diskctrl Cannot stop HDD

意味:

HDD の回転を停止できませんでした。

対処:

ハードウェア環境の確認を行い、再度コマンドを実行してください。

再度実行しても異常が解消されない場合は、必要な保守情報を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

SVmco : W 02171 diskctrl Cannot get device information(SCSI)

意味:

SCSI から装置情報が取得できませんでした。

対処:

ハードウェア環境の確認を行い、再度コマンドを実行してください。原因として次のことが考えられます。

- RAID のみでディスクが構成されている (RAID 配下のディスクは diskctrl 操作対象外です) 。

SVmco : W 02172 diskctrl Cannot get device information(Registry)

意味:

Registry から装置情報が取得できませんでした。

対処:

ハードウェア環境の確認を行い、再度コマンドを実行してください。

再度実行しても異常が解消されない場合は、必要な保守情報を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

SVmco :W 02173 diskctrl Cannot get device

意味:

装置の獲得 (open) に失敗した。

対処:

ハードウェア環境の確認を行い、再度コマンドを実行してください。

再度実行しても異常が解消されない場合は、必要な保守情報を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

SVmco : W 02174 diskctrl Device not found

意味:

指定された装置が存在しません。

対処:

装置の存在の有無を確認し、再度コマンドを実行してください。

SVmco : W 02181 diskctrl Cannot get device information(Snmp)

意味:

snmp から装置情報が取得できません。

対処:

ハードウェア環境の確認を行い、再度コマンドを実行してください。

再度実行しても異常が解消されない場合は、必要な保守情報を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

SVmco : W 02182 diskctrl Cannot get device information(WMI)

意味:

WMI から装置情報が取得できません。

対処:

ハードウェア環境の確認を行い、再度コマンドを実行してください。

再度実行しても異常が解消されない場合は、必要な保守情報を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

SVmco : W 02187 diskctrl internal error

意味:

内部エラーが発生しました。

対処:

本コマンドまたは、システム障害の可能性があります。

必要な保守情報を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

SVmco : W 02189 diskctrl Target Device is not connected

意味:

装置が接続されていません。

対処:

snmpd または SVmco が停止している可能性があります。

snmp または SVmco が停止している場合は、起動してから再度コマンドを実行してください。

3.3 SVmco 起動／停止コマンド (y30SVmco)

y30SVmco コマンドは、SVmco の起動または停止をします。

備考

- 本コマンドは、Linux のみ使用可能です。
- 本コマンドの実行には root 権限が必要です。
- SVmco はデーモンプログラムであるため、通常はブート時に自動起動されています。

(1) 入力形式

```
/sbin/service y30SVmco {start | stop | status}
```

(2) オプション

start | stop | status

- start：SVmco を起動する。
- stop：SVmco を停止する。
- status：SVmco の起動状態を確認する。

(3) 使用例

a. SVmco を起動する場合の例

```
# /sbin/service y30SVmco start
```

b. SVmco を停止する場合の例

```
# /sbin/service y30SVmco stop
```

c. SVmco の起動状態を確認する場合の例

```
# /sbin/service y30SVmco status
```

SVmco がすでに起動している場合、以下のメッセージが出力されます。

```
SVmco is already running
```

SVmco が停止している場合、以下のメッセージが出力されます。

```
SVmco is stopped(xxxx)
```

備考

(xxxx) には詳細情報が入ります。

(4) 終了ステータス

0:正常終了

>0:異常終了

(5) 注意事項

y30SVmco コマンドによって SVmco を起動したときに、以下のメッセージが表示されることがあります。このメッセージが表示されても、動作上問題はありません。

```
/bin/mknod: `/dev/watchdog': ファイルが存在します。
```

3.4 SVmco 調査資料収集コマンド (getosvmco)

getosvmco コマンドは、SVmco の障害発生時の調査資料として、以下の情報を一括して 1 つの圧縮ファイルにまとめて出力します。

- アプリケーションパッケージのインストール状況
- ファイル／モジュール一覧情報
- 設定ファイル
- 内部ログ

- トレースファイルなど

備考

本コマンドの実行には、root (Linux) 権限または Admin (Windows) 権限が必要です。Windows の場合、OS 機能 (アクセス制御機能) により、Admin 権限以外で実行すると終了ステータスが不定になります。

(1) 入力形式

output_filename には、圧縮した調査資料の出力先ファイルをフルパスで指定します。

- Linux または VMware の場合

```
/opt/fujitsu/SVmco/sh/getosvmco {output_filename}
```

- Windows の場合

```
getosvmco output_filename
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

- Linux の場合

調査資料が、/tmp/dump/mco_dump のパスのファイルに出力されます。

```
# /opt/fujitsu/SVmco/sh/getosvmco  /tmp/dump/mco_dump
```

- Windows の場合

  調査資料が、C:¥temp¥dump¥mco_dump のパスのファイルに出力されます。

```
> getosvmco C:¥temp¥dump¥mco_dump
```

(4) 終了ステータス

0:正常終了

>0:異常終了

3.5 SNMP セキュリティ設定コマンド (setsnmpsec)

setsnmpsec コマンドは、SNMP サービスのセキュリティ設定 (SNMP パケットを受け付けるホストの設定) をします。SNMP サービスのセキュリティ設定が「すべてのホストから SNMP パケットを受け付ける」の場合には実行する必要はありません。

SNMP サービスのセキュリティ設定を「これらのホストから SNMP パケットを受け付ける」で運用中で、SVmco インストール後に PSA-MMB 間通信 LAN の MMB の IP アドレスを変更した場合、SNMP サービスのセキュリティ設定を「すべてのホストから SNMP パケットを受け付ける」から「これらのホストから SNMP パケットを受け付ける」に変更した場合に実行します。

備考

- 本コマンドは、Windows のみ使用可能です。
- 本コマンドの実行には、Admin 権限が必要です。OS 機能 (アクセス制御機能) により、Admin 権限以外で実行すると終了ステータスが不定になります。

(1) 入力形式

```
setsnmpsec
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
> setsnmpsec
```

(4) 出力メッセージ

- 正常終了時:

  SVmco : I 04200 Security setting for SNMP Service was completed.

- 異常終了時:

  SVmco : E 04201 An error occurred at the time of security setting for SNMP Service.

(5) 注意事項

本コマンドを実行した場合、SNMP Service の再起動が必要です。

3.6 PCI カード操作コマンド(fjpciswap)

fjpciswap コマンドは、PCI カードの物理位置情報（UnitName：識別名）の表示、DeviceName の表示を行います。これにより、交換を行いたい PCI カードの情報を確認できます。

注意

- 二重化ソフトなどを使用している場合は、そのソフトからの切り離しを行った上で本コマンドを使用してください。切り離しを行わない場合、OS が停止する可能性があります。

- コマンドを途中で停止しないでください。以下の現象が発生する可能性があります。

fjpciswap コマンド中断時の現象

現象	対処
OS 上の資源が解放されずに残ってしまい、システム負荷が上がる	OS のリブートを行う

- SAN ブート接続用の FC カードは、このコマンドの対象外です。

- カードの先に存在するディスク上に Pagefile や Dump の出力先がある FC カードは、このコマンドの対象外です。

- 交換対象の PCI カードに、接続されているデバイスがある場合は、PCI カードを交換できません。

備考

- 本コマンドは Windows Server 2008 のみ使用可能です。

- 本コマンドの実行には、Admin 権限が必要です。OS 機能 (アクセス制御機能) により、Admin 権限以外で実行すると終了ステータスが不定になります。

- 本コマンドを実行するには SVagent,SVmco、SNMP サービスが正常に動作していることが条件となります。

- **システム上で使用している PCI カードを交換する場合は、システム上での使用を停止し、デバイスマネージャー上で無効化した上で本コマンドを使用してください。**

  デバイスマネージャー上での無効化の方法は、以下のとおりです。

  1. デバイスマネージャーを開きます。

  2. 該当のデバイスを右クリックし、無効化を選択します。

(1)入力形式

```
>fjpciswap [-l|-r|-a] [UnitIdetificationName]
```

UnitIdentificationName（識別名スロット位置の指定）

指定する名前は大文字、小文字も区別されます。

例：IOB-PCIC#0、PCI_Box-PCIC#1、IOB#0-PCIC#1、PCI_Box#0-PCIC#1

(2) オプション

[-l|-r|-a]

-l：表示

コマンドで交換可能な PCI カードの一覧を表示します。下記の項目を表示します。

UnitName：

UnitName（識別名）を表示します。[PCI Devices] 画面の[Unit] に相当する情報

Func：

Function 番号

Device Name:

Device Name を表示します。[PCI Devices] 画面の[Device Name] に相当する情報

-r :交換

[UnitIdetificationName]で指定した PCI カードの交換操作を行います。電源オフ操作、交換指示、交換後のデバイスの認識処理がすべて完了した時点でコマンドは終了します。

-a :追加

[UnitIdetificationName]で指定した PCI カードの追加操作を行います。デバイスの追加処理がすべて完了した時点でコマンドは終了します。

(3) 使用例

[表示機能]を使用して一覧表示したときの例を示します。

【例 1】

```
C:¥>fjpciswap -l

Replaceable PCI cards are displayed
UnitName     Func   DeviceName
IOB#1-PCIC#5 FUNC#0 Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter
IOB#1-PCIC#5 FUNC#1 Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter #2

C:¥>
```

[交換機能] を使用して交換可のカードを指定した場合の例を示します。

【例 2】

```
C:¥>fjpciswap -r IOB#1-PCIC#5
Selected card name is
         Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter
         Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter #2

Please delete all settings about this card
Do you want to remove this card?(y/n)
y ←ユーザー入力
```

```
Removing the card....
The card has removed.

Please replace the card, and input "y" key.
```

上記のメッセージが表示されたら、PCI カードの交換作業を行います。

```
Please replace the card, and input "y" key.
y
Adding the card..............
The card has added.



C:¥>
```

(4) 出力メッセージ 一覧

この CLI で表示されるメッセージを、以下に示します。

SVmco : E 08740 this command can not execute doubly :%s
SVmco : E 08741 this command needs Administrators privilege :%s
SVmco : E 08742 invalid option :%s
SVmco : E 08743 option num is invalid :%s
SVmco : E 08744 no unit id :%s
SVmco : E 08745 internal error :%s
SVmco : E 08746 can not make event file :%s
SVmco : E 08748 no resource :%s
SVmco : E 08751 command timeout(WMI) :%s
SVmco : E 08752 configuration file error :%s
SVmco : E 08753 This card cannot be removed :%s
SVmco : E 08754 can not get snmp information :%s
SVmco : E 08755 no card :%s
SVmco : E 08756 internal error(ipmi) :%s
SVmco : E 08757 this command can not execute during refresh :%s
SVmco : E 08758 this unit is occupied :%s
SVmco : E 08759 command timeout(SNMP) :%s

(5) 出力メッセージ 詳細

この CLI で表示されるメッセージの詳細について、以下に示します。

SVmco : E 08740 this command can not execute doubly :%s

意味：

本コマンドは二重起動できません。

対処：

他で本コマンドが実行されていないか確認してください。本コマンドは二重起動できないので、コマンドが終了してから再度実行してください。

SVmco : E 08741 this command needs Administrators privilege :%s

意味：

本コマンドの実行には Admin 権限が必要です。

対処：

Admin 権限のコンソールで実行してください。

SVmco : E 08742 invalid option :%s

意味：

不正なオプションが指定されました。

対処：

正しいオプションを指定して実行してください。指定するオプションは、大文字、小文字も区別されます。

PCI カード操作コマンド (fjpciswap) のオプションについては詳しくは、「3.6 PCI カード操作コマンド (fjpciswap)」を参照してください。

SVmco : E 08743 option num is invalid :%s

意味：

オプションの数が異常です。

対処：

正しいオプションを指定して実行してください。

PCI カード操作コマンド (fjpciswap) のオプションについて詳しくは、「3.6 PCI カード操作コマンド (fjpciswap)」を参照してください。

SVmco : E 08744 no unit id :%s

意味：

パーティションに存在しないユニット名を指定しています。

対処：

パーティションに存在するユニット名を指定してください。

SVmco : E 08745 internal error :%s

意味：

内部エラーが発生しました。

対処：

PCI カード状態のリカバリーを実行します。PCI カード状態のリカバリーについては詳しくは、「■　PCI カード状態のリカバリー」を参照してください。

再度実行して同様のメッセージが表示される場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

SVmco : E 08746 can not make event file :%s

意味：

イベント通知用ファイルの作成に失敗しました。

対処：

ディスク容量を確保します。

再度実行して同様のメッセージが表示される場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

SVmco : E 08748 no resource :%s

意味：

メモリなど資源の獲得に失敗しました。

対処：

OS の資源が十分にあるか確認してください。OS の資源に問題がない場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

SVmco : E 08751 command timeout(WMI) :%s

意味：

WMI の原因によるコマンドのタイムアウトが発生しました。

対処：

1. "Windows Management Instrumentation"(WMI)サービスの動作を確認します。起動されていない場合は起動します。

2. PCI カード状態のリカバリーを実行します。

   PCI カード状態のリカバリーについては詳しくは、「■　PCI カード状態のリカバリー」を参照してください。

3. PCI カードの状態が想定どおりにならない場合には修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

SVmco : E 08752 configuration file error :%s

意味：

設定ファイルの異常が発生しました。

対処：

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

SVmco : E 08753 This card cannot be removed :%s

意味：

交換をサポートしていないカードを交換対象として選択しました。

対処：

交換をサポートしているカードを交換対象として選択してください。

SVmco : E 08754 can not get snmp information :%s

意味：

ユニット ID が SNMP から取得できません。

対処：

1. SNMP Service の動作を確認します。起動されていない場合は起動します。

2. 再度実行して同様のメッセージが表示される場合は、SVmco の再起動を行ってください。SVmco の起動方法は、「3.1 CLI コマンド一覧」の*2 を参照してください。

3. 再度実行して同様のメッセージが表示される場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

SVmco : E 08755 no card :%s

意味：

指定したスロットにカードが挿入されていません。

対処：

カードを挿入したスロット位置を確認してから、追加操作をしてください。

SVmco : E 08756 internal error(ipmi) :%s

意味：

内部エラーが発生しました。

対処：

PCI カード状態のリカバリーを実行します。PCI カード状態のリカバリーについては詳しくは、「■ PCI カード状態のリカバリー」を参照してください。

再度実行して同様のメッセージが表示される場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

SVmco : E 08757 this command can not execute during refresh :%s

意味：

SVmco 情報更新中のため、カードの更新ができません。

対処：

OS 起動から 30 分経過していない場合、30 分経過してから再度実行してください。

OS 起動から 30 分以上経過している場合は、1 分以上待ってから再度実行してください。

SVmco : E 08758 this unit is occupied :%s

意味：

すでにカードが実装されているスロットに追加しようとしました。

対処：

カードを追加したスロット位置を確認してから追加操作をしてください。

SVmco : E 08759 command timeout(SNMP) :%s

意味：

SVmco もしくは SNMP が原因のコマンドタイムアウトが発生しました。

対処：

SVmco および SNMP Service の動作を確認し、起動されていない場合は起動してください。

再度実行して同様のメッセージが表示される場合は、PCI カード状態のリカバリーを実行します。PCI カード状態のリカバリーについては詳しくは、「■ PCI カード状態のリカバリー」を参照してください。

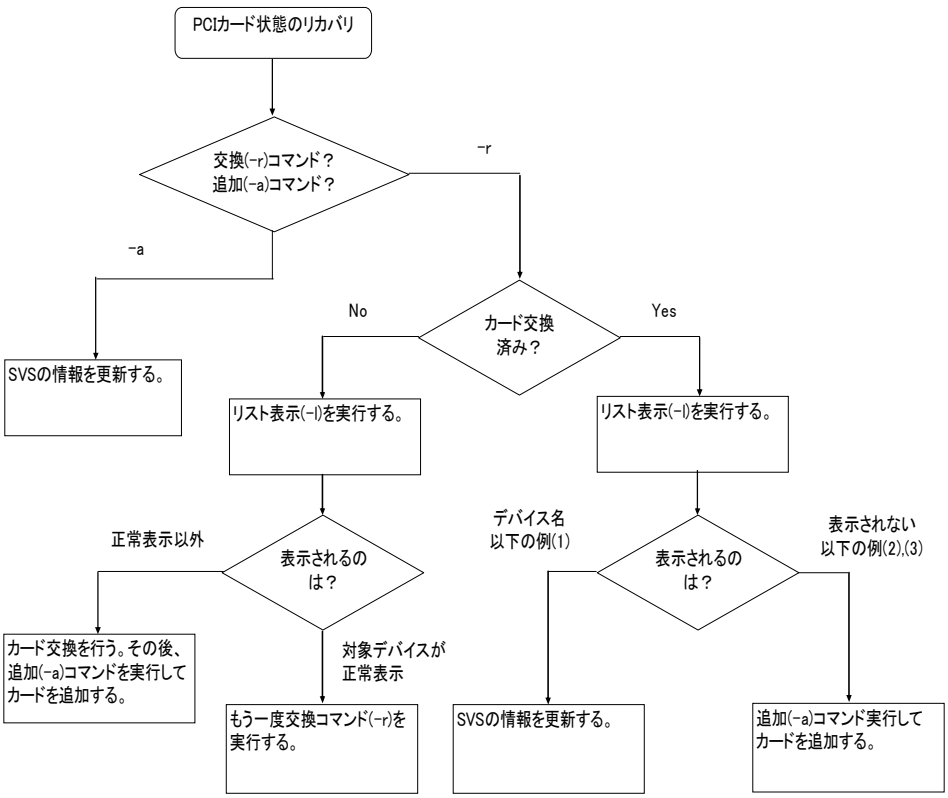
再度実行して同様のメッセージが表示される場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

■ PCI カード状態のリカバリー

エラーメッセージにより PCI Hot Plug 手順の途中でコマンドが終了した場合や、PCI カード交換後に正常な状態にならない場合に、以下の手順を実行します。

注意

この手順はエラーメッセージの対処実行後に行ってください。ただし、対処実行できない場合でもリカバリーは可能です。この手順で復旧できない場合は、当社保守員へ連絡してください。



PCI カード状態のリカバリー

(1) リスト表示で識別名が表示されない場合の例

```
C:¥>fjpciswap -l


Replaceable PCI cards are displayed

UnitName Func DeviceName

- - Emulex LightPulse LPe1250-F8, PCI Slot 4, Storport

Miniport Driver

- - Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter #1

- - Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter #2

- - Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter #3

- - Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter #4


C:¥>
```

(2) リスト表示で PCI カードの情報がまったく表示されない場合の例

ただし、操作対象の PCI カードのみが表示されない場合もあります。また、PCI カードが交換されていない場合にはカード交換後、追加コマンドを実行してください。

```
C:¥>fjpciswap -l
```

```
Replaceable PCI cards are displayed

Unit Name            Func      Device Name

there are no removable pci card


C:¥>
```

(3) リスト表示で該当の PCI カード（IOB#1-PCIC#4-FUNC#0）の情報が表示されない場合の例

```
C:¥>fjpciswap -l


Replaceable PCI cards are displayed

UnitName         Func     DeviceName

IOB#1-PCIC#5   FUNC#0   Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter #1

IOB#1-PCIC#5   FUNC#1   Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter #2

IOB#1-PCIC#7   FUNC#0   Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter #3

IOB#1-PCIC#7   FUNC#1   Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter #4


C:¥>
```

3.7 管理 LAN 用インターフェース向けファイアーウォール設定コマンド (setmlanfw.sh)

setmlanfw.sh コマンドは、管理 LAN 用インターフェースに対しファイアーウォールが設定され、かつ管理 LAN ネットワークを通じて PRIMECLUSTER と連携を行う場合に、必要なポートの開放をサポートするツールです。

このコマンドにより、指定した IP アドレスに対して以下のポートを開放します。

- snmptrap ポート：udp/162
- rmcp+ポート：udp/7000～7100

注意

管理 LAN 用インターフェースの IP アドレスが変更されるなど、ファイアーウォール設定の変更が必要となった場合は、削除手順に従っていったん設定を削除した上で再度設定手順を実行してください。

備考

- 本コマンドは Linux のみ使用可能です。
- 本コマンドの実行には root 権限が必要です。
- 本コマンドの実行は、以下の手順どおりに行ってください。

(1) 入力形式

config_file で、ポートを開放する相手先 IP アドレスを記載した設定ファイルを指定します。

```
/opt/fujitsu/SVmco/sh/setmlanfw.sh {config_file}
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

config_file で、ポートを開放する相手先 IP アドレスを/tmp/config.txt に記載しておきます。

```
# /opt/fujitsu/SVmco/shsetmlanfw.sh /tmp/config.txt
```

(4) 出力メッセージ 一覧

この CLI で表示されるメッセージを以下に示します。

Too few or more argument
Cannot read the file : %s
No IP setting or illegal IP format in /etc/fujitsu/SVmco/usr/ipsetup.conf
No IP setting in %s
Already set iptables
The setting was completed

備考

上記のほか、設定の内容を確認するメッセージも表示されます。

(4) 出力メッセージ 詳細

この CLI で表示されるメッセージの詳細を以下に示します。

Too few or more argument

意味:

オプションの数が不正です。

対処:

実行には設定ファイルの指定が必要です。設定ファイルを指定したうえで再度実行してください。

Cannot read the file : %s

意味:

実行に必要なファイルが見つかりません。

対処:

メッセージに表示されているファイルが見つかりません。ファイルの存在を確認したうえで再度実行してください。

No IP setting or illegal IP format in /etc/fujitsu/SVmco/usr/ipsetup.conf

意味:

SVmco 動作ファイル"/etc/fujitsu/SVmco/usr/ipsetup.conf" に管理 LAN の IP アドレスが設定されていません。または IP アドレスのフォーマットが不正です。

対処:

「2.1.5 管理 LAN IP アドレスの設定」を参照し、管理 LAN の IP アドレスを設定したうえで、再度実行してください。

No IP setting in %s

意味:

メッセージに表示されているファイルに設定が見つかりません。

対処:

・%s:/etc/fujitsu/SVmco/usr/ipsetup.conf の場合

「2.1.5 管理 LAN IP アドレスの設定」を参照し、管理 LAN の IP アドレスを設定したうえで、再度実行してください。

・%s:上記以外

メッセージに表示されているファイルに IP アドレスを設定したうえで、再度実行してください。

Already set iptables

意味:

すでに設定が行われています。

対処:

iptables -L -n を確認し、設定に問題がない場合は対処は不要です。

設定内容に変更・不備がある場合、いったん設定を削除したうえで再度実行してください。

The setting was completed

意味:

設定が完了しました。

対処:

不要です。

(5) 終了ステータス

0 : 正常終了

>0: 異常終了

(6) 設定手順

本コマンドを実行する場合、事前に管理 LAN インターフェースの設定が必要です。

1. SVmco の動作設定ファイル(/etc/fujitsu/SVmco/usr/ipsetup.conf)に、管理 LAN 用インターフェースの IP アドレスを設定します。

   管理 LAN 用インターフェースの IP アドレスの設定について詳しくは、「2.1.5 管理 LAN IP アドレスの設定」を参照してください。

   [設定例] /etc/fujitsu/SVmco/usr/ipsetup.conf

```
[NETWORK]
ManagementIP=192.168.0.1
```

2. ポートを開放する相手先 IP アドレスを記載した設定ファイルを準備します。

設定ファイルには以下のように "[PCL]" とだけ記載した行に続き、
PRIMECLUSTER で定義された全クラスタノードに属する MMB の物理 IP
(MMB Physical IP Address <MMB#0/MMB#1>)または上記 MMB の物理 IP
を含むネットワーク IP を、1 行 1 項目単位で記載してください。

【設定例】/tmp/config.txt

```
[PCL]
192.168.0.0/24
192.168.1.5
```

備考

設定ファイルのサンプルは以下に配置してあります。

/opt/fujitsu/SVmco/sh/sample_conf_setmlanfw.txt

3. setmlanfw.sh に手順 2 で準備した設定ファイルを付与して実行します。

実行すると、手順 1 および手順 2 で設定した内容について確認を求めるメッセージが出力されます。設定内容がなければ ″Y″、再設定したい場合は ″N″ と入力し、処理を進めてください。

[実行例] 手順 2 で準備した設定ファイルを指定します。

```
# /opt/fujitsu/SVmco/sh/setmlanfw.sh /tmp/config.txt
Management LAN IP address:
192.168.0.1


Source IPs for PRIMECLUSTER Service:
```

```
192.168.0.0/24
192.168.1.5

Press "Y" to confirm above settings, "N" to cancel all settings
> Y
The setting was completed
```

4. iptables -L -n コマンドにより設定チェーン "MMLAN" が存在することを確認します。

本コマンドを実行すると、設定チェーン "MMLAN"が作成され、INPUT チェーン、OUTPUT チェーンから参照されます。

[実行例]

```
# iptables -L -n
Chain INPUT (policy DROP)
target  prot opt source     destination
MMLAN   all  -- 0.0.0.0/0    0.0.0.0/0

Chain FORWARD (policy DROP)
target   prot opt source    destination

Chain OUTPUT (policy DROP)
target   prot opt source    destination
MMLAN   all -- 0.0.0.0/0   0.0.0.0/0

Chain MMLAN (2 references)
target  prot opt source     destination
```

```
ACCEPT  udp  -- 192.168.0.0/24  192.168.0.1   udp dpts:7000:7100
ACCEPT  udp  -- 192.168.0.1   192.168.0.0/24 udp spts:7000:7100
ACCEPT  udp  -- 192.168.0.0/24 192.168.0.1   udp dpt:162
ACCEPT  udp  -- 192.168.0.1   192.168.0.0/24 udp spt:162
ACCEPT  udp  -- 192.168.1.5   192.168.0.1   udp dpts:7000:7100
ACCEPT  udp  -- 192.168.0.1   192.168.1.5   udp spts:7000:7100
ACCEPT  udp  -- 192.168.1.5   192.168.0.1   udp dpt:162
ACCEPT  udp  -- 192.168.0.1   192.168.1.5   udp spt:162
```

(7) 設定削除手順

管理 LAN 用インターフェースの IP アドレスが変更となるなど、ファイアーウォール設定の変更が必要となった場合は、設定をいったん削除する必要があります。

削除した後、再度設定してください。

1. iptables -L -n を実行し、設定チェーン "MMLAN"が存在することを確認します。存在しない場合は、以下の手順は不要です。

2. INPUT/OUTPUT チェーンから MMLAN への参照を削除します。

   [実行例]

```
# iptables -D INPUT -j MMLAN
# iptables -D OUTPUT -j MMLAN
```

3. 設定チェーン"MMLAN"内の設定を削除します。

   [実行例]

```
# iptables -F MMLAN
```

4. 設定チェーン "MMLAN" を削除します。

[実行例]

```
# iptables -X MMLAN
```

3.8 PSA-MMB 通信 LAN 設定コマンド (setpsalan)

setpsalan コマンドは、PSA-MMB 通信 LAN のネットワーク設定を行います。

SVmco のインストール後、本コマンドの実行が必要です。OS を再起動してから本コマンドを実行してください。

本コマンドを実行すると、以下のとおりに PSA-MMB 通信 LAN のネットワークが設定されます。

- IP アドレス

  172.30.0.<パーティション ID + 2>/24

  例) パーティション ID が 2 の場合

  172.30.0.4/24

- 通信設定

  Auto Negotiation：off

  Speed：100Mbps

  Duplex：full

備考

- 本コマンドは、Windows のみ使用可能です。
- 本コマンドの実行には、Admin 権限が必要です。OS 機能 (アクセス制御機能) により、Admin 権限以外で実行すると終了ステータスが不定になります。

(1) 入力形式

```
setpsalan
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
> setpsalan
```

(4) 終了ステータス

0:正常終了

>0:異常終了

(5) 注意事項

SVmco インストール後、OS を再起動してから本コマンドを実行してください。

4　ハードディスクの活性交換

本章では、ハードディスクの活性交換について説明します。この操作は Red Hat でのみサポートされています。

4.1　ハードディスクの活性交換の概要

SVmco には、パーティション上のハードディスクの活性交換を支援する機能があります。システム保守契約を結んでいる場合は、ハードディスクは当社技術員が交換します。

SVmco は、ハードウェアの故障検出時、ディスク交換時、およびディスク増設時などに、ディスク LED 制御およびディスクの状態表示をするための機能を提供しています。

注意

- VMware ではハードディスクの活性交換をサポートしていません。
- ハードディスク実装時に、以下のようなメッセージが出力されることがありますが、動作上の問題はありません。

```
kernel: mptscsih: ioc0: >> Attempting bus reset! (sc=e000004082adc480)
kernel: mptbase: ioc0: IOCStatus(0x0048): SCSI Task Terminated
```

- ハードディスクを挿入した後、誤った位置に挿入したなどの理由でディスクの回転を停止させて、正しい位置に挿入しなおす場合、ディスク実装後 60 秒程度の時間をおいてから、ディスクの回転を停止させてください。ディスク実装操作により OS の Hot Plug 処理が動作するため、すぐにディスクの回転を停止させると以下に示すようなエラーが出力される場合があります。

```
kernel: Device sdb not ready.
kernel: end_request: I/O error, dev sdb, sector 204706
kernel: Buffer I/O error on device sdb1, logical block 6396
```

- ディスク操作コマンドを同時に複数実行すると、異常終了する場合があります。実行中のディスク操作コマンドがないことを確認してから実行してください。

- ディスク操作コマンドでは以下の操作が可能です。「3.2 ディスク操作コマンド(diskctrl)」を参照してください。

  - SGPIO、SES コントローラーの一覧、およびそのコントローラーで管理されているハードディスクの一覧表示

  - ハードディスクのロケーション LED 点滅・消灯

- ファイルシステムの構成情報キャッシュファイルの削除(Red Hat Enterprise Linux 5)

  ディスクの活性交換、活性増設、活性削除の後、および静的な交換、増設、削除の前に、以下のコマンドを実施して、ファイルシステム構成のキャッシュファイルを削除してください。

```
# rm /etc/blkid/blkid.tab
```

  Red Hat Enterprise Linux では、fsck コマンドによりファイルシステムを点検するさい、ファイルシステムの構成をキャッシュファイルとして保持している /etc/blkid/blkid.tab ファイルが存在する場合はその情報が使われます。

  ディスクの活性交換、活性増設、または活性削除が行われた場合、システムの状態と/etc/blkid/blkid.tab の内容が一致しません。このため、次回 fsck コマンドを実行した場合に正しく点検されず、ファイルシステムが破壊されることがあります。

  このファイルは、いったん作成されると更新されません。このため、ディスクの活性交換、活性増設、活性削除の後、さらに静的な交換、増設、削除の前は、キャッシュファイルを削除する必要があります。

  キャッシュファイルは必要に応じて再作成されますので、削除しても問題ありません。

- smartd サービスの停止について (Red Hat Enterprise Linux 5)

  ハードディスクの活性保守 (活性交換・活性増設・活性削除) の実施中は、smartd サービスを停止してください。

  smartd サービスは、ハードディスクの自己診断機能 S.M.A.R.T. (Self-Monitoring、Analysis and Reporting Technology System) を使用してハードディスクを監視するサービスです。

  smartd サービスはハードディスクの活性保守に対応していないため、smartd サービスが起動時に取得したハードディスクの情報が、活性保守後のハードディスクの情報と一致しなくなり、以下のメッセージが 30 分毎に出力され続けます。

```
smartd[XXXXX]: Device: /dev/YYY, No such device, open() failed
```

  XXXXX および YYY：環境により出力が異なる部分

  このため、smartd サービスを利用している場合はハードディスクの活性保守前に smartd サービスを停止し、活性保守後に最新のハードディスクの状態で smartd サービスを再開させる必要があります。

  対処方法を以下に示します。

  1. ハードディスクの活性保守前に、smartd サービスを停止します。

     smartd サービスの稼動状況を、以下の操作の出力結果で確認します。

     [例：smartd サービスが稼動している場合の出力結果]

```
# /sbin/service smartd status
smartd (pid XXXXX) is running...
```

     XXXXX：環境により出力が異なる部分

smartd サービスが開始されている場合、以下の操作でサービスを停止します。

```
# /sbin/service smartd stop
```

2. ハードディスクの活性保守を実施し、完了させてください。

3. smartd サービスを開始します。

   手順 1 で稼動中の smartd サービスを停止した場合、ハードディスクの活性保守が完了したのち、再開させる必要があります。

   以下の操作で smartd サービスを開始します。

```
# /sbin/service smartd start
```

- SAS ディスクユニットを搭載し、Red Hat Enterprise Linux 5 で標準提供される SAS カード用ドライバ (Fusion MPT SAS Driver) で稼動しているシステムの場合、SAS ディスクの活性交換・活性削除はできません。

  SAS アレイディスクユニットを搭載したシステムでは、本問題は発生しません。

  本問題の修正時期は未定です。

  なお、有償サポート・サービス (SupportDesk Standard) を契約されているお客様は、サービスで提供される「富士通 Linux サポートパッケージ(FJ-LSP)」内の「富士通拡張ドライバ」を導入することにより、本問題が回避されます。

4.2 ディスクの追加・削除・交換

ディスク操作コマンドを使用した、ハードディスクの追加・削除・交換の手順を以下に示します。ここでは、SASU の内蔵ハードディスクの操作を例としています。ディスク操作コマンドで表示される装置名は、iocx が SGPIO コントローラーで、/dev/sdx がハードディスクです。

4.2.1 追加の手順

ハードディスクを追加する作業手順を以下に示します。

1. SASU の空きスロットにハードディスクを挿入します。

2. ディスク操作コマンドの状態表示でハードディスクが挿入された位置を確認します。

```
# /opt/SVmco/bin/diskctrl -l
 ioc0
  0 /dev/sda    Fault LED-Off
  1 /dev/sdb    Fault LED-Off
  3 /dev/sdc    Fault LED-Off
  4 /dev/sdd    Fault LED-Off
```

3. ハードディスクが挿入されると、しばらくしてディスクがアクセスできる状態になります。以下の手順で挿入したスロットを特定してください。

4. ディスク操作コマンドのロケーション表示機能で、Fault LED を点滅させます。

```
# /opt/SVmco/bin/diskctrl -i ioc0/1
```

5. ハードディスクを挿入したスロットの Fault LED が点滅しているか確認します。

   スロットの位置が正しい場合は、ディスク操作コマンドの状態表示機能で、"Fault LED-Identify" と表示されるスロットを確認します。

```
# /opt/SVmco/bin/diskctrl -l
ioc0
0 none
1 none  Fault LED-Identify
```

備考

手順 4.でスロットの位置が違っている場合:

ディスク操作コマンドのロケーション消灯機能で、Fault LED の点滅をオフにします。

```
# /opt/SVmco/bin/diskctrl -o ioc0/1
```

別のスロットを指定して、正しいスロット位置が確認できるまで手順 3.～手順 4.を繰り返します。

4.2.2 削除の手順

ハードディスクを取り外す手順を以下に示します。

1. 削除対象のハードディスクが raw、swap の各デバイスに指定されているパーティションを含んでいる場合、以下の操作をします。

   o raw デバイスを含んでいる場合:

   削除対象のハードディスクに raw デバイスで運用しているパーティションが含まれている場合、このパーティションに raw アクセスする可能性があるアプリケーションをすべて終了してからハードディスクを削除してください。

- swap デバイスを含んでいる場合:

  削除対象のハードディスクに swap デバイスに指定されているパーティションが含まれている場合、システムを停止してからハードディスクを削除してください。

2. 以下の操作をします。削除対象のハードディスクが PRIMECLUSTER GDS で Mirror 構成を組んでいるかいないかによって、操作が異なります。

   - PRIMECLUSTER GDS で Mirror 構成を組んでいる場合:

     PRIMECLUSTER GDS から切り離すディスクを選択し、切り離します。切り離し手順については、PRIMECLUSTER GDS のマニュアルを参照してください。

   - PRIMECLUSTER GDS で Mirror 構成を組んでいない場合:

     削除対象ディスクでマウントしているすべてのディスクパーティションをアンマウントします。

```
# umount /dev/sdc1
# umount /dev/sdc2
        .
        .
        .
```

備考

raw、swap の各デバイスとして運用していたパーティションはアンマウントする必要はありません。ただし、削除したデバイスに対する raw デバイスの設定変更、swap デバイスの設定変更は必要です。

3. ディスク操作コマンドでディスクの回転を停止させます。

ディスク操作コマンドを実行するとは、以下の処理をします。

- o ハードディスクの回転停止、および Fault LED (Amber) の点灯
- o OS に対する対象ディスクの削除指示

```
# /opt/SVmco/bin/diskctrl -e /dev/sdc
```

4. Fault LED (Amber) が点灯している位置のハードディスクを取り外します。内蔵ハードディスクを取り外した場合は、スロットの奥にある Fault LED が点灯します。Fault LED は、パーティションを電源オフまたはリブートするか、ディスク操作コマンドでオフにしない限り、点灯または点滅します。

注意

SSD の場合、SSD を取り出した時に、SVagent を出力元とした「W 13139」のメッセージがシステムイベントログに出力されることがあります。

ディスク操作コマンドで Fault LED を消灯させる場合は、以下の操作をします。

1) ディスク操作コマンドで状態を表示し、Fault LED が点灯している位置を確認します。

```
# /opt/SVmco/bin/diskctrl -l
 ioc0
0 /dev/sda    Fault LED-Off
1 /dev/sdb    Fault LED-Off
2 none        Fault LED-On
3 /dev/sdd    Fault LED-Off
```

例に示す内容では、ioc0 のスロット 2 の Fault LED が点灯しており、sdc が踏査されていた位置であることが確認できます。

2) 以下のディスク操作コマンドで Fault LED を消灯します。

```
# /opt/SVmco/bin/diskctrl -o ioc0/2
```

Fault LED が消灯します。

ディスク操作コマンドで状態を表示します。

ioc0 のスロット 2 の装置名に none が表示され、そのスロットが空きであることが確認できます。

```
# /opt/SVmco/bin/diskctrl -l
 ioc0
0 /dev/sda    Fault LED-Off
1 /dev/sdb    Fault LED-Off
2 none
3 /dev/sdd    Fault LED-Off
```

4.2.3 交換の手順 (ハードディスクが無応答となる故障以外の場合)

ハードディスクの故障や、S.M.A.R.T.による予兆検出によって、ハードディスクを交換する手順を以下に示します。

1. 交換対象のハードディスクが raw、swap の各デバイスに指定されているパーティションを含んでいる場合、以下の操作をします。

   - raw デバイスを含んでいる場合:

交換対象のハードディスクに raw デバイスで運用しているパーティションが含まれている場合、このパーティションに raw アクセスする可能性があるアプリケーションをすべて終了してからハードディスクを交換してください。

- o swap デバイスを含んでいる場合:

  交換対象のハードディスクに swap デバイスに指定されているパーティションが含まれている場合、システムを停止してからハードディスクを交換してください。

2. 以下の操作をします。交換対象のハードディスクが PRIMECLUSTER GDS で Mirror 構成を組んでいるかいないかによって、操作が異なります。

   - o GDS で Mirror 構成を組んでいる場合:
     PRIMECLUSTER GDS から切り離すディスクを選択し、切り離します。切り離し手順については、PRIMECLUSTER GDS のマニュアルを参照してください。

   - o GDS で Mirror 構成を組んでいない場合:
     交換対象ディスクでマウントしているすべてのディスクパーティションをアンマウントします。

```
# umount /dev/sdc1
# umount /dev/sdc2
        .
        .
        .
```

備考

raw、swap の各デバイスとして運用していたパーティションは、アンマウントする必要はありません。

3. ディスク操作コマンドでディスクの回転を停止させます。

ディスク操作コマンドを実行すると、以下の処理をします。

- o ハードディスクの回転停止、および Fault LED (Amber) の点灯
- o OS に対する対象ディスクの削除指示

```
# /opt/SVmco/bin/diskctrl -e /dev/sdc
```

Fault LED (Amber) が点灯している位置のハードディスクを取り外します。

4. ディスク操作コマンドで状態を表示し、Fault LED が点灯している位置を確認します。

```
# /opt/SVmco/bin/diskctrl -l
 ioc0
 0 /dev/sda    Fault LED-Off
 1 /dev/sdb    Fault LED-Off
 2 --mount     Fault LED-On
 3 /dev/sdd    Fault LED-Off
```

5. ディスクを交換します。

ioc0 のスロット 2 に Fault LED が点灯しており、ハードディスクが挿入された位置であることが確認できます。

以下のディスク操作コマンドで Fault LED を消灯させます。

```
# /opt/SVmco/bin/diskctrl -c ioc0/2
```

注意

SSD の場合、SSD を取り出した時に、SVagent を出力元とした「W 13139」のメッセージがシステムイベントログに出力されることがあります。

ディスク操作コマンドの状態表示でハードディスクが挿入された位置を確認します。

```
# /opt/SVmco/bin/diskctrl -l
 ioc0
 0 /dev/sda    Fault LED-Off
 1 /dev/sdb    Fault LED-Off
 2 /dev/sdc    Fault LED-Off
 3 /dev/sdd    Fault LED-Off
```

6. ディスク操作コマンド完了後、ディスクパーティションのマウント、または PRIMECLUSTER GDS で Mirror 構成を組んでいた場合は、PRIMECLUSTER GDS に組み込みます。

7. raw の各デバイスを復旧させる場合は、以下の操作をします。

   - raw デバイスを含んでいた場合:

     交換後のハードディスクに raw アクセスするアプリケーションのマニュアルを参照して、raw デバイスを設定してください。設定完了後、交換前に終了したアプリケーションを起動してください。

備考

sadump のダンプデバイスを含んでいた場合、ダンプデバイスの再設定を行うために以下のコマンドを実行してください。

```
#service sadump searchdisk
```

4.2.4 交換の手順 (ハードディスクが無応答となる故障の場合)

ハードディスクの故障で無応答となり、ドライバによるリカバリーが不可能な場合に、ハードディスクを交換する手順を以下に示します。

1. ハードディスクが無応答となる故障の場合、SVagent が検出した以下のメッセージが出力され、ハードディスクの Fault LED が点灯します。

   RHEL5 の場合:

```
SVagent: E 14134 IOB#n-HDD#n scsi:%h:%c:%i:%l ¥
Device error (offlined) vendor=xxxxxxxx ¥
model=xxxxxxxx serial-no=xxxxxxxxxx ¥
SCSI 番号 : %h=host 番号、%c=channel 番号、¥
%i=id 番号、%l=lun 番号
```

   行末の¥は、改行しないことを表す。

2. ディスク操作コマンドで状態を確認します。このとき、Fault LED が On になっているものがオフラインエラーが発生したディスク (*) です。

   - RHEL5:

     SASU 内蔵ディスクの場合

```
# /opt/SVmco/bin/diskctrl -l
ioc0
   0 /dev/sda Fault LED-Off
   1 /dev/sdb Fault LED-Off
   2 --mount  Fault LED-On   ←(*)
   3 /dev/sdd Fault LED-Off
```

3. 交換対象のハードディスクが raw、swap の各デバイスに指定されているパーティションを含んでいる場合、以下の操作をします。

   - raw デバイスを含んでいる場合:

     交換対象のハードディスクに raw デバイスで運用しているパーティションが含まれている場合、このパーティションに raw アクセスする可能性があるアプリケーションをすべて終了してからハードディスクを交換しください。

   - swap デバイスを含んでいる場合:

     交換対象のハードディスクに swap デバイスに指定されているパーティションが含まれている場合、システムを停止してからハードディスクを交換してください。

4. 以下の操作をします。交換対象のハードディスクが PRIMECLUSTER GDS で Mirror 構成を組んでいるかいないかによって、操作が異なります。

   - GDS で Mirror 構成を組んでいる場合:

     PRIMECLUSTER GDS から切り離すディスクを選択し、切り離します。切り離し手順については、PRIMECLUSTER GDS のマニュアルを参照してください。

   - GDS で Mirror 構成を組んでいない場合:

交換対象ディスクでマウントしているすべてのディスクパーティションをアンマウントします。

```
# umount /dev/sdc1
# umount /dev/sdc2
        .
        .
        .
```

備考

raw、swap の各デバイスとして運用していたパーティションは、アンマウントする必要はありません。

5. ディスク操作コマンドでディスクの回転を停止させます。手順 3.で確認したスロットを指定してディスクの回転を停止させます。

```
# /opt/Svmco/bin/diskctrl -e ioc0/2
```

6. Fault LED (アンバー) が点灯している位置のハードディスクを交換します。

7. 例に示す内容では、ioc0 のスロット 2 の Fault LED が点灯しており、ハードディスクが挿入された位置であることが 確認できます。

   以下のディスク操作コマンドで Fault LED を消灯させます。

```
# /opt/SVmco/bin/diskctrl -c ioc0/2
```

8. ディスク操作コマンドの状態表示でハードディスクが挿入された位置を確認します。

```
# /opt/SVmco/bin/diskctrl -l
ioc0
   0  /dev/sda  Fault LED-Off
   1  /dev/sdb  Fault LED-Off
   2  /dev/sdc  Fault LED-Off
   3  /dev/sdd  Fault LED-Off
```

9. ディスク操作コマンド完了後、ディスクパーティションのマウント、または PRIMECLUSTER GDS で Mirror 構成を組んでいた場合は、PRIMECLUSTER GDS に組み込みます。

10. raw の各デバイスを復旧させる場合は、以下の操作をします。

    o raw デバイスを含んでいた場合:

      交換後のハードディスクに raw アクセスするアプリケーションのマニュアルを参照して、raw デバイスを設定してください。設定完了後、交換前に終了したアプリケーションを起動してください。

5 Windows における PCI カードの活性保守

本章では、Windows における PCI カードのホットプラグ手順について説明します。なお、ホットプラグは Windows Server 2008 のみでサポートしています。

5.1 活性保守の概要

ホットプラグの手順には、すべてのカードに共通な部分と、そのカードの機能や使用するドライバによって手順が追加される部分があります。ここでは、すべてのカードに必要な操作と、特定の種類のカードを特定のソフトウェアと組み合わせた場合の両方について説明します。

■ ホットプラグの概要

Windows Server 2008 でサポートするホットプラグはカードの追加・交換です。カードの交換のさいに必要となる OS 上のコマンドと、実際のハードウェアの操作を示します。全体の流れについては、「5.1.1 全体の流れ」を参照してください。

■ ホットプラグの共通手順

すべての PCI カードについて、共通に必要な交換の手順を具体的に示します。PCI カードのホットプラグの共通手順については、「5.2 PCI カードのホットプラグの共通手順」を参照してください。

■ 個別のカードのホットプラグの手順

追加の手順が必要なカードに関する手順を示します。ここでは、ネットワークカード (以降、NIC と表記) と、ファイバチャネルカード (以降 FC カードと表記) の手順を記述しています。NIC のホットプラグについては、「5.3 NIC のホットプラグ」を参照してください。FC カードのホットプラグについては、「5.4 FC カードのホットプラグ」を参照してください。

上記以外のカードで個別の手順を必要とする場合には、関連するハードウェア、ソフトウェアのマニュアル、ならびに本章を参考にして作業してください。また、通常、これらのカード (NIC、FC カード) は、二重化ソフトウェア (Intel PROSET/ETERNUS マルチパスドライバ) と組み合わせて使用します。本章では、これらの二重化ソフトウェアと組み合わせた場合と単独で運用する場合の両方の手順を説明します。

注意

手順には、関連ソフトウェアに対する操作を記述しています。構成によっては手順が異なったり、追加の操作が必要になったりする場合があります。実際に作業をする場合には、必ず関連製品のマニュアルを参照してください。

5.1.1 全体の流れ

ホットプラグの全体の流れを示します。

以下の手順は現在の Windows Server 2008 の PCI ホットプラグサポートにおける、すべての種類のカードにおいて必要な手順です。特定の種類の PCI カードで必要となる操作があるときは、手順の中で説明します。操作の内容は、カードの種類と組み合わせるソフトウェアによって異なります。

なお、fjpciswap コマンドの詳細については、「3.6 PCI カード操作コマンド (fjpciswap) 」を参照してください。

■ 交換の手順

1. fjpciswap コマンド表示機能を利用して、物理位置を確認します。
2. fjpciswap コマンド交換機能を利用して、PCI カードを交換します。
3. fjpciswap コマンド表示機能を利用して、交換したカードを確認します。

■ 追加の手順

1. fjpciswap コマンド追加機能を利用して、PCI カードを追加します。
2. fjpciswap コマンド表示機能を利用して、追加したカードを確認します。

5.2 PCI カードのホットプラグの共通手順

付加手順がない場合 (二重化アプリケーションを使用していないなど) の PCI カードの交換手順は、以下のとおりです。

注意

PCI カードを挿入するさいは、確実に挿入してください。

5.2.1 交換の手順

1. fjpciswap コマンド表示機能を利用して、物理位置を確認します。

```
C:¥>fjpciswap -l
```

```
Replaceable PCI cards are displayed

UnitName        Func      DeviceName

IOB#1-PCIC#5    FUNC#0    Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server
Adapter #15

IOB#1-PCIC#5    FUNC#1    Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server
Adapter #16



C:¥>
```

2. fjpciswap コマンド交換機能を利用して、PCI カードを交換します。

```
C:¥>fjpciswap -r IOB#1-PCIC#5

Selected card name is

         Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter #15

         Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter #16



Please delete all settings about this card

Do you want to remove this card?(y/n)

y ←ユーザー入力
```

"Do you want to remove this card? (y/n) " と表示されたら、PCI カードを交換します。PCI カードの交換終了後、[y] キーを押します。

```
Removing the card....

The card has removed.



Please replace the card, and input "y" key.
```

"Please replace the card" と表示されたら、PCI カードを交換します。

```
Please replace the card, and input "y" key.

y

Adding the card..............

The card has added.




C:¥>
```

PCI カードの交換終了後、 [y] キーを押します。

3. fjpciswap コマンド表示機能を利用して、交換したカードを確認します。

```
C:¥>fjpciswap -l


Replaceable PCI cards are displayed

UnitName        Func      DeviceName
```

```
IOB#1-PCIC#5    FUNC#0    Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server
Adapter #15

IOB#1-PCIC#5    FUNC#1    Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server
Adapter #16



C:¥>
```

5.2.2 追加の手順

1. fjpciswap コマンド追加機能を利用して、PCI カードを追加します。

   PCI カードを実装するカードスロットに実装した後、該当の PCI カードスロットを指定し追加コマンド (-a) を実行します。

```
C:¥>fjpciswap -a IOB#1-PCIC#5

Adding the card.................
```

2. OS に認識され、コマンドが完了します。

```
C:¥>fjpciswap -a IOB#1-PCIC#5

Adding the card.................

The card has added.



C:¥>
```

3. fjpciswap コマンド表示機能を利用して、追加したカードを確認します。

```
C:¥>fjpciswap -l



Replaceable PCI cards are displayed

UnitName        Func      DeviceName

IOB#1-PCIC#5    FUNC#0    Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server
Adapter #15

IOB#1-PCIC#5    FUNC#1    Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server
Adapter #16



C:¥>
```

5.2.3 削除について

注意

Windows では PCI カードの削除をサポートしていません。

5.3 NIC のホットプラグ

NIC のホットプラグ (交換) をする場合、「5.2 PCI カードのホットプラグの共通手順」で記述した手順に加えて、さらに特別に考慮する点があります。

以下、チーミングと組み合わせる場合について説明します。

なお、fjpciswap コマンドの詳細については「3.6　PCI カード操作コマンド (fjpciswap) 」を参照してください。

5.3.1 チーミングに組み込まれている NIC のホットプラグ

ここでは、NIC がチーミングに組み込まれている場合のホットプラグの手順を説明します。

注意

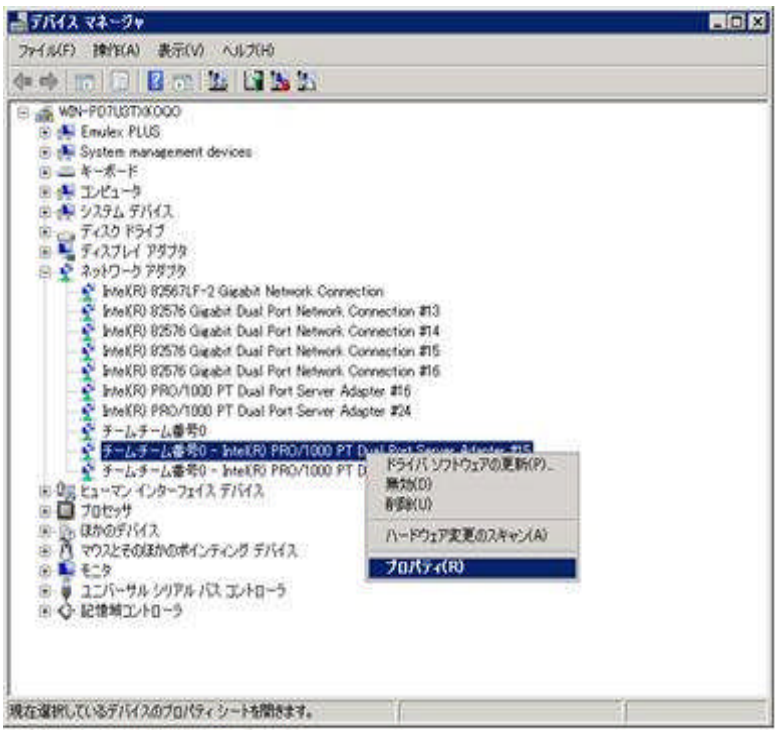
- 必ず切離し操作後にホットプラグを実行してください。切り離しをしない場合、OS が停止することがあります。
- Intel PROSet (R) を使用したチーミングに関して、留意事項があります。留意事項については、『PQ1000 シリーズ　運用管理マニュアル』（C122-E108）の「G.10 NIC (ネットワークインターフェースカード)」を参照してください。

1. fjpciswap コマンド表示機能を利用して物理位置の確認をします。ここでは IOB-PCIC#5 を交換の対象とします。

```
C:¥>fjpciswap -l


Replaceable PCI cards are displayed

UnitName        Func      DeviceName

IOB#1-PCIC#4    FUNC#0    Emulex LightPulse LPe1250-F8, PCI Slot 4, ¥

Storport Miniport Driver

IOB#1-PCIC#5    FUNC#0    チーム:チーム番号 0 - Intel(R) PRO/1000 PT ¥

Dual Port Server Adapter #15

IOB#1-PCIC#5    FUNC#1    Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server ¥

Adapter #16

IOB#1-PCIC#7    FUNC#0    チーム:チーム番号 0 - Intel(R) PRO/1000 PT ¥

Dual Port Server Adapter #23

IOB#1-PCIC#7    FUNC#1    Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter
#24


C:¥>
```

行末の¥は、改行しないことを表す。

2. デバイスマネージャから削除するインターフェースを選択し、プロパティを参照します。



［デバイスマネージャ］画面

3. "チーム化" タブを選択し、"このアダプタを他のアダプタとチーム化する" チェックボックスを外し、[OK] ボタンをクリックします。

［チーム化］タブ

4. 下記のメッセージが表示されるので、[はい] ボタンをクリックします。

［アダプタのチーム化］のプロパティ

5. fjpciswapコマンド表示機能を利用して Device Name を確認します。チーミングに組み込まれていないことを確認してください。

```
C:¥>fjpciswap -l



Replaceable PCI cards are displayed

UnitName        Func      DeviceName

IOB#1-PCIC#4    FUNC#0    Emulex LightPulse LPe1250-F8, PCI Slot 4,
¥

Storport Miniport Driver

IOB#1-PCIC#5    FUNC#0    Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server
Adapter #15

IOB#1-PCIC#5    FUNC#1    Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server
Adapter #16

IOB#1-PCIC#7    FUNC#0    チーム:チーム番号 0 - Intel(R) PRO/1000 PT
¥

Dual Port Server Adapter #23

IOB#1-PCIC#7    FUNC#1    Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server
Adapter #24



C:¥>
```

行末の¥は、改行しないことを表す。

6. fjpciwap コマンドで該当 NIC を交換します。

```
C:¥>fjpciswap -r IOB#1-PCIC#5

Selected card name is

         Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter #15

         Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter #16


Please delete all settings about this card

Do you want to remove this card?(y/n)

y

Removing the card......

The card has removed.


Please replace the card, and input "y" key.

y

Adding the card..............

The card has added.
```

```
C:¥>
```

"Please replace the card" と表示されたら、NIC を交換し、ケーブルを挿します。
NIC の交換終了後、[y] キーを押します。

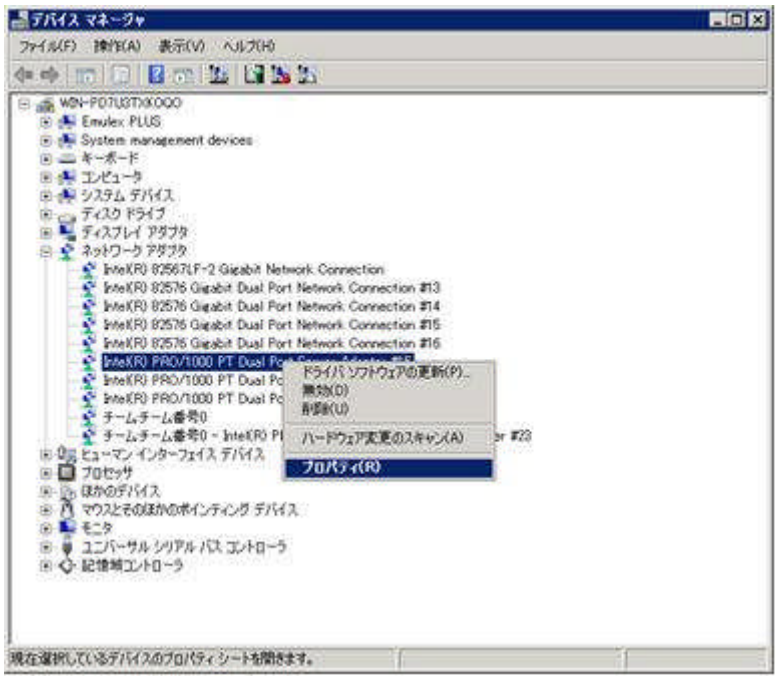
7. fjpciswap コマンド表示機能を利用して、正常に交換されていることを確認します。

```
C:¥>fjpciswap -l



Replaceable PCI cards are displayed

UnitName        Func      DeviceName

IOB#1-PCIC#4    FUNC#0    Emulex LightPulse LPe1250-F8, PCI
Slot 4, ¥

Storport Miniport Driver

IOB#1-PCIC#5    FUNC#0    Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server
Adapter #15

IOB#1-PCIC#5    FUNC#1    Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server
Adapter #16

IOB#1-PCIC#7    FUNC#0    チーム:チーム番号 0 - Intel(R)
PRO/1000 PT ¥

Dual Port Server Adapter #23

IOB#1-PCIC#7    FUNC#1    Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server
Adapter #24
```

```
C:¥>
```

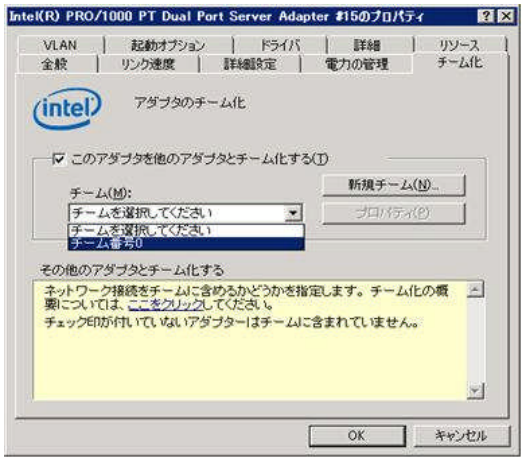
行末の¥は、改行しないことを表す。

8. 交換完了後、デバイスマネージャを開き、チーミングに組み込む NIC のプロパティを開きます。



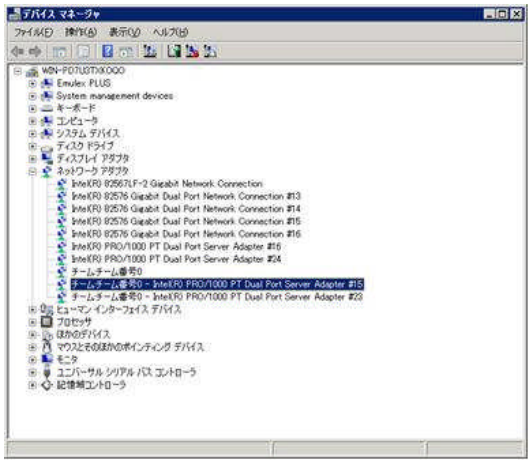
［デバイスマネージャ］画面

9. "チーム化" タブで "このアダプタを他のアダプタとチーム化する" を選択し、交換前に組み込まれていたチームを選択して [OK] ボタンをクリックします。



［チーム化］タブ

10. デバイスマネージャ上でチームに組み込まれていることを確認します。



［デバイスマネージャ］画面

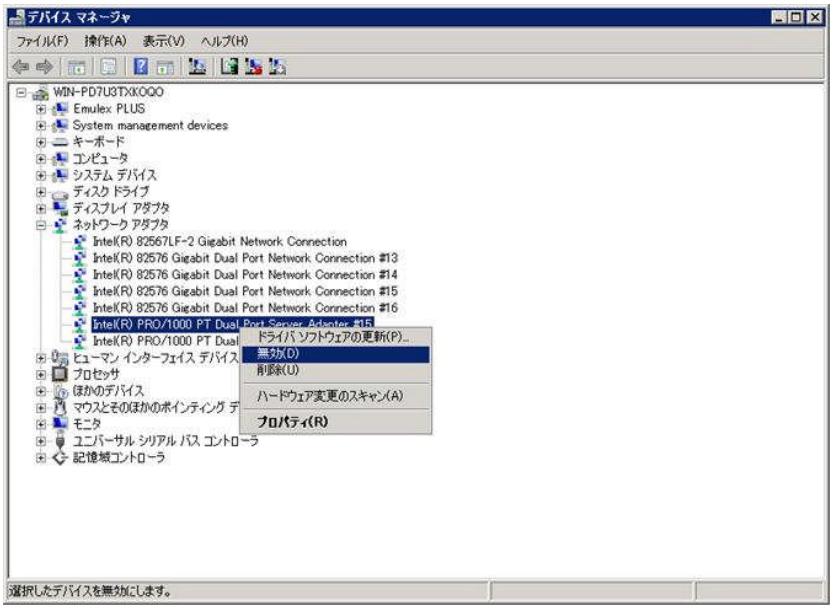
5.3.2 冗長化されていない NIC のホットプラグ

ここでは、ネットワークが冗長化されていない (NIC がチーミングに組み込まれていない) 場合の、ホットプラグの手順を説明します。

1. fjpciswap コマンド表示機能を利用して、物理位置の確認をします。ここでは IOB#1-PCIC#5 を交換の対象とします。

```
C:¥>fjpciswap -l



Replaceable PCI cards are displayed

UnitName        Func      DeviceName

IOB#1-PCIC#5    FUNC#0    Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter
#15

IOB#1-PCIC#5    FUNC#1    Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter
#16



C:¥>
```

2. デバイスマネージャを使用し、該当のデバイスを無効にします。



［デバイスマネージャ］画面

3. fjpciwap コマンドで該当 NIC を交換します。

```
C:¥>fjpciswap -r IOB#1-PCIC#5

Selected card name is

          Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter #15

          Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter #16


Please delete all settings about this card
```

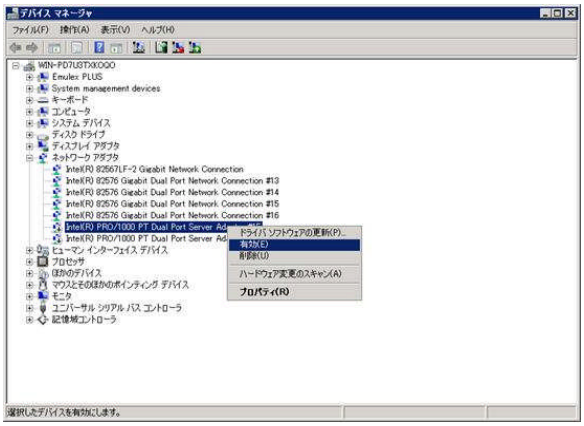
```
Do you want to remove this card?(y/n)

y

Removing the card....

The card has removed.



Please replace the card, and input "y" key.

y

Adding the card..............

The card has added.




C:¥>
```

"Please replace the card" と表示されたら、NIC を交換し、ケーブルを挿します。
NIC の交換終了後、[y] キーを押します。

4. コマンドプロンプトを起動します。fjpciaswap コマンドを使用し、PCI カード活性交換可能 PCI カードのリストを表示します。追加したカードが正しく表示されていることを確認します。

```
C:¥>fjpciswap -l


Replaceable PCI cards are displayed

UnitName        Func      DeviceName

IOB#1-PCIC#5    FUNC#0    Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter
#15

IOB#1-PCIC#5    FUNC#1    Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Server Adapter
#16


C:¥>
```

5. 下図のように、デバイスマネージャで該当のデバイスを右クリックし、表示されるメニューに [有効] がある場合は有効にします ([無効] の場合は本作業は不要です)。



［デバイスマネージャ］画面

5.3.3 NIC の追加手順

「5.2　PCI カードのホットプラグの共通手順」を参照して、NIC を追加します。

5.4　FC カードのホットプラグ

FC カードのホットプラグ (交換) をする場合「5.2 PCI カードのホットプラグの共通手順」で記述した手順に加えて、さらに特別に考慮する点があります。

FC カードの WWN を FC スイッチや RAID 装置 (ETERNUS) に設定している場合、ホットプラグをすることにより FC カードの WWN が変わります。新しいカードの WWN の再設定の方法は、各装置のマニュアルを参照ください。

以下、ETERNUS マルチパスドライバ (MultiPath Driver: MPD) と組み合わせる場合について説明します。

なお、fjpciswap コマンドの詳細については、「3.6 PCI カード操作コマンド (fjpciswap) 」を参照してください。

注意

- SAN ブートのパスは対象外です。
- LTO ライブラリ装置はサポート対象外です。
- Windows の仕様により、PageFile などが FC カードの接続先に存在する場合は対象外です。
- 交換手順の途中で、イベントログに、ソース：SVagent、ID：25004 のエラーメッセージが出力されることがありますが、問題ありません。

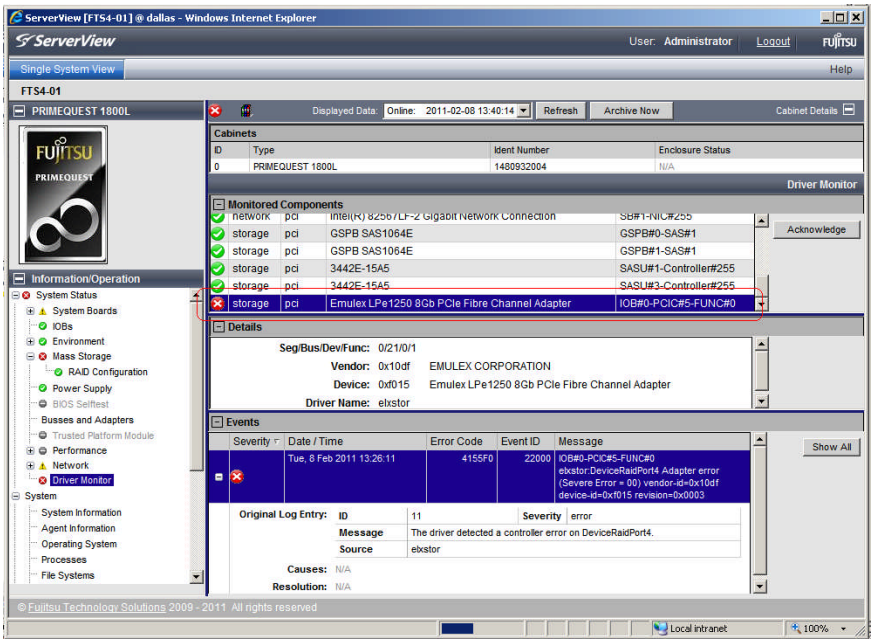
5.4.1 ETERNUS マルチパスドライバに組み込まれている FC カードのホットプラグ

ここでは、FC カードが ETERNUS マルチパスドライバに組み込まれている場合の、ホットプラグ手順を説明します。

1. SVOM の Web-UI から、[System Status] - [Driver Monitor] 画面を参照して、交換対象の FC カードを探します。

   交換対象 FC カードは、Unit 名または BUS 番号で検索できます。

   IOB#0-PCIC#5 を交換したい場合、対象デバイスは赤枠で囲んだ部分となります。



［Driver Monitor］画面

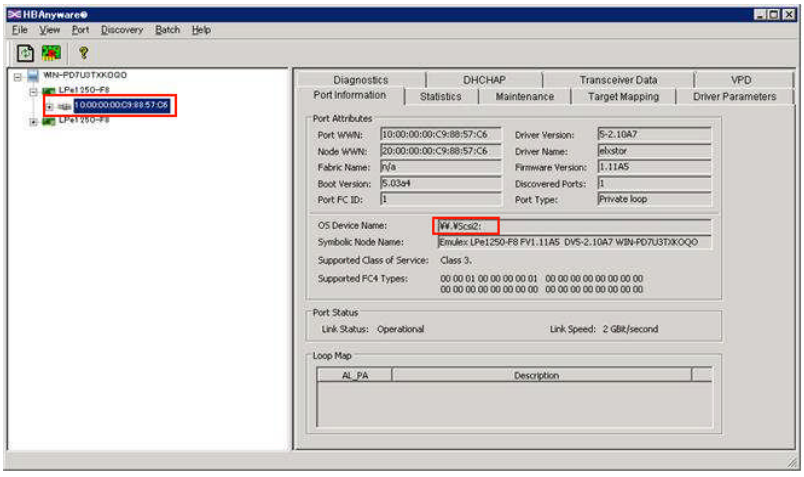
備考

マルチファンクションカードの場合、Unit 名で FUNC 以下のみが異なるものや、"Seg/Bus/Dev/Func" 項で Func 番号のみが異なるものが複数存在します。この場合は、それぞれについて、以降の手順 2.と 3.を実施します。

2. 交換対象 FC カードの UNIT 名を選択し、[Driver Monitor] 画面の Detail を開き、交換デバイスの "WWN (hex)" を記録します。

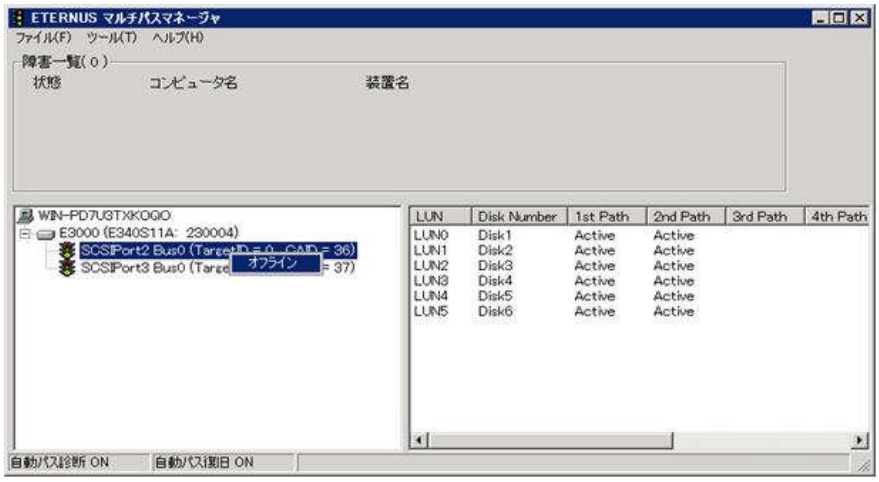
3. HBAnywhere を起動し、手順 2.で求めた WWN をもとにして、交換デバイスのポート番号を求めます。

左ペインから該当する WWN を選択し、右ペインで [Port Information] タブを選択します。OS Device Name に記載されている情報がポート番号です（下記例の場合¥¥.¥Scsi2）。



HBAnyware

4. ETERNUS マルチパスマネージャを起動し、交換するすべてのデバイスをオフラインにします。



ETERNUS マルチパスマネージャ

5. コマンドを実行して FC カードを交換します。

ETERNUS マルチパスマネージャと HBAnyware を終了します。fjpciswap コマンド交換機能を使用して、該当カードの replace 操作を行います。

```
C:¥>fjpciswap -r IOB#0-PCIC#5

Selected card name is

Emulex LightPulse LPe1250-F8, PCI Slot 4, Storport Miniport Driver



Please delete all settings about this card

Do you want to remove this card?(y/n)

y
```

```
Removing the card.....

The card has removed.



Please replace the card, and input "y" key.

y

Adding the card..............

The card has added.




C:¥>
```

"Please replace the card" と表示されたら、FC カードを交換し、ケーブルを挿します。FC カードの交換終了後、[y] キーを押します。

備考

下記のメッセージで終了することがあります。このメッセージは該当の FC カードを参照しているアプリケーションがある場合やオフラインにしてから replace 操作するまでの時間が短い場合に出力されます。

参照しているアプリケーションがないことを確認し、ない場合は 10 分程度おいてから再度実行してください。なお、構成によりさらに時間がかかる場合があります。

```
C:¥>fjpciswap -r IOB#0-PCIC#5

Selected card name is

         Emulex LightPulse LPe1250-F8, PCI Slot 4, Storport
Miniport Driver



Please delete all settings about this card

Do you want to remove this card?(y/n)

y

Removing the card...

SVmco : E 08745 internal error :Device_Eject
failed:PCI¥VEN_10DF&DEV_F015& ¥

SUBSYS_F01510DF&REV_03¥8&39e14fc5&0&00000008

0048:23:679



C:¥>
```

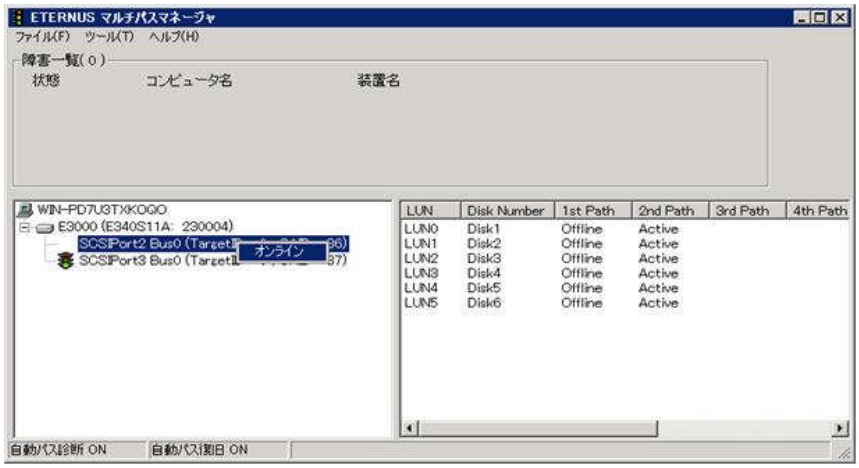
行末の¥は、改行しないことを表す。

6. fjpciswap コマンドで FC カードの導入を確認します。

```
C:¥>fjpciswap -l


Replaceable PCI cards are displayed

UnitName        Func      DeviceName

IOB#0-PCIC#5    FUNC#0    Emulex LightPulse LPe1250-F8, PCI Slot 4, ¥

Storport Miniport Driver

IOB#1-PCIC#6    FUNC#0    Emulex LightPulse LPe1250-F8, PCI Slot 6, ¥

Storport Miniport Driver


C:¥>
```

行末の¥は、改行しないことを表す。

7. ETERNUS マルチパスマネージャを起動し、交換したすべてのデバイスをオンラインにします。デバイスが正常にマルチパスドライバに組み込まれていることを確認します。



ETERNUS マルチパスマネージャ

5.4.2 FC カードの追加手順

「5.2　PCI カードのホットプラグの共通手順」を参照して、FC カードを追加します。

5.5　Windows の iSCSI (NIC) の活性交換

iSCSI (NIC) の活性交換をする場合、以下が前提条件となります。

- Windows Server 2008 以降が対象
- 作業の実施には Administrator 権限が必要
- ETERNUS マルチパスドライバ (MPD) を適用していること
- 複数のカードを交換する場合、1 枚ずつ作業を実施すること

fjpciswap コマンド詳細については「3.6 PCI カード操作コマンド (fjpciswap)」を参照してください。

5.5.1 MPD の組込み確認

ここでは、MPD の組込みを確認する手順を説明します。

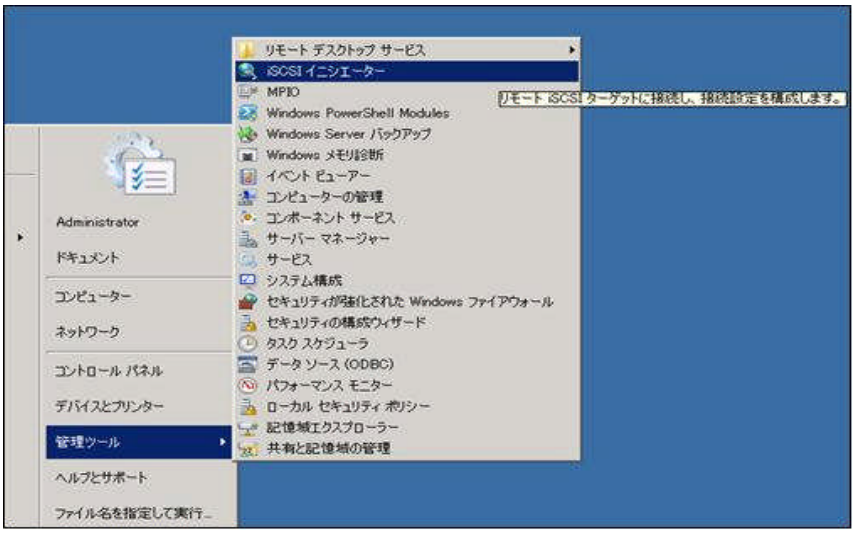
■ Windows Server 2008 の場合

1. MMB の Web-UI から、[System Status] - [Driver Monitor] 画面を参照して、交換対象の NIC を探します。交換対象 NIC は、Unit 名または BUS 番号で検索できます。

   マルチファンクションカードの場合、Unit 名で FUNC 以下のみが異なるものや、[Seg/Bus/Dev/Func] 項で Func 番号のみが異なるものが複数存在します。この場合は、それぞれについて、以降の手順 2～9 を実施します。

2. 交換対象 NIC の UNIT 名を選択し、[Driver Monitor] 画面を開き、MAC アドレスを記録します。また、[System Status] - [Network] - [Network Interface]から記録した MAC アドレスから交換デバイスの検索、および交換後の再設定のために [IP Address (IP v4 Interfaces)] と [IP Subnet Mask] を記録しておきます。

3. iSCSI イニシエーターを起動します。

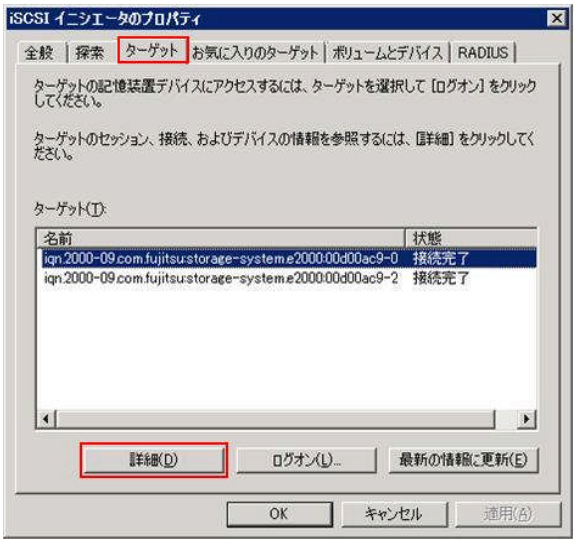


［iSCSI イニシエーター］の起動

4. [iSCSI イニシエーターのプロパティ] ウィンドウの [ターゲット] タブをクリックします。

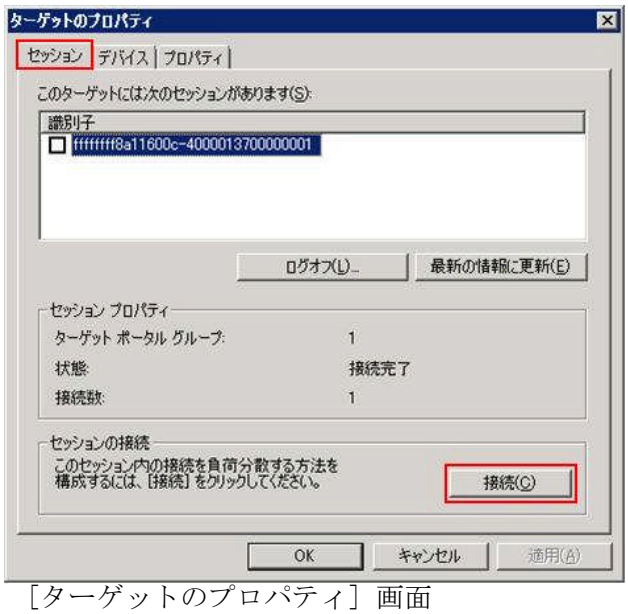
[ターゲット(T)] に表示されているターゲットのうち、交換対象の NIC と接続しているターゲットがわかっている場合はそのターゲットを選択し、[詳細(D)] ボタンをクリックして手順 8 へ進みます。

交換対象の NIC と接続しているターゲットがわからない場合は任意のターゲットを選択し、[詳細(D)] ボタンをクリックして手順 5 へ進みます。



［iSCSI イニシエータのプロパティ］画面（Windows Server 2008 の場合）

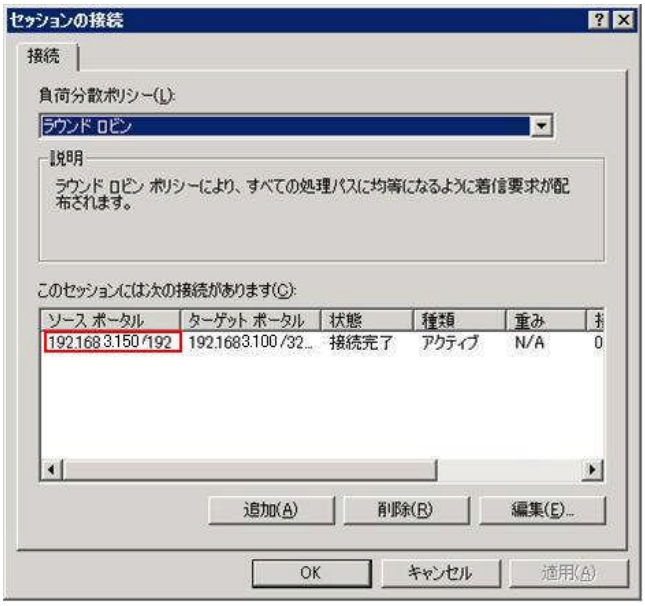
5. [ターゲットのプロパティ] ウィンドウの [セッション] タブをクリックし、[接続(C)] ボタンをクリックします。



［ターゲットのプロパティ］画面

6. [セッションの接続] ウィンドウの [ソース ポータル] 欄に表示されている IP アドレスが、手順 2 で記録しておいた IP アドレスと一致するか確認します。

一致した場合は、このターゲットに結び付けられているデバイスが交換対象であることがわかります (例では、192.168.3.150)。



［セッションの接続］画面

7. **手順 6 で IP アドレスが一致しなかった場合は、以下の作業を繰り返します。**

   1. [キャンセル] ボタンをクリックして手順 5 の [ターゲットのプロパティ] ウィンドウに戻ります。

   2. さらに [キャンセル] ボタンをクリックして手順 4 の [iSCSI イニシエーターのプロパティ] ウィンドウに戻ります。

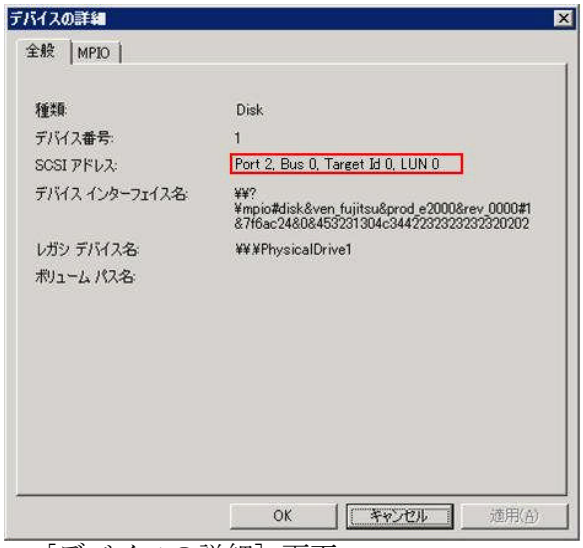
   3. 次のターゲットを選択して手順 4 以降の作業を繰り返します。

IP アドレスが一致した場合は、[キャンセル] ボタンをクリックして手順 5 の [ターゲットのプロパティ] ウィンドウへ戻り、手順 8 へ進みます。

8. [ターゲットのプロパティ] ウィンドウの [デバイス] タブをクリックし、[詳細設定(A)] ボタンをクリックします。

［ターゲットのプロパティ］画面

9. [デバイスの詳細] ウィンドウの [SCSI アドレス] 欄に表示されている値 (例では Port 2: Bus 0: Target 0: LUN 0)を記録しておきます。



［デバイスの詳細］画面

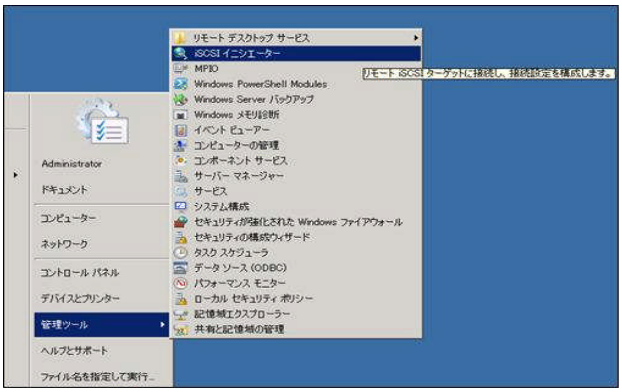
■ Windows Server 2008 R2 以降の場合

1. MMB の Web-UI から、[System Status] - [Driver Monitor] 画面を参照して、交換対象の NIC を探します。交換対象 NIC は、Unit 名または BUS 番号で検索できます。

   マルチファンクションカードの場合、Unit 名で FUNC 以下のみが異なるものや、[Seg/Bus/Dev/Func] 項で Func 番号のみが異なるものが複数存在します。この場合は、それぞれについて、以降の手順 2～9 を実施します。

2. 交換対象 NIC の UNIT 名を選択し、[Driver Monitor] 画面を開き、MAC アドレスを記録します。また、[System Status] - [Network] - [Network Interface]から記録した MAC アドレスから交換デバイスの検索、および交換後の再設定のために [IP Address (IP v4 Interfaces)] と [IP Subnet Mask] を記録しておきます。

3. iSCSI イニシエーターを起動します。

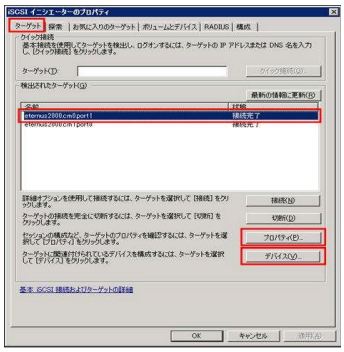


［iSCSI イニシエーター］の起動

4. [iSCSI イニシエーターのプロパティ] ウィンドウの [ターゲット] タブをクリックします。

[検出されたターゲット(G)] に表示されているターゲットのうち、交換対象の NIC と接続しているターゲットがあらかじめわかっている場合はそのターゲットを選択し、[デバイス(V)] ボタンをクリックして手順 9 へ進みます。

交換対象の NIC と接続しているターゲットがわからない場合は任意のターゲットを選択し、[プロパティ(P)] ボタンをクリックして手順 5 へ進みます。



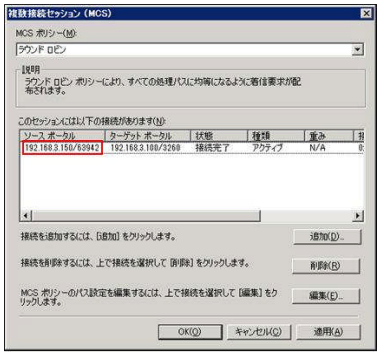
［iSCSI イニシエーターのプロパティ］画面（Windows Server 2008 R2 以降の場合）

5. [プロパティ] ウィンドウの [セッション] タブをクリックし、[MCS(M)] ボタンをクリックします。

［プロパティ］画面

6. [複数接続セッション(MCS)] ウィンドウの [ソース ポータル] に表示されている IP アドレスが、手順 2 で記録しておいた IP アドレスと一致するか確認します。

一致した場合は、このターゲットに結び付けられているデバイスが交換対象であることがわかります(例では、192.168.3.150)。



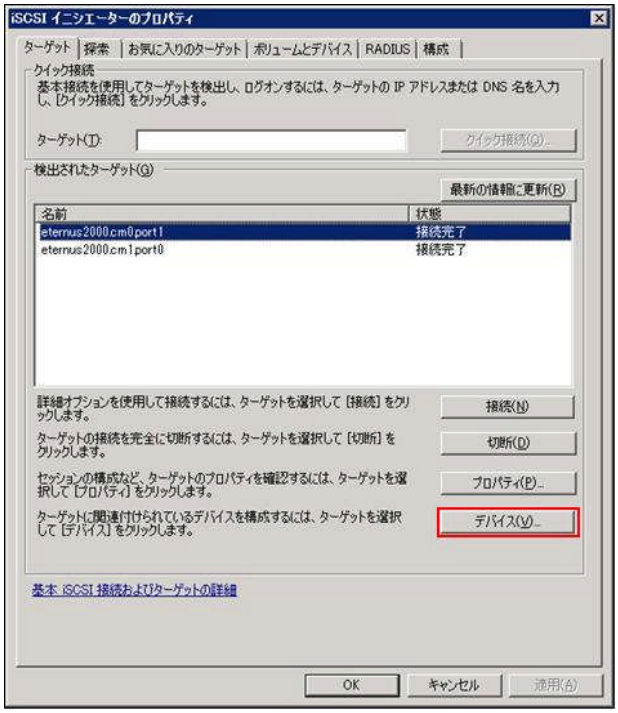
［複数接続セッション（MCS)］画面

7. [キャンセル(C)] ボタンをクリックして手順 5 の [プロパティ] ウィンドウへ戻ります。

   さらに [キャンセル] ボタンをクリックして手順 4 の [iSCSI イニシエーターのプロパティ] ウィンドウに戻ります。

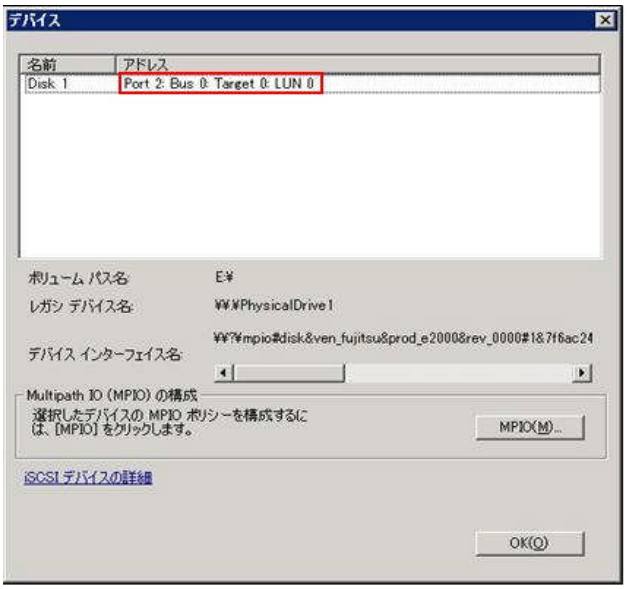
8. 手順 6 で IP アドレスが一致しなかった場合は、次のターゲットを選択して手順 4 以降の作業を繰り返します。

   一致した場合は、[デバイス(V)] ボタンをクリックします。



［iSCSI イニシエーターのプロパティ］画面（Windows Server 2008 R2 以降の場合）

9. [デバイス] ウィンドウの [アドレス] 欄に表示されている値 (例では Port 2: Bus 0: Target 0: LUN 0) を記録しておきます。



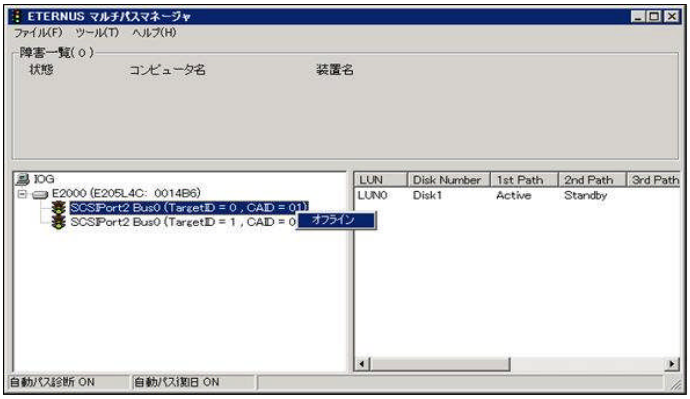
［デバイス］画面

5.5.2 MPD の切離し作業

ここでは、MPD の切離し作業の手順を説明します。

1. ETERNUS マルチパスマネージャを起動します。

2. 「5.5.1 MPD の組込み確認」の手順 9 で記録しておいたアドレス値を確認して、交換対象のデバイスをオフラインにします。マルチファンクションの場合には複数のデバイスをオフラインにする必要があります。



［ETERNUS マルチパスマネージャ］画面

3. 「5.3 NIC のホットプラグ」を参照して、NIC を交換します。

備考

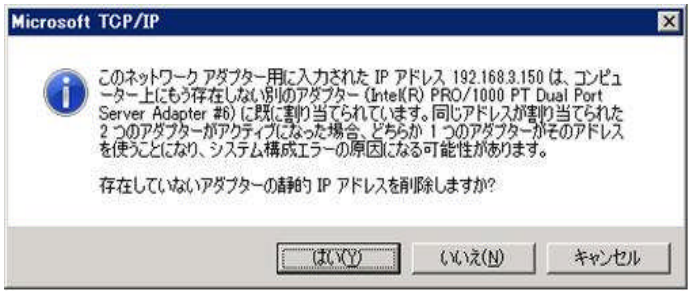
NIC の交換手順の途中で、イベントログに、ソース：SVagent、ID：25004 のエラーメッセージが出力されることがありますが、問題ありません。

4. 交換したデバイスに、IP を設定しなおします。

手順 2 で記録しておいた IP アドレスおよびサブネットマスクを設定しなおします。

備考

IP を設定しなおすさいに、以下のメッセージが表示される場合は、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。

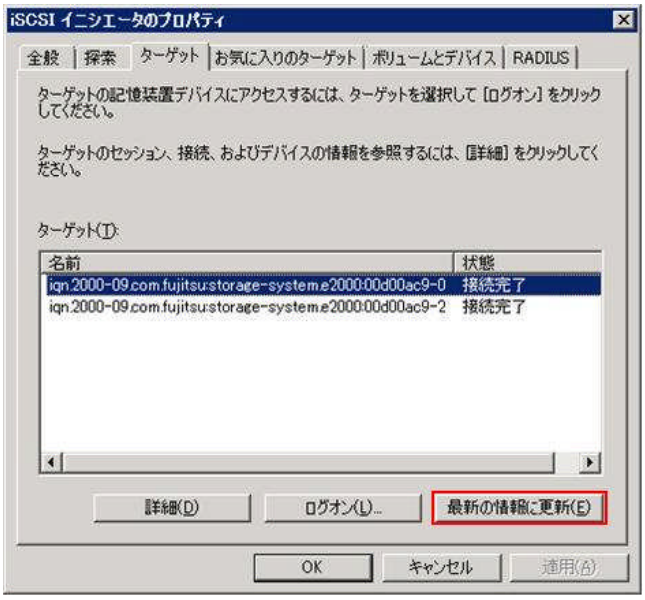


TCP/IP 削除メッセージ

5. [iSCSI イニシエーターのプロパティ] ウィンドウの [ターゲット] タブの、[最新の情報に更新] ボタンをクリックします。

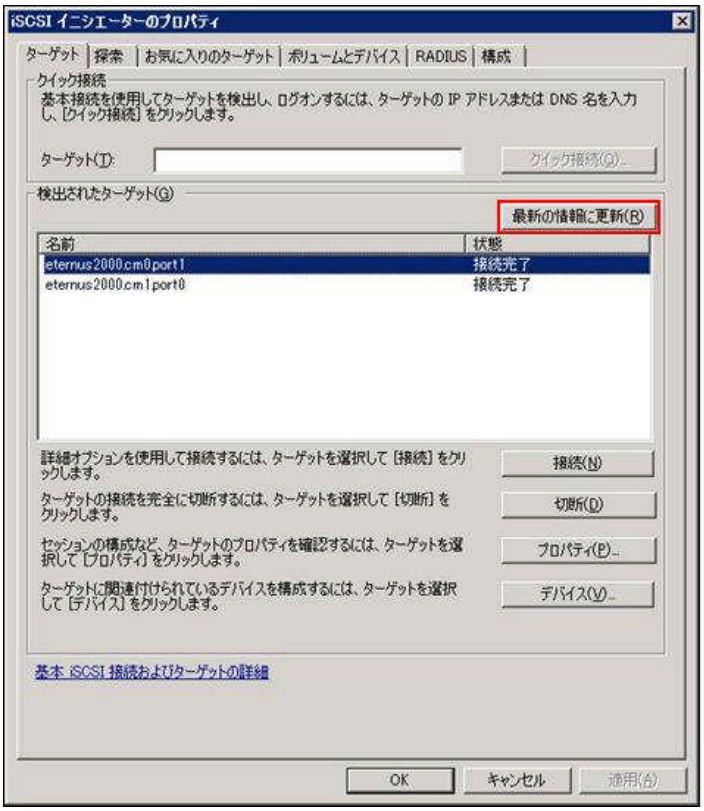
ターゲットの状態が [接続完了] になることを確認します。

■ Windows Server 2008 の場合



［iSCSI イニシエータのプロパティ］画面（Windows Server 2008）

■ Windows Server 2008 R2 以降の場合



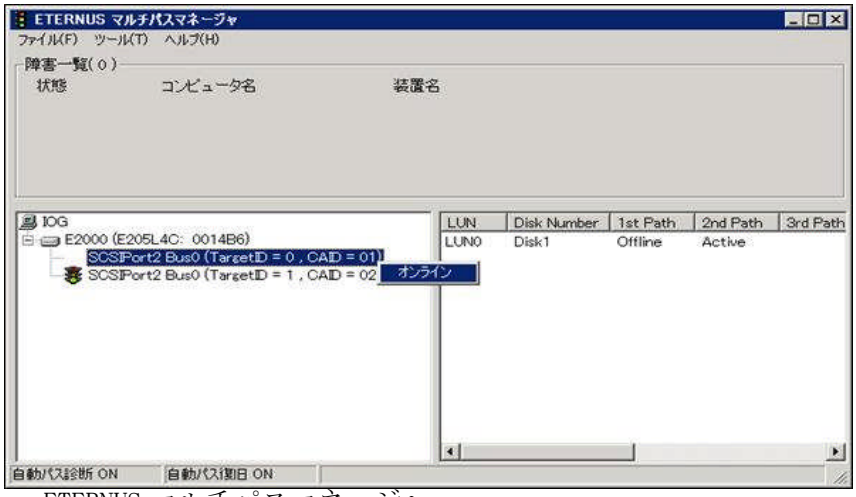
［iSCSI イニシエーターのプロパティ］画面（Windows Server 2008 R2 以降の場合）

5.5.3 MPD 組込み作業

ここでは、MPD の組込み作業の手順を説明します。

1. ETERNUS マルチパスマネージャを起動します。

2. 交換したデバイスをオンラインにします。マルチファンクションデバイスの場合はすべてのデバイスをオンラインにします。



ETERNUS マルチパスマネージャ

6 SVmcoの手動インストール・アンインストール

本付録では、SVmcoの手動インストール・アンインストールについて、OSごとに説明します。

なお、SVIMを使用してOSをインストールする場合、SVmcoの手動インストールは不要です。

6.1 SVmcoの手動インストール (Linux: Red Hat Enterprise Linux)

SVmcoのLinux OS (Red Hat Enterprise Linux)への手動インストールについて説明します。

備考

PRIMEQUEST 1000x2シリーズ以降の運用時は、必ずSVmcoをインストールしてください。SVmcoをアンインストールすると、以下の制限があります。

- REMCS契約時にパーティション上の異常が通知されない。
- ハードディスクの活性保守ができない。必ずパーティション停止保守となる。
- PRIMECLUSTER連携が使用できない。

6.1.1　インストールの流れ

SVmco のインストールについて詳しくは『ＰＲＩＭＥＱＵＥＳＴ　1000 シリーズ　導入マニュアル』「第 4 章 OS および添付ソフトのインストール」を参照してください。SVmco の設定については、「2.1 SVmco の設定 (Linux：RedHat Enterprise Linux)」を参照してください。

備考

- MMB の IP アドレスおよびパーティション側の管理 LAN の IP アドレスを変更した場合：
  必ず SVmco を再起動してください。再起動しないと、SVmco で検出するエラーが通知できません。

- SVIM を使用して OS をインストールする場合、SVmco、SIRMS の手動インストールは不要です。ただし、SVIM によるインストール後に、「6.1.2　SVmco インストール前の確認」および「6.1.7　SVmco インストール後の設定」にある各項目の確認および設定を実施する必要があります。

6.1.2　SVmco インストール前の確認

SVmco をインストールする前に確認する項目について説明します。

■ PSA-MMB 間通信 LAN の設定確認

■ 管理 LAN の設定確認

■ SVmco 動作のための必須機能の確認

■ PSA-MMB 間通信 LAN の設定確認

PSA-MMB 間通信 LAN の設定確認について詳しくは、「2.1.1　PSA-MMB 間通信 LAN の設定」および「2.1.5　管理 LAN IP アドレスの設定」を参照してください。

■ 管理 LAN の設定確認

管理 LAN の設定確認について詳しくは、「2.1.2　管理 LAN の設定確認」を参照してください。

6.1.3 SVmco のインストール

以下のコマンドで SVmco パッケージをインストールします。

以下の説明は、作業ディレクトリ (以下、$WORK_DIR と呼びます) 内に SVmco のパッケージ (SVmco-$VER-$REL.tar.gz) が展開された状態を前提としています。

【入力形式】

```
cd $WORK_DIR/SVmco

./INSTALL.sh
```

6.1.4 SVmco インストール時の自動設定

SVmco インストール時に、SVmco 動作のための設定が以下のように自動的に追記または変更されます。

SVmco インストール時に自動追記／変更される設定

対象	動作	備考
syslog.conf ファイル	設定追記	
snmpd.conf ファイル	設定追記	
snmptrapd.conf ファイル	設定追記	
snmptrapd の起動オプション	変更	
snmpd の起動オプション	変更	

対象	動作	備考
PSA-MMB 間専用 LAN インターフェース	IP アドレス設定	「2.1.1　PSA-MMB 間通信 LAN の設定」を参照し、必要に応じて変更する。
iptables 設定	設定追加	手動で SVmco をインストールした場合は、PSA-MMB 間通信用チェインのみ作成される。 「6.1.7　SVmco インストール後の設定」の「ファイアーウォール機能の確認 (ポートの開放)」を参照し、手動で INPUT、OUTPUT チェインに、PSA-MMB 間通信用チェインへのジャンプ設定を追加する。
SELinux 設定ファイル (/etc/selinux/conf)	変更	すでに SELinux が無効化されている場合は変更しない。

6.1.5　SIRMS のインストール

以下のコマンドで、SIRMS 関連のパッケージをインストールします。

【入力形式】

```
/bin/rpm -ivh sirms-X.X.X-X.i386.rpm (*)
```

*：X.X.X−X は SIRMS の版数です。

6.1.6　パーティション再起動

SVmco、SIRMS インストール後、リブートによりパーティションを再起動します。

【入力形式】

```
/sbin/reboot
```

6.1.7　SVmco インストール後の設定

ここでは、SVmco をインストールしたあとに設定する項目について説明します。

- SELinux 機能の設定確認
- ファイアーウォール機能の確認 (ポートの開放)
- パーティションからのトラップ送信先の設定
- 複製ディスク使用時の SNMP 設定

■ **SELinux 機能の設定確認**

SELinux 機能の設定確認について詳しくは、「2.1.3 SELinux 機能の設定確認」を参照してください。

■ ファイアーウォール機能の確認 (ポートの開放)

ファイアーウォール機能の確認 (ポートの開放) について詳しくは、「2.1.4 ファイアーウォール機能の確認 (ポートの開放)」を参照してください。

■　パーティションからのトラップ送信先の設定

パーティションからのトラップ送信先の設定について詳しくは、「2.1.6 パーティションからのトラップ送信先の設定」を参照してください。

■複製ディスク使用時の SNMP 設定

複製ディスク使用時の SNMP 設定について詳しくは、「2.1.7 複製ディスク使用時の SNMP 設定」を参照してください。

6.1.8　SVmco のアップデートインストール

SVmco のアップデートインストールについて詳しくは、「2.1.8 SVmco のアップデートインストール」を参照してください。

6.1.9　SIRMS のアップデートインストール

SIRMS のアップデートインストールについて詳しくは、「2.1.9 SIRMS のアップデートインストール」を参照してください。

6.1.10 SVmco のアンインストール

SVmco のアンインストールについて詳しくは、「2.1.10 SVmco のアンインストール」を参照してください。

6.1.11 SIRMS のアンインストール

SIRMS のアンインストールについて詳しくは、「2.1.11 SIRMS のアンインストール」を参照してください。

6.2 SVmco の手動インストール (Windows Server 2008)

Windows Server 2008 に SVmco をインストールする手順について説明します。インストールする場合は、必ず Administrator 権限でログインしてください。なお、Administrator 以外の Administrator 権限のユーザーで、SVmco のインストールを行う場合、ファイルを右クリックして表示されるメニューの [管理者として実行] を選択してから、SVmco をインストールしてください。

備考

PRIMEQUEST 1000x2 シリーズ運用時は、必ず SVmco をインストールしてください。SVmco をアンインストールすると、以下の制限があります。

- REMCS 契約時にパーティション上の異常が通知されません。
- PCI カードの活性保守ができない。必ずパーティション停止保守となる。

6.2.1　インストールの流れ

SVmco のインストールの流れについて、『PRIMEQUEST 1000 シリーズ導入マニュアル』(C122-E107)の「第 4 章 OS および添付ソフトウェアのインストール 」を参照してください。SVmco の設定については、「2.2 SVmco の設定（Windows Server 2008）を参照してください。

備考

- SVIM を使用して OS をインストールする場合、SVmco、SIRMS のインストールは不要です。ただし、SVIM によるインストール後に、「6.2.2 SVmco インストール前の確認」および「6.2.6 SVmco インストール後の設定」の各項目の確認および設定を実施する必要があります。
- SVmco インストール後に、以下のいずれかを実行する場合は、SNMP セキュリティ設定コマンド (setsnmpsec) を実行します。コマンドの詳細については「3.5　SNMP セキュリティ設定コマンド (setsnmpsec)」を参照してください。
- SNMP Service のセキュリティ設定を [すべてのホストから SNMP パケットを受け付ける] から [これらのホストから SNMP パケットを受け付ける] に変更する場合
- MMB の IP アドレスを変更する場合

MMB の IP アドレスおよびパーティション側の管理 LAN の IP アドレスを変更した場合は、必ず SVmco を再起動してください。再起動しない場合、SVmco で検出するエラーの通知ができません。

■ Windows Server 2008 設定時の注意

- Windows サービスの「Print Spooler サービス」を停止しないでください。OS 情報収集機能は、WMI (Windows Management Instrumentation) を使用します。「Print Spooler サービス」が停止していると、WMI でエラーが通知されるため、構成情報を正しく収集できません。

- 以下のレジストリの値を 20000 (20 秒) 未満に設定すると、OS のシャットダウン時にハングアップする可能性があります。このためレジストリの値は、必ず 20000 (20 秒) 以上に設定してください。

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Control " WaitToKillServiceTimeout" (種類: REG_DWORD / default;20000)

- 上記のレジストリで、シャットダウン時にサービスを終了させるまでの待ち時間 (ms) を指定できます。

6.2.2 インストール前の確認

SVmco をインストールする前に確認する項目について説明します。

■ PSA-MMB 間通信 LAN の設定確認

■ SVmco 動作のための必須サービスの確認

■ PSA-MMB 間通信 LAN の設定確認

PSA-MMB 間通信 LAN の設定について詳しくは、「2.2.1 PSA-MMB 間通信 LAN の設定」を参照してください。

■ SVmco 動作のための必須サービスの確認

SVmco の動作のためには SNMP サービスが必要です。SNMP サービスを以下の手順で追加します。

● **操作手順**

1. [スタート] メニュー - [管理ツール] - [サーバーマネージャー] をクリックします。

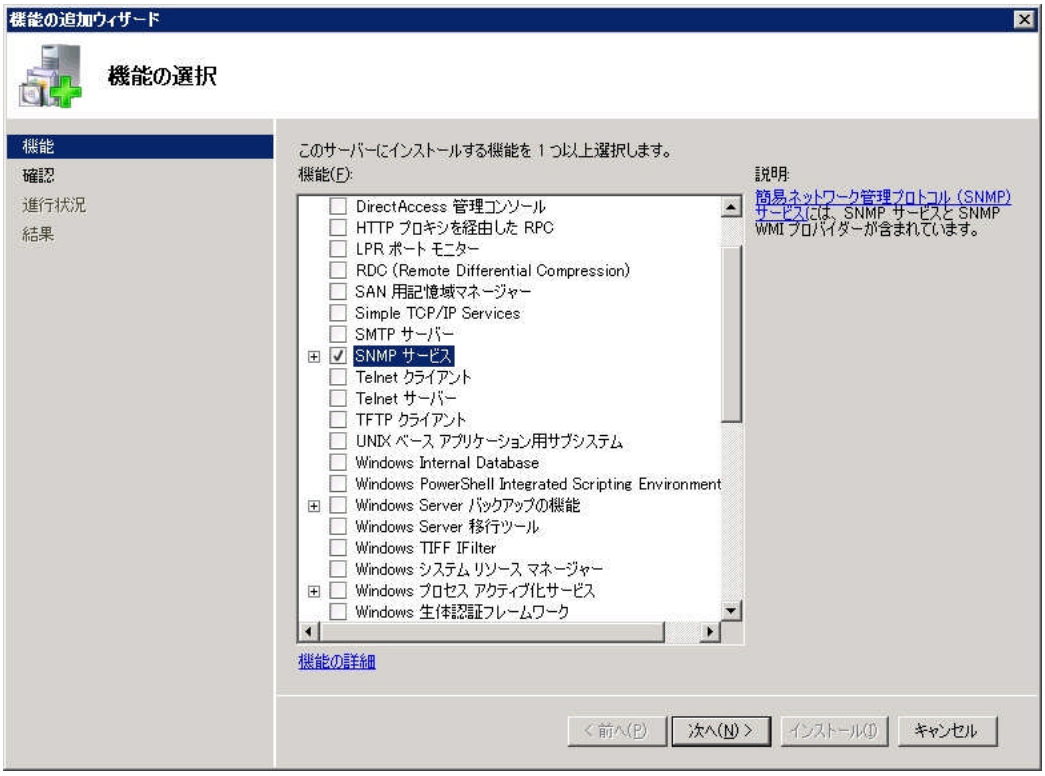
2. [サーバー マネージャー] 画面の [機能] - [機能の追加] - [SNMP サービス] を選択します。

3. [SNMP サービス] のチェックボックスがオンになっているか確認し、[OK] ボタンをクリックします。Windows コンポーネントウィザードに戻ります。

備考

チェックボックスがオンになっていない場合は、SNMP サービスがインストールされていません。チェックボックスをオンにして、SNMP サービスをインストールしてください。

Windows コンポーネントウィザード画面で [次へ] ボタンをクリックし、ウィザードの指示に従ってインストールします。



[機能の選択] 画面

6.2.3 SVmco のインストール

SVmco のパッケージをインストールします。

本体処理装置に添付されている『ServerView Suite』の DVD を用意します。

■ 操作手順

1. Tools¥Japanese¥SVmco¥ SR_Windows¥ ServerViewMissionCriticalOption_Win.exe を実行します。

「インストールの準備」画面が表示されます。

2. インストールの準備が整い以下の画面が表示されたら、実行する場合は [次へ] ボタンをクリックします。

3. インストール先を指定し、[次へ] ボタンをクリックします。

SVmco はデフォルトで Program Files¥Fujitsu ¥ServerView Suite 配下または Program Files(x86)¥Fujitsu ¥ServerView Suite 配下にインストールされます。インストール先を変更する場合は［参照］ボタンをクリックしてインストール先を指定します。

4. インストールが完了すると、[セットアップ完了] 画面が表示されます。[完了] ボタンをクリックします。

5. 再起動が必要な場合は、すぐにコンピュータを再起動するかしないかを確認する画面が表示されます。

その場合は、再起動が可能かどうか確認してください。可能であれば、再起動のオプションを選択し、[完了] ボタンをクリックします。

6.2.4 SVmcoインストール時の自動設定

SVmco のインストール時には、以下の SVmco 動作のための設定が自動的に行われます。

■サービスの設定

- ServerView Mission Critical Option
- PRIMEQUEST PEM Command Service
- PRIMEQUEST Environment Control Service

■環境変数の設定

- PATH 変数
  既存の PATH 変数に SVmco が使用する値を追加します。
- SVmco_INSTALLPATH 変数
  新規に変数が追加されます。

■SNMP のセキュリティ設定

SVmco が MMB からの SNMP パケットを受け付ける必要があるため、SNMP Service のセキュリティを設定します。

SVmco インストール時に、[SNMP Service] の [プロパティ] 画面のセキュリティタブで選択されている項目により処理が異なります。

- 「すべてのホストから SNMP パケットを受け付ける」が選択されている場合
  SNMP のセキュリティ設定は実行されません。

- 「これらのホストから SNMP パケットを受け付ける」が選択されている場合 MMB の IP アドレスと、localhost が設定されていない場合に localhost を、SNMP のセキュリティに設定します。

6.2.5 SIRMS のインストール

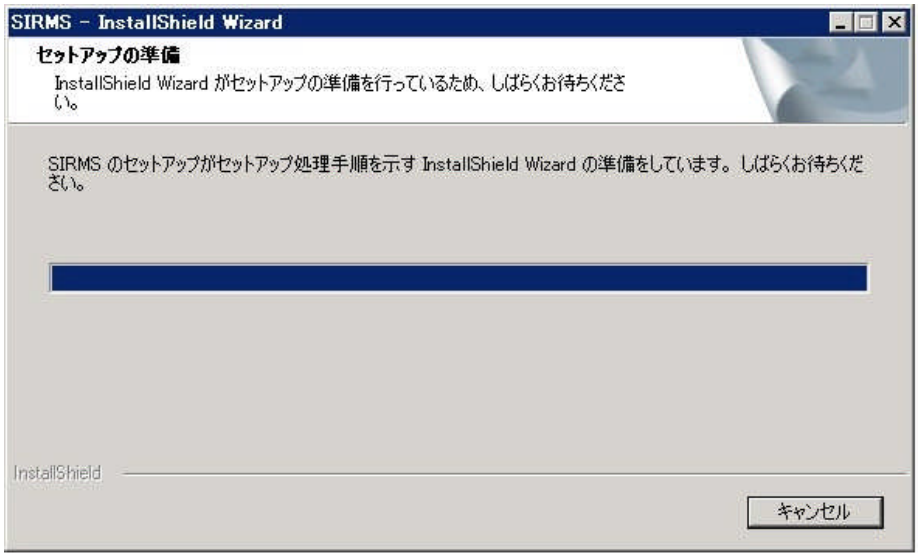
SIRMS のパッケージをインストールします。

本体処理装置に添付されている『ServerView Suite』の DVD を用意します。

■操作手順

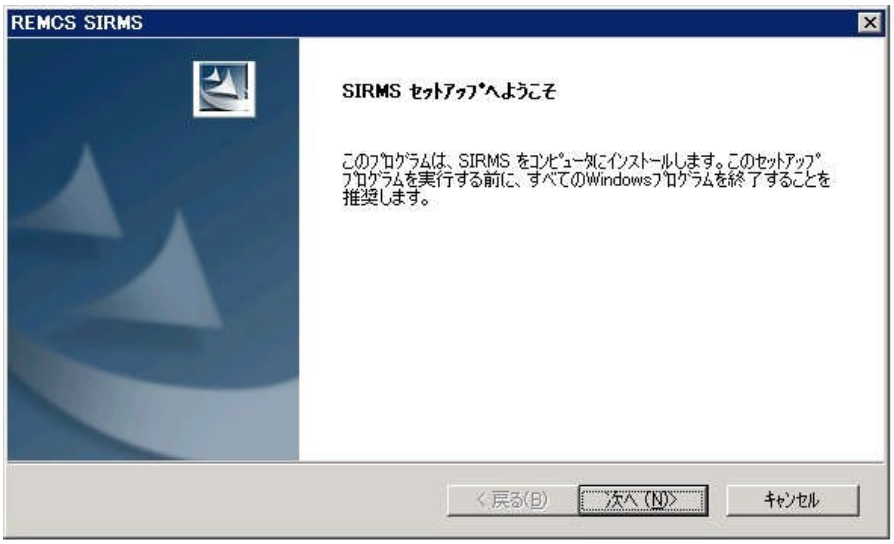
1. Tools¥Japanese¥SIRMS¥SIRMS¥setup.exe を実行します。

インストールの準備のため、以下の画面が表示されます。



[セットアップの準備] 画面

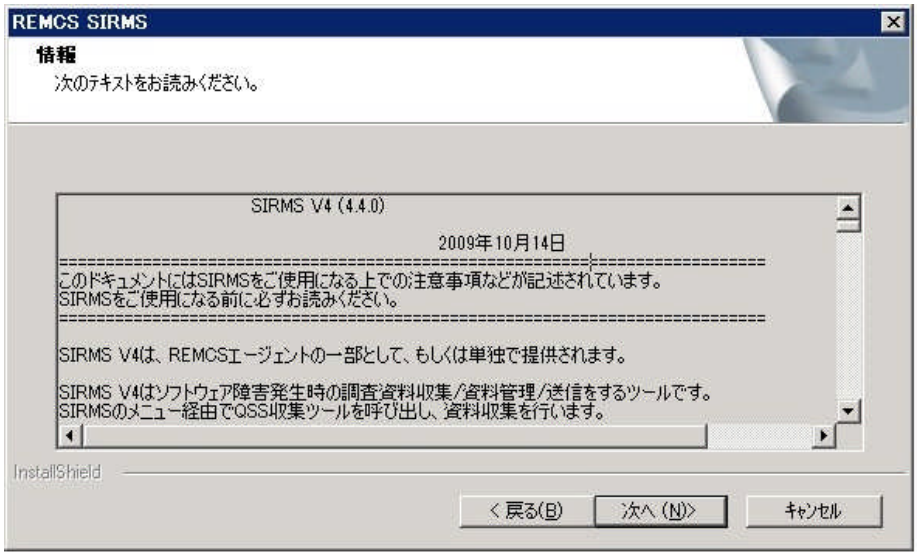
2. インストールの準備が整うと以下の画面が表示されます。実行する場合は [次へ] ボタンをクリックします。



[SIRMS セットアップ] 画面

3. [情報一覧] 画面が表示されます。

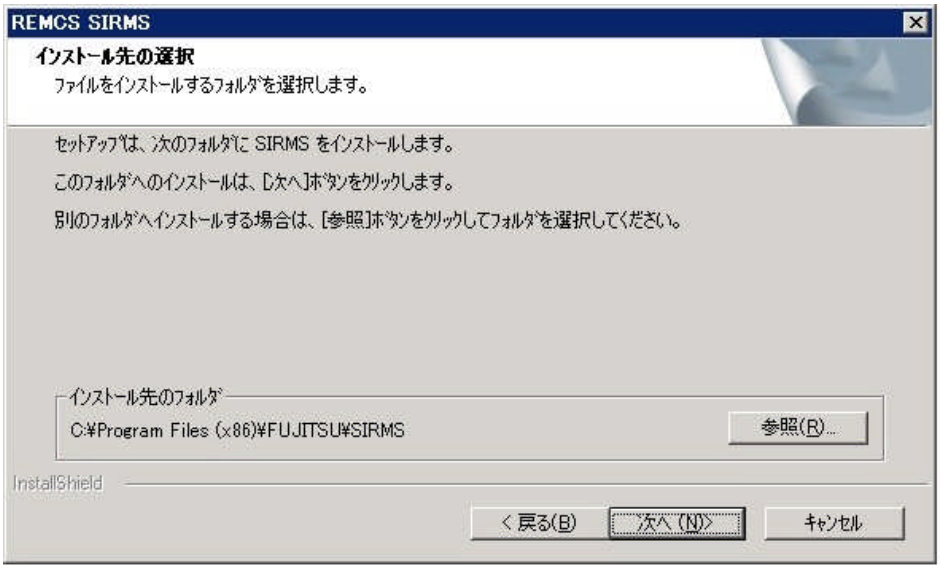
内容を確認し [次へ] ボタンをクリックします。



[情報一覧] 画面

4. インストール先を指定し、[次へ] ボタンをクリックします。

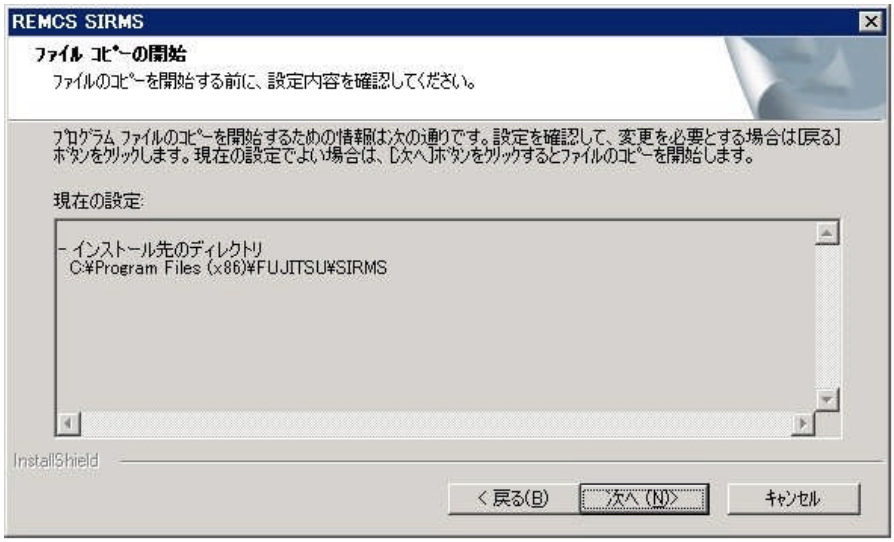
SIRMS はデフォルトで Program Files¥Fujitsu 配下または Program Files(x86)¥Fujitsu にインストールされます。変更する場合は [参照] ボタンをクリックして、インストール先を指定します。



[インストール先の選択] 画面

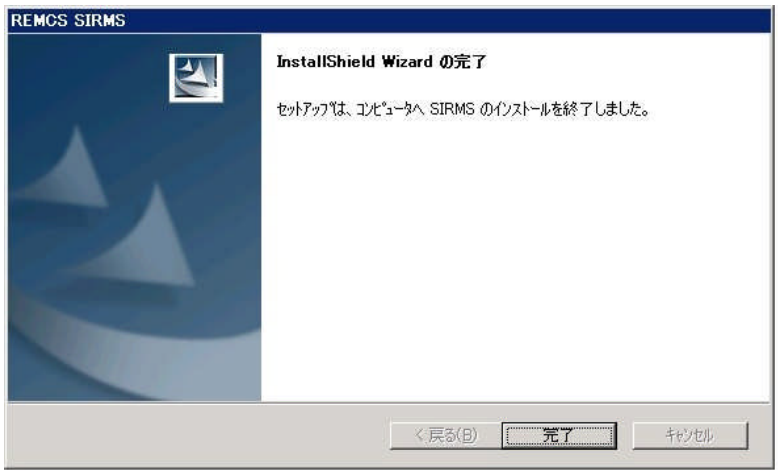
5. 指定されたインストール先を確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

プログラムの転送が開始されます。



[ファイルコピーの開始] 画面

6. [完了] 画面が表示されたら [完了] ボタンをクリックして終了します。



[セットアップの完了] 画面

6.2.6 SVmcoインストール後の設定

SVmcoをインストールしたあとに設定する項目について説明します。

■パーティションからのトラップ送信先の設定

■Windowsファイアーウォールの設定

■STOPエラー(致命的なシステムエラー)発生後のWatchdog監視設定

■PSHED Pluginドライバのインストール

注意

イベントビューアのシステムログ、アプリケーションログのプロパティで[ログ サイズが最大値に達した時の操作]で[イベントを上書きしない]に変更しないでください。ログサイズが最大値に達した場合、それ以降にエラーが発生してもログに出力されないため、SVagentが検出できません。

■ パーティションからのトラップ送信先の設定

パーティションからのトラップ送信先の設定について詳しくは、「2.2.5 パーティションからのトラップ送信先の設定」を参照してください。

■ Windows ファイアーウォールの設定

Windows ファイアーウォールの設定について詳しくは、「2.2.3 Windows ファイアーウォールの設定」を参照してください。

■ STOP エラー(致命的なシステムエラー)発生後の Watchdog 監視設定

STOP エラー(致命的なシステムエラー)発生後の Watchdog 監視設定について詳しくは、「2.2.6 STOP エラー (致命的なシステムエラー) 発生後の Watchdog Timer 監視設定」を参照してください。

■ PSHED Plugin ドライバのインストール

PSHED Plugin ドライバのインストールについて詳しくは、「2.2.2 PSHED Plugin ドライバのインストール」を参照してください。

7　メッセージ

本章では、SVmco および SVAgent のメッセージを記載します。

メッセージの意味と対処方法について説明します。

メッセージは、イベント ID の昇順に並べています。

イベント ID は、表示元のソフトウェアや異常検出元のドライバ対応によって分類されています。

以下の Severity は、メッセージの重大度を示します。

- Error：システム上の重大な問題
- Warning：警告や注意。システムは継続した動作が可能
- Info：通知のイベント

アクションで示される (R/M/T/S) は、SVmco が行うアクションの種類で、メッセージごとに異なります。

- R：REMCS 送信
- M：Mail 送信
- T：SNMP トラップ送信

- S：syslog 出力

なお、PCI カード上で異常を検出後、同一ユニットで再度異常を検出した場合、SVOM 上の Driver Monitor 画面で承認ボタンを押すまで、REMCS 送信／Mail 送信／SNMP トラップ送信のアクションは抑止されます。

ディスクデバイスにおける異常を検出後、1 時間以内に同一デバイスで再度異常を検出した場合は、REMCS 送信／Mail 送信／SNMP トラップ送信のアクションは抑止されます。

7.1 SVmco メッセージ

SVmco のメッセージを下記に示します。

00002

system err() %s4, %s5, %s5, %s5, %s5

意味：

SVmco のシステム異常を検出しました。

%s4=数値 (1～3 桁)

%s5=数値 (1～8 桁)

対処：

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Error

アクション：

(/ / /S)

00003

system err() [%s1:%s2] %s4, %s5, %s5, %s5, %s5

意味:

SVmco のシステム異常を検出しました

%s1=数値(1 桁)

%s2=数値(2～4 桁)

%s4=数値(1～3 桁)

%s5=数値(1～8 桁)

対処:

getosvmco を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00051

lib call err [%s1:%s2] (%s5) %s5, %s4, %s5, %s5, %s5, %s5

意味:

SVmco の起動時に必要なライブラリの呼出しで異常が発生しました。

%s1=数値 (1 桁)

%s2=数値 (2～4 桁)

%s4=数値 (1～3 桁)

%s5=数値 (1～8 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00061

daemon normal end(etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf)

意味:

SVmco のデーモンプロセスが正常終了しました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

00062

child process abnormal end [%s1:%s2] (%s3) %s1:%s4

意味:

SVmco の子プロセスで異常が発生しました。

%s1=数値 (1 桁)

%s2=数値 (2～4 桁)

%s3=文字列 (2～7 文字)

%s4=数値 (1～3 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ / /S)

00063

child process %s6 time out [%s1:%s2] (%s3)

意味:

SVmco の子プロセスが無応答になりました。

%s1=数値 (1 桁)

%s2=数値 (2～4 桁)

%s3=文字列 (2～7 文字)

%s6=stop または exec

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ / /S)

00064

Start failed:Parameter error [%s1:%s2]

意味:

SVmco の起動がパラメーターエラーにより失敗しました。

%s1=数値 (1 桁)

%s2=数値 (2～4 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00065

Start failed (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf):system call error [%s1:%s2]

意味:

SVmco の起動時にシステムコールの異常が発生しました。

%s1=数値 (1 桁)

%s2=数値 (2～4 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00066

Start failed (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf):File can not open [%s1:%s2] (%s4)

意味:

SVmco の起動に必要なファイルがオープンできませんでした。

%s1=数値 (1 桁)

%s2=数値 (2～4 桁)

%s4=数値 (1～3 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00067

Start failed (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf):Multiplex starting (%s4)

意味:

SVmco が多重起動しました。

%s4=数値 (1～3 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00068

Start failed (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf) %s1:%s4:child process was stopped

意味:

SVmco の子プロセスが停止しました。

%s1=数値 (1 桁)

%s4=数値 (1～3 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00069

startup succeeded (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf)

意味:

SVmco の起動に成功しました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

00070

stop by Ctrl-C (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf)

意味:

SVmco のプロセスが Ctrl+C で停止されました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

00071

cannot open file (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf)

意味:

SVmco の定義ファイルをオープンできませんでした。

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00072

file format err (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf:line=%s4):line length over

意味:

SVmco の動作に必要な定義ファイルの読込みに失敗し、SVmco が起動できませんでした。

(ファイル名:line=行番号) の文字長が長すぎます。

%s4=数値 (1～3 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00073

file format err (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf:line=%s4):out of section

意味:

SVmco の動作に必要な定義ファイルの読込みに失敗し、SVmco が起動できませんでした。

(ファイル名:line=行番号) がセクション外のデータです。

%s4=数値 (1～3 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00074

file format err (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf:line=%s4):bad section

意味:

SVmco の動作に必要な定義ファイルの読込みに失敗し、SVmco が起動できませんでした。

(ファイル名:line=行番号) のセクション形式が不正です。

%s4=数値 (1～3 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00075

file read err (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf):not enough memory

意味:

SVmco の動作に必要なメモリサイズが確保できません。

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00076

file format err (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf:line=%s4):section name overlaps

意味:

SVmco の動作に必要な定義ファイルの読込みに失敗し、SVmco が起動できませんでした。

(ファイル名:line=行番号) の同一セクション名を検出しました。

%s4=数値 (1～3 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00077

file format err (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf:line=%s4):bad member

意味:

SVmco の動作に必要な定義ファイルの読込みに失敗し、SVmco が起動できませんでした。

(ファイル名:line=行番号) のメンバー形式が不正です。

%s4=数値 (1～3 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00078

file format err (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf:line=%s4):member name overlaps

意味:

SVmco の動作に必要な定義ファイルの読込みに失敗し、SVmco が起動できませんでした。

(ファイル名:line=行番号) の同一メンバー名を検出しました。

%s4=数値 (1～3 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00079

file read err (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf) %s5:%s4:system error

意味:

SVmco の定義ファイルの読込みで異常が発生しました。

%s4=数値 (1～3 桁)

%s5=数値 (1～8 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00080

file format err (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf) %s5:%s4:bad member

意味:

SVmco の動作に必要な定義ファイルの読込みに失敗し、SVmco が起動できませんでした。

(ファイル名) が不正なメンバーです。

%s4=数値 (1～3 桁)

%s5=数値 (1～8 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00081

cannot change directory (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf) %s1:%s4

意味:

SVmco で作業用ディレクトリへの変更操作に失敗しました。

%s1=数値 (1 桁)

%s4=数値 (1～3 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00083

starting timeout (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf)

意味:

SVmco の起動でタイムアウトを検出しました。

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00090

abnormal end of service was detected

意味:

SVmco サービスが異常終了しました。

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00100

Stop failed:Parameter error [%s1:%s2]

意味:

SVmco の停止がパラメーターエラーにより失敗しました。

%s1=数値 (1 桁)

%s2=数値 (2～4 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00101

timeout occurred (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf)

意味:

SVmco の停止中にタイムアウトが発生しました。

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00102

message err [%s1:%s2] (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf) %s4

意味:

SVmco の停止中のメッセージ処理で異常が発生しました。

%s1=数値 (1 桁)

%s2=数値 (2～4 桁)

%s4=数値 (1～3 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00104

request is rejected [%s1:%s2] (%s5) %s5

意味:

SVmco の停止要求がリジェクトされました。

%s1=数値 (1 桁)

%s2=数値 (2～4 桁)

%s5=数値 (1～8 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00105

Under stop processing execution [%s1:%s2] (%s5) %s5

意味:

SVmco の停止を要求中です。

%s1=数値 (1 桁)

%s2=数値 (2～4 桁)

%s5=数値 (1～8 桁)

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

00111

lib call err [%s1:%s2] (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf) %s1:%s5, %s4, %s5, %s5, %s5, %s5

意味:

SVmco の停止処理でライブラリの呼出しに失敗しました。

%s1=数値 (1 桁)

%s2=数値 (2～4 桁)

%s4=数値 (1～3 桁)

%s5=数値 (1～8 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00112

system call err [%s1:%s2] (%s5) %s1:%s4

意味:

SVmco の停止処理でシステムコールの異常が発生しました。

%s1=数値 (1 桁)

%s2=数値 (2～4 桁)

%s4=数値 (1～3 桁)

%s5=数値 (1～8 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00129

stop succeeded (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf)

意味:

SVmco の停止処理に成功しました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

00130

stopped by Ctrl-C (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf)

意味:

SVmco の停止処理が Ctrl+C で停止されました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

00131

cannot open file (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf)

意味:

SVmco の停止処理の定義ファイルをオープンできませんでした。

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00132

file format err (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf:line=%s4) :line length over

意味:

SVmco の動作に必要な定義ファイルの読込みに失敗し、SVmco が起動できませんでした。

(ファイル名:line=行番号) の文字長が長すぎます。

%s4=数値 (1～3 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00133

file format err (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf:line=%s4) :out of section

意味:

SVmco の動作に必要な定義ファイルの読込みに失敗し、SVmco が起動できませんでした。

(ファイル名:line=行番号) がセクション外のデータです。

%s4=数値 (1～3 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00134

file format err (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf:line=%s4) :bad section

意味:

SVmco の動作に必要な定義ファイルの読込みに失敗し、SVmco が起動できませんでした。

(ファイル名:line=行番号) のセクション形式が不正です。

%s4=数値 (1～3 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00135

file read err (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf):not enough memory

意味:

SVmco の停止処理に必要なメモリサイズが確保できません。

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00136

file format err (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf:line=%s4) :section name overlaps

意味:

SVmco の動作に必要な定義ファイルの読込みに失敗し、SVmco が起動できませんでした。

(ファイル名:line=行番号) で同一セクション名を検出しました。

%s4=数値 (1～3 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00137

file format err (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf:line=%s4) :bad member

意味:

SVmco の動作に必要な定義ファイルの読込みに失敗し、SVmco が起動できませんでした。

(ファイル名:line=行番号) のメンバー形式が不正です。

%s4=数値 (1～3 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00138

file format err (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf:line=%s4) :member name overlaps

意味:

SVmco 停止処理の定義ファイルの形式誤りです。

(ファイル名:line=行番号) の同一メンバー名を検出しました。

%s4=数値 (1～3 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00139

file read err (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf) %s5:%s4:system error

意味:

SVmco の停止処理の定義ファイル読込みで異常が発生しました。

%s4=数値 (1～3 桁)

%s5=数値 (1～8 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00140

file format err (/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf)%s5:%s4 :no member

意味:

SVmco の動作に必要な定義ファイルの読込みに失敗し、SVmco が起動できませんでした。

(ファイル名) で必要なメンバーが見つかりません。

%s4=数値 (1～3 桁)

%s5=数値 (1～8 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00141

cmd_path length over

意味:

SVmco 停止処理で使用するコマンドのパス長が長すぎます。

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00142

cmd_path disconnected [%s1:%s2] %s1:%s4

意味:

SVmco 停止処理で使用したコマンドパスが切断されました。

%s1=数値 (1 桁)

%s2=数値 (2～4 桁)

%s4=数値 (1～3 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00143

target process does not exist [%s1:%s2]
(/etc/fujitsu/SVmco/global/pmsvmco.conf)

意味:

SVmco 停止処理で停止しようとしたプロセスが見つかりません。

%s1=数値 (1 桁)

%s2=数値 (2～4 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00399

(%s1-%s2) Process Manager Down:Err (i_err=%s4, os_err=%s5, detail(1=%s5, 2=%s5, 3=%s5))

意味:

SVmco のプロセスマネージャがダウンしました。

%s1=数値 (1 桁)

%s2=数値 (2～4 桁)

%s4=数値 (1～3 桁)

%s5=数値 (1～8 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

00502

MMB connected

意味:

MMB との通信を接続しました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

00504

MMB connection failed

意味:

MMB と接続できなかったため縮退しました。再接続を試みます。

対処:

PSA-MMB 間通信 LAN の IP アドレス設定を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ / /S)

00515

Partition IP address of Management LAN is not found

意味:

パーティションの PSA-MMB 間通信 LAN 用 IP アドレスが設定されていません。

対処:

PSA-MMB 間通信 LAN の IP アドレスを設定してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ / /S)

01190

setting error (%1)

意味:

OS ハング時に MMB のシステム状態に PANIC を設定するための準備処理に失敗しました。

%1=数値 (1～8 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ / /S)

01191

configuration file error (%1,%2)

意味:

OS ハング時の Software Watchdog タイマー設定に関するファイルの記述に誤りがあります。なお、設定は無効となります。(Software Watchdog タイマーを停止。)

%1=ファイル名 (文字列。フルパスです。)

%2=詳細エラーコード (数値 4 桁)

1176:設定ファイルが異常です。設定ファイルの有無およびフォーマットを確認してください。

1177:設定値が異常です。設定値を確認してください。

1178:設定値が範囲外です。設定値の範囲を確認してください。

1179:セクション／メンバーがありません。セクション／メンバー定義が正しいか確認してください。

対処:

設定ファイルを確認してください。解決しない場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ / /S)

02700

initialization failed

意味:

初期化処理に失敗しました。

対処:

スーパーユーザーでログインしているか、また SVmco が正しくインストールされているか、確認してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

02701

version file read error

(filepath=%1 lineno=%2 lid=%3 value=%4)

意味:

版数の読込みに失敗しました。

%1=文字列

%2=数値

%3=数値

%4=数値

対処:

スーパーユーザーでログインしているか、また SVmco が正しくインストールされているか、確認してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

02702

version file format error

(filepath=%1 lineno=%2 errid=%3 lid=%4 value=%5)

意味:

版数情報形式の異常を検出しました。

%1=文字列

%2=数値

%3=数値

%4=数値

%5=数値

対処:

SVmco が正しくインストールされているか確認してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

02703

internal error (mode=%1)

意味:

内部矛盾が発生しました。

%1=数値

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

02704

updating filter file

意味:

更新対象のフィルタ版数です。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

02705

unnecessary to update filter file

意味:

更新対象のフィルタ版数が現在適用されているフィルタ版数より古いため、フィルタアップデートは不要です。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

02706

directory doesn't exist

意味:

フィルタ更新に必要なディレクトリが存在しません。

対処:

指定したディレクトリが存在するか、また SVmco が正しくインストールされているか、確認してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

02707

failed to update filter file

意味:

フィルタの更新が正常に完了しませんでした。

対処:

スーパーユーザーでログインしているか、また SVmco が正しくインストールされているか、確認してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

02708

normally end

意味:

フィルタ更新の準備またはフィルタ更新が正常に完了しました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

02709

failed to update filter file

意味:

フィルタの更新が正常に完了しませんでした。

対処:

スーパーユーザーでログインしているか、また SVmco が正しくインストールされているか、確認してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

02716

illegal version (value1=%1 lid=%2)

意味:

指定された版数の値が範囲外です。

%1=数値

%2=文字列

%3=文字列

対処:

提供されたフィルタ定義の誤りが考えられます。修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

02717

illegal version (lid=%1 value1=%2 value2=%3)

意味:

指定された版数が不正な値です。

%1=数値

%2=文字列

%3=文字列

対処:

提供されたフィルタ定義の誤りが考えられます。修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

02718

cannot update filter file

意味:

SVmco 動作中のためフィルタ更新は不可です。

対処:

SVmco を停止してから、再度実行してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

02800

Could not load %s1:%s2

意味:

SVmco が処理するために必要なドライバのロード (modprobe) に失敗しました。

%s1=ロードに失敗したドライバ名 (sg または mptctl)

%s2=modprobe の復帰値

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ / /S)

02801

Initialization Error %s1:%s2

意味:

SVmco の初期化処理において SDR/FRU などの読込みに失敗しました。

%s1=数値 (1 桁)

%s2=数値 (3 桁)

対処:

MMB のシステムイベントログをダウンロードし、SVmco の調査資料 (getosvmco) を収集して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

02899

disabled the SELinux function. This setting will take effect after reboot.

意味:

SVmco のインストールまたはアップデートインストール処理において SELinux 機能を無効にしました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

04000

system err [%1:%2] %3,%4,%5,%6,%7

意味:

SVmco のシステム異常を検出しました。

%1=数値 (1～2 桁)

%2=数値 (1～4 桁)

%3=数値 (1～3 桁)

%4=数値 (1～10 桁)

%5=数値 (1～10 桁)

%6=数値 (1～10 桁)

%7=数値 (1～10 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04001

system err [%1:%2] %3

意味:

SVmco のシステム異常を検出しました。

%1=数値 (1～2 桁)

%2=数値 (1～4 桁)

%3=数値 (1～10 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04002

Start failed :system call error [%1:%2] %3

意味:

SVmco の起動時にシステムコールの異常が発生しました。

%1=数値 (1～2 桁)

%2=数値 (1～4 桁)

%3=数値 (1～10 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04004

starting timeout (%1)

意味:

SVmco の起動でタイムアウトを検出しました。

%1=文字列 (1～256 文字)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ / /S)

04005

Start failed :stop request (%1) [%2:%3]

意味:

SVmco の起動中にサービス停止要求を受け付けました。

%1=文字列 (1～256 文字)

%2=数値 (1～2 桁)

%3=数値 (1～4 桁)

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

04007

Start failed: cannot execute process (%1) [%2:%3] %4

意味:

SVmco のプロセス起動時に異常が発生しました。

%1=文字列 (1～256 文字)

%2=数値 (1～2 桁)

%3=数値 (1～4 桁)

%4=数値 (1～10 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04008

cannot open file (%1)

意味:

SVmco の定義ファイルをオープンできません。

%1=文字列 (1～256 文字)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04009

file read err (%1): not enough memory

意味:

SVmco の動作に必要なメモリサイズが確保できません。

%1=文字列 (1～256 文字)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04010

Start failed (%1): configure error [%2:%3] %4

意味:

SVmco の定義ファイルの設定値に異常を検出しました。

%1=文字列 (1～256 文字)

%2=数値 (1～2 桁)

%3=数値 (1～4 桁)

%4=数値 (1～10 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04011

Start failed (%1) %2:%3:child process was stopped

意味:

SVmco の定義ファイルの設定値に異常を検出しました。

%1=文字列 (1～256 文字)

%2=数値 (1 桁)

%3=文字列 (1～10 桁の 16 進)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04012

lib call err [%1:%2] %3,%4,%5,%6,%7,%8

意味:

SVmco の起動時に必要なライブラリの呼出しで異常が発生しました。

%1=数値 (1～2 桁)

%2=数値 (1～4 桁)

%3=数値 (1～10 桁)

%4=数値 (1～3 桁)

%5=数値 (1～10 桁)

%6=数値 (1～10 桁)

%7=数値 (1～10 桁)

%8=数値 (1～10 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04013

cannot change directory %1:%2

意味:

SVmco で作業用ディレクトリへの変更操作に失敗しました。

%1=数値 (1～10 桁)

%2=数値 (1～10 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04018

child process abnormal end [%1:%2] (%3) %4:%5

意味:

SVmco の子プロセスが異常終了しました。

%1=文字列 (1～256 文字)

%2=数値 (1 桁)

%3=文字列 (1～10 桁の 16 進)

%4=数値 (1～2 桁)

%5=数値 (1～4 桁)

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04019

service was started

意味:

SVmco サービスが起動しました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

04020

service was stopped

意味:

SVmco サービスが停止しました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

04400

service was started

意味:

サービスが起動しました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

04401

service was stopped

意味:

サービスが停止しました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

04402

Start failed: stop request (%s1) [%s1:%s2]

意味:

SVmco の起動中にサービス停止要求を受け付けました。

%s1=文字列 (1～256 文字)

%s2=数値 (1～2 桁)

%s3=数値 (1～4 桁)

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

04403

system err [%s1:%s2] %s5

意味:

SVmco のシステム異常を検出しました。

%s1=数値 (1 桁)

%s2=数値 (2～4 桁)

%s5=数値 (1～8 桁)

対処:

getosvmco を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04405

lib call err [%s1:%s2] %s4, %s5, %s5, %s5, %s5

意味:

ライブラリの呼出しに失敗しました。

%s1=数値 (1 桁)

%s2=数値 (2～4 桁)

%s4=数値 (1～3 桁)

%s5=数値 (1～8 桁)

対処:

getosvmco を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04406

environmental error [%s1:%s2] %s4, %s5, %s5, %s5, %s5

意味:

動作環境に異常を検出しました。

%s1=数値 (1 桁)

%s2=数値 (2～4 桁)

%s4=数値 (1～3 桁)

%s5=数値 (1～8 桁)

対処:

getosvmco を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04407

not enough memory

意味:

SVmco の動作に必要なメモリサイズが確保できませんでした。

対処:

getosvmco を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04408

configure error (%s1) [%s1:%s2] %s5

意味:

SVmco の定義ファイルの設定値に異常を検出しました。

%s1=文字列 (1～256 文字)

%s2=数値 (1～2 桁)

%s3=数値 (1～4 桁)

%s5=数値 (1～8 桁)

対処:

getosvmco を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04409

Start failed (%s1) [%s1:%s2] %s5

意味:

プロセスの起動に失敗しました。

%s1=文字列 (1～256 文字)

%s2=数値 (1～2 桁)

%s3=数値 (1～4 桁)

%s5=数値 (1～8 桁)

対処:

getosvmco を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04410

starting timeout (%s)

意味:

SVmco の起動でタイムアウトを検出しました。

%s1=文字列 (1～256 文字)

対処:

getosvmco を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04411

child process abnormal end (%s1) [%s2:%s3] %s4:0x%s5

意味:

子プロセスが異常終了しました。

%s1=文字列 (1～256 文字)

%s2=数値 (1～2 桁)

%s3=数値 (1～4 桁)

%s4=数値 (1 桁)

%s5=16 進数値 (1～8 桁)

対処:

getosvmco を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04412

Initialization Error %s1

意味:

SVmco の初期化処理において、SDR/FRU などの読込みに失敗しました。

%s1=数値 (4 桁)

対処:

MMB のシステムイベントログをダウンロードし、SVmco の調査資料 (getosvmco) を収集して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

04802

management IP wrong format.

意味:

管理 LAN の設定ファイルに誤りがあります。

対処:

設定ファイル記述内容を正しく修正し、SVmco を再起動します。

問題が解決しない場合は getosvmco を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ / /S)

05308

FJSVfefpcl driver open error

意味:

fefpcl への ioctl 異常または、fefpcl の状態が異常であり、ioctl の結果に異常が通知されました。

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ / /S)

05380

configuration file error (%1,%2)

意味:

PRIMECLUSTER 連携機能のハーフダウン／フルダウン検出閾値の設定に関する定義ファイルが存在しないか、記述に誤りがあります。デフォルト値での動作となります。

%1=ファイル名 (文字列。フルパスです。)

%2=詳細エラーコード (数値 4 桁)

5408:設定ファイル異常です。設定ファイルの有無およびフォーマットを確認してください。

5409:セクション／メンバーがありません。セクション／メンバー定義が正しいか確認してください。

5410:メンバー間の大小関係が異常です。設定値間の大小関係を確認してください。

5411:設定値が異常です。設定値を確認してください。

5412:設定値が範囲外です。設定値の範囲を確認してください。

対処:

設定ファイルを確認してください。解決しない場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ / /S)

05402

FJSVfefpcl is not installed

意味:

fefpclドライバがインストールされていません。

対処:

ドライバがインストールされていない場合は、インストールしてください。ドライバがインストールされている場合、または、ドライバをインストール後も解決しない場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

06252

MMB-PSA IP wrong format.

意味:

MMB-PSA 専用 LAN の設定ファイルに誤りがあります。

対処:

"format err" の場合は、設定ファイル記述内容を正しく修正し、SVmco を再起動します。

"read err" の場合は、設定ファイルが存在するか、read 権限があるかを確認します。

問題が解決しない場合は getosvmco を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ / /S)

06297

hotplug %s1 event %s2 hasn't set

意味:

hotplug のイベントを受け付けましたが、必要なデータが環境変数として設定されていません。

%s1=pci または scsi

%s2=環境変数名

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ / /S)

06298

%s1 hotplug event %s2 doesn't correct. data:%s3

意味:

hotplug のイベントを受け付けましたが、環境変数として通知された、必要なデータのフォーマットが正しくありません。

%s1=pci または scsi

%s2=環境変数名

%s3=環境変数値のフォーマット

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ / /S)

08401

Couldn't create the device object

意味:

ドライバオブジェクトの生成に失敗しました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

08402

Couldn't create symbolic link

意味:

ドライバオブジェクトの生成に失敗しました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

08403

Request device type error

意味:

DeviceIoControl 処理に失敗しました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

08404

Query registry value failed

意味:

DeviceIoControl 処理に失敗しました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

08405

Unrecognized control code

意味:

ユーザー空間アプリケーションから、不明な ControlCode で DeviceIoControl が呼び出されました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

08406

Register Clash Callback failed

意味:

DeviceIoControl 処理に失敗しました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

08504

Couldn't create the device object

意味:

ドライバオブジェクトの生成に失敗しました

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

08505

Couldn't create symbolic link

意味：

ドライバオブジェクトの生成に失敗しました。

対処：

不要です。

Severity：

Info

アクション：

(/ / /S)

08506

Couldn't get IRP stack location

意味：

DeviceIoControl 処理に失敗しました。

対処：

不要です。

Severity：

Info

アクション：

(/ / /S)

08507

Couldn't get pci configuration data

意味:

PCIConfiguration 空間の read 処理に失敗しました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

08508

Couldn't set pci configuration data

意味:

PCIConfiguration 空間の write 処理に失敗しました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

08509

Unrecognized control code

意味:

ユーザー空間アプリケーションから、不明な ControlCode で DeviceIoControl を呼び出されました。

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

09100

(%1-%2) System Status is changed in the "OS Running": succeeded

意味:

システム状態を変更しました。

%1=数値 (10 進)

%2=数値 (10 進)

対処:

不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

09101

(%1-%2) System Status is changed in the "OS Running": %s %d

意味:

システム状態の変更に失敗しました。

%1=10 進

%2=10 進

%s=システム異常時:System Error

リトライオーバー:retry over

応答異常:request error

タイムアウト:timeout

異常:failed

%d=10 進

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ / /S)

09110

(%1-%2) initialization of a library() failed : err(i_err=%d, os_err=%d, detail(1=%d, 2=%d, 3=%d))

意味:

初期処理で異常が発生しました。

%1=10 進

%2=10 進

%d=10 進

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

09111

(%1-%2) file %a error(%s) failed : err(i_err=%d, os_err=%d, detail(1=%d, 2=%d, 3=%d))

意味:

ファイル処理エラーが発生しました。

%1=10 進

%2=10 進

%a=open または read または close

%s=文字列

%d=10 進

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

09120

(%1-%2) System Error() failed : err=%d

意味:

SVmco が Windows の API を実行したさいに、API が異常復帰しました。

%1=10 進

%2=10 進

%d=10 進

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

09130

(%1-%2)System Error.

意味:

Service Manager 処理でエラーが発生しました。

%1=10 進

%2=10 進

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

09131

(%1-%2) path went wrong. (%s)

意味:

初期処理で異常が発生しました。

%1=10 進

%2=10 進

%s=文字列

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

09132

(%1-%2) change of a directory went wrong. : %s

意味:

初期処理で異常が発生しました。

%1=10 進

%2=10 進

%s=文字列

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

09133

(%1-%2) initialization of a log went wrong. (%s, %s) : err(i_err=%d, os_err=%d, detail(1=%d, 2=%d, 3=%d))

意味:

初期処理で異常が発生しました。

%1=10 進

%2=10 進

%d=10 進

%s=文字列

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ / /S)

7.2 SVagent のメッセージ

SVagent が出力するメッセージを下記に示します。

尚、本章に記述しているメッセージは、PRIMEQUEST における REMCS/Mail 通報内に記述されるメッセージです。

シスログ(Linux)/イベントログ(Windows)に出力されるメッセージは、下記に記述した形式で出力されます。

また、本マニュアルに記述しているメッセージは下記”イベント詳細”内に含まれます。

<出力形式>

1) エラー

Driver Monitoring error event at server '%s1':'%s2'

%s1:host 名、コンピュータ名

%s2:イベント詳細

2) 警告

Driver Monitoring warning event at server '%s1':'%s2'

%s1:host 名、コンピュータ名

%s2:イベント詳細

<出力例>

Driver Monitoring warning event at server WIN-Q77EVKAG7J3: WS08_R2_x64

(PID=1) 21700, IOB#1-PCIC#7-FUNC#0 e1000_express:Intel(R) PRO/1000 PT Dual

Port Server Adapter #2 Adapter or Software error

(Adapter not found)

7.2.1 SMART メッセージ

SMART メッセージを以下に示します。

10501

Failure Prediction Threshold Exceeded vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

ドライバからのメッセージ通知にて、SMART で閾値超えを検出しました。

%v：例．FUJITSU

%m：例．MAP3367NC

%ser：例．01234567

対処：

当該ディスクの交換が必要です。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

7.2.2 RAS 支援サービスメッセージ

RAS 支援サービスメッセージを以下に示します。

10600

RASStatusCheck:%2 RAID BBU announcement of the remaining time of the operating life vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

RAID カード上にあるバッテリーユニットの交換予告メッセージです。

%2:カード名称

(例 (Linux):RAID Card Li-Ion 1)

(例 (Windows):RAID_Card#01)

%d:例. 0079

%r:数値(1～3 桁)

対処:

RAS 支援サービスの GUI を起動して寿命部品を確認した後、対象部品を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

10601

RASStatusCheck:%2 RAID BBU exceeded the operating life vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

RAID カード上にあるバッテリーユニットの交換メッセージです。

%2：カード名称

（例 (Linux)：RAID Card Li-Ion 1）

（例 (Windows)：RAID_Card#01）

%d：例. 0079

%r：数値(1～3 桁)

対処：

RAS 支援サービスの GUI を起動して寿命部品を確認した後、対象部品を交換してください。

Severity：

Error

アクション：

(R/M/T/S)

10602

RASStatusCheck: UPS BBU announcement of the remaining time of the operating life

意味：

UPS のバッテリーユニットの交換予告メッセージです。

対処：

該当 UPS のバッテリーを交換してください。

Severity：

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

10603

RASStatusCheck: UPS BBU exceeded the operating life

意味:

UPS のバッテリーユニットの交換メッセージです。

対処:

該当 UPS のバッテリーを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

7.2.3 ServerView Agents 外付けストレージ(ハードディスクキャビネット) 装置関連メッセージ

ServerView Agents 外付けストレージ (ハードディスクキャビネット) 装置の関連メッセージを以下に示します。

10700

SV Agents:Adapter error (Fan will fail in near future)

意味：

FAN 異常になる可能性があります。

対処：

FAN は電源ユニット内に搭載されます。電源ユニットを早めに交換してください。

注意

カバーを外した状態でシステムを操作しないでください。FAN の動作は保証されません。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

10701

SV Agents:Adapter error (Fan failed)

意味：

FAN 異常です。

対処：

FAN は電源ユニット内に搭載されます。電源ユニットを交換してください。

注意

カバーを外した状態でシステムを操作しないでください。FAN の動作は保証されません。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

10702

SV Agents:Adapter error (The redundant fan failed)

意味：

FAN 異常により FAN が片系しか動作していません。

対処：

FAN は電源ユニット内に搭載されます。電源ユニットを交換してください。

注意

カバーを外した状態でシステムを操作しないでください。FAN の動作は保証されません。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

10703

SV Agents:Adapter error (Temperature has reached the warning level)

意味：

温度が警告レベルに達しました。

対処：

FAN の状態を確認してください。また周辺温度を下げてください。

注意

カバーを外した状態でシステムを操作しないでください。FAN の動作は保証されません。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

10704

SV Agents:Adapter error (Temperature has reached the critical level)

意味：

温度が異常レベルに達しました。

対処：

周辺温度を確認してください。問題なければ FAN が正常に動作していることを確認してください。

注意

カバーを外した状態でシステムを操作しないでください。FAN の動作は保証されません。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

10705

SV Agents:Adapter error (Insufficient operating power supplies available)

意味：

電力供給不足です。

対処：

必要な電力が提供されていません。電源を確認してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

10706

SV Agents:Adapter error (Power supply failed)

意味：

電源ユニット異常です。

対処：

電源の接続を確認してください。問題なければ電源ユニットを交換してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

10707

SV Agents:Adapter error (Redundant power supply failed)

意味：

FAN 異常により FAN が片系しか動作していません。

対処：

故障している電源ユニットを交換してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

10708

SV Agents:Adapter error (Power supply redundancy lost)

意味：

電源ユニットの冗長性が認識できません。

対処：

両方の電源ユニットを確認して、故障している電源ユニットを交換してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

7.2.4 LAN 関連メッセージ [Linux]

LAN ドライバメッセージを以下の順に示します。

- 共通
- e1000 関連
- e1000e 関連
- igb 関連
- ixgbe 関連

■ 共通

LAN 共通のメッセージを以下に示します。

11000

ethx Transmit timed out vendor-id=%vi device-id=%d revision=%r

意味:

送信タイムアウトが発生しました。

(タイムアウト時間は、e1000 5 秒)

%vi:例 8086

%d:例 1209

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

本メッセージを出力したデバイスを介して通信可能かどうかをチェックします。通信可能な状態であれば対処の必要性はありません。

通信不可の状態となった場合には、調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取したうえで、アダプターを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

■ e1000 関連

e1000 関連のメッセージを以下に示します。

11200

e1000:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (probe failed)

意味:

アダプターの初期化に失敗しました。

対処:

本メッセージの直前に出力されるメッセージ (11201～11203) の対処方法に従ってください。問題が解決しない場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(//T/S)

11201

e1000:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (No usable DMA configuration; aborting)

意味:

このシステムでは DMA を利用できません。

対処:

調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11202

e1000:%i Adapter error (The EEPROM Checksum Is Not Valid) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

EEPROM のチェックサム異常を検出しました。

%i:ethx or xxxx:xx:xx.x

%d:例. 1209

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11203

e1000:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Unknown MAC Type) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

不明なコントローラーを検出しました。

%d:device id(例. 1209)

%r:数値(例. 1～3 桁)

対処:

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11204

e1000:ethx Adapter error (Hardware Error) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

ハードウェア異常を検出しました。

%d:device id(例. 1209)

%r:数値(例. 1～3 桁)

対処:

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11205

e1000:%i Adapter error (EEPROM Read Error) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

EEPROM の読込み異常を検出しました。

%i:ethx または xxxx:xx:xx.x

%d:device id（例. 1209）

%r:数値（例. 1～3 桁）

対処:

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11206

e1000:%i Adapter or Software error (Invalid MAC Address)

意味:

不当な MAC アドレスが設定されています。

%i:ethx または xxxx:xx:xx.x

対処:

MAC アドレスの設定を見なおしてください。MAC アドレスに問題がないようであれば、アダプターが故障している可能性があります。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11207

e1000:ethx Software error (Unable to Allocate Memory)

意味:

送信用ディスクリプタリングのメモリ獲得に失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックします。メモリ見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11208

e1000:ethx Software error (txdr align check failed)

意味:

送信用ディスクリプタに対するメモリの境界チェックで異常を検出しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックします。メモリ見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11209

e1000:ethx Software error (Unable to Allocate aligned Memory)

意味:

送信用ディスクリプタリングのメモリ獲得に失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックします。メモリ見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決し

ない場合には、調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11210

e1000:ethx Software error (Unable to Allocate Memory)

意味:

受信用ディスクリプタリングのメモリ獲得に失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックします。メモリ見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11211

e1000:ethx Software error (txdr align check failed)

意味:

受信用ディスクリプタに対するメモリの境界チェックで異常を検出しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックします。メモリ見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11212

e1000:ethx Software error (Unable to Allocate aligned Memory)

意味:

受信用ディスクリプタリングのメモリ獲得に失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックします。メモリ見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11213

e1000:ethx Software error (Unsupported Speed/Duplexity configuration)

意味:

サポートしていない通信速度または通信方式が設定されています。

対処:

アダプターに対する通信速度および通信方式の設定を見なおし、正しい値を設定してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11214

e1000:xxxx:xx:xx.x Adapter error (PCI parity error detected) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

PCI パリティエラーを検出しました。

%d:device id(例. 1209)

%r:数値(例. 1～3 桁)

対処:

アダプターを交換してください。アダプターを交換しても問題が解決しない場合には、アダプターが接続されている装置 (PCI ボックスなど) を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11215

e1000:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Cannot recover from a PCI parity error) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

PCI パリティエラーを修復できません。

%d:device id（例. 1209）

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

アダプターを交換してください。アダプターを交換しても問題が解決しない場合には、アダプターが接続されている装置 (PCI ボックスなど) を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11216

e1000:xxxx:xx:xx.x Adapter error (PCI parity error detected) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

PCI パリティエラーを検出しました。

%d:device id（例. 1209）

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アダプターを交換してください。アダプターを交換しても問題が解決しない場合には、アダプターが接続されている装置 (PCI ボックスなど) を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11217

e1000:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Cannot recover from a PCI parity error) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

PCI パリティエラーを修復できません。

%d:例. 1209

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アダプターを交換してください。アダプターを交換しても問題が解決しない場合には、アダプターが接続されている装置 (PCI ボックスなど) を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11218

e1000:xxxx:xx:xx.x Adapter error (PCI parity error detected) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

DMA 転送中に PCI パリティエラーを検出しました。

%d:device id（例. 1209）

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アダプターを交換してください。アダプターを交換しても問題が解決しない場合には、アダプターが接続されている装置 (PCI ボックスなど) を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11219

e1000:ethx Adapter or Software error (Unable to allocate MSI interrupt Error)

意味:

MSI 割込み資源を割り当てることができません。

対処:

調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11220

e1000:ethx Adapter or Software error (Unable to allocate interrupt Error)

意味:

割込み資源を割り当てることができません。

対処:

調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11221

e1000: Adapter error (EEPROM initialization failed)

意味:

EEPROM の初期化に失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11222

e1000:ethx Adapter or Software error (Detected Tx Unit Hang)

意味:

送信ユニットのハングアップを検出しました。

対処:

本メッセージが出力された後、正常に通信が行われる場合には対処の必要性はありません。本メッセージ出力後、正常に通信が行われなくなった場合には、アダプターの再起動 (リセット) またはシステム再起動を行ってください。再起動しても復旧しない場合には、アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11223

e1000:%i Adapter or Software error (Error in setting MWI)

意味:

MWI の設定に失敗しました。

%i:ethx または xxxx:xx:xx.x

対処:

調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11224

e1000:xxxx:xx:xx.x Software error (Unable to allocate memory for queues)

意味:

送受信キューのためのメモリの獲得に失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックしてください。メモリの見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合は、調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11225

e1000:xxxx:xx:xx.x Software error (Allocation for Tx Queue Num failed)

意味:

送信キューのリソース割当てに失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックしてください。メモリの見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合は、調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11226

e1000:xxxx:xx:xx.x Software error (Allocation for Rx Queue Num failed)

意味:

受信キューのリソース割当てに失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックしてください。メモリの見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合は、調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11227

e1000:ethx Software error (MTU > 9216 bytes not supported on 82572 controllers)

意味:

82572 コントローラーでは、9216 バイトを超える MTU の設定をサポートしていません。

対処:

MTU の設定を見なおし、正しい範囲内の値を設定してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11231

e1000: Software error (Cannot re-enable PCI device after reset)

意味:

リセット後に PCI デバイスを再起動できませんでした。

対処:

調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11232

e1000: Software error (can't bring device back up after reset)

意味:

リセット後にデバイスを活性化状態に戻せませんでした。

対処:

調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11233

e1000:ethx Software error (Cannot change link characteristics when SoL/IDER is active)

意味:

リンクの設定を変更できませんでした。

対処:

調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11234

e1000:ethx Adapter error (pattern reg test failed) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

パターンテストに失敗しました。

%d:device id（例. 1209）

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11235

e1000:ethx Adapter error (set/check reg test failed) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

レジスタテストに失敗しました。

%d:device id（例. 1209）

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11236

e1000:ethx Adapter error (failed STATUS register test) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

STATUS レジスタテストに失敗しました。

%d:例. 1209

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11237

e1000:ethx Adapter error (Cannot do PHY loopback test when SoL/IDER is active) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

PHY ループバックテストを実行できませんでした。

%d:device id（例. 1209）

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11239

e1000: Software error (Cannot enable PCI device from suspend)

意味:

サスペンド状態から PCI デバイスを起動できませんでした。

対処:

調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11240

e1000:xxxx:xx:xx.x Adapter error (readl: PCI master abort error) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

レジスタ読込み中に PCI マスタアボートエラーが発生しました。

%d:device id（例. 1209）

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

ハードウェアの異常です。アダプターまたは IOB の故障と考えられます。まずアダプターを交換し、それでも現象が再現する場合には、IOB を交換してみてください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11241

e1000:xxxx:xx:xx.x Adapter error (writel: PCI master abort error) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

レジスタ書込み中に PCI マスタアボートエラーが発生しました。

%d：例. 1209

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ハードウェアの異常です。アダプターまたは IOB の故障と考えられます。まずアダプターを交換し、それでも現象が再現する場合には、IOB を交換してみてください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

11243

e1000: ethx Software error (e1000_set_multi:memory allocation failed)

意味：

マルチキャストアドレステーブルのためのメモリの割当てに失敗しました。

対処：

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックしてください。メモリ見積もりに問題がな

いようであれば、システムを再起動してください。システムを再起動しても問題が解決し

ない場合には、調査資料 (ダンプ、ログ等) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に

連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11244

e1000: ethx Adapter or Software error (e1000_clean_jumbo_rx_irq: pskb_may_pull failed)

意味:

受信パケットに対するヘッダ削除処理 (pskb_may_pull) が失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してく

ださい。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

■ e1000e 関連

e1000e 関連のメッセージを以下に示します。

11600

e1000e:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (No usable DMA configuration; aborting) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

このシステムでは DMA を利用できません。

%d:device id（例. 1209）

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11601

e1000e:xxxx:xx:xx.x Adapter error (The NVM Checksum Is Not Valid) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

NVM のチェックサム異常を検出しました。

%d:device id（例. 1209）

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11602

e1000e:%s Adapter error (Hardware Error) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

ハードウェア異常を検出しました。

%s:ethx または xxxx:xx:xx.x

%d:例. 1209

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11603

e1000e:xxxx:xx:xx.x Adapter error (NVM Read Error while reading MAC address) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

MAC アドレス読込み中に NVM リードエラーを検出しました。

%d:device id（例. 1209）

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11604

e1000e:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Invalid MAC Address) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

不当な MAC アドレスが設定されています。

%d:device id（例. 1209）

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

MAC アドレスの設定を見なおしてください。MAC アドレスに問題がないようであれば、アダプターが故障している可能性があります。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11605

e1000e:ethx Software error (Unable to allocate memory for the transmit descriptor ring)

意味:

送信用ディスクリプタリングのメモリ獲得に失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックしてください。メモリ見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11606

e1000e:ethx Software error (Unable to allocate memory for the receive descriptor ring)

意味:

受信用ディスクリプタリングのメモリ獲得に失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックしてください。メモリ見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11607

e1000e:ethx Software error (Unsupported Speed/Duplex configuration)

意味:

サポートしていない通信速度または通信方式が設定されています。

対処:

アダプターに対する通信速度および通信方式の設定を見なおし、正しい値を設定してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11608

e1000e:ethx Adapter or Software error (Unable to allocate MSI interrupt) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

MSI 割込み資源を割り当てることができません。

%d:device id（例. 1209）

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11609

e1000e:ethx Adapter or Software error (Detected Tx Unit Hang) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

送信ユニットのハングアップを検出しました。

%d:例. 1209

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

本メッセージが出力された後、正常に通信が行われている場合には対処の必要性はありません。

本メッセージ出力後、正常に通信が行われなくなった場合には、アダプター再起動 (リセット) またはシステム再起動を行ってください。再起動しても復旧しない場合には、アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11610

e1000e:ethx Adapter error (pattern test reg failed) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

パターンテストが失敗しました。

%d:device id（例. 1209）

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11611

e1000e:ethx Adapter error (set/check reg test failed) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

レジスタテストが失敗しました。

%d:device id（例. 1209）

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11612

e1000e:ethx Adapter error (failed STATUS register test) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

STATUS レジスタテストが失敗しました。

%d:例. 1209

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11613

e1000e:ethx Software error (MTU > 9216 not supported.)

意味:

このコントローラーでは 9216 バイトを超える MTU の設定をサポートしていません。

対処:

MTU の設定を見なおし、正しい範囲内の値を設定してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11614

e1000e:ethx Adapter or Software error (Cannot change link characteristics when SoL/IDER is active.) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

リンクの設定を変更できませんでした。

%d:device id（例. 1209）

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11615

e1000e:ethx Adapter error (Cannot do PHY loopback test when SoL/IDER is active.) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

PHY ループバックテストを実行できませんでした。

%d：device id（例. 1209）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

11616

e1000e:xxxx:xx:xx.x Software error (Unable to allocate memory for queues)

意味：

送受信キューのためのメモリの獲得に失敗しました。

対処：

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックしてください。メモリ見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

11617

e1000e:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Cannot enable PCI device from suspend) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

サスペンド状態から PCI デバイスを起動できませんでした。

%d:device id（例. 1209）

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11618

e1000e:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Cannot re-enable PCI device after reset) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターリセット後、PCI デバイスを再起動できませんでした。

%d：device id（例. 1209）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

11619

e1000e:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (can't bring device back up after reset) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味：

リセット後、デバイスのバックアップを獲得できませんでした。

%d：device id（例. 1209）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11620

e1000e:xxxx:xx:xx.x Software error (DMA map failed)

意味:

受信用 DMA アドレスマップに失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックしてください。メモリ見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11621

e1000e:ethx Software error (pskb_may_pull failed.)

意味:

受信パケットに対するヘッダ削除処理 (pskb_may_pull) に失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11622

e1000e:%s Software error (Failed to initialize MSI-X interrupts. Falling back to MSI interrupts.)

意味:

MSI-X 割込みの初期化に失敗したため、MSI 割込みに切り替えます。

%s:ethx または xxxx.xx.xx.x

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11623

e1000e:%s Software error (Failed to initialize MSI interrupts. Falling back to legacy interrupts.)

意味:

MSI 割込みの初期化に失敗したため、レガシー割込みに切り替えます。

%s:ethx または xxxx.xx.xx.x

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に調査を依頼してください。

なお、RHEL5.3Xen 環境の場合は、対処不要です。(管理 OS にて MSI 未サポートのため OS 起動時に本メッセージが出力されますが、システムへの影響はありません。)

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11624

e1000e:ethx Software error (Interrupt allocation failed)

意味:

割込みの設定に失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11625

e1000e:ethx Software error (MSI interrupt test failed; using legacy interrupt.)

意味:

MSI 割込みのテストに失敗したため、レガシー割込みを使用します。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11626

e1000e:ethx Software error (Error reading PHY register)

意味:

PHY レジスタの読込みに失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11627

e1000e:Software error (multicast array memory allocation failed)

意味:

マルチキャストアドレステーブルのメモリ獲得に失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックします。メモリ見積もりに問題がなければ、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合は、調査資料 (ダンプ、fjsnap 等) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11628

e1000e:ethx Software error (Could not acquire PHY)

意味：

PHY のセマフォ獲得に失敗しました。

対処：

調査資料（ダンプ、fjsnap 等）を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

11629

e1000e:ethx Software error (Could not read PHY page 769)

意味：

PHY page 769 の読込みに失敗しました。

対処：

調査資料（ダンプ、fjsnap 等）を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

11630

e1000e:ethx Software error (Could not set PHY Host Wakeup bit)

意味:

PHY Host Wakeup ビットの読込みに失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap 等) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11631

e1000e:xxxx:xx:xx.x Software error (not support wake-up packets)

意味:

このインターフェースは、directed (unicast) frame wake-up パケットをサポートしていません。

対処:

WOL がサポートされているカードかどうか確認してください。WOL がサポートされている場合には、設定方法が正しいかどうか確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11632

e1000e:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Detected Hardware Unit Hang) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

ハードウェアユニットのハングアップを検出しました。

対処:

本メッセージが出力された後、正常に通信が行われる場合には、対処の必要性はありません。本メッセージ出力後、正常に通信が行われなくなった場合は、アダプターの再起動 (リセット) またはシステム再起動を行ってください。再起動しても復旧しない場合には、アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11633

e1000e:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (__pskb_pull_tail failed)

意味:

送信パケットに対する追記処理 (__pskb_pull_tail) が失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11634

e1000e:xxxx:xx:xx.x Software error (Jumbo Frames not supported)

意味:

ジャンボフレームをサポートしていません。

対処:

ジャンボフレームの設定を削除してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11635

e1000e:%s Software error (Unsupported MTU setting)

意味:

サポートしていない MTU が設定されています。

%s：ethx または xxxx.xx.xx.x

対処：

MTU の設定を見なおし、正しい範囲内の値を設定してください。

Severity：

Warning

アクション：

（ / /T/S）

11636

e1000e:ethx Adapter or Software error (Reset adapter)

意味：

アダプターをリセットします。

対処：

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

（ / /T/S）

■ igb 関連

igb 関連メッセージを以下に示します。

11700

igb:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (No usable DMA configuration; aborting)

意味:

このシステムでは DMA を利用できません。

対処:

調査資料(ダンプ、fjsnap 等) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11701

igb:xxxx:xx:xx.x Adapter error (The NVM Checksum Is Not Valid) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

NVM のチェックサム異常を検出しました。

%d:例. 1209

%r：数値(1～3 桁)

対処：

アダプター故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

11702

igb:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Hardware Error) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味：

ハードウェア異常を検出しました。

%d：例. 1209

%r：数値(1～3 桁)

対処：

アダプター故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

11703

igb:xxxx:xx:xx.x Adapter error (NVM Read Error) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

NVM リードエラーを検出しました。

%d:例. 1209

%r:数値(1～3 桁)

対処:

アダプター故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11704

igb:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Invalid MAC Address)

意味:

不当な MAC アドレスが設定されています。

対処:

MAC アドレスの設定を見なおします。MAC アドレスに問題がないようであれば、アダプターが故障している可能性があるため、アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11705

igb:xxxx:xx:xx.x Software error (Unable to allocate memory for the transmit descriptor ring)

意味:

送信用ディスクリプタリングのメモリ獲得に失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックします。メモリ見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料 (ダンプ、fjsnap 等) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11706

igb:xxxx:xx:xx.x Software error (Allocation for Tx Queue failed)

意味:

送信用ディスクリプタリングのメモリ獲得に失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックします。メモリ見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料 (ダンプ、fjsnap 等) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11707

igb:xxxx:xx:xx.x Software error (Unsupported Speed/Duplex configuration)

意味:

サポートしていない通信速度または通信方式が設定されています。

対処:

アダプターに対する通信速度および通信方式の設定を見なおし、正しい値を設定してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11708

igb:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Allocation for Rx Queue failed)

意味:

受信用ディスクリプタリングのメモリ獲得に失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックします。メモリ見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料 (ダンプ、fjsnap 等) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11709

igb:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Detected Tx Unit Hang)

意味:

送信ユニットのハングアップを検出しました。

%d:例. 1209

%r：数値(1～3 桁)

対処：

本メッセージが出力された後、正常に通信が行われる場合には対処の必要性はありません。本メッセージ出力後、正常に通信が行われなくなった場合には、アダプターの再起動（リセット）またはシステム再起動を行ってください。再起動しても復旧しない場合には、アダプターを交換してください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

11710

igb:xxxx:xx:xx.x Adapter error (pattern test reg failed) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味：

パターンテストに失敗しました。
%d：例. 1209

%r：数値(1～3 桁)

対処：

アダプター故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

11711

igb:xxxx:xx:xx.x Adapter error (set/check reg test failed) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

レジスタテストが失敗しました。

%d:例. 1209

%r:数値(1～3 桁)

対処:

アダプター故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11712

igb:xxxx:xx:xx.x Adapter error (failed STATUS register test) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:レジスタテストに失敗しました。

%d:例. 1209

%r:数値(1～3 桁)

対処:

アダプター故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11713

igb:xxxx:xx:xx.x Software error (MTU > 9216 not supported.)

意味:

このコントローラーでは 9216 バイトを超える MTU の設定をサポートしていません。

対処:

MTU の設定を見なおし、正しい範囲内の値を設定してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11714

igb:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Cannot change link characteristics when SoL/IDER is active.)

意味:

リンクの設定を変更できませんでした。

%d:例. 1209

%r:数値(1～3 桁)

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap 等) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11715

igb:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Cannot do PHY loopback test when SoL/IDER is active.) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

PHY ループバックテストを実行できませんでした。

%d:例. 1209

%r:数値(1～3 桁)

対処:アダプター故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11716

igb:xxxx:xx:xx.x Software error (Error getting interrupt)

意味:

割込みの設定に失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap 等) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11717

igb:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Unable to allocate memory for queues)

意味:

送受信キューのためのメモリの獲得に失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックします。メモリ見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料（ダンプ、fjsnap 等）を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

11718

igb:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Cannot enable PCI device from suspend)

意味：

サスペンド状態から PCI デバイスを起動できませんでした。

対処：

調査資料（ダンプ、fjsnap 等）を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

11719

igb:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Cannot re-enable PCI device after reset.)

意味:

リセット後、PCI デバイスを再起動できませんでした。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap 等) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11720

igb:xxxx:xx:xx.x Software error (igb_up failed after reset)

意味:

リセット後のインターフェース起動に失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap 等) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11721

igb:xxxx:xx:xx.x Software error (Could not allocate VF private data - IOV enable failed)

意味:

VF (Virtual Function) プライベートデータを割り当てることができなかったため、IOV の enable に失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックします。メモリ見積もりに問題がなければ、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合は、調査資料 (ダンプ、fjsnap 等) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11722

igb:xxxx:xx:xx.x Software error (failed to allocate multicast filter list)

意味:

マルチキャストフィルタリストの作成に失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックします。メモリ見積もりに問題がなければ、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合は、調査資料（ダンプ、fjsnap 等）を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

11723

igb:xxxx:xx:xx.x Software error (Error receiving msg from VF)

意味：

VF (Virtual Function)からのメッセージ受信でエラーを検出しました。

対処：

調査資料（ダンプ、fjsnap 等）を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

11724

igb:xxxx:xx:xx.x Software error (Unhandled Msg)

意味:

VF (Virtual Function)から受信したメッセージを処理できませんでした。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap 等) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11725

igb:xxxx:xx:xx.x Software error (Unable to allocate memory for vectors)

意味:

割込みベクターのためのメモリの獲得に失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックします。メモリ見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料 (ダンプ、ログ等) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11726

igb:xxxx:xx:xx.x Software error (Invalid q_vector to ring mapping)

意味:

割込みベクターと送受信リングとのマッピングに失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックします。メモリ見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料 (ダンプ、ログ等) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11727

igb:xxxx:xx:xx.x Software error (Unable to allocate memory for VF Data Storage)

意味:

VF データストレージのメモリ獲得に失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックします。メモリ見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決し

ない場合には、調査資料 (ダンプ、ログ等) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11728

igb:xxxx:xx:xx.x Software error (Unable to allocate memory for the receive descriptor ring)

意味:

受信用ディスクリプタリングのメモリ獲得に失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックします。メモリ見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料 (ダンプ、ログ等) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11729

igb:xxxx:xx:xx.x Software error (Invalid MTU setting)

意味:

不当なサイズの MTU が指定されました。

対処:

MTU の設定を見なおし、正しい範囲内の値を設定してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11730

igb:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (pci_cleanup_aer_uncorrect_error_status failed)

意味:

バスリセット時のステータスクリアに失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11731

igb:xxxx:xx:xx.x Adapter error (PF device is not up) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

PF デバイスが活性化されていません。

対処:

アダプター故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11732

igb:xxxx:xx:xx.x Software error (TX DMA map failed)

意味:

送信用 DMA アドレスマップに失敗しました。

対処:

システムのメモリ見積もりの妥当性をチェックします。メモリ見積もりに問題がないようであれば、システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料 (ダンプ、ログ等) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

■ ixgbe 関連

ixgbe 関連メッセージを以下に示します。

11800

ixgbe:Adapter or Software error (Cannot enable PCI device from suspend)

意味:

サスペンド状態から PCI デバイスを起動できませんでした。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11801

ixgbe:Adapter or Software error (Cannot initialize interrupts for device)

意味:

デバイスの割込み資源の初期化ができませんでした。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11802

ixgbe:ethx Adapter error (Fan has stopped) vendorid=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターの故障が発生しました。

%d:例. 1209

%r:数値 (1 ～ 3 桁)

対処:

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11803

ixgbe:ethx Adapter or Software error (request_irqfailed for MSIX interrupt Error)

意味:

MSI-X 割込みの初期化に失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11804

ixgbe:ethx Adapter or Software error (request_irq for msix_lsc failed)

意味:

msix_lsc の初期化に失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11805

ixgbe:ethx Adapter or Software error (request_irq failed)

意味:

割込みの初期化に失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11806

ixgbe:ethx Adapter or Software error (RXDCTL.ENABLE on Rx queue not set within the polling period) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

受信キューの RXDCTL.ENABLE がポーリングの期間内にセットされませんでした。

%d : 例. 1209

%r : 数値 (1～3 桁)

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11807

ixgbe:ethx Adapter error (link_config FAILED) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

リンクの状態と速度を設定できませんでした。

%d : 例. 1209

%r : 数値 (1～3 桁)

対処:

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11808

ixgbe:ethx Adapter error (Unable to allocate MSI-X interrupts) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

MSI-X 割込みのために必要なベクターを割り当てることができませんでした。

%d : 例. 1209

%r : 数値 (1～3 桁)

対処:

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11809

ixgbe:ethx Software error (Unable to allocate MSI interrupt; falling back to legacy)

意味:

MSI 割込みの初期化に失敗したため、レガシー割込みに切り替えました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に調査を依頼してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11810

ixgbe:ethx Software error (Unable to allocate memory for queues)

意味:

送受信キューのためのメモリを割り当てることができませんでした。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に調査を依頼してください。

物理メモリの不足が原因の場合は、メモリを増設してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11811

ixgbe:ethx Adapter or Software error (Unable to setup interrupt capabilities)

意味:

割込み機能のセットアップができませんでした。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に調査を依頼してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11812

ixgbe:ethx Software error (Unable to allocate memory for the transmit descriptor ring)

意味:

送信用ディスクリプタリングのメモリを割り当てることができませんでした。システムで利用可能なメモリが一時的に不足している可能性があります。

対処:

システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11813

ixgbe:ethx Software error (vmalloc allocation failed for the rx desc ring)

意味:

受信用ディスクリプタリングのメモリを割り当てることができませんでした。システムで利用可能なメモリが一時的に不足している可能性があります。

対処:

システムの再起動を行ってください。システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11814

ixgbe:ethx Adapter or Software error (Cannot reenable PCI device after reset) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

リセット後に PCI デバイスを再起動することができません。

%d:例. 1209

%r：数値 (1 ～ 3 桁)

対処：

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に調査を依頼してください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

11815

ixgbe:ethx Adapter error (ixgbe_up failed after reset) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味：

リセットした後、カードのアップができません。

%d : 例. 1209

%r : 数値 (1～3 桁)

対処：

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

11816

ixgbe:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (HW Init failed) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

ハードウェアの初期化に失敗しました。

%d : 例. 1209

%r : 数値 (1～3 桁)

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に調査を依頼してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11817

ixgbe:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Hardware Error) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

ハードウェア異常を検出しました。

%d:例. 1209

%r：数値（例. 1 ～ 3 桁）

対処：

アダプターの故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

11818

ixgbe:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (EEPROM initialization failed) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味：

EEPROM パラメーターの初期化に失敗しました。

%d : 例. 1209

%r : 数値 (1～3 桁)

対処：

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に調査を依頼してください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

11819

ixgbe:xxxx:xx:xx.x Software error (TX DMA map failed)

意味:

送信 DMA のマップに失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に調査を依頼してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11820

ixgbe:xxxx:xx:xx.x Software error (No usable DMA configuration)

意味:

DMA の設定に失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に調査を依頼してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11821

ixgbe:xxxx:xx:xx.x Adapter error (The EEPROM Checksum Is Not Valid) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

EPROM のチェックサムに誤りがあります。

%d : 例. 1209

%r : 数値 (1～3 桁)

対処:

アダプター故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11822

ixgbe:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (invalid MAC address) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

EEPROM 上の MAC アドレスの設定に誤りがあります。

%d : 例. 1209

%r : 数値 (1～3 桁)

対処:

MAC アドレスの設定を見なおしてください。設定している MAC アドレスに問題がなく、システムを再起動しても問題が解決しない場合には、調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に調査を依頼してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11823

ixgbe:ethx Adapter error (setup link failed) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

NIC に対する速度設定が失敗しました。ハード異常です。

%d : 例. 1209

%r : 数値 (1～3 桁)

対処:

アダプター故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11824

ixgbe:ethx Adapter error (pattern test failed) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

NIC に対するパターンテストが失敗しました。ハード異常です。

%d : 例. 1209

%r : 数値 (1～3 桁)

対処:

アダプター故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11825

ixgbe:ethx Adapter error (set/check reg test failed) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

NIC に対するレジスタテストが失敗しました。ハード異常です。

%d : 例. 1209

%r : 数値 (1～3 桁)

対処:

アダプター故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11826

ixgbe:ethx Adapter error (failed STATUS register test) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

NIC に対する STATUS レジスタテストが失敗しました。ハード異常です。

%d : 例. 1209

%r : 数値 (1～3 桁)

対処:

アダプター故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11827

ixgbe:ethx Adapter error (Could not enable Tx Queue) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

送信キューを有効にできません。

%d : 例. 1209

%r : 数値 (1～3 桁)

対処:

アダプター故障と考えられます。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11828

ixgbe:ethx Software error (Failed to enable PCI sriov)

意味:

PCI sriov を有効にできません。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に調査を依頼してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11829

ixgbe:ethx Software error (Unable to allocate memory for VF Data Storage - SRIOV disabled)

意味:

VF データの記憶用のメモリを割り当てることができません。SR-IOV を無効にします。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に調査を依頼してください。

物理メモリの不足が原因の場合は、メモリを増設してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11830

ixgbe:Adapter error (Error receiving msg from VF)

意味:

VF からのメッセージを受信できません。

対処:

アダプター故障と考えられます。アダプターを交換してください。

同一種類のアダプターが複数ある場合は、SVOM-Web-UI の表示と実装を比較し、実装されているのに表示がないものを確認し、交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11831

ixgbe:ethx Software error (Could not set MAC Filter for VF)

意味:

VF のための MAC フィルタをセットできませんでした。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に調査を依頼してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11832

ixgbe:ethx Software error (Unhandled Msg)

意味:

メッセージに対応するハンドラがありません。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に調査を依頼してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11833

ixgbe:xxxx:xx:xx.x Software error (pci_request_selected_regions failed)

意味:

pci_request_selected_regions がエラーを返しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11834

ixgbe:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Network adapter has over heated) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプタがオーバーヒートのため、停止しました。再起動してください。もし問題が再発する場合は、システムをパワーオフして、アダプタを交換してください。

対処:

アダプタ故障と考えられるため、アダプタを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11835

ixgbe:ethx Adapter or Software error (Reset adapter)

意味:

アダプタをリセットします。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

11836

ixgbe:Adapter error (should not be a VF)

意味:

VF に割り当てられるべき ID が PF に割り当てられています

対処:

アダプタ故障と考えられるため、アダプタを交換してください。

同一種類のアダプタが複数ある場合は、SVOM-WebUI の表示と実装を比較し、実装されているのに表示がないものを確認し、交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

11837

ixgbe:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (invalid MAC address)

意味:

SFP+モジュールをサポートしないタイプが検出されました。SFP+をサポートしているモジュールをインストールした後ドライバを再ロードして下さい。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

7.2.5 ファイバーチャネルメッセージ [Linux]

ファイバーチャネル関連のメッセージを以下に示します。

12002

lpfc:xxxx:xx:xx.x Device or FC-Network error (unknown ELS command received) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

リモート Nport から、不明な ELS コマンドまたはサポート外の ELS コマンドを受信しました。

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

リモート Nport をチェックしてください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12005

lpfc:xxxx:xx:xx.x Device or FC-Network error (Nodev timeout) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

ドライバはリモート Nport を見失いました。

%d：例．F980

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ファブリック／ハブまたは装置の接続をチェックしてください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12006

lpfc:xxxx:xx:xx.x FC-Network error (unknown Identifier in RSCN) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

RSCN のペイロードに不明な ID が含まれています。

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ファブリックスイッチの潜在的な問題です。ファブリックベンダにチェックを依頼してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12007

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or FC-Network error (Initial FLOGI timeout) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

FLOGI のタイムアウトです。

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ファブリックの設定をチェックしてください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12009

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or FC-Network error (NameServer query timeout) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

ネームサーバへの問い合わせがタイムアウトです。

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ファブリックの設定をチェックしてください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12015

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (stray mailbox interrupt mbxCommand) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

発行した覚えのないメールボックスコマンドの完了が通知されました。

%d：例．F980

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ハードウェアまたはファームウェアの障害です。引き続きエラーが起こる場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12016

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (CONFIG_LINK mbxStatus Error) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

CONFIG_LINK メールボックスコマンドを発行しましたが、失敗しました。

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ハードウェアまたはファームウェアの障害です。引き続きエラーが起こる場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12018

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Ring handler)

意味：

ポート側の応答リングのインデックスがリングサイズより大きいです。

対処：

ドライバまたはハードウェアまたはファームウェアの障害です。修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12020

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Ring issue)

意味：

ポート側リングのコマンド取得インデックスがリングサイズより大きいです。

対処：

ドライバまたはハードウェアまたはファームウェアの障害です。修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12022

lpfc:xxxx:xx:xx.x Software error (Rsp ring get)

意味：

応答リングに割り当てた Iotag が設定した max 値を超えています。

対処：

ドライバの障害です。引き続きエラーが起こる場合は修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12023

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (READ_SPARM mbxStatus error) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

ドライバは READ_SPARM コマンドを発行しましたが、失敗しました。

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ファームウェアまたはハードウェアの障害です。修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12024

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (CLEAR_LA mbxStatus error) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

ドライバは HBA に CLEAR_LA メールボックスコマンドを発行しましたが、失敗しました。

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ファームウェアまたはハードウェアの障害です。修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12025

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (unknown IOCB command)

意味：

不明な IOCB コマンド完了通知を受信しました。

対処：

ドライバまたはファームウェアの障害です。引き続きエラーが起こる場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12026

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (unknown Mailbox command)

意味：

不明なメールボックスコマンド完了通知を受信しました。

対処：

ドライバまたはハードウェアまたはファームウェアの障害です。修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12027

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Config Port initialization error) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

アダプター初期化中に READ_NVPARM メールボックスコマンドが失敗しました。

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ハードウェアまたはファームウェアの障害です。引き続きエラーが起こる場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12029

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Adapter failed to init; timeout) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

アダプターのエラーです。

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ハードウェアまたはファームウェアの障害です。引き続きエラーが起こる場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12030

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Adapter failed to init; chipset) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

アダプターのエラーです。

%d：例．F980

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ハードウェアまたはファームウェアの障害です。引き続きエラーが起こる場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12031

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Adapter failed to init; chipset) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

アダプターのエラーです。

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ハードウェアまたはファームウェアの障害です。引き続きエラーが起こる場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12032

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Adapter failed to init; mbxCmd READ_REV) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

アダプターの初期化に失敗しました。

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ハードウェアまたはファームウェアの障害です。引き続きエラーが起こる場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12033

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Adapter failed to init; mbxCmd READ_REV detected outdated firmware) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

初期化時に古いバージョンのファームウェアが見つかりました。

%d：例．F980

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ハードウェアまたはファームウェアの障害です。ファームウェアをアップデートしてください。引き続きエラーが起こる場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12034

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Adapter failed to init; mbxCmd CONFIG_PORT) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

アダプターの初期化に失敗しました。

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ハードウェアまたはファームウェアの障害です。引き続きエラーが起こる場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12035

pfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Adapter failed to init; mbxCmd CFG_RING) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

アダプターの初期化に失敗しました。

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ハードウェアまたはファームウェアの障害です。引き続きエラーが起こる場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12037

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Adapter failed init; mbxCmd READ_SPARM) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

アダプターの初期化に失敗しました。

%d：例．F980

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ハードウェアまたはファームウェアの障害です。引き続きエラーが起こる場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12038

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Enable interrupt handler failed) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

HBA 割込みサービスルーチンをホストの OS に登録しようとしましたが失敗しました。

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ハードウェアまたはドライバの障害です。引き続き起こる場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12039

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Adapter failed to init; mbxCmd READ_CONFIG) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

アダプターの初期化に失敗しました。

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ハードウェアまたはファームウェアの障害です。引き続きエラーが起こる場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12040

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Adapter failed to mbxCmd INIT_LINK) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

アダプターの初期化に失敗しました。

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ハードウェアまたはファームウェアの障害です。引き続きエラーが起こる場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12041

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Adapter Hardware Error) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

ハードウェア障害を示す割込みを受けました。

%d：例．F980

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ハードウェアまたはファームウェアの障害です。

引き続きエラーが起こる場合は修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12054

lpfc:xxxx:xx:xx.x Software error (Illegal State Transition)

意味：

不当なノード状態の遷移を検出しました。

対処：

ドライバの問題と考えられます。修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12059

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (readl: Detected PCI parity error. Retries exhausted) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

readl 中にエラー (Machine Check または Master Abort) を検出しリトライしましたが、リトライアウトしました。(PCI エラーリカバリー)

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

後続のドライバによるリトライが成功すれば対処は不要です。失敗した場合は、HBA 交換の必要または PCI バス異常の可能性があるため、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

また、リトライされた後に再発する場合も、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12063

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (writel: Detected PCI parity error. Retries exhausted) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

writel 中にパリティエラーを検出しリトライしましたが、リトライアウトしました。(PCI エラーリカバリー)

%d：例．F980

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

後続のドライバによるリトライが成功すれば対処は不要です。失敗した場合は HBA 交換の必要または PCI バス異常の可能性があるため、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

また、リトライされた後に再発する場合も、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12064

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Suspect any fixed hardware failure) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

パリティエラー検出後に HBA の Reset を試みましたがリトライアウトしたため、HBA を閉塞しました。

(PCI エラーリカバリー)

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

HBA またはシステムの PCI バス上に異常があります。アダプターを交換してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12070

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Adapter reset failed) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

PCI エラー検出に伴い、HBA Reset を実行しましたが、失敗しました。(PCI エラーリカバリー)

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

HBA の異常のため、交換が必要です。修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12076

lpfc:xxxx:xx:xx.x Software error (Device Discovery completion error)

意味：

NameServer からの応答がタイムアウトした場合のリンク再初期化処理でメモリ獲得に失敗し、デバイスの検出に失敗しました。

対処：

ドライバまたはシステム (リソース不足) のエラーです。引き続き起こる場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12078

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (bigger then rsp ring) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

ポート側の応答リングのインデックスがリングサイズより大きな値です。

%d：deviceid vpd (例．FA00 LP10000-M2)

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ドライバファームウェアまたはハードウェアの障害です。アダプターを交換してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12080

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Unknown IOCB command Data) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

不明な IOCB コマンドを検出しました。 (fast-path 処理するための関数、FCP リングの IOCB が対象)。

%d：deviceid vpd (例．F980)

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ドライバまたはファームウェアの障害です。引き続き起こる場合は、アダプターを交換してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12081

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Unknown IOCB command Data) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

不明な IOCB コマンドを検出しました。 (slow-path 処理するための関数、非 FCP リング (ELS リングなど) の IOCB が対象)。

%d：deviceid vpd (例．F980)

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ドライバまたはファームウェアの障害です。引き続き起こる場合は、アダプターを交換してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12083

lpfc:xxxx:xx:xx.x Software error (Bus Reset on target failed)

意味：

Target への Bus Reset が失敗しました。

対処：

ドライバまたはシステム (リソース不足) のエラーです。引き続き起こる場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12089

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Adapter failed to mbxCmd CONFIG_HBQ) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

アダプター初期化失敗：CONFIG_HBQ メールボックスコマンドが失敗しました。

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

カードまたはカードのファームウェアの障害です。修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12090

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Device or FC-Network error (invalid service parameters) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

FC インターフェース上で異常 (サービスパラメーター異常) を検出しました。

%d：device id（例．F980）

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

接続経路 (ケーブル、Switch、HBA、RAID port など) をチェックしてください。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12091

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (Adapter failed to set maximum DMA length mbxStatus) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

アダプター初期化失敗

%d：例．F980

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

カードまたはカードのファームウェアの障害です。修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12092

lpfc:xxxx:xx:xx.x Device or FC-Network error (Invalid response length) vendor-id=10DF deviceid=% d revision=%r

意味：

応答長が不当です。

対処：

ターゲットまたは経路上の問題です。接続経路 (ケーブル、Switch、HBA およびディスク装置のポートなど) をチェックしてください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12093

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Tgt Map rport failure) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

ドライバ上のリモートポートデータが NULL です。

対処：

カードまたはドライバの問題です。修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12094

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Device Reset rport failure) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

ドライバ上のリモートポートデータが NULL です。

対処：

カードまたはドライバの問題です。修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

7.2.6 FCoE メッセージ [Linux]

FCoE 関連のメッセージを以下に示します。

12200

lpfc:xxxx:xx:xx.x Software error (Slow-path EQ not allocated)

意味：

メモリ(スローパスイベントキュー)が割り当てられませんでした。

対処：

ドライバの異常またはメモリ不足が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12201

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Failed setup of slow-path EQ)

意味：

スローパスイベントキューの設定に失敗しました。

対処：

メモリ不足または HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12202

lpfc:xxxx:xx:xx.x Software error (Fast-path EQ not allocated)

意味：

メモリ(ファストパスイベントキュー)が割り当てられませんでした。

対処：

ドライバの異常またはメモリ不足が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12203

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Failed setup of fast-path EQ)

意味：

ファストパスイベントキューの設定に失敗しました。

対処：

メモリ不足または HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12204

lpfc:xxxx:xx:xx.x Software error (Mailbox CQ not allocated)

意味：

メモリ(メールボックス用完了キュー)が割り当てられませんでした。

対処：

ドライバの異常またはメモリ不足が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12205

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Failed setup of slow-path mailbox CQ)

意味：

スローパスメールボックス用完了キューの設定に失敗しました。

対処：

メモリ不足または HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12206

lpfc:xxxx:xx:xx.x Software error (ELS CQ not allocated)

意味：

メモリ(スローパス ELS 用完了キュー)が割り当てられませんでした。

対処：

ドライバの異常またはメモリ不足が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12207

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Failed setup of slow-path ELS CQ)

意味：

スローパス ELS 用完了キューの設定に失敗しました。

対処：

メモリ不足または HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12208

lpfc:xxxx:xx:xx.x Software error (Fast-path FCP CQ not allocated)

意味：

メモリ(ファストパス FCP 用完了キュー)が割り当てられませんでした。

対処：

ドライバの異常またはメモリ不足が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12209

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Failed setup of fast-path FCP CQ)

意味：

ファストパス FCP 用完了キューの設定に失敗しました。

対処：

メモリ不足または HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12210

lpfc:xxxx:xx:xx.x Software error (Slow-path MQ not allocated)

意味：

メモリ(スローパスメールボックス用コマンドキュー)が割り当てられませんでした。

対処：

ドライバの異常またはメモリ不足が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12211

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Failed setup of slow-path MQ)

意味：

スローパスメールボックス用コマンドキューの設定に失敗しました。

対処：

メモリ不足または HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12212

lpfc:xxxx:xx:xx.x Software error (Slow-path ELS WQ not allocated)

意味：

メモリ(スローパス ELS 用ワークキュー)が割り当てられませんでした。

対処：

ドライバの異常またはメモリ不足が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12213

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Failed setup of slow-path ELS WQ)

意味：

スローパス ELS 用ワークキューの設定に失敗しました。

対処：

メモリ不足または HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12214

lpfc:xxxx:xx:xx.x Software error (Fast-path FCP WQ not allocated)

意味：

メモリ(ファストパス FCP 用ワークキュー)が割り当てられませんでした。

対処：

ドライバの異常またはメモリ不足が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12215

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Failed setup of fast-path)

意味：

ファストパス FCP 用ワークキューの設定に失敗しました。

対処：

メモリ不足または HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12216

lpfc:xxxx:xx:xx.x Software error (Receive Queue not allocated)

意味：

メモリ(USL 用受付キュー)が割り当てられませんでした。

対処：

ドライバの異常またはメモリ不足が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12217

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Failed setup of Receive Queue)

意味：

USL 用受付キューの設定に失敗しました。

対処：

メモリ不足または HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12218

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Error during rpi post operation)

意味：

rpi 後処理においてエラーが発生しました。

対処：

ドライバの異常か HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12219

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Invalid asynchronous event code)

意味：

不当な非同期イベントコードが検出されました。

対処：

ドライバの異常か HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12220

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Unregister FCFI command failed status)

意味：

FCFI コマンドの登録抹消に失敗しました。

対処：

ドライバの異常か HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12221

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Failure HBA POST Status)

意味：

HBA の追加に失敗しました。

対処：

ドライバの異常か HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12222

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (HBA Unrecoverable error) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

HBA に回復不可能なエラーが発生しました。

対処：

HBA に何らかの故障が発生しています。

HBA を交換してください。

HBA 交換後も本メッセージが出力される場合は、調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12223

lpfc:xxxx:xx:xx.x Software error (Failed to allocate non-embedded SGE array)

意味：

メモリ(非組込み SGE 配列)の割り当てに失敗しました。

対処：

ドライバの異常またはメモリ不足が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12224

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (READ_REV Error)

意味：

SLI レベルの読み込みに失敗しました。

現在の SLI のレベルを表示します。

FCoE が有効化される SLI レベルを表示します。

対処：

HBA およびドライバのサポートする SLI レベルが正しいことを確認してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12225

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (READ_SPARAM command failed)

意味：

システムパラメタを読み込むためのコマンドが失敗しました。

対処：

ドライバの異常か HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12226

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Error during sgl post operation)

意味：

SGL 後処理を実行中にエラーが発生しました。

対処：

ドライバの異常か HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12227

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Error during rpi post operation)

意味：

RPI 後処理を実行中にエラーが発生しました。

対処：

ドライバの異常か HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション :

(/ /T/S)

12228

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Error during queue setup)

意味 :

キュー設定中にエラーが発生しました。

対処 :

ドライバの異常か HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション :

(/ /T/S)

12229

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Invalid param)

意味 :

不当なパラメタが検出され、依頼された処理が却下されました。

対処：

ドライバの異常か HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12230

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (POST_SGL mailbox failed)

意味：

SGL 追加を行うメールボックス処理が失敗しました。

対処：

ドライバの異常か HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12231

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (REMOVE_ALL_SGL_PAGES mailbox failed)

意味：

全ての SGL を削除するメールボックス処理が失敗しました。

対処：

ドライバの異常か HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12232

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Mailbox command cannot issue Data)

意味：

メールボックスコマンドを発行できません。

対処：

ドライバの異常か HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12233

lpfc:xxxx:xx:xx.x Software error (Failed to allocate mbox cmd memory)

意味：

メモリ(メールボックスコマンド)の割り当てに失敗しました。

対処：

ドライバの異常またはメモリ不足が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12234

lpfc:xxxx:xx:xx.x Software error (Allocated DMA memory size is less than the requested DMA memory size)

意味：

要求されたメモリ量よりも少ないメモリ量が割り当てられました。

対処：

ドライバの異常またはメモリ不足が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12235

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (POST_SGL_BLOCK mailbox command failed)

意味：

SGL ブロック追加を行うメールボックスコマンドが失敗しました。

対処：

ドライバの異常か HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12236

lpfc:xxxx:xx:xx.x Software error (Unable to allocate memory for issuing SLI_CONFIG_SPECIAL mailbox command)

意味：

コマンド(SLI_CONFIG_SPECIAL メールボックス)の発行に必要なメモリを割り当てられません。

対処：

ドライバの異常またはメモリ不足が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12237

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (POST_RPI_HDR mailbox failed)

意味：

POST_RPI_HDR メールボックス処理が失敗しました。

対処：

ドライバの異常か HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12238

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter error (posting all rpi headers) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

全ての RPI 資源の追加に失敗しました。

対処：

HBA に何らかの故障が発生しています。

HBA を交換してください。

HBA 交換後も本メッセージが出力される場合は、調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

12239

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (Resume RPI Mailbox failed)

意味：

RPI メールボックス処理の再開が失敗しました。

対処：

ドライバの異常か HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12240

lpfc:xxxx:xx:xx.x Software error (Failed to allocate mbox for ADD_FCF cmd)

意味：

メモリ(ADD_FCF コマンド用のメールボックス)の割り当てに失敗しました。

対処：

ドライバの異常またはメモリ不足が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12241

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (ADD_FCF_RECORD mailbox failed)

意味：

ADD_FCF_RECORD メールボックス処理に失敗しました。

対処：

ドライバの異常か HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12242

lpfc:xxxx:xx:xx.x Adapter or Software error (INIT VPI Mailbox failed)

意味：

VPI 初期化メールボックス処理に失敗しました。

対処：

ドライバの異常か HBA に何らかの故障が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

12243

lpfc:xxxx:xx:xx.x Software error (Failed to allocate mbox for READ_FCF cmd)

意味：

メモリ(READ_FCF コマンド用メールボックス)の割り当てに失敗しました。

対処：

ドライバの異常またはメモリ不足が発生しています。調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

7.2.7 SCSI メッセージ [Linux]

SCSI 関連のメッセージを以下に示します。

13001

mptscsih:iocx Software error (Unexpected msg function reply received)

意味:

reply frame で未定義の関数が指定されています。

対処:

ドライバの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13003

mptscsih: Software error (Insufficient memory to add adapter)

意味:

アダプターのインストール時にメモリ不足を検出しました。

対処:

ドライバまたはカーネルの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13005

mptscsih: Software error (Unable to map adapter memory)

意味:

アダプターのインストール時に I/O アドレスのリマップに失敗しました。

対処:

ドライバまたはカーネルの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13006

mptscsih:iocx Software error (Unable allocate interrupt)

意味:

アダプターのインストール時に IRQ を獲得できませんでした。

対処:

ドライバまたはカーネルの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13007

mptscsih:iocx Adapter error (Not initialize properly) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターのインストール時にアダプターの初期化に失敗しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13008

mptscsih:iocx Adapter error (pci-suspend: IOC msg unit reset failed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

IOC message unit reset 処理に失敗しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13009

mptscsih:iocx Adapter error (pci-resume: Cannot recover) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターの resume に失敗しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13010

mptscsih:iocx Software error (Owned by PEER..skipping)

意味:

すでにアダプターのリカバリー実行中です。

対処:

ドライバの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13011

mptscsih:iocx Adapter error (Adapter not ready) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターが READY になりません。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13012

mptscsih:iocx Adapter error (Adapter not ready) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターが READY になりません(alt port)。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13013

mptscsih:iocx Software error (FIFO mgmt alloc)

意味:

IOC request および reply FIFO の初期化に失敗しました。

対処:

ドライバの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13014

mptscsih:iocx Adapter error (init failure) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターへの IOCInit リクエストの送信に失敗しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13016

mptscsih: Software error (Already bound %s)

意味:

PCI ポート情報の重複検出処理において、結合元の代替コントローラーポインタがすでに設定されていました。または、結合先の代替コントローラーポインタがすでに設定されていました。

%s:[RHEL5.5] iocx <==> iocy

[RHEL5.3～5.4] iocx

iocx, iocy:adapter name ("ioc0"など)

対処:

ドライバの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13018

mptscsih:iocx Adapter error (Unexpected doorbell active) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

予期しないアダプターの Active 状態を検出しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13019

mptscsih:iocx Adapter error (IOC is in FAULT state) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターが Fault 状態に遷移しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

本メッセージに続けて 13041 のメッセージが出力される場合は、13041 の対処方法に従ってください。続けて 13041 のメッセージが出力されない場合は、対処は不要です。

Severity:

Info

アクション:

(/ / /S)

13020

mptscsih:iocx Adapter error (IOC msg unit reset failed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターに対する IOC Message Unit Reset 要求が失敗しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13021

mptscsih:iocx Adapter error (IO unit reset failed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターに対する IO Unit Reset 要求が失敗しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13022

mptscsih:iocx Adapter error (Wait IOC_READY state timeout) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

規定時間 (15 秒) 待っても IOC_READY 状態になりませんでした。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13023

mptscsih:iocx Adapter error (Can't get IOCFacts; IOC NOT READY) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターが NOT READY 状態のため IOCFACTS 要求が実行できません。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13024

mptscsih:iocx Software error (IOC reported invalid 0 request size)

意味:

IOCFACTS 要求のリクエストフレームサイズが 0 に設定されています。

対処:

ドライバの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13025

mptscsih:iocx Adapter error (Invalid IOC facts reply) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

IOCFACTS 要求に対する応答内容が正しくありません。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13026

mptscsih:iocx Adapter error (Can't get IOCFacts; IOC NOT READY) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターが NOT READY 状態のため PORTFACTS 要求が実行できません。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜8 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13027

mptscsih:iocx Adapter error (Wait IOC_OP state timeout) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

規定時間 (60 秒) 待っても IOC_OP 状態になりませんでした。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13028

mptscsih:iocx Adapter error (Failed to come READY after reset) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターのリセット後 20 秒待っても READY 状態になりませんでした。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA を交換してください。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13029

mptscsih:iocx Adapter error (Enable Diagnostic mode FAILED) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

20 回リトライしましたが、アダプターが診断モードになりませんでした。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13031

mptscsih:iocx Adapter error (ResetHistory bit failed to clear) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターの ResetHistoryビットがクリアできませんでした。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13032

mptscsih:iocx Adapter error (Diagnostic reset FAILED) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターの diagnosticリセットに失敗しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13034

mptscsih:iocx Software error (Unable to allocate Reply Request; Chain Buffers)

意味:

アダプターへの buffer 割付けに失敗しました。

対処:

ドライバまたはカーネルの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13035

mptscsih:iocx Software error (Unable to allocate Sense Buffers)

意味:

アダプターへの sense buffer の割付けに失敗しました。

対処:

ドライバまたはカーネルの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13036

mptscsih:iocx Adapter error (Doorbell ACK timeout) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターが Doorbell_S ステータスビットをクリアできませんでした。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13037

mptscsih:iocx Adapter error (Doorbell INT timeout) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターが Doorbell_INT ビットをセットできませんでした。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13038

mptscsih:iocx Adapter error (Handshake reply failure) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターとの handshake reply に失敗しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13040

mptscsih:iocx Adapter error (Firmware Reload FAILED) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

ファームウェアのリロードに失敗しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13041

mptscsih:iocx Adapter error (Cannot recover) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターのリセット処理に失敗しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13042

mptscsih:iocx Adapter error (LogInfo) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターから応答された LogInfo 情報 (SCSI 向け) を表示します。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA からのエラー情報 (LogInfo) を表示してください。障害発生時の切り分け用のメッセージなので、このメッセージ単独での対処は不要です。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13044

mptscsih: Software error (Unable to copy mpt_ioctl_header data)

意味:

ioctl コマンドの header データがユーザー空間から読み込めません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13045

mptscsih: Software error (Unable to copy mpt_ioctl_diag_reset struct)

意味:

ioctl コマンドの HardReset 用の構造体がユーザー空間から読み込めません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13046

mptscsih: Adapter error (reset Failed)

意味:

アダプターのリセット処理に失敗しました。

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13047

mptscsih: Software error (Unable to copy mpt_fw_xfer struct)

意味:

ioctl コマンドのファームウェアダウンロード用の構造体がユーザー空間から読み込めません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13048

mptscsih: Software error (Unable to copy f/w buffer hunk)

意味:

ファームウェアがユーザー空間から読み込めません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13049

mptscsih:iocx Adapter error (IOC says it doesn't support F/W download) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

ファームウェアへのダウンロード要求に対して無効とする応答が返ってきました。(ファームウェアのダウンロードは未対応です)

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13050

mptscsih:iocx Adapter error (IOC says: IOC_BUSY) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

ファームウェアのダウンロード要求に対して Busy 応答が返ってきました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13051

mptscsih:iocx Adapter error (IOC returned bad status) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

ファームウェアのダウンロードに対してその他のエラー応答が返ってきました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13052

mptscsih: Software error (Not enough memory)

意味:

SGL 用のメモリが割り当てられません。

対処:

ドライバの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13053

mptscsih: Software error (Chain required)

意味:

SGL がチェーン切れになっています。

対処:

ドライバの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13054

mptscsih: Software error (Too many SG frags)

意味:

SG frags の数が多すぎます。

対処:

ドライバの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13055

mptscsih: Software error (No memory available)

意味:

メモリの獲得に失敗しました。

対処:

ドライバまたはカーネルの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13056

mptscsih: Software error (Unable to read in mpt_ioctl_iocinfo struct)

意味:

ioctl コマンドの GetIOCInfo 用の構造体がユーザー空間から読み込めません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13057

mptscsih: Software error (Structure size mismatch)

意味:

GetIOCInfo 用の構造体のサイズが一致していません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13058

mptscsih: Software error (Unable to write out mpt_ioctl_iocinfo struct)

意味:

取得した IOCInfo をユーザー空間に書き戻せません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13059

mptscsih: Software error (Unable to read in mpt_ioctl_targetinfo struct)

意味:

ioctl コマンドの GetTargetInfo 用の構造体がユーザー空間から読み込めません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13060

mptscsih: Software error (No memory available)

意味:

GetTargetInfo 用のメモリが見つかりません。(空きメモリが見つかりません。)

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13064

mptscsih: Software error (Unable to write out mpt_ioctl_targetinfo struct)

意味:

取得した TargetInfo をユーザー空間に書き戻せません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13066

mptscsih: Software error (Unable to read in mpt_ioctl_test struct)

意味:

ioctl コマンドの ReadTest 用の構造体がユーザー空間から読み込めません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13067

mptscsih: Software error (Unable to write out mpt_ioctl_test struct)

意味:

ioctl コマンドの ReadTest 用の構造体がユーザー空間に書き戻せません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13068

mptscsih: Software error (Unable to read in mpt_ioctl_eventquery struct)

意味:

ioctl コマンドの EventQuery 用の構造体がユーザー空間から読み込めません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13069

mptscsih: Software error (Unable to write out mpt_ioctl_eventquery struct)

意味:

ioctl コマンドの EventQuery 用の構造体がユーザー空間に書き戻せません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13070

mptscsih: Software error (Unable to read in mpt_ioctl_eventenable struct)

意味:

ioctl コマンドの EventEnable 用の構造体がユーザー空間から読み込めません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13071

mptscsih: Software error (Insufficient memory to add adapter)

意味:

EventEnable 用のメモリが獲得できません。

対処:

ドライバの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13072

mptscsih: Software error (Unable to read in mpt_ioctl_eventreport struct)

意味:

ioctl コマンドの EventReport 用の構造体がユーザー空間から読み込めません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13073

mptscsih: Software error (Unable to write out mpt_ioctl_eventreport struct)

意味:

ioctl コマンドの EventReport 用の構造体がユーザー空間に書き戻せません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13074

mptscsih: Software error (Unable to read in mpt_ioctl_replace_fw struct)

意味:

ioctl コマンドの ReplaceFW 用の構造体がユーザー空間から読み込めません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13075

mptscsih: Software error (Unable to read in mpt_ioctl_replace_fw image)

意味:

ioctl コマンドの ReplaceFW 用のファームウェアがユーザー空間から読み込めません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13076

mptscsih: Software error (Unable to read in mpt_ioctl_command struct)

意味:

ioctl コマンドの MPTCommand 用の構造体がユーザー空間から読み込めません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13077

mptscsih: Software error (No memory available during Software init)

意味:

Software の初期化時に使用できるメモリがありません。

対処:

ドライバまたはカーネルの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13078

mptscsih: Adapter error (Busy with IOC Reset)

意味:

アダプターが IOC Reset を実行中で Busy 状態です。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13079

mptscsih: Software error (Request frame too large)

意味:

ioctl コマンドで指定された Request frame のサイズが最大値を超えています。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13080

mptscsih: Software error (Unable to read MF from mpt_ioctl_command struct)

意味:

ioctl コマンドの Message Frame がユーザー空間から読み込めません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13081

mptscsih: Software error (Target ID out of bounds)

意味:

SCSIIO 要求で指定されたターゲット ID の値が範囲外です。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13082

mptscsih: Software error (SCSI driver is not loaded)

意味:

SCSIIO 要求が指定されたが、SCSI ドライバがローディングされていません。

対処:

SCSI ドライバをローディングしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13084

mptscsih: Adapter or Software error (SCSI driver not loaded or SCSI host not found)

意味:

SCSI Task Management 要求が指定されたが、SCSIドライバがローディングされていないか、SCSI host が見つかりません。

対処:

SCSIドライバのローディングまたは HBA の組込みを行ってください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13085

mptscsih: Software error (IOC_INIT issued with 1 or more incorrect parameters.Rejected)

意味:

IOC Init 要求で設定されているパラメーターが不正です。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13086

mptscsih: Software error (Illegal request)

意味:

ioctl コマンドで未定義のリクエスト (関数) が指定されました。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13087

mptscsih: Software error (Unable to read user data struct)

意味:

ioctl コマンド用のユーザーデータがユーザー空間から読み込めません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13089

mptscsih: Software error (Unable to write out reply frame)

意味:

ioctl コマンドの Reply Frame がユーザー空間に書き出せません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13090

mptscsih: Software error (Unable to write sense data to user)

意味:

ioctl コマンドの sense data がユーザー空間に書き出せません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13091

mptscsih: Software error (Unable to write data to user)

意味:

ioctl コマンドのデータがユーザー空間に書き出せません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13092

mptscsih: Software error (Unable to read in hp_host_info struct)

意味:

HPHostInfo コマンド用の構造体がユーザー空間から読み込めません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13093

mptscsih: Software error (Unable to write out hp_host_info)

意味:

HPHostInfo コマンド用の構造体がユーザー空間に書き出せません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13094

mptscsih: Software error (Unable to read in hp_host_targetinfo struct)

意味:

HPTargetInfo コマンド用の構造体がユーザー空間から読み込めません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13095

mptscsih: Software error (Unable to write out mpt_ioctl_targetinfo struct)

意味:

HPTargetInfo コマンド用の構造体がユーザー空間に書き出せません。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13096

mptscsih: Software error (Can't register misc device)

意味:

misc device の登録に失敗しました。

対処:

ドライバまたはカーネルの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13099

mptscsih:iocx Software error (NULL ScsiCmd ptr)

意味:

ScsiCmd パラメーターのポインタ値が不正です。

対処:

ドライバの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13106

mptscsih:iocx Adapter error (IOC issue of TaskMgmt failed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

SCSI Task Management 要求の発行に失敗しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13107

mptscsih:iocx Adapter error (Error issuing abort task) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

Abort Task の発行に失敗しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13111

mptscsih:iocx Software error (slave_alloc kmalloc FAILED)

意味:

ホストドライバ用のメモリ割当てに失敗しました。

対処:

ドライバまたはカーネルの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13114

mptscsih:iocx Software error (ScanDvComplete)

意味:

request frame のポインタ値とコマンド ポインタ値が不一致です。

対処:

ドライバの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13115

mptscsih:iocx Adapter error (Firmware Reload FAILED) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

ファームウェアのリロードに失敗しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13116

mptscsih:iocx Software error (Null cmdPtr)

意味:

コマンド ポインタ値が空です。

対処:

ドライバの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13120

mptscsih:iocx Adapter error (detects pci parity error) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

PCI への read でパリティエラーが発生しました。リトライします (1 回目のみメッセージ出力)。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。HBA を交換しても問題が解決しない場合には、HBA が接続されている装置 (PCI ボックスなど) を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13121

mptscsih:iocx Adapter error (detects pci parity error) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

PCI への read でパリティエラーが発生しました。リトライアウトしました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。HBA を交換しても問題が解決しない場合には、HBA が接続されている装置 (PCI ボックスなど) を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13122

mptscsih:iocx Adapter error (couldn't read pci register) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

PCI の status register の読込みに失敗しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。HBA を交換しても問題が解決しない場合には、HBA が接続されている装置 (PCI ボックスなど) を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13123

mptscsih:iocx Adapter error (detects pci parity error) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

PCI の status register の read でパリティエラーが発生しました。リトライします (1 回目のみメッセージ出力)。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。HBA を交換しても問題が解決しない場合には、HBA が接続されている装置 (PCI ボックスなど) を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13124

mptscsih:iocx Adapter error (detects pci parity error) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

PCI の status register の read でパリティエラーが発生しました。リトライアウトしました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。HBA を交換しても問題が解決しない場合には、HBA が接続されている装置 (PCI ボックスなど) を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13125

mptscsih:iocx Adapter error (detects pci parity error) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

DMA 転送でパリティエラーを検出しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。HBA を交換しても問題が解決しない場合には、HBA が接続されている装置 (PCI ボックスなど) を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13126

mptscsih:iocx Software error (Failed to alloc memory)

意味:

システムメモリの獲得に失敗しました。

対処:

ドライバまたはカーネルの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13127

mptscsih:iocx Software error (PCI-MSI enabled)

意味:

MSI (Message Signal Interrupt) 機能を有効にしました。

対処:

不要です。

Severity:

Warning

アクション:

(//T/S)

13129

mptscsih:iocx Adapter error (Sending IOCInit failed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターに対する MPT request/reply wait 処理に失敗しました。

%d：例. 0030

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

13130

mptscsih:iocx Adapter error (Sending PortEnable failed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味：

アダプターに対する PortEnable 要求が失敗しました。

%d：例. 0030

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13133

mptscsih:iocx Software error (Received a mf that was already freed)

意味:

解放しようとした message frame はすでに解放されていました。

対処:

ドライバの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13134

mptscsih:iocx Adapter error (target reset) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

Target Reset の発行結果を表示します。

%d:例. 0030

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

13135

mptscsih:iocx Adapter error (bus reset) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味：

Bus Reset の発行結果を表示します。

%d：例. 0030

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

13137

mptscsih:iocx Adapter error (mpt_turbo_reply: Invalid cb_idx) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

cb_idx の値が不当です (turbo reply)。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13138

mptscsih:iocx Adapter error (mpt_reply: Invalid cb_idx) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

cb_idx の値が不当です(non-turbo reply)。

%d：例. 0030

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

13139

mptscsih:iocx Adapter error (LogInfo) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味：

アダプターFW から応答された LogInfo 情報 (SAS 向け) を表示します。

%d：例. 0030

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

障害発生時の切り分け用のメッセージであるため、このメッセージ単独での対処は不要です。

Severity：

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13140

mptscsih:iocx Adapter error (Skipping because it's not operational) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターが Operational 状態ではありません。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13141

mptscsih:iocx Adapter error (Skipping because it's disabled) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターが Disable 状態です。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13142

mptscsih:iocx Adapter error (Skipping because SCSI Initiator mode is NOT enabled) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:IOC が Initiator mode でありません。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13143

mptscsih:iocx Software error (Unable to register controller with SCSI subsystem)

意味:

コントローラーを登録できません。

対処:

ドライバまたはカーネルの障害と考えられます。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13144

mptscsih:iocx Software error (F/W Response)

意味:

Task Management cmd の応答 (Response Code) を表示します。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

障害発生時の切り分け用のメッセージであるため、このメッセージ単独での対処は不要です。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13145

mptscsih: Software error (no msg frames)

意味:

SAS persist operation 用の message frame の獲得に失敗しました。

対処:

ドライバの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13146

mptscsih: Adapter error (operation failed)

意味:

SAS persistent operation に失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。アダプターを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13147

mptscsih: Adapter error (Controller disabled)

意味:

コントローラーの状態がアクティブでありません。

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13149

mptscsih: Software error (Failed to register with Fusion MPT base driver)

意味:

fusion MPT base driver 用の callback handler の登録に失敗しました。

対処:

ドライバの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13150

mptscsih: Software error (slave_alloc kzalloc failed)

意味:

システムメモリの獲得に失敗しました。

対処:

ドライバまたはカーネルの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13151

mptscsih: Software error (dma_alloc_coherent for parameters failed)

意味:

システムメモリの獲得に失敗しました。

対処:

ドライバまたはカーネルの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13152

mptscsih: Software error (mpt_config failed)

意味:

config message の発行に失敗しました。

対処:

ドライバまたはカーネルの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13153

mptscsih:iocx Adapter error (readl: detects master abort) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

PCI への read で master abort が発生し、リトライアウトしました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13160

mptscsih: Software error (Target Bus out of bounds)

意味:

SCSIIO 要求で指定されたバス番号の値が範囲外です。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13161

mptscsih: iocx Adapter error (IOC Not operational) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターが Operational 状態ではありません。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13163

mptscsih: iocx Adapter error (ioc_state: DOORBELL_ACTIVE) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターは DOORBELL_ACTIVE フラグが立った状態です。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13164

mptscsih: Software error (lost hotplug event)

意味:

ホットプラグ処理用のメモリの獲得に失敗しました。

対処:

ドライバまたはカーネルの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13173

mptscsih:iocx Adapter error (no suitable DMA mask) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターのインストール時に不当な DMA マスクを検出しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

HBA またはドライバの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13174

mptscsih:iocx Software error (Adapter not found!)

意味:

指定されたアダプターが見つかりませんでした。

対処:

API とドライバの整合性がとれていません。API、ドライバの版数を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13175

mptscsih: Software error (Adapter not found!)

意味:

指定されたアダプターが見つかりませんでした。

対処:

ドライバの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13176

mptscsih:iocx Adapter error (HardReset FAILED!!) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターのハードリセットに失敗しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13177

mptscsih:iocx Adapter error (reset failed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターのリセットに失敗しました。

%d：例. 0030

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

13179

mptscsih:iocx Software error (pciras_readl(); recovered pci parity error with retry)

意味：

PCI への read で pci parity error が発生しました。リトライで救済されました。

対処：

1 回の発生では対処不要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

13180

mptscsih:iocx Software error (pciras_writel(); recovered pci parity error with retry)

意味:

PCI への write で pci parity error が発生しました。リトライで救済されました。

対処:

1 回の発生では対処不要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13181

mptscsih:iocx Adapter error (mpt_fault_reset_work: HardReset) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターのリセットの結果を出力します。

%d:例. 0030

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13182

mptscsih:iocx Adapter error (IOC is in FAULT state after reset) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターのリセットを行いましたが、アダプター状態が FAULT のままです。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13183

mptscsih:iocx Adapter error (pci_enable_device: failed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

pci_enable_device (PCI デバイスの初期化) に失敗しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13184

mptscsih:iocx Adapter error (firmware upload failure!) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターのファームウェアアップロードに失敗しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13185

mptscsih:iocx Adapter error (firmware downloadboot failure) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

ファームウェアの downloadboot に失敗しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13186

mptscsih:iocx Adapter error (host page buffers free failed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

Host Page Buffer の解放に失敗しました。

%d:例. 0030

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13187

mptscsih:iocx Adapter error (Firmware Reload FAILED) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

request frame の pointer 値が Null または範囲外です。

%d:例. 0030

%r：数値 (1～8 桁)

対処：

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

13188

mptscsih:iocx Adapter error (pci_enable_device_mem() failed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味：

pci_enable_device_mem(PCI デバイスの初期化)に失敗しました。

%d：例. 0030

%r：数値(1～3 桁)

対処：

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

13189

mptscsih:iocx Software error (failed setting 35 bit addressing for Request/Reply/Chain and Sense Buffers)

意味:

アダプターへの buffer 割付けに失敗しました。

対処:

ドライバまたはカーネルの障害です。修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13190

mptscsih:iocx Adapter error (adapter_reset retry exhausted; stop reset operation) vendorid=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターのリセット回数が上限値を超えました。リセットを止めます。

対処:

HBA を交換してください。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13191

mptscsih:iocx Adapter error (adapter_reset failed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターのリセットが失敗しました。

対処:

HBA を交換してください。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13192

mptscsih:iocx Adapter error (IOC msg unit reset failed to put ioc in ready state) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

IOC を準備状態にするための IOC メッセージユニットのリセットに失敗しました。

対処:

HBA を交換してください。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13193

mptscsih: Adapter error (Errata on LSI53C1030 occurred)

意味:

データ読み込み時に、LSI53C1030 (チップ) の Errata No.28 が発生しました。

対処:

対象データのブロックサイズを 8 の倍数にして書き込んだ後、再度読み込んでください。

引き続き発生する場合は、調査資料 (ダンプ、fjsnap) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13194

mptscsih:iocx Device error (target reset failed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

ターゲットリセットに失敗しました。

対処:

ターゲットとなっているデバイスを交換してください。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13195

mptscsih:iocx Adapter error (IOC Not operational) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターが操作可能状態ではありません。

対処:

HBA を交換してください。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13196

mptscsih:iocx Adapter error (Issuing HardReset) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

ハードウェアリセットを行います。

対処:

HBA を交換してください。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13197

mptscsih:iocx Software error (pci_request_selected_regions failed)

意味:

pci_request_selecte_regions() (PCI デバイス初期化時のメモリ獲得) に失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13198

mptscsih:iocx Adapter error (Not Ready) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターが READY になりません。

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13199

mptscsih:iocx Software error (the smp response space is missing)

意味:

SMP 応答領域が見つかりません。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13200

mptscsih:iocx Software error (multiple segments)

意味:

複数部分に分かれた要求エントリーまたは応答エントリーが存在します。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13201

mptscsih:iocx Software error (smp timeout)

意味:

SMP がタイムアウトしました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13202

mptscsih:iocx Software error (smp passthru reply failed to be returned)

意味:

応答フレームが不当です。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

13203

mptscsih:iocx Adapter error (IOC Not Active) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプタが動作していません。

メッセージフレーム取得関数が NULL を返しました。

対処:

HBA の交換が必要です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

13204

mptscsih: Software error (Memory allocation failure)

意味:

メモリの割り当てに失敗した。

対処:

ドライバまたはカーネルの障害です。引き続き発生する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

7.2.8 SCSI 共通層メッセージ [Linux]

SCSI 共通層のメッセージを以下に示します。

14000

sd: Software error (Unknown command)

意味:

ソフトウェアの障害です。request 構造体のフラグが異常です。

対処:

sd に要求をだしたドライバの障害です。fjsnap でシステム情報を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14001

sd:%s Device error (Not ready) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

装置の故障です。TEST_UNIT_READY を 3 回実行しても正常になりません。または、UNIT_ATTENTION が消えません。

%s:sd[a-z]* or %h:%c:%i:%l

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

%v:Vendor 例. FUJITSU

%m:Manufacture 例. MAP3367NC

%ser:Serial-no 例. 01234567

対処:

単体ドライブの場合は、ディスクを交換します。ETERNUS の場合は、ETERNUS の調査を行ってください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14002

sd:sd[a-z]* Device error (Not ready) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

装置のエラーです。

%v：Vendor　例. FUJITSU

%m：Manufacture　例. MAP3367NC

%ser：Serial-no　例. 01234567

対処：

単体ドライブの場合は、ディスクを交換します。ETERNUS の場合は、ETERNUS の調査を行ってください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

14003

sd:sd[a-z]* Device error (READ CAPACITY failed) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

装置のエラーです。READ CAPACITY でエラーです。

%v：Vendor　例. FUJITSU

%m：Manufacture　例. MAP3367NC

%ser：Serial-no　例. 01234567

対処：

単体ドライブの場合は、ディスクを交換します。ETERNUS の場合は、ETERNUS の調査を行ってください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14004

sd:sd[a-z]* Device error (READ CAPACITY failed) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

READ CAPACITY(16)の実行でエラーを返してきました。

%v:Vendor 例. FUJITSU

%m:Manufacture 例. MAP3367NC

%ser:Serial-no 例. 01234567

対処:

単体ドライブの場合は、ディスクを交換します。ETERNUS の場合は、ETERNUS の調査を行ってください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14005

sd:sd[a-z]* Device error (DISK size too big) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

装置のエラーです。ディスクサイズが大きすぎます。(2TB を超えています。)

%v:Vendor 例. FUJITSU

%m:Manufacture 例. MAP3367NC

%ser:Serial-no 例. 01234567

対処:

単体ドライブの場合は、ディスクを交換します。ETERNUS の場合は、ETERNUS の調査を行ってください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14006

sd: Device error (sector size 0 reported) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

ディスクがセクターサイズを報告してきませんでした。(0 を報告しました。)

%v:Vendor 例. FUJITSU

%m:Manufacture 例. MAP3367NC

%ser：Serial-no　例. 01234567

対処：

単体ドライブの場合は、ディスクを交換します。ETERNUS の場合は、ETERNUS の調査を行ってください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

14007

sd:%s Device error (unsupported sector size) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

装置のエラーです。ディスクが、256、512、1024、2048、4096 以外の大きさのセクターサイズを報告してきました。Linux では使えません。再 FORMAT_UNIT が必要です。

%s：sd[a-z]* or %h:%c:%i:%l

%h：host 番号、%c：channel 番号、%i：id、%l：lun 番号

%v：Vendor　例. FUJITSU

%m：Manufacture　例. MAP3367NC

%ser：Serial-no　例. 01234567

対処：

単体ドライブの場合は、ディスクを交換します。ETERNUS の場合は、ETERNUS の調査を行ってください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14008

sd: Software error (Request allocation failure)

意味:

メモリが不足しています。buffer が取れません。Start Unit/ read capacity が実行できません。

対処:

カーネル内のメモリ不足です。システム構成の見なおし、システム負荷の低減などの対策が必要です。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14009

sd: Software error (Memory allocation failure)

意味:

メモリが不足しています。spin up、read capacity に失敗しました。Start Unit/ read capacity が実行できません。

対処:

カーネル内のメモリ不足です。システム構成の見なおし、システム負荷の低減などの対策が必要です。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14010

sr:sr[0-9]* Device error (Recovered error) vendor=%v model=%m

意味:

SK=RECOVERED ERROR で、I/O が切断されました。

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

対処:

Sense key=Recovered Error のため、まずクリーニングを行い、メディアを交換してください。それでも回復しない場合は、ドライブを交換します。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14012

sr: Software error (bad sector size)

意味:

ドライバの障害の可能性があります。セクターサイズが 512、1024、2048 以外になっています。

対処:

srドライバを調査します。fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14013

sr:sr[0-9]* Device error (unsupported sector size) vendor=%v model=%m

意味:

装置のエラーです。sr がサポートできないセクターサイズです。

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

対処:

現在のメディアは使用できません。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14014

sr: Software error (Request allocation failure)

意味:

メモリ不足です。装置の容量を調査するために、Mode Sense (Page 0x2a) を発行しようとしましたが、メモリ不足で失敗しました。

対処:

メモリを増設するか、システムの負荷を軽減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14015

sr: Software error (out of memory)

意味:

メモリ不足です。装置の容量を調査するために、Mode Sense (Page 0x2a) を発行しようとしましたが、メモリ不足で失敗しました。

対処:

メモリを増設するか、システムの負荷を軽減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14016

st:st[0-9]* Device error (Error with sense data) vendor=%v model=%m

意味:

装置のセンス付きのエラーです。

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

対処:

元データの sense key を確認して、対処を決めてください。

Medium Error:クリーニング、テープ交換をします。

Illegal Request:ソフトウェアを調査します。

Data Protect:書込み不能、medium のプロテクトを確認します。

Blank Check:テープの位置づけ誤りです。オペレーションを確認します。

Unit Attention:リセットが発生したか、メディアが交換されました。リセット発生に問題があれば、HBA、伝送路、ターゲットを調査します。

Aborted Command:HBA、伝送路、ターゲットのいずれかが故障している可能性があります。

上記以外:ドライブを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14017

st:st[0-9]* Device error vendor=%v model=%m

意味:

装置のセンスなしのエラーです。HBA からの復帰値をそのまま表示します。

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

対処:

故障箇所が不明です。クリーニング、テープを交換しても復旧しない場合は、ドライブを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14018

st:st[0-9]* Device error (Stepping over filemark forward failed) vendor=%v model=%m

意味:

装置のテープの早送り、巻き戻しのエラーです。

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

対処:

クリーニング、テープを交換しても復旧しない場合は、ドライブを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14019

st:st[0-9]* Device error (Error on flush) vendor=%v model=%m

意味:

装置の書込みエラー (EIO) です。

%v:例. FUJITSU

%m：例. MAP3367NC

対処：

これより前のメッセージを見て対処してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

14020

st:st[0-9]* Device error (Can't set default drive buffering mode) vendor=%v model=%m

意味：

装置のエラーです。テープドライブのバッファリングモードの変更 (MODE_SELECT) に失敗しました。

%v：例. FUJITSU

%m：例. MAP3367NC

対処：

メッセージ内に表示されるバッファの値がテープ装置にサポートされているか確認します。サポートされている場合、ハード故障が発生しているのでドライブを交換してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

14021

st:st[0-9]* Software error (Can't allocate one page tape buffer)

意味:

メモリ不足です。バッファの拡張に失敗しました。

対処:

システム設計の見なおをするか、メモリを増設してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14022

st:st[0-9]* Device error (Error on write filemark) vendor=%v model=%m

意味:

装置のエラーです。write file mark コマンドが失敗しました。

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

対処:

クリーニングを行い、テープを交換しても復旧しない場合は、ドライブを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14023

st:st[0-9]* Device error (Can't set default compression) vendor=%v model=%m

意味:

装置エラーまたは設定エラーです。圧縮密度をデフォルトに設定できませんでした。

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

対処:

バックアップソフトウェアの設定に問題がなければ、ドライブを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14024

st:st[0-9]* Device or Software error (Overrun) vendor=%v model=%m

意味:

装置エラーまたはアプリケーションのエラーです。可変長の装置で、オーバーランが発生しました。

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

対処:

DAT に対して dd コマンドなどで作業を行っていた場合は、パラメーター指定に誤りがないか確認します。作業ミスの疑いがない場合は、ハード故障が発生しているのでドライブを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14025

st:st[0-9]* Device or Software error (Incorrect block size) vendor=%v model=%m

意味:

装置エラーまたはアプリケーションのエラーです。固定長の装置で、ブロックサイズか、read に指定するサイズが不正です。

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

対処:

read するときのブロックサイズを確認してください。ブロックサイズに問題がなければ、ドライブを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14026

st:st[0-9]* Software error (Illegal block size)

意味:

アプリケーションのエラーです。アプリケーションが設定しようとしたブロックサイズは、装置が許可するブロックサイズの範囲外です。

対処:

ブロックサイズの指定を正しく行ってください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14027

st:st[0-9]* Device or Software error (Partitioning of tape failed) vendor=%v model=%m

意味:

装置異常またはアプリケーションのエラーです。テープ装置のパーティション設定に失敗しました。

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

対処:

パーティション設定をサポートしているドライブかどうかを確認してください。サポートしていないドライブの場合は、ソフトの設定を修正します。サポートしているドライブの場合は、ドライブを交換します。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14028

st:st[0-9]* Software error (not root)

意味:

オペレーションエラーです。root 権限を持たないユーザーが、MTSETDRVBUFFER で設定変更を試みました。

対処:

必要であれば、su コマンドで再実行してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14029

si: Software error (Can't allocate new tape buffer)

意味:

メモリ不足です。ドライバの初期化中に、バッファリング用のカーネルメモリが確保できません。(初期化中の名前が決まる前のエラーなので、装置は特定できません。)

対処:

システム設計を見なおすか、メモリを増設してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14030

st: Software error (failed to enlarge buffer)

意味:

メモリ不足です。初期化中、open 中にバッファ用のメモリの獲得に失敗しました。

対処:

システム設計を見なおすか、メモリを増設してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14031

st: Software error (overflow)

意味:

ドライバの障害です。新規書込み要求を、カーネル内のバッファへコピーしようとしましたが、オーバーフローが発生しました。

対処:

fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14032

st: Software error (overflow)

意味:

ドライバの障害です。write 要求をカーネル内のバッファへコピーしようとしましたが、オーバーフローが発生しました。

対処:

fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14033

st: Software error (overflow)

意味:

ドライバの障害です。read 要求を処理中に、カーネル内のバッファからコピーしようとしましたが、バッファの状態に矛盾が発生しました。

対処:

fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14034

st: Software error (overflow)

意味:

ドライバの障害です。read 要求をカーネル内のバッファへコピーしようとしましたが、バッファの状態に矛盾が発生しました。

対処:

fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14035

st: Software error (overflow)

意味:

ドライバの障害です。write 要求の処理中にカーネル内のバッファのデータを移動しようとしましたが、バッファの状態に矛盾が発生しました。

対処:

fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14036

st: Software error (Device not attached)

意味:

メモリ不足です。装置を検出しましたが、カーネル内にバッファを確保できないため、装置を制御できません。

対処:

カーネル内のメモリ不足です。メモリを増設するか、負荷を削減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14037

st: Software error (Device not attached)

意味:

メモリ不足です。装置を検出しましたが、制御用のテーブルを確保できないため、装置を制御できません。

対処:

カーネル内のメモリ不足です。メモリを増設するか、負荷を削減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14038

st: Software error (Can't extend device array)

意味:

メモリ不足です。新しい装置用の制御テーブルを拡大できません。

対処:

カーネル内のメモリ不足です。メモリを増設するか、負荷を削減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14039

st: Software error (Can't allocate device descriptor)

意味:

メモリ不足です。制御用のテーブルが確保できません。

対処:

カーネル内のメモリ不足です。メモリを増設するか、負荷を削減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14040

st:st[0-9]* Software error (Device not attached)

意味:

メモリ不足です。キャラクター装置の登録処理に失敗しました。

対処:

カーネル内のメモリ不足です。メモリを増設するか、負荷を削減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14041

st:st[0-9]* Software error (Can't add rewind mode)

意味:

メモリ不足です。キャラクター装置の登録処理に失敗しました。

対処:

カーネル内のメモリ不足です。メモリを増設するか、負荷を削減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14044

st: Software error (Unable to get major number for SCSI tapes)

意味:

システムエラーです。ドライバのメジャー番号の登録に失敗しました。

対処:

st のメジャー番号を使用中のドライバをアンインストールして、リブートしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14045

sg: Software error (NULL request)

意味:

ドライバの障害です。矛盾が発生しています。

対処:

fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14046

sg: Software error (device array cannot be resized)

意味:

メモリ不足です。制御テーブルが確保できません。

対処:

メモリを増設するか、負荷を軽減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14047

scsi: Software error (Bad queue type)

意味:

ドライバの障害です。

対処:

fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14048

scsi: Software error (SCSI subsystem Initialization failed)

意味:

システムエラーです。SCSI の初期化に失敗しました。

対処:

fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14049

scsi: Software error (Old type LLD Driver)

意味:

インターフェースが合わない古いドライバを使用しています。

対処:

ドライバを更新してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14050

scsi: Software error (Old type LLD Driver)

意味:

インターフェースが合わない古いドライバを使用しています。

対処:

ドライバを更新してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14051

scsi: Software error (Strange LLD Driver)

意味:

インターフェースが合わないドライバを使用しています。

対処:

ドライバを更新してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14052

scsi: Software error (SCSI internal ioctl failed)

意味:

カーネル内のメモリが不足しています。

対処:

メモリを増設するか負荷を軽減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14053

scsi: Software error (SCSI device (ioctl) reports ILLEGAL REQUEST)

意味:

ioctl エラーです。

対処:

ioctl を発行しているアプリケーションを調査してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14054

scsi:host n id n lun n Device error (ioctl error) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

ioctl エラーです。

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

%ser:例. 01234567

対処:

host、id、lun から、対象装置の種類を確認し、元メッセージの Sense Key (extended sense) を確認して対処を決定してください。

1 (Recovered Error):Removable device なら、クリーニングします。

2 (Not Ready):Non-removable なら、装置を交換します。

3 (Medium Error)：ディスクなら、装置を交換します。removable media の場合は、クリーニングとメディア交換をします。

4 (Hard Error)：装置を交換します。

5 (Illegal Request)：ソフトウェアを調査します。

6 (Unit Attention)：さまざまな装置からの通知情報です。(リセット状態、RAID であれば縮退状態など)

7 (Data Protect)：Write プロテクトの状態を確認します。

8 (Blank Check)：テープなどのオペレーションを確認します。

b (Aborted Command)：SCSI バス、FC 伝送路の不具合を調査します。

問題が解決しない場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

14055

scsi: Software error (cannot allocate scsi_result)

意味：

カーネルのメモリが不足しています。

対処：

メモリを増設するか負荷を軽減してください。

Severity：

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14056

scsi:host n channel n id n lun n Device error (offlined) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

装置のエラーです。SCSI 装置がオフラインになっています。

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

%ser:例. 01234567

対処:

装置を交換してください。原因は、このメッセージ以前に出力されたエラーメッセージを参照してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14057

scsi:scsi%h (%c,%i,%l) Software error (reservation conflict)

意味:

ソフトウェアの障害です。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

運用方法またはソフトウェアに問題があります。

運用方法: リソース競合を起こすような運用形態になっていないか見なおしてください。

ソフトウェア: どのソフトウェアが RESERVE を行っていたのか確認し、開発元へ調査・修正を依頼してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14058

scsi: Software error (request allocate failed; prevent media removal cmd not sent)

意味:

カーネルのメモリが不足しています。

対処:

メモリを増設するか負荷を軽減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14059

scsi:sxx Device error (Not ready) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

装置のエラーです。

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

%ser:例. 01234567

対処:

オペレーションを確認してください。オペレーションに問題がない場合は、ドライブを交換します。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14060

scsi:sxx Device error (Medium error or Volume overflow) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

メディアエラーまたは、ボリュームオーバーフローが発生しました。

sxx は、sd[a-z]*または st[0-9]*のどちらかとなります。

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

%ser:例. 01234567

対処:

オペレーションを確認してください。オペレーションに問題がない場合は、以下の対応をしてください。

- テープ装置:クリーニングを実施してください。問題が解決しない場合はメディアを交換します。
- ディスク装置:ドライブを交換します。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14061

scsi:<n n n n> Device error (SCSI command retry out) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

SCSI コマンドが異常終了しました (リトライアウト)。

<nnnn>:host channel id lun (<hcil>) 番号を表示します。例. <1 0 2 0>

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

%ser:例. 01234567

対処:

対象装置の種類を確認し、元メッセージの Sense Key (extended sense) を見て対処を決定してください。

1 (Recovered Error):Removable device なら、クリーニングをします。

2 (Not Ready):Non-removable なら、装置を交換します。

3 (Medium Error):ディスクなら、装置を交換します。removable media の場合は、クリーニングするかメディアを交換します。

4 (Hard Error):装置を交換します。

5 (Illegal Request):ソフトウェアを調査します。

6 (Unit Attention):さまざまな装置からの通知情報です。(リセット状態、縮退など)

7 (Data Protect):Write Protect の状態を確認します。

8 (Blank Check):テープなどのオペレーションを確認します。

b (Aborted Command):SCSI バス、ファイバーチャネル伝送路の不具合を調査します。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14062

scsi: Software error (Incorrect number of segments)

意味:

ソフトウェアの障害です。

対処:

fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14063

scsi: Software error (impossible request)

意味:

ソフトウェアの障害です。

対処:

fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14064

scsi: Software error (can't init sg slab)

意味:

メモリ不足です。

対処:

メモリを増設するか負荷を軽減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14065

scsi: Software error (can't init sg mempool)

意味:

メモリ不足です。

対処:

メモリを増設するか負荷を軽減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14066

scsi: Software error (Allocation failure)

意味:

メモリ不足です。

対処:

メモリを増設するか負荷を軽減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14067

scsi: Software error (Device configuration error)

意味:

装置の構成上のエラーです。X byte の INQUIRY に応答可能の設定がありますが、X byte の INQUIRY コマンドが失敗しました。

対処:

echo "vendor:model:flag" > /proc/scsi/device_info で設定した情報が、ハードウェアと合っていない可能性があります。設定を確認してください。

設定が合っている場合は、SCSI 装置の故障の可能性があります。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14068

scsi: Device error (inquiry failed)

意味:

装置のエラーです。

対処:

装置交換か、装置を外してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14069

scsi: Software error (Allocation failure)

意味:

メモリ不足のため、装置のスキャンが不完全な状態で終了しました。いくつかの装置の認識が失敗している可能性があります。

対処:

メモリを増設するか負荷を軽減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14070

scsi:host n channel n id n Device error (Device configuration error) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

装置が報告した LUN の数が、OS がサポートできる限界を超えています。

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

%ser:例. 01234567

対処:

max_scsi_report_luns を大きく設定するか、装置側の LUN 数を減らしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14071

scsi:host n channel n id n Device error (Device configuration error) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

装置の構成上のエラーです。装置が報告した LUN の数が、OS がサポートできる限界を超えています。

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

%ser:例. 01234567

対処:

装置側の LUN 数を減らしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14072

scsi:host n channel n id n Device error (Device configuration error) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

装置の構成上のエラーです。

%v：例. FUJITSU

%m：例. MAP3367NC

%ser：例. 01234567

対処：

全部の LUN を使う必要があれば、ETERNUS の構成変更が必要です。一部使えないことを了解済みであれば、対処不要です。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

14073

scsi:host n channel n id n lun n Device error (Unexpected response) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

SCSI 装置のスキャン中に、スキャン処理が中断しました。中断理由は、このメッセージより前に個別に表示されます。

%v：例. FUJITSU

%m：例. MAP3367NC

%ser：例. 01234567

対処：

一部の装置認識に失敗しています。原因を取り除いてからリブートしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14074

scsi: Software error (Allocation failure)

意味:

メモリ不足です。

対処:

このメッセージの前に表示されたメッセージを参照して対処してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14075

scsi: Software error (no memory)

意味:

メモリ不足です。デバイス情報の追加に失敗しました。

対処:

メモリを増設するか負荷を軽減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14076

scsi: Software error (proc_mkdir failed)

意味:

ソフトウェアの障害です。proc_mkdir()が失敗しました。

対処:

fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14077

scsi: Software error (Failed to register)

意味:

ソフトウェアの障害です。

対処:

fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14078

scsi: Software error (rejecting I/O to dead device)

意味:

装置が存在しません。

対処:

オペレーションを確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14079

scsi: Software error (rejecting I/O to device being removed)

意味:

装置が存在しません。

対処:

オペレーションを確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14080

scsi: Software error (rejecting I/O to offline device)

意味:

装置をオフラインにできません。

対処:

オペレーションを確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14083

st:st[0-9]* Software error (Can't set default block size)

意味:

アプリケーションのエラーです。(定義不足)

指定されたモードに対してのパラメーターがなかったので、デフォルトのモード (0 番) を使用しました。

対処:

アプリケーションを使用するうえでの、ドライバに対する設定が不足しています。設定を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14084

sd: Software error (Bad block number requested)

意味:

使用方法の誤りです。装置のセクターサイズは 1024、2048、4096 ですが、要求の開始位置、サイズがその倍数になっていません。

対処:

使用しているプログラムのバグを修正してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14087

sd:%s Device error (asking for cache data failed) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

Mode Sense (Page 8) の結果、SK/ASC/ASCQ=5/0x24/0x00 (Illegal Request: Invalid field in CDB) 以外のエラーが返ってきました。Mode sense (Page 8) の処理に失敗したため、cache の状態は不明です。

%s:sd[a-z]* or %h:%c:%i:%l

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

%ser:例. 01234567

対処:

単体ドライブの場合は、ディスクを交換してください。ETERNUS の場合は、ETERNUS を調査してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14088

st:st[0-9]* Software error (Write not multiple of tape block size)

意味:

アプリケーションのエラーです。固定長のテープ装置に対して、書込みサイズがテープのブロックサイズの倍数になっていません。

対処:

write するときのブロックサイズを正しくしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14089

st: Software error (Too many tape devices)

意味:

構成エラーです。サポート可能なテープ装置の数は、ST_MAX_TAPES(128)までです。

対処:

システム構成を見なおしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14090

sg: Software error (Unable to attach sg device)

意味:

システム構成エラーです。空いているマイナー番号がありません。全部で SG_MAX_DEVS(32768)までです。

対処:

仕様の上限を確認し、システム構成を見なおしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14091

sg: Software error (cannot be allocated)

意味:

メモリ不足です。制御テーブルが確保できません。

対処:

fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14093

sg:sgn Software error (unable to make symlink)

意味:

メモリ不足か、OS の内部エラーです。sysfs 内のシンボリックリンクの作成に失敗しました。

対処:

メモリを増設するか負荷を軽減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14094

sr: Software error (Unable to allocate SCSI request)

意味:

メモリ不足により、CD-ROM への ioctl が失敗しました。

対処:

メモリを増設するか負荷を軽減してください。それでも改善されない場合は、fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14095

sr:sr[0-9]* Software error (unknown vendor code)

意味:

ドライバの障害です。初期化されているべき vendor code が初期化されていません。

対処:

fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14096

st: Software error (Unable create sysfs class)

意味:

メモリ不足または OS の内部エラーです。sysfs 内に、SCSI tape のクラスを作成できませんでした。

対処:

fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14097

sg: Software error (kmalloc Sg_device failure)

意味:

メモリ不足です。制御テーブルが確保できません。

対処:

メモリを増設するか負荷を軽減してください。それでも改善されない場合は、fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14099

sg: Software error (alloc_disk failed)

意味:

メモリ不足です。制御テーブルが確保できません。

対処:

メモリを増設するか負荷を軽減してください。それでも改善されない場合は、fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14100

sg: Software error (cdev_alloc failed)

意味:

メモリ不足です。制御テーブルが確保できません。

対処:

メモリを増設するか負荷を軽減してください。それでも改善されない場合は、fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14101

sg: Software error (sg_alloc failed)

意味:

メモリ不足です。制御テーブルが確保できません。

対処:

メモリを増設するか負荷を軽減してください。それでも改善されない場合は、fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14102

sg: Software error (class_simple_device_add failed)

意味:

メモリ不足です。制御テーブルが確保できません。

対処:

メモリを増設するか負荷を軽減してください。それでも改善されない場合は、fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14103

scsi: Software error (Illegal state transition)

意味:

ソフトウェアエラーです。

対処:

fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14104

scsi: Software error (Target device_add failed)

意味:

装置を sysfs へ追加中にエラーが発生しました。メモリ不足の可能性があります。

対処:

メモリを増設するか負荷を軽減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14105

scsi: Software error (Target transport add failed)

意味:

transport class (SPI、FC など) を sysfs へ追加中にエラーが発生しました。メモリ不足の可能性があります。

対処:

メモリを増設するか負荷を軽減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14106

scsi: Software error (Target transport attr add failed)

意味:

transport class (SPI、FC など) の属性を追加中にエラーが発生しました。メモリ不足の可能性があります。

対処:

メモリを増設するか負荷を軽減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14107

scsi: Software error (allocation failure)

意味:

target のノードを sysfs へ追加中に、メモリ不足が発生しました。

対処:

メモリを増設するか負荷を軽減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14108

scsi: Software error (ordered flushes don't support queueing)

意味:

HBA が queueing をサポートしているので、ordered flush を使用しないようにしました。

対処:

ソフトウェアを調査してください。HBAドライバの仕様と実装が正しいか確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14110

scsi:scsi%d (%d,%d,%d) Device error (probe failed) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

デバイスを認識するための I/O 要求に対して、デバイスからの応答が、リトライしても BUSY のため、その装置の認識を中断しました。

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

%ser:例. 01234567

対処:

エラーが起こる LUN が FC-Switch などを使用して複数サーバで共有している場合は、ゾーニングの設定を見なおして各サーバで負荷を低減してください。単体ドライブの場合は、ドライブを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14111

scsi: Software error (barrier error; disabling flush support)

意味:

ordered flush に失敗したため、以降 ordered flush は行われません。

対処:

これ以前に表示されたエラーメッセージを参照して対処してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14112

st: Software error (Can't allocate tape buffer)

意味:

メモリ不足です。バッファ拡張に失敗しました。

対処:

システム設計を見なおすか、メモリを増設してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14113

st: Software error (class_simple_device_add failed)

意味:

メモリ不足です。制御テーブルの確保に失敗しました。

対処:

メモリを増設するか負荷を低減してください。それでも改善されない場合は、fjsnap を採取して修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14114

st: Software error (Can't create sysfs link from SCSI device)

意味:

メモリ不足か、OS の内部エラーです。sysfs 内のシンボリックリンクの作成に失敗しました。

対処:

メモリを増設するか負荷を低減してください。それでも改善されない場合は、fjsnap を採取して修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14115

sd: Software error (FUA write on READ/WRITE drive)

意味:

不当なリクエストコマンドです。READ/WRITE(10)を使用しなければなりません。

対処:

fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14116

sd:%s Device error (too big for this kernel) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

ブロックの大きさがカーネルでサポートされた許容範囲を超えています。

%s：sd[a-z]* or %h:%c:%i:%l

%h：host 番号、%c：channel 番号、%i：id、%l：lun 番号

%v：例. FUJITSU

%m：例. MAP3367NC

%ser：例. 01234567

対処：

単体ドライブの場合は、ディスクを交換してください。ETERNUS の場合は、ETERNUS を調査してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

14118

sd:sd[a-z]* Device error (got wrong page) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

mode page (cache control parameter) の読み出しに失敗しました。

%v：例. FUJITSU

%m：例. MAP3367NC

%ser：例. 01234567

対処:

本メッセージの後にデバイスが切り離されるようなら、デバイスを交換してください。切り離されない場合は対処不要です。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14119

st:st[0-9]* Software error (class_device_create failed)

意味:

class_device_create に失敗しました。

対処:

fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14120

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (Device not ready)

意味:

静的状態 (まだ利用できる状態にない) の SCSI デバイスへの I/O 要求は拒絶されました。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

オペレーションを確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14123

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (rejecting I/O to offline device)

意味:

オフラインデバイスへの I/O 要求が拒絶されました。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

オペレーションを確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14124

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (rejecting I/O to dead device)

意味:

見つからないデバイスへの I/O 要求が拒絶されました。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

オペレーションを確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14125

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (rejecting I/O to device being removed)

意味:

取り外されたデバイスへの I/O 要求が拒絶されました。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

オペレーションを確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14126

scsi: Software error (impossible request)

意味:

ソフトウェアまたはハードウェアの障害が発生しました。

対処:

調査資料 (ダンプ) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14127

scsi: Software error (timing out command. waited)

意味:

timing out command が待機状態です。

対処:

fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14128

scsi: Software error (can't init scsi io context cache)

意味:

I/O 要求のキャッシュに失敗しました。メモリ不足の可能性があります。

対処:

メモリを増設するか負荷を低減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14129

scsi: Software error (allocation failure)

意味:

scsi_alloc_target() 内でターゲットの領域確保に失敗しました。メモリ不足の可能性があります。

対処:

メモリを増設するか負荷を低減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14130

scsi: Software error (target allocation failed)

意味:

scsi_alloc_target() 内でターゲットの領域確保に失敗しました。メモリ不足の可能性があります。

対処:

メモリを増設するか負荷を低減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14131

scsi:%h:%c:%i:%l Device error (Can't create sysfs link from SCSI device) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

デバイスの構成に誤りがあります。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

%ser:例. 01234567

対処:

デバイスの構成を正しく指定して再実行してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14132

sr:%h:%c:%i:%l Software error (bad sector size)

意味:

セクターサイズの異常を検出しました。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

srドライバを調査してください。fjsnapを採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14133

sg:%h:%c:%i:%l Software error (Unable to attach sg device)

意味:

システム構成に誤りがあり、空いているマイナー番号がありません。最大 32768 までです。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

仕様の上限を確認し、システム構成を見なおしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14134

scsi:%h:%c:%i:%l Device error (offlined) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

SCSI デバイスがオフラインになりました。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

%ser:例. 01234567

対処:

デバイスを交換してください。原因は、このメッセージの前に表示されたメッセージを参照してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14135

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (reservation conflict)

意味:

ソフトウェアエラーが発生しました。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

運用方法または、RESERVE/RELEASE を使用しているソフトウェアに問題があります。問題が解決しない場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14136

scsi:%s Software error (request failed)

意味:

ソフトウェアの障害が発生しました。

%s:"sd[a-z]*" または st[0-9]*" または ""

対処:

sd に要求をだしたドライバの障害です。fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14137

scsi:%h:%c:%i:%l Device error (ioctl_internal_command) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

デバイスまたはドライバの異常が発生しました。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

%ser:例. 01234567

対処:

host、id、lun から対象デバイスの種類を確認し、Sense Key (extended sense) を見て対処を決定してください。

1 (Recovered Error):Removable device であれば、クリーニングします。

2 (Not Ready):Non-removable であれば、デバイスを交換します。

3 (Medium Error):disk であれば、デバイスを交換します。removable media の場合は、クリーニングと medium を交換します。

4 (Hard Error):デバイスを交換します。

5 (Illegal Request):ソフトを調査します。

6 (Unit Attention):さまざまな装置からの通知情報です。(リセット状態、RAID であれば縮退など)

7 (Data Protect):Write Protect の状態を確認します。

8 (Blank Check):テープなどのオペレーションを確認します。

b (Aborted Command):SCSI バス、FC 伝送路の不具合を調査します。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

14138

scsi:%h:%c:%i:%l Device error (Volume overflow. CDB) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

デバイスフルで書き込めなかったデータがバッファに残っている状態です。SCSI デバイスへの I/O 要求は拒絶されました。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

%ser:例. 01234567

対処:

host、id、lun から対象デバイスの種類を確認し、Sense Key (extended sense) を確認して対処を決定してください。

1 (Recovered Error):Removable device であれば、クリーニングします。

2 (Not Ready):Non-removable であれば、デバイスを交換します。

3 (Medium Error):disk であれば、デバイスを交換します。removable media の場合は、クリーニングと medium を交換します。

4 (Hard Error):デバイスを交換します。

5 (Illegal Request):ソフトを調査します。

6 (Unit Attention)：さまざまな装置からの通知情報です。(リセット状態、RAID であれば縮退など)

7 (Data Protect)：Write Protect の状態を確認します。

8 (Blank Check)：テープなどのオペレーションを確認します。

b (Aborted Command)：SCSI バス、FC 伝送路の不具合を調査します。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

14139

scsi:%h:%c:%i:%l Device error (I/O error) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

I/O エラーが発生しました。

%h：host 番号、%c：channel 番号、%i：id、%l：lun 番号

%v：例. FUJITSU

%m：例. MAP3367NC

%ser：例. 01234567

対処：

return code が"0x00010000"の場合は、ディスクの無応答エラーが発生しているので、ディスクを交換してください。

return code がその他の場合は、host、id、lun から対象デバイスの種類を確認して、Sense Key (extended sense) を見て対処を決定してください。

1 (Recovered Error)：Removable device であれば、クリーニングします。

2 (Not Ready)：Non-removable であれば、デバイスを交換します。

3 (Medium Error)：disk であれば、デバイスを交換します。removable media の場合は、クリーニングと medium を交換します。

4 (Hard Error)：デバイスを交換します。

5 (Illegal Request)：ソフトを調査します。

6 (Unit Attention)：さまざまな装置からの通知情報です。(リセット状態、RAID であれば縮退など)

7 (Data Protect)：Write Protect の状態を確認します。

8 (Blank Check)：テープなどのオペレーションを確認します。

b (Aborted Command)：SCSI バス、FC 伝送路の不具合を調査します。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

14140

sd:sd[a-z]* Device error (Use a kernel compiled with support for large block devices) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

デバイスエラーです。ディスクサイズが大きすぎます。

%v：例．FUJITSU

%m：例．MAP3367NC

%ser：例．01234567

対処：

単体ドライブの場合は、ディスクを交換してください。ETERNUS の場合は、ETERNUS を調査してください。または、ディスク容量をサポートしたカーネルを使用してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

14141

st:st[0-9]* Software error (Async command already active)

意味：

非同期エラーを検出しました。非同期で実行されているコマンドがすでに存在しています。

対処：

しばらく待って再び実行するか、クリーニング、またはテープ交換を行ってください。復旧しない場合は、ドライブを交換してください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

14142

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (timing out command. waited)

意味:

タイムアウトを検出しました。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

fjsnap を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14143

scsi: Software error (mapping failed)

意味:

マッピングに失敗しました。

対処:

fjsnap を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14144

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (target device_add failed)

意味:

ターゲットの登録に失敗しました。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

ソフト調査、または装置の確認 (装置交換か、装置を外す) をしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14145

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (target allocation failed)

意味:

メモリの獲得に失敗しました。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

メモリ増設、負荷低減、システム構成を見なおしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14146

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (Unexpected response from lun while scanning. scan aborted)

意味:

SCSI デバイスのスキャン中に、何らかの障害によりスキャン処理が中断しました。

中断理由はこのメッセージより前に表示されています。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

一部の装置認識に失敗しているため、原因を取り除いてリブートしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14147

scsi: Software error (fc_host_post_event: Dropped Event)

意味:

イベント作成に失敗しました。

対処:

fjsnap を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14148

scsi: Software error (fc_host_post_vendor_event: Dropped Event)

意味:

イベント作成に失敗しました。

対処:

fjsnap を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14149

scsi: Software error (attempted to queue work; when no workqueue created)

意味:

ワークキューが生成されていない時にキューを試みました。

対処:

fjsnap を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14150

scsi: Software error (attempted to flush work; when no workqueue created)

意味:

ワークキューが生成されていない時に flush を試みました。

対処:

fjsnap を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14151

scsi: Software error (fc_rport_create: allocation failure)

意味:

メモリの獲得に失敗しました。

対処:

メモリを増設するか、システムの負荷を低減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14152

scsi: Software error (FC Remote Port device_add failed)

意味:

デバイスの追加に失敗しました。

対処:

メモリを増設するか、システムの負荷を低減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14153

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (FC remote port time out: no longer a FCP target; removing starget)

意味:

FC の接続がタイムアウトしました。(FC 層での target 認識ができなくなったため、SCSI 層の target 削除を行います。)

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

FC ネットワークの接続を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14154

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (FC remote port time out: leaving target alone)

意味:

FC の接続がタイムアウトしました。(target は残しておきます。)

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

FC ネットワークの接続を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14155

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (FC remote port time out: removing target)

意味:

FC の接続がタイムアウトしました。(target は切り離します。)

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

FC ネットワークの接続を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14156

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (FC remote port time out: removing target and saving binding)

意味:

FC の接続がタイムアウトしました。(target は切り離し、binding はセーブします。)

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

FC ネットワークの接続を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14157

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (it's already part of another port)

意味:

目的とするポートがすでに使用されています。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

ポートを確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14158

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (saving binding)

意味:

FC の接続がタイムアウトしました。binding をセーブします。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

FC ネットワークの接続を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14159

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (target resuming)

意味:

scsi がタイムアウトしました。(target を再開します。)

%h：host 番号、%c：channel 番号、%i：id、%l：lun 番号

対処：

SCSI デバイスの接続をチェックしてください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

14160

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (host resuming)

意味：

host がタイムアウトしました。(host を再開します。)

%h：host 番号、%c：channel 番号、%i：id、%l：lun 番号

対処：

SCSI デバイスの接続をチェックしてください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

14161

sd: Software error (No memory for request)

意味:

カーネル内のメモリ不足です。

対処:

システム構成を見なおして、システム負荷を低減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14162

st:st[0-9]* Device error vendor=%v model=%m

意味:

装置のセンスなしのエラーです。HBA からの復帰値をそのまま表示します。

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

対処:

メッセージに含まれるセンスキーを確認してください。センスキーの文字列により、下記のように対処してください。

- "No Sense"または"Recovered Error"または"Unit Attention"の場合:

  →単発発生の場合は対処不要です。繰り返し発生する場合は、調査資料 (ダンプ、fjsnap) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

- "Medium Error"の場合:

  →ディスク交換、またはテープ交換を行ってください。

- "Blank Check"の場合:

  →ディスクまたはテープの読み書きのさいのオペレーションを確認してください。オペレーションに問題がない場合は、調査資料 (ダンプ、fjsnap) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

- その他

  →調査資料 (ダンプ、fjsnap) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14163

sd:%h:%c:%i:%l Software error (START_STOP FAILED)

意味:

デバイスの停止に失敗しました。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

カーネル内のメモリ不足です。システム構成を見なおして、システム負荷を低減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14164

sd: Software error (Cannot create port links or backlink)

意味:

シンボリックリンクの作成に失敗しました。

対処:

メモリを増設してください。または SAS のポートを確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14165

scsi:%s Device error vendor=%v model=%m

意味:

装置のセンスなしのエラーです。HBA からの復帰値をそのまま表示します。

%s:例. sda、st0、etc...

%v:例. FUJITSU

%m：例. MAP3367NC

対処：

メッセージに含まれるセンスキーを確認してください。センスキーの文字列により、下記のように対処してください。

- "No Sense"または"Recovered Error"または"Unit Attention"の場合：

  →単発発生の場合は対処不要です。繰り返し発生する場合は、調査資料 (ダンプ、fjsnap) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

- "Medium Error"の場合：

  →ディスク交換、またはテープ交換を行ってください。

- "Blank Check"の場合：

  →ディスクまたはテープの読み書きのさいのオペレーションを確認してください。オペレーションに問題がない場合は、調査資料 (ダンプ、fjsnap) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

- その他

  →調査資料 (ダンプ、fjsnap) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

14166

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (event eaten due to OOM)

意味:

OOM Killer によってプロセスが駆逐されました。

%h:

host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

メモリを増設するか、システム負荷を低減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14167

sd:%s Device error (malformed MODE SENSE response) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

不明なモードセンスが応答されました。

%s:sd[a-z]* or %h:%c:%i:%l

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

%v:例. FUJITSU

%m:例. MAP3367NC

%ser:例. 01234567

対処:

単体ドライブの場合は、ディスクを交換します。ETERNUS の場合は、ETERNUS を調査してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14168

scsi: Software error (FC Virtual Port device add failed)

意味:

FC Virtual Port デバイスの追加に失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14169

scsi: Software error (FC Virtual Port LLDD Create failed)

意味:

FC Virtual Port LLDD の作成に失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14170

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (Cannot create vport symlinks)

意味:

vport symlinks を作成できません。

%h:host 番号

%c:channel 番号

%i:id

%l:lun 番号

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14171

sd:%h:%c:%i:%l Device error (unsupported protection type) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

フォーマットできないタイプのディスクです。

%h:host 番号、%c:channel 番号、%i:id、%l:lun 番号

対処:

ディスクを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

14172

sd:%s Software error (missing header in MODE_SENSE response)

意味:

Mode Sense の情報がありません。

%s：sd[a-z]* or %h:%c:%i:%l

%h：host 番号、%c：channel 番号、%i：id、%l：lun 番号

対処：

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

14173

sg: Software error (idr expansion Sg_device failure)

意味：

メモリ不足です。制御テーブルが確保できません。

対処：

メモリを増設するか、負荷を軽減してください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

14174

sg: Software error (idr allocation Sg_device failure)

意味:

メモリ不足です。制御テーブルが確保できません。

対処:

メモリを増設するか、負荷を軽減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14175

sg: Software error (sg_add device_create failed)

意味:

メモリ不足です。制御テーブルが確保できません。

対処:

メモリを増設するか、負荷を軽減してください。

それでも改善されない場合は、fjsnap を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14176

sg: Software error (sg_sys Invalid)

意味:

ドライバの障害です。矛盾が発生しています。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14178

st:st[0-9]* Software error (device_create failed)

意味:

device_create()に失敗しました。

対処:

調査資料 (ダンプ、fjsnap など) を採取し、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14179

scsi: Software error (can't init scsi sdb cache)

意味:

I/O 要求のキャッシュに失敗しました。メモリ不足の可能性があります。

対処:

メモリを増設するか負荷を低減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14180

scsi:%h:%c:%i:%l Device error (in wrong state to complete scan) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味:

故障した状態のデバイスのスキャンが完了しました。

%h：host 番号、%c：channel 番号、%i：id、%l：lun 番号

対処：

デバイスの状態を確認してください

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

14181

scsi:%h:%c:%i:%l Software error (Found incompatible tape)

意味：

システム管理者が設定した st の制御対象外デバイスを見つけました。

対処：

ドライバを変更してください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

14182

scsi: scsi: Software error (Allocation failure during SCSI scanning)

意味:

メモリ不足です。

対処:

メモリを増設するか負荷を低減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

14183

scsi: Software error (allocation failure)

意味:

scsi_alloc_target()内ターゲットの領域確保に失敗しました。メモリ不足の可能性が高い。

対処:

メモリを増設するか負荷を低減してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

7.2.9 ETERNUS マルチパスドライバメッセージ [Linux]

ETERNUS マルチパスドライバ関連のメッセージを以下に示します。

15039

MPD: Adapter or Device or FC-Network error (MPD detected event)

意味：

マルチパスドライバが I/O 異常または FC マルチパス構成の異常を検出しました。

対処：

マルチパスドライバが出力するメッセージに応じて、『ETERNUS マルチパスドライバユーザーズガイド』に従って対処を行ってください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

7.2.10 GDS メッセージ [Linux]

GDS 関連のメッセージを以下に示します。

16000

GDS: /dev/sdx Device error (read error on slice) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

スライスへのリード要求が異常終了しました。

%v：例．FUJITSU

%m：例．MAP3367NC

%ser：例．01234567

対処：

ディスク障害の可能性があります。ドライバのログメッセージをもとに故障原因を特定して復旧してください。

Severity：

Error

アクション：

(R/M/T/S)

16001

GDS: /dev/sdx Device error (read error on disk) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

ディスクへのリード要求が異常終了しました。

%v：例．FUJITSU

%m：例．MAP3367NC

%ser：例．01234567

対処：

ディスク障害の可能性があります。ドライバのログメッセージをもとに故障原因を特定して復旧してください。

Severity：

Error

アクション：

(R/M/T/S)

16002

GDS: /dev/sdx Device error (read and writeback error on slice) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

スライスへのリード要求およびライトバック要求が異常終了しました。

%v：例．FUJITSU

%m：例．MAP3367NC

%ser：例．01234567

対処：

ディスク障害の可能性があります。ドライバのログメッセージをもとに故障原因を特定して復旧してください。

Severity：

Error

アクション：

(R/M/T/S)

16003

GDS: /dev/sdx Device error (open error on slice) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

スライスへのオープン処理が異常復帰しました。

%v：例．FUJITSU

%m：例．MAP3367NC

%ser：例．01234567

対処：

ディスク障害の可能性があります。ドライバのログメッセージをもとに故障原因を特定して復旧してください。

Severity :

Error

アクション：

(R/M/T/S)

16004

GDS: /dev/sdx Device error (open error on disk) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

ディスクへのオープン処理が異常復帰しました。

%v：例．FUJITSU

%m：例．MAP3367NC

%ser：例．01234567

対処：

ディスク障害の可能性があります。ドライバのログメッセージをもとに故障原因を特定して復旧してください。

Severity：

Error

アクション：

(R/M/T/S)

16005

GDS: /dev/sdx Device error (NVURM read error on disk) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

ディスクへの NVURM リード要求が異常終了しました。

%v：例．FUJITSU

%m：例．MAP3367NC

%ser：例．01234567

対処：

ディスク障害の可能性があります。ドライバのログメッセージをもとに故障原因を特定して復旧してください。

Severity :

Error

アクション：

(R/M/T/S)

16006

GDS: /dev/sdx Device error (volume status log write error on disk) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

ディスクへのボリューム状態ログのライト要求が異常終了しました。

%v：例．FUJITSU

%m：例．MAP3367NC

%ser：例．01234567

対処：

ディスク障害の可能性があります。ドライバのログメッセージをもとに故障原因を特定して復旧してください。

Severity :

Error

アクション：

(R/M/T/S)

16007

GDS: /dev/sdx Device error (write error on slice) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

スライスへのライト要求が異常終了しました。

%v：例．FUJITSU

%m：例．MAP3367NC

%ser：例．01234567

対処：

ディスク障害の可能性があります。ドライバのログメッセージをもとに故障原因を特定して復旧してください。

Severity :

Error

アクション：

(R/M/T/S)

16008

GDS: /dev/sdx Device error (write error on disk) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

ディスクへのライト要求が異常終了しました。

%v：例．FUJITSU

%m：例．MAP3367NC

%ser：例．01234567

対処：

ディスク障害の可能性があります。ドライバのログメッセージをもとに故障原因を特定して復旧してください。

Severity：

Error

アクション：

(R/M/T/S)

16009

GDS: /dev/sdx Device error (close error on disk) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

ディスクへのクローズ要求が異常終了しました。

%v：例．FUJITSU

%m：例．MAP3367NC

%ser：例．01234567

対処：

ディスク障害の可能性があります。ドライバのログメッセージをもとに故障原因を特定して復旧してください。

Severity :

Error

アクション：

(R/M/T/S)

16010

GDS: /dev/sdx Device error (NVURM write error on disk) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

ディスクへの NVURM ライト要求が異常終了しました。

%v：例．FUJITSU

%m：例．MAP3367NC

%ser：例．01234567

対処：

ディスク障害の可能性があります。ドライバのログメッセージをもとに故障原因を特定して復旧してください。

なお、GDS で二重化されたディスクの活性交換を行う場合、ディスクの電源オフ/オンのタイミングで、本メッセージが出力される場合がありますが、GDS の状態を確認し問題なければ対処不要です。

Severity :

Error

アクション：

(R/M/T/S)

16011

GDS: /dev/sdx Device error (failed to abort I/O requests on disk) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

物理ディスクに対する入出力要求の中止要求 (mphd ドライバまたは mplb ドライバへの ioctl 要求) が異常終了しました。

%v：例．FUJITSU

%m：例．MAP3367NC

%ser：例．01234567

対処：

ディスク障害の可能性があります。ドライバのログメッセージをもとに故障原因を特定して復旧してください。

Severity :

Error

アクション：

(R/M/T/S)

7.2.11 GLS メッセージ [Linux]

GLS 関連のメッセージを以下に示します。

17000

GLS: interface Network error (Link Down at TRUNKING mode) vendor-id=%vi device-id=%d revision=%r

意味：

高速切替方式で運用中の仮想インターフェースが束ねる物理インターフェースを使用した相手ホストへの通信で異常が発生しました。

interface=物理インターフェース名

%vi：e100/e1000 の場合　8086

bcm5700 の場合　14E4

%d：e100/e1000 の例．1209

bcm5700 の例．16A8

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

相手ホストへの通信経路に異常がないか確認してください。

Severity :

Error

アクション：

(/ /T/S)

17001

GLS: Network error (poll fail retry over.polling stop)

意味：

伝送路の異常が指定されたリトライ回数連続して失敗しました。HUB 監視機能を無効にします。

対処：

伝送路を確認してください。伝送路を復旧後、HUB 監視機能の無効化、有効化を行ってください。

Severity :

Error

アクション：

(R/M/T/S)

17002

GLS: Network error (primary polling failed. lip=logicalIP target=pollip)

意味：

物理インターフェースの初期チェックにおいて、Primary 監視先への経路に異常を検出しました。

logicalIP=論理 IP アドレス

pollip=監視先 IP アドレス

対処：

監視先への通信経路に異常がないか確認してください。

Severity :

Error

アクション：

(R/M/T/S)

17003

GLS: Network error (secondary polling failed. lip=logicalIP target=pollip)

意味：

物理インターフェースの初期チェックにおいて、Secondary 監視先への経路に異常を検出しました。

logicalIP=論理 IP アドレス

pollip=監視先 IP アドレス

対処：

監視先への通信経路に異常がないか確認してください。

Severity :

Error

アクション：

(R/M/T/S)

17004

GLS: ifname Network error (Primary polling failed.) vendor-id=%vi device-id=%d revision=%r

意味：

プライマリ側の伝送路監視に失敗しました。

ifname=インターフェース名

pollip=監視先 IP アドレス

%vi：e100/e1000 の場合　8086

bcm5700 の場合　14E4

%d：e100/e1000 の例．1209

bcm5700 の例．16A8

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

監視先への通信経路に異常がないか確認してください。

Severity :

Error

アクション：

(R/M/T/S)

17005

GLS: ifname Network error (Secondary polling failed.) vendor-id=%vi device-id=%d revision=%r

意味：

セカンダリ側の伝送路監視に失敗しました。

ifname=インターフェース名

pollip=監視先 IP アドレス

%vi：e100/e1000 の場合　8086

bcm5700 の場合　14E4

%d：e100/e1000 の例．1209

bcm5700 の例．16A8

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

監視先への通信経路に異常がないか確認してください。

Severity :

Error

アクション：

(R/M/T/S)

17006

GLS: ifname Network error (PrimaryHUB to SecondaryHUB polling failed.) vendor-id=%vi device-id=%d revision=%r

意味：

プライマリ側の HUB-HUB 間監視に失敗しました。

ifname=インターフェース名

pollip=監視先 IP アドレス

%vi：e100/e1000 の場合 8086

bcm5700 の場合　14E4

%d：e100/e1000 の例．1209

bcm5700 の例．16A8

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

監視先への通信経路に異常がないか確認してください。

Severity :

Error

アクション：

(R/M/T/S)

17007

GLS: ifname Network error (SecondaryHUB to PrimaryHUB polling failed.) vendor-id=%vi device-id=%d revision=%r

意味：

セカンダリ側の HUB-HUB 間監視に失敗しました。

ifname=インターフェース名

pollip=監視先 IP アドレス

%vi：e100/e1000 の場合　8086

bcm5700 の場合　14E4

%d：e100/e1000 の例．1209

bcm5700 の例．16A8

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

監視先への通信経路に異常がないか確認してください。

Severity：

Error

アクション：

(R/M/T/S)

17008

GLS: Network error (route error is noticed.(sourceip))

意味：

相手システムから経路異常が通知されました。

sourceip=送信元 IP アドレス

対処：

送信元との間の通信経路に異常がないか確認してください。

Severity：

Error

アクション：

(/ /T/S)

17009

GLS: Network error (route error is noticed.(target=IP))

意味：

相手システムから経路異常を検出しました。

IP=相手先 IP アドレス

対処：

送信元との間の通信経路に異常がないか確認してください。

Severity :

Error

アクション：

(/ /T/S)

17010

GLS: Network error (all lines disabled (devicename))

意味：

高速切替方式で運用中の仮想インターフェースが束ねる物理インターフェースがすべてダウン状態になりました。

devicename=仮想インターフェース名

対処：

すべての物理インターフェースについて、相手ホストへの通信経路に異常がないか確認してください。

Severity :

Error

アクション：

(/ /T/S)

17011

GLS: Network error (some lines in operation (devicename))

意味：

高速切替方式で運用中の仮想インターフェースが束ねる物理インターフェースの一部がダウン状態 (または Up 状態) になりました。

devicename=仮想インターフェース名

対処：

ダウン状態の物理インターフェースについて、相手ホストへの通信経路に異常がないか確認してください。

Severity :

Error

アクション：

(/ /T/S)

7.2.12 ServerView RAID メッセージ [Linux]

ServerView RAID 関連のメッセージを以下に示します。

18500

SV RAID:%2 Adapter error (BBU temperature out of range) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

バッテリーの温度異常が検出されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

ServerView RAID で FAN の状態を確認し、FAN 故障の場合は、対象装置の対処に従ってください。ServerView RAID での状態確認については、『ServerView Suite ServerView RAID Management User Manual』を参照してください。

FAN 故障でなかった場合は、環境温度を見なおしてください。環境温度を見なおしても再発する場合は、BBU を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18501

SV RAID:%2 Adapter error (BBU temperature unstable) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

バッテリーの温度異常が検出されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ServerView RAID で FAN の状態を確認し、FAN 故障の場合は、対象装置の対処に従ってください。ServerView RAID での状態確認については、『ServerView Suite ServerView RAID Management User Manual』を参照してください。

FAN 故障でなかった場合は、環境温度を見なおしてください。環境温度を見なおしても再発する場合は、BBU を交換してください。

Severity：

Error

アクション：

(R/M/T/S)

18502

SV RAID:%2 Adapter error (BBU temperature above threshold) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味：

バッテリーの温度異常が検出されました。

%2：デバイス名

%d：例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ServerView で FAN の状態を確認し、FAN 故障の場合は、対象装置の対処に従ってください。

FAN 故障でなかった場合は、環境温度を見なおしてください。環境温度を見なおしても再発する場合は、BBU を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18503

SV RAID:%2 Adapter error (BBU voltage out of range) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

バッテリーの電圧異常が検出されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

BBU の交換を行ってください。再発する場合は、SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18504

SV RAID:%2 Adapter error (BBU voltage unstable) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

バッテリーの電圧が安定しません。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

BBU の交換を行ってください。再発する場合は、SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18505

SV RAID:%2 Adapter error (BBU communication error) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

BBU との通信エラーが発生しました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

BBU の交換を行ってください。再発する場合は、SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18506

SV RAID:%2 Adapter error (BBU failed) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

バッテリーに異常が発生しました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

BBU の交換を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18507

SV RAID:%2 Adapter error (BBU fast charging failed) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

バッテリーの急速充電に失敗しました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

BBU の交換を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18508

SV RAID:%2 Adapter error (BBU charge count exceeded) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

バッテリーの充電カウントが上限を上回りました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

BBU の交換を行ってください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18509

SV RAID:%2 Device error (Rebuild on disk failed)

意味:

HDD で実行中のリビルドが失敗しました。

%2:デバイス名

対処:

対象ロジカルドライブが Degraded の場合は、HDD を交換し、リビルドしてください。
対象ロジカルドライブがオフラインの場合は、「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18510

SV RAID:%2 Device error (Rebuild failed on logical drive)

意味:

ロジカルドライブのリビルドが失敗しました。

%2:デバイス名

対処:

対象ロジカルドライブが Degraded の場合は、HDD を交換し、リビルドしてください。
対象ロジカルドライブがオフラインの場合は、「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18511

SV RAID:%2 Device error (Migration failed on logical drive)

意味:

ロジカルドライブ の容量拡張処理に失敗しました。

%2:デバイス名

対処:

アレイを再構築し、バックアップからデータをリストアしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18512

SV RAID:%2 Device error (Migration aborted on logical drive)

意味:

ロジカルドライブ の容量拡張処理が中断されました。

%2:デバイス名

対処:

アレイを再構築し、バックアップからデータをリストアしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18513

SV RAID:%2 Device error (Logical drive degraded)

意味:

ロジカルドライブが Degraded 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

故障した HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18514

SV RAID:%2 Device error (Logical drive failed)

意味:

ロジカルドライブがオフライン状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18515

SV RAID:%2 Adapter error (BBU voltage problem detected) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

バッテリーの電圧異常が検出されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

BBU の交換を行ってください。再発する場合は、SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18516

SV RAID:%2 Adapter error (BBU temperature problem detected) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

バッテリーの温度異常が検出されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

ServerView で FAN の状態を確認してください。FAN 故障の場合は、対象装置の対処に従ってください。FAN 故障でない場合は、環境温度を見なおしてください。環境温度を見なおしても再発する場合は、BBU を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18517

SV RAID:%2 Adapter error (BBU failed) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

バッテリーが故障しました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

BBU を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18518

SV RAID:%2 Adapter error (Fatal firmware error) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

ファームウェアで致命的なエラーが発生しました。

%2:デバイス名

%d : 例. 0079

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18519

SV RAID:%2 Adapter error (Multi-bit ECC error) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

マルチビットエラーが検出されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アレイコントローラーを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18520

SV RAID:%2 Adapter error (Single-bit ECC error) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

シングルビットエラーが検出されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

アレイコントローラーを交換してください。

Severity：

Error

アクション：

(R/M/T/S)

18521

SV RAID:%2 Adapter error (Not enough adapter memory) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味：

コントローラーのメモリが不足しています。

%2：デバイス名

%d：例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity：

Error

アクション：

(R/M/T/S)

18522

SV RAID:%2 Device error (Resume migration of logical drive failed due to Configuration Mismatch)

意味:

構成のミスマッチにより、容量拡張処理のリジュームに失敗しました。

%2: デバイス名

対処:

アレイ構成を再構築し、バックアップからデータをリストアしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18523

SV RAID:%2 Device error (Hot spare S.M.A.R.T. polling failed on disk)

意味:

スペアディスクへの SMART ポーリングに失敗しました。

%2: デバイス名

対処:

対象の HDD を交換してください。交換後、スペアディスクに SMART 設定等を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18524

SV RAID:%2 Device error (Predictive failure)

意味:

HDD で故障予測が発生しています。

%2: デバイス名

対処:

HDD の予防交換を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18525

SV RAID:%2 Adapter error (BBU needs to be replaced - SOH bad) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

BBU の交換が必要です。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

BBU を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18526

SV RAID:%2 Adapter error (BBU removed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

BBU が取り外されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

バッテリーの充電完了を待ってください。充電完了後も再発する場合は、BBU を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18527

SV RAID:%2 Adapter error (Enclosure communication lost) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

エンクロージャとの接続が切断されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

システムの接続構成を見なおしてください。再発する場合は、SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18528

SV RAID:%2 Adapter error (Enclosure not responding) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

エンクロージャからの応答がありません。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

システムの接続構成を見なおしてください。再発する場合は、SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18529

SV RAID:%2 Adapter error (SAS/SATA mixing not supported in enclosure) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

SAS/SATA の混在はエンクロージャでサポートされていません。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

正しい HDD に交換してください。(SATAHDD は未サポートです。)

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18530

SV RAID:%2 Device error (Bad block table on disk is 80% full)

意味:

Bad Block Table の使用率が 80%を超えました。

%2: デバイス名

対処:

復旧できない不良ブロックが大量に発生しています。読み込めないファイルが存在した場合は、バックアップからそのファイルをリストアしてください。

Severity:

Info

アクション:

(R/M/T/S)

18531

SV RAID:%2 Device error (Bad block table on disk is full; unable to log Block)

意味:

Bad Block Table がフルになりました。

%2: デバイス名

対処:

復旧できない不良ブロックが大量に発生しています。読み込めないファイルが存在した場合は、バックアップからそのファイルをリストアしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18532

SV RAID:%2 Adapter error (BBU/charger problems detected; SOH bad) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

BBU チャージャーの問題が検出されました。

%2:デバイス名

%d：例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

BBU を交換してください。再発する場合は、SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

18533

SV RAID:%2 Adapter error (Single-bit ECC error; warning threshold exceeded) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味：

シングルビットエラーが検出されました。

%2：デバイス名

%d：例. 0079

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

アレイコントローラーを交換してください。

Severity：

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18534

SV RAID:%2 Adapter error (Single-bit ECC error; critical threshold exceeded) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

シングルビットエラーが検出されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アレイコントローラーを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18535

SV RAID:%2 Adapter error (Single-bit ECC error; further reporting disabled) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

シングルビットエラーが検出されました。

%2:デバイス名

%d: 例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アレイコントローラーを交換してください。再発する場合は、SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity:

Info

アクション:

(R/M/T/S)

18536

SV RAID:%2 Adapter error (Previous configuration completely missing at boot) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

起動時に構成を見つけられませんでした。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

システムの電源を落として、HDD、ケーブル、電源などが正しく接続されているか確認してください。再発する場合は、SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18537

SV RAID:%2 Device error (Logical drive partially degraded)

意味:

ロジカルドライブ が Degraded 状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

Degraded 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18538

SV RAID:%2 Device error (Disks missing)

意味:

HDD が存在しません。

%2: デバイス名

対処:

Dead 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18539

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from operational to degraded)

意味:

ロジカルドライブの状態がオンライン状態から Degraded 状態に変更されました。

%2: デバイス名

対処:

Degraded 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18540

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from operational to partially degraded)

意味:

ロジカルドライブの状態がオンライン状態から Degraded 状態に変更されました。

%2: デバイス名

対処:

Degraded 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18541

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from operational to failed)

意味:

ロジカルドライブの状態がオンライン状態からオフライン状態に変更されました。

%2: デバイス名

対処:

「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18542

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from degraded to degraded)

意味:

ロジカルドライブの状態が Degraded 状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

Degraded 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18543

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from degraded to partially degraded)

意味:

ロジカルドライブの状態が Degraded 状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

Degraded 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18544

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from degraded to failed)

意味:

ロジカルドライブ の状態が Degraded 状態からオフライン状態に変更されました。

%2: デバイス名

対処:

「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18545

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from partially degraded to degraded)

意味:

ロジカルドライブの状態が Degraded 状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

Degraded 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18546

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from partially degraded to partially degraded)

意味:

ロジカルドライブの状態が Degraded 状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

Degraded 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18547

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from partially degraded to failed)

意味:

ロジカルドライブ の状態が Degraded 状態からオフライン状態に変更されました。

%2: デバイス名

対処:

「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18548

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from failed to failed)

意味:

ロジカルドライブの状態がオフライン状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18549

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from failed to failed)

意味:

HDD の状態が Failed 状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

Failed 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18550

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from hotspare to failed)

意味:

HDD の状態が HotSpare 状態から Failed 状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

Failed 状態の HDD を交換し、HotSpare に設定してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18551

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from rebuilding to failed)

意味:

HDD の状態が Rebuilding 状態から Failed 状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

Failed 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18552

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from operational to failed)

意味:

HDD の状態が Operational 状態から Failed 状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

Failed 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18553

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from failed to failed)

意味:

HDD の状態が Failed 状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

Failed 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18554

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from hot spare to failed)

意味:

Dead 状態の HDD を交換し、HotSpare に設定します。

%2: デバイス名

対処:

Dead 状態の HDD を交換し、HotSpare に設定してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18555

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from rebuilding to failed)

意味:

Dead 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

%2: デバイス名

対処:

Dead 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18556

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from operational to failed)

意味:

HDD の状態が Operational 状態から Failed 状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

Failed 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18557

SV RAID:%2 Device error (Disk missing after reboot)

意味:

再起動時に HDD が見つかりませんでした。

%2: デバイス名

対処:

HDD を交換し、リビルドしてください。

Fault LED が点灯していない場合は、SAS インターフェース系障害の可能性があります。SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。ただし、本製品を搭載しているサーバ本体のオプションカードまたはハードディスクの増設・取外し後の OS 起動時に本イベントが発生する場合があります。その場合は ServerView RAID Manager を使用してアレイの状態を確認し、アレイが正常状態と認識されている場合は問題ありません。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18558

SV RAID:%2 Adapter error (Logical drive missing after reboot) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

再起動時にロジカルドライブが見つかりませんでした。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アレイ構成変更後に発生している場合は、対処不要です。

通常運用時または保守作業後に発生している場合は、システムの電源を落とし、HDD が正しく接続されているか確認してください。起動後にアレイ構成が認識できなかった場合は、再起動を行うことでアレイ構成を認識します。また、本製品を搭載しているサーバ本体のオプションカードまたはハードディスクの増設・取外し後の OS 起動時に本イベントが発生する場合があります。その場合は ServerView RAID Manager を使用してアレイの状態を確認し、アレイが正常状態と認識されている場合は問題ありません。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18559

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from hot spare to offline)

意味:

HDD の状態が HotSpare 状態からオフライン状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

オフライン状態の HDD を交換し、リビルドしてください。マルチデッドの場合は、「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18560

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from offline to failed)

意味:

HDD の状態がオフライン状態から Failed 状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

オフライン状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18561

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from operational to offline)

意味:

HDD の状態が Operational 状態からオフライン状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

オフライン状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18562

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from rebuilding to offline)

意味:

HDD の状態が Rebuilding 状態からオフライン状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

オフライン状態の HDD を交換し、リビルドしてください。マルチデッドの場合は、「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18563

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from hot spare to offline)

意味:

HDD の状態が HotSpare 状態からオフライン状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

オフライン状態の HDD を交換し、リビルドしてください。マルチデッドの場合は、「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

(ホットスペアは未サポートです。)

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18564

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from offline to failed)

意味:

HDD の状態がオフライン状態から Failed 状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

オフライン状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18565

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from operational to offline)

意味:

HDD の状態がオフライン状態から Failed 状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

Failed 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18566

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from rebuilding to offline)

意味:

HDD の状態が Rebuilding 状態からオフライン状態になりました。

%2: デバイス名

対処:

オフライン状態の HDD を交換し、リビルドしてください。マルチデッドの場合は、「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18567

SV RAID:%2 Adapter error (SAS port lost link) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

SAS リンクが切断されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

システムの接続構成を見なおしてください。再発する場合は、SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity：

Error

アクション：

(R/M/T/S)

18568

SV RAID:%2 Adapter error (Adapter missing after reboot) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味：

再起動後に SAS アレイコントローラーカードが見つかりませんでした。

%2：デバイス名

%d：例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

システム BIOS 上の SAS アレイコントローラーカードの有効 (RAID) /無効 (NATIVE) の設定を確認してください。

Severity：

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18569

SV RAID:%2 Adapter error (Adapter needs replacement; faulty IOP detected) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

コントローラーの IO プロセッサで異常が検出されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

システムの接続構成を見なおしてください。再発する場合は、コントローラーを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18570

SV RAID:%2 Device error (Microcode update timeout on disk)

意味:

HDD のファームウェア更新がタイムアウトしました。

%2: デバイス名

対処:

故障状態の HDD が存在する場合は、HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18571

SV RAID:%2 Device error (Microcode update failed on disk)

意味:

HDD のファームウェア更新が失敗しました。

%2: デバイス名

対処:

故障状態の HDD が存在する場合は、HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18572

SV RAID:%2 Device error (Adapter cache pinned for missing or offline logical drive)

意味:

SAS アレイコントローラーカードのキャッシュが、消失したロジカルドライブのために保持されています。

%2: デバイス名

対処:

対象ロジカルドライブが Degraded の場合は、HDD を交換し、リビルドしてください。
対象ロジカルドライブがオフラインの場合は、「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18573

SV RAID:%2 Device error (Adapter cache pinned for missing or offline logical drives)

意味:

SAS アレイコントローラーカードのキャッシュが、複数の消失したロジカルドライブのために保持されています。

%2: デバイス名

対処:

対象ロジカルドライブが Degraded の場合は、HDD を交換し、リビルドしてください。
対象ロジカルドライブがオフラインの場合は、「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18574

SV RAID:%2 Device error (Adapter cache discarded by user for missing logical drives)

意味:

SAS アレイコントローラーカードのキャッシュが消失しました。

%2: デバイス名

対処:

対象ロジカルドライブが Degraded の場合は、HDD を交換し、リビルドしてください。
対象ロジカルドライブがオフラインの場合は、「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Info

アクション:

(R/M/T/S)

18575

SV RAID:%2 Device error (Adapter cache destaged for logical drive)

意味:

SAS アレイコントローラーカードのキャッシュが消失しました。

%2: デバイス名

対処:

対象ロジカルドライブが Degraded の場合は、HDD を交換し、リビルドしてください。
対象ロジカルドライブがオフラインの場合は、「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Info

アクション:

(R/M/T/S)

18576

SV RAID:%2 Adapter error (Internal hardware error) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

SAS アレイコントローラーカードで異常が検出されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

SAS アレイコントローラーカードを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18577

SV RAID:%2 Adapter error (Internal hardware error during POST) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

SAS アレイコントローラーカードで異常が検出されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

SAS アレイコントローラーカードを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18578

SV RAID:%2 Device error (Bad block table of disk threshold exceeded; table is about to overflow)

意味:

Bad Block Table の使用率が閾値を超えました。

%2: デバイス名

対処:

故障状態の HDD が存在する場合は、HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Info

アクション:

(R/M/T/S)

18579

SV RAID:%2 Device error (Disk failed due to bad block table overflow)

意味:

Bad Block Table が容量を超えたため、HDD が故障しました。

%2: デバイス名

対処:

故障状態の HDD が存在する場合は、HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18580

SV RAID:%2 Device error (Disk failure detected during POST)

意味:

POST 時に HDD の故障が検出されました。

%2: デバイス名

対処:

故障状態の HDD が存在する場合は、HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18581

SV RAID:%2 Adapter error (Failure detected during POST) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

POST 時に異常が検出されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

SAS アレイコントローラーカードを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18582

SV RAID:%2 Device error (Multiple failure on disk detected)

意味:

複数の HDD が故障しました。

%2: デバイス名

対処:

対象ロジカルドライブが Degraded の場合、HDD を交換し、リビルドしてください。

対象ロジカルドライブがオフラインの場合、「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18583

SV RAID:%2 Device error (Disk failed since it never entered ready state)

意味:

ハードディスクが ready state になりませんでした。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18584

SV RAID:%2 Adapter error (Internal software interface error) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

Internal ソフトウェアエラーが発生しました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アレイコントローラーを交換する。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18585

SV RAID:%2 Adapter error (Device open error) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:デバイスオープンエラーです。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r: 数値 (1～3 桁)

対処:

デバイスドライバの版数が正しいか確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18586

SV RAID:%2 Adapter error (Ioctl send error) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:I/O コントロールエラーです。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

デバイスドライバの版数が正しいか確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18587

SV RAID:%2 Adapter error (Insufficient application memory) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:アプリケーションメモリが不足しています。

%2:デバイス名

%d：例. 0079

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

アレイコントローラーを交換してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

18588

SV RAID:%2 Adapter error (System API error) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味：

システム API エラーです。

%2：デバイス名

%d：例. 0079

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

アレイコントローラーを交換する。

Severity：

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18589

SV RAID:%2 Adapter error (Firmware initialization failed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

ファームウェアの初期化に失敗しました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

アレイコントローラーを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18590

SV RAID:%2 Adapter error (Firmware recovery failed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

ファームウェアのリカバリーに失敗しました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r :数値 (1～3 桁)

対処:

アレイコントローラーを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18591

SV RAID:%2 Adapter error (BBU requires reconditioning; please initiate recalibration) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

BBU のリコンディショニングが必要な状態です。

%2: デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値(1～3 桁)

対処:

リキャリブレーションを実施してください。リキャリブレーション実施後も再発する場合は、BBU を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18592

SV RAID: Software error (Task for object cannot be started. The scheduler has disabled the task)

意味:

タスクが開始できませんでした。

対処:

タスクの開始時間を見なおし、再設定してください。

Patrol Read mode または Auto Learn mode の設定が原因の可能性があります。アレイコントローラーの設定を見なおしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18593

SV RAID:%2 Adapter error (SAS topology error) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

SASトポロジーエラーです。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

サーバの電源を落とし、ハードディスク、SAS/SATA ケーブル、電源などが正しく接続されているか確認してください。再発する場合は、SAS/SATA ケーブル、エキスパンダー、バックプレーンなどの SAS インターフェース上の部品を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18594

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from copyback to failed)

意味:

HDD の状態が copyback 状態から failed 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18595

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from copyback to offline)

意味:

HDD の状態が copyback 状態から offline 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18596

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from JBOD to failed)

意味:

HDD の状態が JBOD 状態から failed 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18597

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from JBOD to offline)

意味:

HDD の状態が JBOD 状態からオフライン状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換を実施してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18598

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from copyback to failed)

意味:

ユーザーによって、HDD の状態が copyback 状態から failed 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18599

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from copyback to offline)

意味:

ユーザーによって、HDD の状態が copyback 状態からオフライン状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18600

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from JBOD to failed)

意味:

ユーザーによって、HDD の状態が JBOD 状態から failed 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換を実施してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18601

SV RAID:%2 Adapter error (Disk security failed to communicate with EKMS) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

Disk security は EKMS との通信に失敗しました。

%2:デバイス名

%d：例. 0079

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

本機能は未サポートです。アレイコントローラーの設定を確認してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

18602

SV RAID:%2 Adapter error (Logical drive secure failed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味：

Logical drive secure が失敗しました。

%2：デバイス名

%d：例. 0079

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

本機能は未サポートです。アレイコントローラーの設定を確認してください。

Severity：

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18603

SV RAID:%2 Adapter error (Controller encountered a fatal error and was reset) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

コントローラーが fatal エラーを起こし、リセットされました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

アレイコントローラーを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18604

SV RAID:%2 Device error (Configuration command could not be committed to disk)

意味:

コンフィグレーションコマンドは、ディスクにコミットされませんでした。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18605

SV RAID:%2 Device error (Power state change failed on disk)

意味:

ディスクの Power state が active 状態から stop 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18606

SV RAID:%2 Device error (Power state change failed on disk (from stopped to active))

意味:

stopped から active への Power state の変更に失敗しました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換を実施してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18607

SV RAID:%2 Device error (Logical drive is not ready)

意味:

Logical drive が ready 状態ではありません。

対処:

ロジカルドライブの現在の状態を確認してください。クリティカル状態の場合、故障状態のハードディスクを交換してリビルドを行ってください。

オフライン状態の場合、アレイ構成を再度作成し、バックアップからデータをリストアしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18608

SV RAID:%2 Adapter error (Adapter has been replaced during reboot) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

リブート中にアダプターが交換されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

不要です。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18609

SV RAID:%2 Adapter error (Enclosure power supply removed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

エンクロージャの電源が削除されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

エンクロージャの状態を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18610

SV RAID:%2 Adapter error (Enclosure power supply turned off) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

エンクロージャの電源が停止状態になりました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

エンクロージャの状態を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18611

SV RAID:%2 Adapter error (Enclosure temperature sensor below warning threshold) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

エンクロージャの温度センサーの閾値が警告レベルを下回りました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

サーバ環境温度の見なおし、およびファンの状態を確認してください。環境温度を見なおしても再発する場合は、エンクロージャ部品を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18612

SV RAID:%2 Adapter error (Enclosure temperature sensor below error threshold) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

エンクロージャの温度センサーの閾値がエラーレベルを下回りました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

サーバ環境温度の見なおし、およびファンの状態を確認してください。環境温度を見なおしても再発する場合は、エンクロージャ部品を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18613

SV RAID:%2 Adapter error (Enclosure temperature sensor above warning threshold) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

エンクロージャの温度センサーの閾値が警告レベルを上回りました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

サーバ環境温度の見なおし、およびファンの状態を確認してください。環境温度を見なおしても再発する場合は、エンクロージャ部品を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18614

SV RAID:%2 Adapter error (Enclosure temperature sensor above error threshold) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

エンクロージャの温度センサーの閾値がエラーレベルを上回りました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

サーバ環境温度の見なおし、およびファンの状態を確認してください。環境温度を見なおしても再発する場合は、エンクロージャ部品を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

18615

SV RAID:%2 Device error (Power state change failed on disk (from active to transition))

意味:

active から transition への Power state の変更に失敗しました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18616

SV RAID:%2 Device error (Power state change failed on disk (from stopped to transition))

意味:

stopped から transition への Power state の変更に失敗しました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18617

SV RAID:%2 Device error (Power state change failed on disk (from transition to active))

意味:

transition から active への Power state の変更に失敗しました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

18618

SV RAID:%2 Device error (Power state change failed on disk (from transition to stopped))

意味:

transition から stopped への Power state の変更に失敗しました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

7.2.13 LAN 関連メッセージ [Windows]

Windows での LAN 関連のメッセージを以下に示します。

■ e1express 関連

e1express 関連のメッセージを以下に示します。

21700

e1000_express:%2 Adapter or Software error (Adapter not found)

意味:

アダプターを検出できません。

%2:デバイス名

対処:

ドライバを再インストールしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21701

e1000_express:%2 Adapter or Software error (Driver load error)

意味:

ドライバはロードするアダプターを決定できません。

%2:デバイス名

対処:

ドライバを再インストールしてください。

Severity:

Error

アクション:

(/ /T/S)

21702

e1000_express:%2 Software error (Could not allocate The MAP REGISTERS)

意味:

操作に必要なマップレジスタを割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

アダプターのプロパティで送信記述子の数を減らし再スタートしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21703

e1000_express:%2 Software error (Could not assign an interrupt)

意味:

割込みを割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

他の PCI スロットを使って再試行してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ /T/S)

21704

e1000_express:%2 Software error (Could not allocate memory)

意味:

操作に必要なメモリを割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

アダプターのプロパティで受信記述子と集合バッファの数を減らして再スタートしてください。

Severity:

Error

アクション:

(/ /T/S)

21705

e1000_express:%2 Software error (Could not allocate shared memory)

意味:

操作に必要な共有メモリを割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

アダプターのプロパティで受信記述子と集合バッファの数を減らして再スタートしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21706

e1000_express:%2 Software error (Could not allocate memory)

意味:

受信構造に必要なメモリを割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

アダプターのプロパティで受信記述子の数を減らして再スタートしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21707

e1000_express:%2 Software error (Could not allocate memory)

意味:

受信記述子に必要なメモリを割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

アダプターのプロパティで受信記述子の数を減らして再スタートしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21708

e1000_express:%2 Software error (Could not allocate memory)

意味:

受信バッファに必要なメモリを割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

アダプターのプロパティで受信記述子の数を減らして再スタートしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21709

e1000_express:%2 Adapter error (Could not establish link) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

リンクが確立できません。

%2:デバイス名

%d:例. 1209

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

- Unit 名が IOB#n-PCIC#n-FUNC#n、PCI_Box#n-PCIC#n-FUNC#n の場合:

  →ケーブルを確認してください。

- Unit 名が GSPB#n-GbE#n、SB#n-NIC の場合:

  →ボード抜き差しし、GSPB または SB が正しく搭載されているかを確認します。それでもメッセージが表示される場合は、GSPB または SB を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

21710

e1000_express:%2 Adapter error (NOT properly configured) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

PCI BIOS で PRO/1000 アダプターは正しく設定されていません。

%2:デバイス名

%d:例. 1209

%r:数値 (1～8 桁)

対処:

- Unit 名が IOB#n-PCIC#n-FUNC#n、PCI_Box#n-PCIC#n-FUNC#n の場合:

  →他の PCI スロットを使って再試行してください。またはアダプターを交換してください。

- Unit 名が GSPB#n-GbE#n、SB#n-NIC の場合:

  →GSPB または SB を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

21711

e1000_express:%2 Adapter error (Not configured for bus mastering) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

PCI BIOS によりバス マスタ用に設定されません。

%2:デバイス名

%d:例. 1209

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

- Unit 名が IOB#n-PCIC#n-FUNC#n、PCI_Box#n-PCIC#n-FUNC#n の場合

  →アダプターをバス マスタ対応のスロットに取り付けてください。

- Unit 名が GSPB#n-GbE#n、SB#n-NIC の場合

  →GSPB または SB を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

21712

e1000_express:%2 Software error (Could not allocate the NDIS receive packets)

意味:

操作に必要な NDIS 受信パケットを割り当てられません。

%2:デバイス名

対処:

アダプターのプロパティで受信記述子の数を減らして再スタートしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21713

e1000_express:%2 Software error (Could not allocate the NDIS receive buffers)

意味:

操作に必要な NDIS 受信バッファを割り当てられません。

%2:デバイス名

対処:

アダプターのプロパティで受信記述子の数を減らして再スタートしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21714

e1000_express:%2 Software error (unable to assign PCI resources)

意味:

OS は PCI リソースを割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

他の PCI スロットを使って再試行してください。または、他のハードウェアと競合を起こしているか確認し、可能性のあるハードウェアを取り外してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21715

e1000_express:%2 Software error (unable to claim PCI resources)

意味:

ドライバはアダプターの PCI リソースを要求できません。

%2:デバイス名

対処:

ネットワーク接続で未使用の任意の接続を削除してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21716

e1000_express:%2 Adapter error (EEPROM error) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターの EEPROM にエラーがある可能性があります。

%2:デバイス名

%d:例. 1209

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

アダプターを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

21717

e1000_express:%2 Software error (Could not start)

意味:

アダプターを開始できません。

%2:デバイス名

対処:

ドライバを更新してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21718

e1000_express:%2 Software error (MDIX setting conflict with the AutoNeg Settings)

意味:

MDIX と AutoNeg の設定が矛盾します。

%2:デバイス名

対処:

AutoNeg をオンにして再スタートしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21719

e1000_express:%2 Adapter error (Could not start) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

対応するギガビット ネットワークの接続を開始できませんでした。

%2:デバイス名

%d:例. 1209

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

ケーブルをネットワーク デバイスに接続してから再起動するか、またはリンク ベースのログインをオフにしてから再起動してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

21720

e1000_express:%2 Software error (Could not allocate all resources)

意味:

優先度の高い通信キューに必要なすべてのリソースを割り当てられません。

%2:デバイス名

対処:

アダプターのプロパティで送信記述子の数を減らして再スタートしてください。または、複数の送信キュー機能を無効にして、再スタートしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21721

e1000_express:%2 Software error (failed to initialize properly)

意味:

ドライバを適切に初期化できません。アダプター設定を変更できない場合があります。

%2:デバイス名

対処:

ドライバを再ロードしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21722

e1000_express:%2 Software error (Could not find a supported gigabit network connection)

意味:

ギガビット ネットワークの接続を検出できません。

%2:デバイス名

対処:

ドライバを再インストールしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21723

e1000_express:%2 Adapter or Software error (Driver load error)

意味:

対応するギガビット ネットワークの接続のどれをロードするかドライバが決定できません。

%2:デバイス名

対処:

ドライバを再インストールしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21724

e1000_express:%2 Software error (Could not assign an interrupt)

意味:

対応するギガビット ネットワークの接続に割込みを割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

他の PCI スロットを使って再試行してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21725

e1000_express:%2 Adapter error (NOT properly configured) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

PCI BIOS でギガビット ネットワーク接続は正しく設定されていません。

%2:デバイス名

%d:例. 1209

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

他の PCI スロットを使って再試行してください。またはアダプターを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

21726

e1000_express:%2 Adapter error (Not configured for bus mastering) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

PCI BIOS によりギガビット ネットワーク接続がバス マスタ用に設定されません。

%2:デバイス名

%d:例. 1209

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アダプターをバス マスタ対応のスロットに取り付けてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

21727

e1000_express:%2 Software error (unable to assign PCI resources)

意味:

OS は PCI リソースをギガビット ネットワークの接続に割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

他の PCI スロットを使って再試行してください。または、他のハードウェアと競合を起こしているか確認し、可能性のあるハードウェアを取り外してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21728

e1000_express:%2 Software error (unable to claim PCI resources)

意味:

ドライバはギガビット ネットワーク接続の PCI リソースを要求できません。

%2:デバイス名

対処:

ネットワーク接続で未使用の任意の接続を削除してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21729

e1000_express:%2 Adapter error (EEPROM error) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

ギガビット ネットワーク接続の EEPROM にエラーがある可能性があります。

%2:デバイス名

%d:例. 1209

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アダプターを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

21730

e1000_express:%2 Software error (Could not start)

意味:

ギガビット ネットワーク接続を開始できません。

%2:デバイス名

対処:

ドライバを更新してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21800

e1express:%2 Software error (Could not allocate The MAP REGISTERS)

意味:

操作に必要なマップレジスタを割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

アダプターのプロパティで送信記述子の数を減らし、再スタートしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21801

e1express:%2 Software error (Could not assign an interrupt)

意味:

割込みを割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

他の PCI スロットを使って再試行してください。

ドライバを更新してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ /T/S)

21802

e1express:%2 Adapter error (EEPROM error) vendorid=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターの EEPROM にエラーがある可能性があります。

%2 : デバイス名

%d : 例. 1209

%r : 数値 (1〜3 桁)

対処:

アダプターを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

21803

e1express:%2 Software error (Could not start)

意味:

アダプターを開始できません。

%2:デバイス名

対処:

ドライバを更新してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21804

e1express:%2 Software error (failed to initialize properly)

意味:

ドライバを適切に初期化できません。アダプター設定を変更できない場合があります。

%2:デバイス名

対処:

ドライバを更新して、コンピュータを再起動してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21805

e1express:%2 Software error (Could not allocate shared memory)

意味:

操作に必要な共有メモリを割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

アダプターのプロパティで送信記述子と受信記述子の数を減らして、再スタートしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21806

e1express:%2 Software error (Could not allocate memory)

意味:

操作に必要なメモリを割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

アダプターのプロパティで送信記述子と受信記述子の数を減らして、再スタートしてください。

Severity:

Error

アクション:

(/ /T/S)

21807

e1express:%2 Software error (Could not allocate resource pool)

意味:

操作に必要なリソースプールを割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

アダプターのプロパティで送信記述子と受信記述子の数を減らして、再スタートしてください。

Severity:

Error

アクション:

(/ /T/S)

21808

e1express:%2 Software error (Could not initialize scatter-gather DMA resources)

意味:

操作に必要な scatter-gather DMA リソースを初期化することができません。

%2:デバイス名

対処:

アダプターのプロパティで送信記述子の数を減らして、再スタートしてください。

Severity:

Error

アクション:

(/ /T/S)

21809

e1express:%2 Software error (Could not map the network adapter flash)

意味:

ネットワークアダプターフラッシュをマップできません。

%2:デバイス名

対処:

ドライバを更新してください。または、他の PCI スロットを使って再試行してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ /T/S)

21810

e1express:%2 Adapter error (The fan on the network adapter has failed) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターが故障しました。

%2 : デバイス名

%d : 例. 1209

%r : 数値 (1～3 桁)

対処:

コンピュータの電源を切って、ネットワークアダプターを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

21811

e1express:%2 Software error (unsupported SFP+ module)

意味:

サポートされていない SFP+ モジュールがアダプターにインストールされているため、ドライバを読み込めませんでした。

%2:デバイス名

対処:

アダプターにインストールされている SFP+モジュールがサポートされているかを確認してください。

サポートされていない SFP+モジュールがインストールされている場合は、SFP+モジュールを交換してください。

サポートされている SFP+モジュールがインストールされている場合は、ドライバを更新してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21812

e1express:%2 Adapter error (MAC address is invalid) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

ネットワーク アダプターの MAC アドレスが無効です。

%2 : デバイス名

対処:

アダプターを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

21813

e1express:%2 Adapter error (overheated) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

オーバーヒートが原因でネットワークアダプタが停止しました。

%2 : デバイス名

%d : 例. 1209

%r : 数値 (1～3 桁)

対処:

コンピューターを再起動してください。問題が解決しない場合は、コンピューターの電源を切って、ネットワーク アダプターを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

■ ixgbn 関連

ixgbn 関連のメッセージを以下に示します。

21850

ixgbn:%2 Software error (Could not allocate The MAP REGISTERS)

意味:

操作に必要なマップレジスタを割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

アダプターのプロパティで送信記述子の数を減らし、再スタートしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21851

ixgbn:%2 Software error (Could not assign an interrupt)

意味:

割込みを割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

他の PCI スロットを使って再試行してください。

ドライバを更新してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ /T/S)

21852

ixgbn:%2 Adapter error (EEPROM error) vendorid=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターの EEPROM にエラーがある可能性があります。

%2:デバイス名

%d:例. 1209

%r:数値 (1 ～ 3 桁)

対処:

アダプターを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

21853

ixgbn:%2 Software error (Could not start)

意味:

アダプターを開始できません。

%2:デバイス名

対処:

ドライバを更新してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21854

ixgbn:%2 Adapter error (MAC address is invalid) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

ネットワークアダプターの MAC アドレスが無効です。

%2:デバイス名

対処:

アダプターを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

21855

ixgbn:%2 Software error (failed to initialize properly)

意味:

ドライバを適切に初期化できません。アダプター設定を変更できない場合があります。

%2:デバイス名

対処:

ドライバを更新して、コンピュータを再起動してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21856

ixgbn:%2 Software error (Could not allocate shared memory)

意味:

操作に必要な共有メモリを割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

アダプターのプロパティで送信記述子と受信記述子の数を減らして、再スタートしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21857

ixgbn:%2 Software error (Could not allocate memory)

意味:

操作に必要なメモリを割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

アダプターのプロパティで送信記述子と受信記述子の数を減らして、再スタートしてください。

Severity:

Error

アクション:

(/ /T/S)

21858

ixgbn:%2 Software error (Could not allocate resource pool)

意味:

操作に必要なリソースプールを割り当てることができません。

%2:デバイス名

対処:

アダプターのプロパティで送信記述子と受信記述子の数を減らして、再スタートしてください。

Severity:

Error

アクション:

(/ /T/S)

21859

ixgbn:%2 Software error (Could not initialize scatter-gather DMA resources)

意味:

操作に必要な scatter-gather DMA リソースを初期化することができません。

%2:デバイス名

対処:

アダプターのプロパティで送信記述子の数を減らして、再スタートしてください。

Severity:

Error

アクション:

(/ /T/S)

21860

ixgbn:%2 Software error (Could not map the network adapter flash)

意味:

ネットワークアダプターフラッシュをマップできません。

%2:デバイス名

対処:

ドライバを更新してください。または、他の PCI スロットを使って再試行してください。

Severity:

Error

アクション:

(/ /T/S)

21861

ixgbn:%2 Adapter error (The fan on the network adapter has failed) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

アダプターが故障しました。

%2 : デバイス名

%d : 例. 1209

%r : 数値 (1～3 桁)

対処:

コンピュータの電源を切って、ネットワークアダプターを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

21862

ixgbn:%2 Software error (unsupported SFP+ module)

意味:

サポートされていない SFP+ モジュールがアダプターにインストールされているため、ドライバを読み込めませんでした。

%2 : デバイス名

対処:

アダプターにインストールされている SFP+モジュールがサポートされているかを確認してください。サポートされていない SFP+モジュールがインストールされている場合は、SFP+モジュールを交換してください。

サポートされている SFP+モジュールがインストールされている場合は、ドライバを更新してください。

Severity:

Warning

アクション:

(/ /T/S)

21863

ixgbn:%2 Adapter error (overheated) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r

意味:

オーバーヒートが原因でネットワークアダプターが停止しました。

%2 : デバイス名

%d : 例. 1209

%r : 数値 (1～3 桁)

対処:

再スタートしてください。それでも解決しない場合は、電源を切って、ネットワークアダプターを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

7.2.14 ファイバーチャネルメッセージ［Windows］

Windows でのファイバーチャネルメッセージを以下に記します。

22000

elxstor:%1 Adapter error (Severe Error = %h) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

ドライバ、ファーム、HBA の異常が発生しました。

%1：デバイス名

%h：エラーコード(HEX)

%d：例．F980

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ドライバを更新または再インストールを行い、改善されない場合はアダプターを交換してください。エラーコードは Emulex storport Miniport Driver のマニュアルを参照してください。

Severity :

Error

アクション：

(R/M/T/S)

22001

elxstor:%1 Software error (MalFunction Error = %h)

意味：

システム、ユーザー操作の異常が発生しました。

%1：デバイス名

%h：エラーコード(HEX)

対処：

動作上の問題はありませんが、頻発する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

エラーコードは Emulex storport Miniport Driver のマニュアルを参照してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

22002

elxstor:%1 Software error (Command Error = %h)

意味：

コマンド異常が発生しました。

%1：デバイス名

%h：エラーコード(HEX)

対処：

動作上の問題はありませんが、頻発する場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

エラーコードは Emulex storport Miniport Driver のマニュアルを参照してください。

Severity :

Warning

アクション：

(/ /T/S)

7.2.15 SCSI/SAS メッセージ [Windows]

Windows での SCSI/SAS 関連のメッセージを示します。

■ SCSI 関連

SCSI 関連のメッセージを以下に示します。

23000

symmpi: Adapter error (Controller Error occurred)

意味：

ドライバ検出の異常が発生しました。

対処：

SAS ドライバを更新または再インストールし、改善されない場合はアダプターを交換してください

Severity :

Error

アクション：

(R/M/T/S)

23001

symmpi: Adapter error (timeout/illegal interrupt occurred)

意味：

タイムアウトや異常割込みなどを検出しました。

対処：

SAS ドライバを更新または再インストールし、改善されない場合はアダプターを交換してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

23100

lsi_scsi: Adapter error (Controller Error occurred)

意味：

ドライバが異常を検出しました。

対処：

SAS ドライバを更新または再インストールし、改善されない場合はアダプターを交換してください。

Severity :

Error

アクション：

(R/M/T/S)

23101

lsi_scsi: Adapter error (timeout/illegal interrupt occurred)

意味：

タイムアウトや異常割込みなどを検出しました。

対処：

SAS ドライバを更新または再インストールし、改善されない場合はアダプターを交換してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

■ SAS 関連

SAS 関連のメッセージを以下に示します。

23200

lsi_sas: Adapter error (Controller Error occurred)

意味：

SAS ドライバが異常を検出しました。

対処：

ドライバ、アダプターまたは HDD の異常が考えられます。修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Error

アクション：

(R/M/T/S)

23201

lsi_sas: Adapter error (timeout/illegal interrupt occurred)

意味：

SAS ドライバがタイムアウトや異常割込みなどを検出しました。

対処：

ドライバ、アダプターまたは HDD の異常が考えられます。修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

7.2.16 Disk メッセージ [Windows]

Windows での Disk のメッセージを以下に示します。

24000

disk:¥Device¥* Device error (The device; ¥Device¥*; did not respond within the timeout period.) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

応答タイムアウトが発生しました。

%v：例．FUJITSU

%m：例．MAP3367NC

%ser：例．01234567

対処：

デバイスとアダプターが正しく接続されているか確認してください。接続に問題がない場合は、調査資料 (QSS など) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Error

アクション：

(R/M/T/S)

24001

disk:¥Device¥* Device error (The driver detected a controller error on ¥Device¥*) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

コントローラーとデバイス間でエラーが発生しました。

%v：例．FUJITSU

%m：例．MAP3367NC

%ser：例．01234567

対処：

デバイスとアダプターが正しく接続されているか確認してください。接続に問題がない場合は、調査資料 (QSS など) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Error

アクション :

(R/M/T/S)

24002

disk:¥Device¥* Device error (The device; ¥Device¥*; is not ready for access yet.) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味 :

デバイスにアクセスができない状態が発生しました。

%v : 例. FUJITSU

%m : 例. MAP3367NC

%ser : 例. 01234567

対処 :

デバイスとアダプターが正しく接続されているか確認してください。接続に問題がない場合は、調査資料 (QSS など) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Error

アクション :

(R/M/T/S)

24003

disk:¥Device¥* Device error (The device; ¥Device¥*; has a bad block.) vendor=%v model=%m serial-no=%ser

意味：

デバイスに不良ブロックがあります。

%v：例．FUJITSU

%m：例．MAP3367NC

%ser：例．01234567

対処：

デバイスを交換してください。

Severity：

Error

アクション：

(R/M/T/S)

7.2.17 ETERNUS マルチパスドライバメッセージ [Windows]

ETERNUS マルチパスドライバのメッセージを以下に示します。

25000

MPD: Adapter or Device or FC-Network error (MPD detected event)

意味：

マルチパスドライバが I/O 異常または FC マルチパス構成の異常の検出しました。

対処：

マルチパスドライバが出力するメッセージに応じて、『ETERNUS マルチパスドライバ ユーザーズガイド』に従って対処を行ってください。

Severity：

Warning

アクション：

(/ /T/S)

25001

MPD:¥Device¥ScsiPort%2 Adapter or FC-Network error (An input/output error has occurred) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

¥Device¥ScsiPortP において、入出力異常を検出しました。

%2：Scsi 番号

%d：例. F980

%r ：数値（1～3 桁）

対処：

¥Device¥ScsiPortP で表示されたデバイスを点検してください。

Severity :

Error

アクション :

(R/M/T/S)

25002

MPD:¥Device¥ScsiPort%2 Adapter or FC-Network error (An input/output error has occurred) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味 :

¥Device¥ScsiPortP(PathId=B, TargetId=T)において、入出力異常を検出しました。

%2 : Scsi 番号

%d : 例. F980

%r : 数値 (1～3 桁)

対処 :

¥Device¥ScsiPortP(PathId=B, TargetId=T)で表示されたデバイスを点検してください。

Severity :

Error

アクション :

(R/M/T/S)

25003

MPD:¥Device¥ScsiPort%3 Adapter or FC-Network error (Some of the paths could not be detected) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

ケーブル抜けやデバイス故障などの原因のため、¥Device¥ScsiPortP(PathId=B, TargetId=T) のデバイスに関して、マルチパス運用を開始できませんでした。

%3：Scsi 番号

%d：例. F980

%r ：数値 (1～3 桁)

対処：

¥Device¥ScsiPortP(PathId=B, TargetId=T)で表示されたデバイスを点検してください。

Severity：

Error

アクション：

(R/M/T/S)

25004

MPD:¥Device¥ScsiPort%3 Adapter or FC-Network error (device was removed) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

ケーブル抜けやデバイス故障などのために、¥Device¥ScsiPortP(PathId=B, TargetId=T) が使用できなくなりました。

%3：Scsi 番号

%d：例. F980

%r ：数値（1～3 桁）

対処：

¥Device¥ScsiPortP(PathId=B, TargetId=T) で表示されたデバイスを点検してください。

Severity：

Error

アクション：

(R/M/T/S)

25005

MPD:¥Device¥ScsiPort%2 Adapter or FC-Network error (An input/output fault) vendor-id=10DF device-id=%d revision=%r

意味：

パスを切り離しました。

%2：Scsi 番号

%d：例. F980

%r ：数値（1～3 桁）

対処：

¥Device¥ScsiPortP(PathId=B, TargetId=T) で表示されたデバイスを点検してください。

Severity：

Error

アクション：

(R/M/T/S)

7.2.18　GLS メッセージ [Windows]

Windows GLS 関連のメッセージを以下に示します。

27000

GLS: Software error (The physical adapter linked down)

意味：

物理アダプターのリンクダウンが発生しました。

対処：

物理アダプターのケーブルが抜けていないか確認してください。ケーブルが抜けていない場合は、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity :

Warning

アクション：

(//T/S)

27001

GLS: Software error (Failed to communicate with IP addresses to be monitored)

意味：

ping 監視先 IP アドレスとの通信に失敗しました。

対処：

接続先のネットワーク機器や NIC の異常を調査してください。

Severity :

Warning

アクション：

(//T/S)

27002

GLS: Software error (A failure occurred in all adapters)

意味：

すべてのアダプターが異常となりました。

対処：

仮想アダプターで束ねられている物理アダプターのケーブルが抜けていないか確認してください。

Severity :

Error

アクション：

(//T/S)

7.2.19 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows]

ServerView RAID 関連のメッセージを以下に示します。

28500

SV RAID:%2 Adapter error (BBU temperature out of range) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

バッテリー上の温度センサーで検出した温度が、測定可能な範囲を超えました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

ServerView で FAN の状態を確認し、FAN 故障の場合は、対象装置の対処に従ってください。

FAN 故障でなかった場合は、環境温度を見なおしてください。環境温度を見なおしても再発する場合は、BBU を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28501

SV RAID:%2 Adapter error (BBU temperature unstable) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

バッテリーの温度が安定しません。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

ServerView で FAN の状態を確認し、FAN 故障の場合は、対象装置の対処に従ってください。

FAN 故障でなかった場合は、環境温度を見なおしてください。環境温度を見なおしても再発する場合は、BBU を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28502

SV RAID:%2 Adapter error (BBU temperature above threshold) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

バッテリー上の温度センサーで検出した温度が、高温閾値を超えました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

ServerView で FAN の状態を確認し、FAN 故障の場合は、対象装置の対処に従ってください。

FAN 故障でなかった場合は、環境温度を見なおしてください。環境温度を見なおしても再発する場合は、BBU を交換してください。

Severity：

Error

アクション：

(R/M/T/S)

28503

SV RAID:%2 Adapter error (BBU voltage out of range) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味：

バッテリー上の電圧センサーで検出した電圧値が、測定可能な範囲を超えました。

%2：デバイス名

%d：例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

BBU の交換を行ってください。再発する場合は、SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity：

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28504

SV RAID:%2 Adapter error (BBU voltage unstable) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

バッテリーの電圧が安定しません。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

BBU の交換を行ってください。再発する場合は、SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28505

SV RAID:%2 Adapter error (BBU communication error) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

BBU との通信エラーが発生しました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

BBU の交換を行ってください。再発する場合は、SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28506

SV RAID:%2 Adapter error (BBU failed) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

バッテリーに異常が発生しました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

BBU の交換を行ってください。

Severity：

Error

アクション：

(R/M/T/S)

28507

SV RAID:%2 Adapter error (BBU fast charging failed) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味：

バッテリーの急速充電に失敗しました。

%2：デバイス名

%d：例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

BBU の交換を行ってください。

Severity：

Error

アクション：

(R/M/T/S)

28508

SV RAID:%2 Adapter error (BBU charge count exceeded) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

バッテリーの充電カウントが上限を上回りました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

BBU の交換を行ってください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28509

SV RAID:%2 Device error (Rebuild on disk failed)

意味:

HDD で実行中のリビルドが失敗しました。

%2:デバイス名

対処:

対象ロジカルドライブが Degraded の場合、HDD を交換し、リビルドしてください。対象ロジカルドライブがオフラインの場合、「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28510

SV RAID:%2 Device error (Rebuild failed on logical drive)

意味:

ロジカルドライブのリビルドが失敗しました。

%2:デバイス名

対処:

対象ロジカルドライブが Degraded の場合、HDD を交換し、リビルドしてください。対象ロジカルドライブがオフラインの場合、「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28511

SV RAID:%2 Device error (Migration failed on logical drive)

意味:

ロジカルドライブ の容量拡張処理に失敗しました。

%2:デバイス名

対処:

アレイを再構築し、バックアップからデータをリストアしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28512

SV RAID:%2 Device error (Migration aborted on logical drive)

意味:

ロジカルドライブ の容量拡張処理が中断されました。

%2:デバイス名

対処:

アレイを再構築し、バックアップからデータをリストアしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28513

SV RAID:%2 Device error (Logical drive degraded)

意味:

ロジカルドライブが Degraded 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

故障した HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28514

SV RAID:%2 Device error (Logical drive failed)

意味:

ロジカルドライブがオフライン状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28515

SV RAID:%2 Adapter error (BBU voltage problem detected) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

バッテリーの電圧異常が検出されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

BBU の交換を行ってください。再発する場合は、SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28516

SV RAID:%2 Adapter error (BBU temperature problem detected) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

バッテリーの温度異常が検出されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

ServerView で FAN の状態を確認してください。FAN 故障の場合は、対象装置の対処に従ってください。FAN 故障でなかった場合は、環境温度を見なおしてください。環境温度を見なおしても再発する場合は、BBU を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28517

SV RAID:%2 Adapter error (BBU failed) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

バッテリーが故障しました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

BBU を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28518

SV RAID:%2 Adapter error (Fatal firmware error) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

ファームウェアで致命的なエラーが発生しました。

%2:デバイス名

%d ： 例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28519

SV RAID:%2 Adapter error (Multi-bit ECC error) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

マルチビットエラーが検出されました。

%2:デバイス名

%d : 例. 0079

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

アレイコントローラーを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28520

SV RAID:%2 Adapter error (Single-bit ECC error) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

シングルビットエラーが検出されました。

%2:デバイス名

%d : 例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アレイコントローラーを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28521

SV RAID:%2 Adapter error (Not enough adapter memory) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

コントローラーのメモリが不足しています。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28522

SV RAID:%2 Device error (Resume migration of logical drive failed due to Configuration Mismatch)

意味:

構成のミスマッチにより容量拡張処理のリジュームに失敗しました。

%2:デバイス名

対処:

アレイ構成を再構築し、バックアップからデータをリストアしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28523

SV RAID:%2 Device error (Hot spare S.M.A.R.T. polling failed on disk)

意味:

スペアディスクへの SMART ポーリングが失敗しました。

%2:デバイス名

対処:

対象の HDD を交換し、交換後スペアディスクに設定を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28524

SV RAID:%2 Device error (Predictive failure)

意味:

HDD で故障予測が発生しています。

%2:デバイス名

対処:

HDD の予防交換をしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28525

SV RAID:%2 Adapter error (BBU needs to be replaced - SOH bad) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

BBU の交換が必要です。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

BBU を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28526

SV RAID:%2 Adapter error (BBU removed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

BBU が取り外されました。

%2:デバイス名

%d：例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

バッテリーの充電完了を待ちます。充電完了後も再発する場合は、BBU を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28527

SV RAID:%2 Adapter error (Enclosure communication lost) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

エンクロージャとの接続が切断されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

システムの接続構成を見なおしてください。再発する場合は、SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28528

SV RAID:%2 Adapter error (Enclosure not responding) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

エンクロージャからの応答がありません。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

システムの接続構成を見なおしてください。再発する場合は、SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28529

SV RAID:%2 Adapter error (SAS/SATA mixing not supported in enclosure) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

SAS/SATA の混在はエンクロージャでサポートされていません。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

正しい HDD に交換してください。(SATAHDD は未サポートです。)

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28530

SV RAID:%2 Device error (Bad block table on disk is 80% full)

意味:

Bad Block Table の使用率が 80%を超えました。

%2:デバイス名

対処:

復旧できない不良ブロックが大量に発生しています。読み込めないファイルが存在した場合は、バックアップからそのファイルをリストアしてください。

Severity:

Info

アクション:

(R/M/T/S)

28531

SV RAID:%2 Device error (Bad block table on disk is full; unable to log Block)

意味:

Bad Block Table がフルになりました。

%2:デバイス名

対処:

復旧できない不良ブロックが大量に発生しています。読み込めないファイルが存在した場合は、バックアップからそのファイルをリストアしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28532

SV RAID:%2 Adapter error (BBU/charger problems detected; SOH bad) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

BBU チャージャーの問題が検出されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

BBU を交換してください。再発する場合は、SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28533

SV RAID:%2 Adapter error (Single-bit ECC error; warning threshold exceeded) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

シングルビットエラーが検出されました。

%2:デバイス名

%d ： 例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アレイコントローラーを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28534

SV RAID:%2 Adapter error (Single-bit ECC error; critical threshold exceeded) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

シングルビットエラーが検出されました。

%2:デバイス名

%d : 例. 0079

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

アレイコントローラーを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28535

SV RAID:%2 Adapter error (Single-bit ECC error; further reporting disabled) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

シングルビットエラーが検出されました。

%2:デバイス名

%d : 例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アレイコントローラーを交換してください。再発する場合は SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity:

Info

アクション:

(R/M/T/S)

28536

SV RAID:%2 Adapter error (Previous configuration completely missing at boot) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

起動時に構成を見つけられませんでした。

%2:デバイス名

%d：例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

システムの電源を落とし、HDD、ケーブル、電源などが正しく接続されているか確認してください。再発する場合は、SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

28537

SV RAID:%2 Device error (Logical drive partially degraded)

意味：

ロジカルドライブ が Degraded 状態になりました。

%2：デバイス名

対処：

Degraded 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity：

Error

アクション：

(R/M/T/S)

28538

SV RAID:%2 Device error (Disks missing)

意味:

HDD が存在しません。

%2:デバイス名

対処:

Dead 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28539

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from operational to degraded)

意味:

ロジカルドライブの状態がオンライン状態から Degraded 状態に変更されました。

%2:デバイス名

対処:

Degraded 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28540

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from operational to partially degraded)

意味:

ロジカルドライブの状態がオンライン状態から Degraded 状態に変更されました。

%2:デバイス名

対処:

Degraded 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28541

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from operational to failed)

意味:

ロジカルドライブの状態がオンライン状態からオフライン状態に変更されました。

%2:デバイス名

対処:

「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28542

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from degraded to degraded)

意味:

ロジカルドライブの状態が Degraded 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

Degraded 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28543

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from degraded to partially degraded)

意味:

ロジカルドライブの状態が Degraded 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

Degraded 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28544

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from degraded to failed)

意味:

ロジカルドライブ の状態が Degraded 状態からオフライン状態に変更されました。

%2:デバイス名

対処:

「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28545

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from partially degraded to degraded)

意味:

ロジカルドライブの状態が Degraded 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

Degraded 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28546

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from partially degraded to partially degraded)

意味:

ロジカルドライブの状態が Degraded 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

Degraded 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28547

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from partially degraded to failed)

意味:

ロジカルドライブ の状態が Degraded 状態からオフライン状態に変更されました。

%2:デバイス名

対処:

「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28548

SV RAID:%2 Device error (State change on logical drive from failed to failed)

意味:

ロジカルドライブ の状態がオフライン状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28549

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from failed to failed)

意味:

HDD の状態が Failed 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

Failed 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28550

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from hotspare to failed)

意味:

HDD の状態が HotSpare 状態から Failed 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

Failed 状態の HDD を交換し、HotSpare に設定してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28551

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from rebuilding to failed)

意味:

HDD の状態が Rebuilding 状態から Failed 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

Failed 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28552

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from operational to failed)

意味:

HDD の状態が Operational 状態から Failed 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

Failed 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28553

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from failed to failed)

意味:

HDD の状態が Failed 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

Failed 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28554

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from hot spare to failed)

意味:

Dead 状態の HDD を交換し、HotSpare に設定します。

%2:デバイス名

対処:

Dead 状態の HDD を交換し、HotSpare に設定してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28555

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from rebuilding to failed)

意味:

Dead 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

%2:デバイス名

対処:

Dead 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28556

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from operational to failed)

意味:

HDD の状態が Operational 状態から Failed 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

Failed 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28557

SV RAID:%2 Device error (Disk missing after reboot)

意味:

再起動時に HDD が見つかりませんでした。

%2:デバイス名

対処:

HDD を交換し、リビルドしてください。Fault LED が点灯していない場合は、SAS インターフェース系障害の可能性があります。SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

ただし、本製品を搭載しているサーバ本体のオプションカードまたはハードディスクの増設・取外し後の OS 起動時に本イベントが発生する場合があります。その場合は ServerView RAID Manager を使用してアレイの状態を確認してください。アレイが正常状態と認識されている場合は問題ありません。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28558

SV RAID:%2 Adapter error (Logical drive missing after reboot) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

再起動時にロジカルドライブが見つかりませんでした。

%2:デバイス名

%d : 例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

本製品を搭載しているサーバ本体のオプションカードまたはハードディスクの増設・取外し後の OS 起動時に本イベントが発生する場合があります。その場合は ServerView RAID Manager を使用してアレイの状態を確認してください。アレイが正常状態と認識されている場合は問題ありません。

また、アレイ構成変更後に発生している場合は、対処不要です。通常運用時または保守作業後に発生している場合は、システムの電源を落とし、HDD が正しく接続されているか確認してください。起動後にアレイ構成が認識できなかった場合は、再起動を行うことでアレイ構成を認識します。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28559

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from hot spare to offline)

意味:

HDD の状態が HotSpare 状態からオフライン状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

オフライン状態の HDD を交換し、リビルドしてください。マルチデッドの場合は、「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

(ホットスペアは未サポートです。)

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28560

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from offline to failed)

意味:

HDD の状態がオフライン状態から Failed 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

Failed 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28561

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from operational to offline)

意味:

Degraded 状態が Operational 状態からオフライン状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

オフライン状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28562

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from rebuilding to offline)

意味:

HDD の状態が Rebuilding 状態からオフライン状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

オフライン状態の HDD を交換し、リビルドしてください。マルチデッドの場合は「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28563

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from hot spare to offline)

意味:

HDD の状態が HotSpare 状態からオフライン状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

オフライン状態の HDD を交換し、リビルドしてください。マルチデッドの場合は「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

(ホットスペアは未サポートです。)

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28564

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from offline to failed)

意味:

HDD の状態がオフライン状態から Failed 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

Failed 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28565

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from operational to offline)

意味:

HDD の状態が Operational 状態からオフライン状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

Failed 状態の HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28566

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from rebuilding to offline)

意味:

HDD の状態が Rebuilding 状態からオフライン状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

オフライン状態の HDD を交換し、リビルドしてください。マルチデッドの場合は「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28567

SV RAID:%2 Adapter error (SAS port lost link) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

SAS リンクが切断されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

システムの接続構成を見なおしてください。再発する場合は、SAS インターフェース系障害の被疑部品を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28568

SV RAID:%2 Adapter error (Adapter missing after reboot) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

再起動後に SAS アレイコントローラーカードが見つかりませんでした。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

システム BIOS うえの SAS アレイコントローラーカードの有効 (RAID) /無効 (NATIVE) の設定を確認してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28569

SV RAID:%2 Adapter error (Adapter needs replacement; faulty IOP detected) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

コントローラーの IO プロセッサで異常が検出されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

システムの接続構成を見なおしてください。再発する場合は、コントローラーを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28570

SV RAID:%2 Device error (Microcode update timeout on disk)

意味:

HDD のファームウェア更新がタイムアウトしました。

%2:デバイス名

対処:

故障状態の HDD が存在する場合は、HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28571

SV RAID:%2 Device error (Microcode update failed on disk)

意味:

HDD のファームウェア更新が失敗しました。

%2:デバイス名

対処:

故障状態の HDD が存在する場合は、HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28572

SV RAID:%2 Device error (Adapter cache pinned for missing or offline logical drive)

意味:

SAS アレイコントローラーカードのキャッシュが、消失したロジカルドライブのために保持されています。

%2:デバイス名

対処:

対象ロジカルドライブが Degraded の場合、HDD を交換し、リビルドしてください。

対象ロジカルドライブがオフラインの場合、「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28573

SV RAID:%2 Device error (Adapter cache pinned for missing or offline logical drives)

意味:

SAS アレイコントローラーカードのキャッシュが、複数の消失したロジカルドライブのために保持されています。

%2:デバイス名

対処:

対象ロジカルドライブが Degraded の場合、HDD を交換し、リビルドしてください。

対象ロジカルドライブがオフラインの場合、「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28574

SV RAID:%2 Device error (Adapter cache discarded by user for missing logical drives)

意味:

SAS アレイコントローラーカードのキャッシュが消失しました。

%2:デバイス名

対処:

対象ロジカルドライブが Degraded の場合、HDD を交換し、リビルドしてください。

対象ロジカルドライブがオフラインの場合、「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Info

アクション:

(R/M/T/S)

28575

SV RAID:%2 Device error (Adapter cache destaged for logical drive)

意味:

SAS アレイコントローラーカードのキャッシュが消失しました。

%2:デバイス名

対処:

対象ロジカルドライブが Degraded の場合、HDD を交換し、リビルドしてください。

対象ロジカルドライブがオフラインの場合、「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Info

アクション:

(R/M/T/S)

28576

SV RAID:%2 Adapter error (Internal hardware error) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

SAS アレイコントローラーカードで異常が検出されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

SAS アレイコントローラーカードを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28577

SV RAID:%2 Adapter error (Internal hardware error during POST) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

SAS アレイコントローラーカードで異常が検出されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

SAS アレイコントローラーカードを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28578

SV RAID:%2 Device error (Bad block table of disk threshold exceeded; table is about to overflow)

意味:

Bad Block Table の使用率が閾値を超えました。

%2:デバイス名

対処:

故障状態の HDD が存在する場合は、HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Info

アクション:

(R/M/T/S)

28579

SV RAID:%2 Device error (Disk failed due to bad block table overflow)

意味:

Bad Block Table が容量を超えたため、HDD が故障しました。

%2:デバイス名

対処:

故障状態の HDD が存在する場合は、HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28580

SV RAID:%2 Device error (Disk failure detected during POST)

意味:

POST 時に HDD の故障が検出されました。

%2:デバイス名

対処:

故障状態の HDD が存在する場合は、HDD を交換し、リビルドしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28581

SV RAID:%2 Adapter error (Failure detected during POST) vendor-id=1000/1734 device-id=%d revision=%r

意味:

POST 時に異常が検出されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0060/10F9 (device-id/sub device-id)

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

SAS アレイコントローラーカードを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28582

SV RAID:%2 Device error (Multiple failure on disk detected)

意味:

複数の HDD が故障しました。

%2:デバイス名

対処:

対象ロジカルドライブが Degraded の場合、HDD を交換し、リビルドしてください。

対象ロジカルドライブがオフラインの場合、「マルチデッド時の復旧手順」に従った対処を行ってください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28583

SV RAID:%2 Device error (Disk failed since it never entered ready state)

意味:

ハードディスクが ready state になりませんでした。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28584

SV RAID:%2 Adapter error (Internal software interface error) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

Internal ソフトウェアエラーが発生しました。

対処:

アレイコントローラーを交換してください。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1〜3 桁)

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28585

SV RAID:%2 Adapter error (Device open error) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

デバイスオープンエラーです。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

デバイスドライバの版数が正しいか確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28586

SV RAID:%2 Adapter error (Ioctl send error) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

I/O コントロールエラーです。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

デバイスドライバの版数が正しいか確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28587

SV RAID:%2 Adapter error (Insufficient application memory) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

アプリケーションメモリが不足しています。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

アレイコントローラーを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28588

SV RAID:%2 Adapter error (System API error) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

システム API エラーです。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アレイコントローラーを交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28589

SV RAID:%2 Adapter error (Firmware initialization failed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

ファームウェアの初期化に失敗しました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アレイコントローラーを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28590

SV RAID:%2 Adapter error (Firmware recovery failed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

ファームウェアのリカバリーに失敗しました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

アレイコントローラーを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28591

SV RAID:%2 Adapter error (BBU requires reconditioning; please initiate recalibration) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

BBU のリコンディショニングが必要な状態です。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

リキャリブレーションを実施してください。

リキャリブレーション実施後も再発する場合は、BBU を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28592

SV RAID: Software error (Task for object cannot be started. The scheduler has disabled the task)

意味:

タスクが開始できませんでした。

対処:

タスクの開始時間を見なおし、再設定してください。

Patrol Read mode または Auto Learn mode の設定が原因の可能性があります。アレイコントローラーの設定を見なおしてください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28593

SV RAID:%2 Adapter error (SAS topology error) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

SASトポロジーエラーです。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

サーバの電源を落とし、ハードディスク、SAS/SATA ケーブル、電源などが正しく接続されているか確認してください。再発する場合は、SAS/SATA ケーブル、エキスパンダー、バックプレーンなどの SAS インターフェース上の部品を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28594

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from copyback to failed)

意味:

HDD の状態が copyback 状態から failed 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28595

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from copyback to offline)

意味:

HDD の状態が copyback 状態から offline 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28596

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from JBOD to failed)

意味:

HDD の状態が JBOD 状態から failed 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28597

SV RAID:%2 Device error (State change on disk from JBOD to offline)

意味:

HDD の状態が JBOD 状態から offline 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28598

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from copyback to failed)

意味:

ユーザーによって、HDD の状態が copyback 状態から failed 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28599

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from copyback to offline)

意味:

ユーザーによって、HDD の状態が copyback 状態から offline 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28600

SV RAID:%2 Device error (State change by user on disk from JBOD to failed)

意味:

ユーザーによって、HDD の状態が JBOD 状態から failed 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28601

SV RAID:%2 Adapter error (Disk security failed to communicate with EKMS) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

Disk security は EKMS との通信に失敗しました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

本機能は未サポートです。アレイコントローラーの設定を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28602

SV RAID:%2 Adapter error (Logical drive secure failed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

Logical drive secure が失敗しました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

本機能は未サポートです。アレイコントローラーの設定を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28603

SV RAID:%2 Adapter error (Controller encountered a fatal error and was reset) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

コントローラーが fatal エラーを引き起こし、リセットされました。

%2: デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

アレイコントローラーを交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28604

SV RAID:%2 Device error (Configuration command could not be committed to disk)

意味:

コンフィグレーションコマンドは、ディスクにコミットされませんでした。

%2: デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28605

SV RAID:%2 Device error (Power state change failed on disk)

意味:

ディスクの Power state が、active 状態から stop 状態になりました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28606

SV RAID:%2 Device error (Power state change failed on disk (from stopped to active))

意味:

stopped から active への Power state の変更に失敗しました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28607

SV RAID:%2 Device error (Logical drive is not ready)

意味:

Logical drive が ready 状態ではありません。

対処:

ロジカルドライブの現在の状態を確認してください。クリティカル状態の場合、故障状態のハードディスクを交換してリビルドしてください。

オフライン状態の場合、アレイ構成を再度作成し、バックアップからデータをリストアしてください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28608

SV RAID:%2 Adapter error (Adapter has been replaced during reboot) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

リブート中にアダプターが交換されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

不要です。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28609

SV RAID:%2 Adapter error (Enclosure power supply removed) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

エンクロージャの電源が削除されました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

エンクロージャの状態を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28610

SV RAID:%2 Adapter error (Enclosure power supply turned off) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

エンクロージャの電源が停止状態となりました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1～3 桁)

対処:

エンクロージャの状態を確認してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28611

SV RAID:%2 Adapter error (Enclosure temperature sensor below warning threshold) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

エンクロージャの温度センサーの閾値が警告レベルを下回りました。

%2:デバイス名

%d：例. 0079

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

サーバ環境温度を見なおし、ファンの状態を確認してください。環境温度を見なおしても再発する場合は、エンクロージャ部品を交換してください。

Severity：

Warning

アクション：

(R/M/T/S)

28612

SV RAID:%2 Adapter error (Enclosure temperature sensor below error threshold) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味：

エンクロージャの温度センサーの閾値がエラーレベルを下回りました。

%2：デバイス名

%d：例. 0079

%r：数値 (1～3 桁)

対処：

サーバ環境温度を見なおし、ファンの状態を確認してください。環境温度を見なおしても再発する場合は、エンクロージャ部品を交換してください。

Severity：

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28613

SV RAID:%2 Adapter error (Enclosure temperature sensor above warning threshold) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

エンクロージャの温度センサーの閾値が警告レベルを上回りました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

サーバ環境温度を見なおし、ファンの状態を確認してください。環境温度を見なおしても再発する場合は、エンクロージャ部品を交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28614

SV RAID:%2 Adapter error (Enclosure temperature sensor above error threshold) vendor-id=1000 device-id=%d revision=%r

意味:

エンクロージャの温度センサーの閾値がエラーレベルを上回りました。

%2:デバイス名

%d:例. 0079

%r:数値 (1〜3 桁)

対処:

サーバ環境温度を見なおし、ファンの状態を確認してください。環境温度を見なおしても再発する場合は、エンクロージャ部品を交換してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)

28615

SV RAID:%2 Device error (Power state change failed on disk (from active to transition))

意味:

active から transition への Power state の変更に失敗しました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28616

SV RAID:%2 Device error (Power state change failed on disk (from stopped to transition))

意味:

stopped から transition への Power state の変更に失敗しました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28617

SV RAID:%2 Device error (Power state change failed on disk (from transition to active))

意味:

transition から active への Power state の変更に失敗しました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合、交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

28618

SV RAID:%2 Device error (Power state change failed on disk (from transition to stopped))

意味:

transition から stopped への Power state の変更に失敗しました。

%2:デバイス名

対処:

ハードディスクが故障状態の場合は、交換してください。

Severity:

Warning

アクション:

(R/M/T/S)

7.2.20 STOP ERROR メッセージ [Windows]

Windows での STOP ERROR のメッセージを以下に示します。

29000

Software error (windows stop error occurred)

意味:

Windows で STOP ERROR が発生しました。

対処:

修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

Severity:

Error

アクション:

(R/M/T/S)